



System x3250 M4

Type 2583

インストールとサービスのガイド





System x3250 M4

Type 2583

インストールとサービスのガイド

— お願い —

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、513 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』に記載されている一般情報、517 ページの『特記事項』、「保証情報」、および IBM Documentation CD に収録されている「*Safety Information*」および「*Environmental Notices and User Guide*」の各資料をお読みください。

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： System x3250 M4

Type 2583

Installation and Service Guide

発行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第11版第1刷 2013.11

© Copyright IBM Corporation 2013.

目次

安全について	vii
トレーニングを受けたサービス技術員向けのガイドライン	ix
安全点検ガイド	ix
電気機器の保守のためのガイドライン	x
安全について	xi

第 1 章 IBM System x3250 M4 Type

2583 サーバー	1
IBM System x Documentation CD	3
ハードウェアおよびソフトウェアの要件	3
Documentation Browser	3
関連資料	4
本書で使用する注記	5
サーバーの機能および仕様	6
サーバーが提供する機能	7
信頼性、可用性、および保守容易性	11
IBM Systems Director	13
サーバーのコントロール、LED、および電源	14
正面図	14
背面図	16
サーバーのパワー・サプライ	17
サーバーの電源をオンにする	18
サーバーの電源をオフにする	18

第 2 章 オプション装置の取り付け

IBM ビジネス・パートナー用の手順	22
IBM への DSA データの送信	22
サーバー・コンポーネント	23
システム・ボードの内部コネクタ	25
システム・ボードの外部コネクタ	25
システム・ボードのスイッチとジャンパー	26
システム・ボードの LED	28
PCI ライザー・カード・アセンブリのコネクタ	29
メモリー・モジュールの取り付け	30
Unbuffered DIMM (UDIMM)	31
ドライブの取り付け	32
シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け	33
ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け	34
オプションの DVD ドライブの取り付け	36
取り付けのガイドライン	39
システムの信頼性に関するガイドライン	41
電源オンされているサーバー内部での作業	42
静電気に弱い装置の取り扱い	42
カバーの取り外し	43
エアー・バッフルの取り外し	44
PCI ライザー・カード・アセンブリの取り外し	45
システム・ファンの取り付け	46

ドライブの取り付け	48
ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け	48
シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け	50
オプションの DVD ドライブの取り付け	51
メモリー・モジュールの取り付け	54
Unbuffered DIMM (UDIMM)	56
DIMM の取り付け	57
アダプターの取り付け	59
ServeRAID アダプターの取り付け	61
ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け	64
取り付けの完了	66
PCI ライザー・カード・アセンブリの交換	67
エアー・バッフルの交換	68
カバーの交換	69
ケーブルの接続	70
サーバー構成の更新	72

第 3 章 構成情報と説明

ファームウェアの更新	73
サーバーの構成	74
ServerGuide Setup and Installation CD の使用	77
ServerGuide の機能	77
セットアップおよび構成の概要	78
標準的なオペレーティング・システムのインストール	78
ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール	79
Setup ユーティリティの使用	79
Setup ユーティリティの開始	79
Setup ユーティリティのメニュー選択項目	80
パスワード	85
Boot Manager の使用	87
バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始	87
UpdateXpress System Pack Installer	88
UEFI のデフォルトをロードした後の電源ポリシー・オプションのデフォルトへの設定値への変更	88
統合管理モジュールの使用	89
リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用	90
IMM ホスト名の取得	91
IMM 用の IP アドレスの取得	92
Web インターフェースへのログオン	92
組み込みハイパーバイザーの使用	93
Ethernet コントローラーの構成	94
Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化	95
Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化	95
RAID アレイの構成	95

IBM Advanced Settings ユーティリティ・プロ グラム	96
IBM Systems Director の更新	96
最新バージョンのインストール	97
ご使用の管理サーバーがインターネットに接続 されている場合の更新のインストール	97
ご使用の管理サーバーがインターネットに接続 されていない場合の更新のインストール	97
汎用固有 ID (UUID) の更新	98
DMI/SMBIOS データの更新	101
第 4 章 トラブルシューティング	105
ここから開始します	105
問題の診断	105
文書化されていない問題	108
Service Bulletin	108
チェックアウト手順	108
チェックアウト手順について	109
チェックアウト手順の実行	110
診断ツール	111
エラー LED	113
パワー・サプライ LED	116
システム・パルス LED	118
イベント・ログ	119
セットアップ・ユーティリティを使用して イベント・ログを表示する	120
サーバーを再始動することなく、イベント・ ログを表示する	121
イベント・ログの消去	122
POST	123
IBM Dynamic System Analysis	123
DSA のエディション	124
DSA Preboot 診断プログラムの実行	125
診断テキスト・メッセージ	126
テスト・ログ結果の表示および DSA コレク ションの転送	126
自動サービス要求 (コール・ホーム)	127
IBM Electronic Service Agent	127
エラー・メッセージ	127
現象別トラブルシューティング	127
一般的な問題	128
ハード・ディスクの問題	128
DVD ドライブの問題	130
ハイパーバイザーの問題	131
再現性の低い問題	132
キーボード、マウス、または USB デバイスの問 題	132
メモリーの問題	134
マイクロプロセッサ問題	135
モニターの問題	136
ネットワーク接続の問題	138
オプション装置の問題	138
電源問題	139
シリアル・ポートの問題	140
ServerGuide の問題	141
ソフトウェア問題	142

USB ポートの問題	143
電源の問題の解決	143
イーサネット・コントローラーの問題の解決	144
未解決問題の解決	145
問題判別のヒント	146
サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更 新の失敗)	147
インバンドの手動リカバリー方式	148
インバンドの自動ブート・リカバリー方式	150
アウト・オブ・バンド方式	150
自動ブート・リカバリー (ABR)	151
Nx 回ブート失敗	151

第 5 章 部品リスト、IBM System x3250 M4 Type 2583	153
交換可能なサーバー・コンポーネント	153
電源コード	159

第 6 章 コンポーネントの取り外しと交 換	161
装置またはコンポーネントの返却	161
サーバー・コンポーネントの取り外しと交換	162
Tier 1 CRU の取り外しと交換	162
カバーの取り外し	162
カバーの交換	163
ベゼルの取り外し	164
ベゼルの交換	165
エアー・バッフルの取り外し	166
エアー・バッフルの交換	167
PCI ライザー・カード・アセンブリの取り外 し	168
PCI ライザー・カード・アセンブリの交換	170
アダプターの取り外し	171
アダプターの交換	172
ServeRAID アダプターの取り外し	175
ServeRAID アダプターの交換	176
シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外 し	179
シンプル・スワップ・ハード・ディスクの再取り 付け	181
ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し	183
ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換	184
オプションの DVD ドライブの取り外し	186
オプションの DVD ドライブの交換	188
DIMM の取り外し	191
メモリー・モジュールの取り付け	192
Unbuffered DIMM (UDIMM)	194
DIMM の取り付け	195
システム・ファンの取り外し	197
システム・ファンの交換	198
システム・バッテリーの取り外し	200
システム・バッテリーの交換	202
ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し	204
ホット・スワップ・パワー・サプライの交換	206
Tier 2 の CRU の取り外しと交換	208
DVD ドライブ・ケーブルの取り外し	208

DVD ドライブ・ケーブルの交換	209	DSA Brocade テスト結果	496
オペレーター情報パネル・アセンブリの取り外し	211	DSA Emulex アダプター・テスト結果	501
オペレーター情報パネル・アセンブリの交換	212	DSA Mellanox アダプター・テスト結果	504
シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し	214	DSA EXA ポート ping テスト結果	506
シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの交換	215	DSA Intel ネットワーク・テスト結果	507
ソフトウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートの、ハードウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートとの取り替え	216		
ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し	221	付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手 513	
ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの交換	223	依頼する前に	513
固定パワー・サプライの取り外し	225	資料の使用	514
固定パワー・サプライの交換	227	ヘルプおよび情報を WWW から入手する	514
240 VA 安全カバーの取り外し	230	IBM への DSA データの送信方法	515
240 VA 安全カバーの交換	232	個別設定したサポート Web ページの作成	515
電源パドル・カードの取り外し	234	ソフトウェアのサービスとサポート	515
電源パドル・カードの交換	235	ハードウェアのサービスとサポート	516
マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し	237		
マイクロプロセッサとヒートシンクの交換	240	特記事項 517	
熱伝導グリース	243	商標	518
システム・ボードの取り外し	244	重要事項	518
システム・ボードの交換	247	サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデータ消去に関するご注意	519
		粒子汚染	520
		通信規制の注記	521
		電波障害自主規制特記事項	521
		Federal Communications Commission (FCC)	
		statement	521
		Industry Canada Class A emission compliance statement	522
		Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada	522
		Australia and New Zealand Class A statement	522
		European Union EMC Directive conformance statement	522
		Germany Class A statement	523
		VCCI クラス A 情報技術装置	524
		電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示	524
		Korea Communications Commission (KCC) statement	524
		Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement	524
		People's Republic of China Class A electronic emission statement	525
		Taiwan Class A compliance statement	525
		索引 527	
付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) のエラー・メッセージ 251			
付録 B. UEFI (POST) エラー・コード 395			
付録 C. DSA 診断テスト結果 413			
DSA CPU ストレス・テスト結果	413		
DSA メモリー・ストレス・テスト結果	415		
DSA メモリー分離テスト結果	417		
DSA 光学式ドライブ・テスト結果	465		
DSA テープ・ドライブ・テスト結果	469		
DSA ハード・ディスク・テスト結果	472		
DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果	473		
DSA Nvidia GPU テスト結果	474		
DSA システム管理テスト結果	479		
DSA チェックポイント・パネル・テスト結果	488		
DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果	490		

安全について

Before installing this product, read the Safety Information.

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الأمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安装本产品之前，请仔细阅读 **Safety Information**
(安全信息)。

安裝本產品之前，請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Læs sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφάλειας
(safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

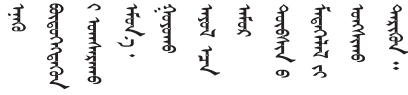
A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.



Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este produto, leia as Informações sobre Segurança.

Перед установкой продукта прочтите инструкции по технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si pečítajte Bezpečnostné predpisy.

Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.

ཐོན་ཁུངས་འདི་བདེ་སྤྱད་མ་བྱས་གོང་། སྐྱོར་གྱི་ཡིད་གཟབ་
བྱ་འདྲ་མིན་ཡིད་པའི་འོད་མེར་བལྟ་དགོས།

Bu ürünü kurmadan önce güvenlik bilgilerini okuyun.

مەزكۇر مەھسۇلاتنى ئورنىتىشتىن بۇرۇن بىخەتەرلىك ئۇچۇرلىرىنى ئوقۇپ چىقىڭ.

Youq mwngz yungh canjbinj neix gaxgonq, itdingh aeu doeg aen
canjbinj soengq cungj vahgangj ancien siusik.

トレーニングを受けたサービス技術員向けのガイドライン

このセクションには、トレーニングを受けたサービス技術員のための情報を示します。

安全点検ガイド

この情報は、ご使用の IBM® 製品の保守を行う場合に、潜在的に存在する危険な状況を見極めるために役立てていただくためのものです。

各 IBM 製品には、設計され組み立てられた時点で、ユーザーとサービス技術員を障害から保護するための安全項目が義務付けられています。このセクションの情報は、こうした項目のみに言及します。このセクションの対象とならない IBM 以外の代替製品の使用または IBM 以外の機構やオプション装置の接続により起こりうる潜在的な危険を識別するには、適切な判断を行う必要があります。危険な状況が存在する場合、その危険がどの程度深刻なものであるか、この問題を解決せずに製品に対する作業を続行できるかどうかについて判断する必要があります。

次のような状況とそれがもたらす危険について検討します。

- 電氣的な危険。特に、1 次側電源（フレームの 1 次電圧が、重大または致命的な感電事故の原因になる場合があります。）
- 爆発の危険。例えば、損傷を受けた CRT 表面またはコンデンサーの膨らみ。
- 機械的な危険。例えば、ハードウェアのゆるみまたは脱落。

製品を点検して潜在的に危険な状態の有無を調べるには、以下のステップを実行してください。

1. 電源がオフになっていて、電源コードが切り離されていることを確認します。
2. 外部カバーに損傷、ゆるみ、または切れ目がないことを確認し、鋭くとがった箇所の有無を調べます。
3. 以下について電源コードをチェックします。
 - 接地線を含む 3 線式の電源コードのコネクターが良好な状態であるかどうか。計器を使用して、外部接地ピンと筐体接地間の 3 線式接地線の導通が、0.1 オーム以下であることを測定により確認します。
 - 電源コードのタイプは正しい。
 - 絶縁体が擦り切れたり摩耗していないか。
4. カバーを取り外します。
5. 明らかに IBM によるものではない改造箇所をチェックします。IBM 以外の改造箇所の安全については適切な判断を行ってください。
6. 金属のやすりくず、汚れ、水やその他の液体、あるいは火災や煙による損傷の兆候など、明らかに危険な状況でないか、システムの内部をチェックします。
7. 磨耗したケーブル、擦り切れたケーブル、または何かではさまれているケーブルがないかをチェックします。
8. パワー・サプライ・カバーの留め金具（ねじまたはリベット）が取り外されたり、不正な変更がされていないことを確認します。

電気機器の保守のためのガイドライン

電気機器を扱うときは、以下のガイドラインを遵守してください。

- 作業域に電氣的危険がないかどうかをチェックしてください。こうした危険とは、例えば、濡れたフロア、接地されていない電源延長ケーブル、安全保護用のアースがないことなどです。
- 承認済みのツールおよびテスト装置を使用してください。工具の中には、握りや柄の部分のソフト・カバーが感電防止のための絶縁性を持たないものがあります。
- 安全な操作状態のために電気ハンド・ツールを定期的に検査および保守してください。磨耗したり破損したツールやテスターは使用しないでください。
- デンタル・ミラーの反射面で、通電中の電気回路に触れないでください。この表面は導電性のため、これに触れた場合、人体の傷害や機械の損傷を起こす可能性があります。
- ゴム製のフロア・マットの中には、静電気の放電を減少させるために、小さい導電ファイバーを含むものがあります。このタイプのマットを感電の保護として使用しないでください。
- 危険な状態、または危険な電圧を持つ装置のそばで、1人で作業しないでください。
- 電気事故が発生した場合に、すぐに電源をオフにできるよう、非常電源切断(EPO)スイッチ、切断スイッチ、あるいは電源コンセントの場所を見つけておきます。
- 機械的な点検、電源近くでの作業、またはメイン・ユニットの取り外しや取り付けを行う前には、すべての電源を切り離してください。
- 機器での作業を開始する前に、電源コードを抜いておきます。電源コードを抜くことができない場合は、この機器に電力を供給している配電盤の電源をオフにし、そのままの状態に保つようお客様に依頼してください。
- 電源と回路が切断されていることを前提にしないでください。まず、電源がオフになっていることを確認してください。
- 電気回路がむき出しの機器で作業する必要がある場合、次の予防手段をとってください。
 - 必要に応じて、すぐに電源スイッチを切れるように、電源オフ制御機構を理解している別の人物に立ち会ってもらおう。
 - 電源がオンになっている電気装置の作業を行う際は、片手のみを使用する。もう一方の手は、ポケットの中に入れておくか、背中に回しておきます。こうすることで、感電の原因となる完全な回路が形成されるのを防ぐことができます。
 - テスターを使用する時は、制御を正しく設定し、テスター用の承認済みプローブ・リードおよび付属品を使用する。
 - 適切なゴム製マットの上に立ち、床の金属部分や機器の枠などのアースと自分の身体とを絶縁する。
- 高電圧の測定時には、細心の注意を払ってください。
- パワー・サプライ、ポンプ、ブロー、ファン、電動発電機などのコンポーネントの正しい接地状態を確保するために、これらのコンポーネントの保守は、その通常の作動位置以外の場所では行わないでください。

- 電氣的事故が発生した場合は、十分に用心し、電源をオフにして、別の人物に医療援助を求めに行かせてください。

安全について

以下では、本書に記載されている「注意」および「危険」に関する情報を説明します。

重要:

本書のすべての「注意」と「危険」の注意書きには番号が付いています。この番号は、*Safety Information* 資料で、英語の *Caution* と *Danger* と対応する翻訳文の「注意」と「危険」を相互参照するのに使用します。

例えば、「*Caution*」の注意書きが「Statement 1」となっている場合、「*Safety Information*」資料を見れば、その注意書きに対応した「安全 1」の翻訳文が見つかります。

この資料で述べられている手順を実施する前に「注意」と「危険」の注意書きをすべてお読みください。もし、システムあるいはオプションに追加の安全情報がある場合はその装置の取り付けを開始する前にお読みください。

安全 1



危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や取り外し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの接続手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

安全 2



注意:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (華氏 212 度) 以上に過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

安全 3



注意:

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) が取り付けられている場合には、以下のことに注意してください。

- カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。



危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

Class 1 Laser Product
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaitte
Appareil À Laser de Classe 1

安全 4



≥ 18 kg



≥ 32 kg



≥ 55 kg

注意:

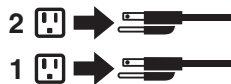
装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。

安全 5



注意:

装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 6



注意:

もし電源コードを装置側でストレイン・リリーフ・ブラケットで固定した場合は、電源コードの給電部側はいつでも容易にアクセスできるようにしておく必要があります。

安全 8



注意:

電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

安全 11



注意:

このラベルが貼られている近くには鋭利な先端の部品やジョイントが存在します。



安全 12



注意:

このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。



安全 13



危険

分岐回路に過負荷がかかると発火や感電の危険性が生じます。このような危険を避けるためシステムが必要とする電源容量が電源回路の安全容量を超えないことを確認してください。ご使用の装置の電気仕様は装置に付属のマニュアルに記載されています。

安全 15



注意:

ラックからサーバーを引き出してもラックが転倒しないようになっていることを確認してください。

安全 17



注意:

このラベルが貼られている近くには動く部品が存在します。



安全 26



注意:

ラック・マウント装置の上には何も置かないでください。



安全 27



注意:

近くに動く部品が存在します。



第 1 章 IBM System x3250 M4 Type 2583 サーバー

本書「インストールとサービスのガイド」には、ご使用の IBM System x3250 M4 Type 2583 サーバーをセットアップするための情報および手順、いくつかのオプション装置の取り付け手順、サーバーの配線および構成、装置の取り外しおよび交換、ならびに診断およびトラブルシューティング情報を記載しています。

21 ページの『第 2 章 オプション装置の取り付け』で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは 22 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の手順も完了する必要があります。

IBM System x3250 M4 Type 2583 サーバーは、高さ 1-U¹ のラック・モデル・サーバーで、高ボリュームのネットワーク・トランザクション処理に適しています。この高性能なクアッドコアまたはデュアルコア・サーバーは、高度なマイクロプロセッサ性能、柔軟性のある入出力 (I/O)、および高い管理能力を必要とするネットワーク環境に最適です。

パフォーマンス、使いやすさ、信頼性、および拡張機能が、このサーバーの設計における重要な考慮事項でした。このような設計特性により、お客様が現在のニーズに合わせてシステムのハードウェアをカスタマイズできるだけでなく、将来に備えるための柔軟な拡張機能が提供されます。

このサーバーには限定保証が適用されます。保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「IBM 保証情報」を参照してください。

このサーバーには、パフォーマンスと信頼性の強化に役立つ IBM X-Architecture[®] 次世代テクノロジーが組み込まれています。詳しくは、7 ページの『サーバーが提供する機能』および 11 ページの『信頼性、可用性、および保守容易性』を参照してください。

ご使用のサーバーおよびその他の IBM サーバー製品に関する最新の情報は、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/> から入手できます。 <http://www.ibm.com/supportportal> では、目的の IBM 製品を特定して、個別設定したサポート・ページを作成することができます。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報およびダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

IBM クライアント・リファレンス・プログラムに参加すると、ご使用になっているテクノロジー、ベスト・プラクティス、および革新的ソリューションに関する情報を共用できるほか、業界ネットワークを構築し、お客様の業務の認知度を上げることができます。IBM クライアント・リファレンス・プログラムについて詳しくは、<http://www.ibm.com/ibm/clientreference/>を参照してください。

1. ラックは縦に 4.45 cm (1.75 インチ) ごとに区切られています。各区切りは「U」と表されます。1-U の装置の高さは 4.45 cm (1.75 インチ) です。

ファームウェアと資料の更新情報が使用可能な場合は、IBM Web サイトからダウンロードできます。サーバーには、その付属資料の中で説明されていない機能が装備されている場合があります。また、資料は、これらの機能に関する情報を収録するためにときどき更新されることがあり、サーバーの資料に収録されていない追加情報を記述するために、技術上の更新が行われることもあります。更新を確認するには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

サーバーに関する情報を次の表に記録してください。

製品名	IBM System x3250 M4 Type 2583 サーバー
マシン・タイプ	Type 2583
モデル番号	_____
シリアル番号	_____

モデル番号とシリアル番号は、次の図に示すように、サーバー前面の ID ラベルに記載してあります。

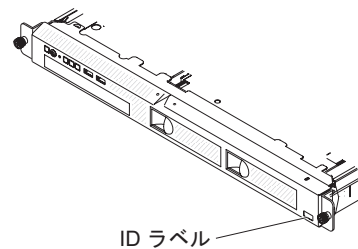


図 1. サーバー前面の ID ラベル

注: 本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

IBM *ServerGuide Setup and Installation* CD をダウンロードして、ハードウェアの構成、デバイス・ドライバのインストール、およびオペレーティング・システムのインストールに役立てることができます。

サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。

ラックへの取り付けと取り外しに関する完全な手順については、IBM *System x Documentation* CD にある資料「ラック搭載手順」を参照してください。

IBM System x Documentation CD

IBM System x Documentation CD には、ご使用のサーバーに関する資料が PDF フォーマットで含まれているほか、迅速な情報検索に役立つ IBM Documentation Browser も含まれています。

ハードウェアおよびソフトウェアの要件

IBM System x Documentation CD のハードウェア要件とソフトウェア要件。

IBM System x Documentation CD には、以下の最小ハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

- Microsoft Windows XP、Windows 2000、または Red Hat Linux
- 100 MHz マイクロプロセッサ
- 32 MB の RAM
- Adobe Acrobat Reader 3.0 (またはこれ以降)、または Linux オペレーティング・システムに付属の xpdf

Documentation Browser

Documentation Browser を利用すると、CD の内容をブラウズしたり、資料の概要を表示したり、あるいは Adobe Acrobat Reader または xpdf を使用して資料を表示できます。

Documentation Browser は、サーバーで使用している地域設定を自動的に検出し、その地域の言語を使用して資料を表示します (その言語が利用可能な場合)。その地域の言語で資料を表示できない場合は、英語版の資料が表示されます。

Documentation Browser を開始するには、以下のいずれかの方法を実行します。

- 自動始動が使用可能な場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入します。Documentation Browser が自動的に開始します。
- 自動始動が使用不可の場合、またはこの機能がユーザー全員に対しては使用可能でない場合は、以下のいずれかの手順を実行します。
 - Windows オペレーティング・システムを使用している場合は CD を CD ドライブまたは DVD ドライブに挿入し、「スタート」 > 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。「名前」フィールドに次のように入力します。

```
e:\win32.bat
```

ここで、*e* は CD または DVD ドライブのドライブ名です。「OK」をクリックします。

- Red Hat Linux を使用している場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入し、/mnt/cdrom ディレクトリーから次のコマンドを実行します。

```
sh runlinux.sh
```

「Product」メニューからサーバーを選択します。「Available Topics」リストに、該当のサーバーに関するすべての文書が表示されます。一部の資料は、フォルダーに入っている場合があります。プラス符号 (+) が付いているフォルダーまたは資料には、その下にさらに資料が存在します。 プラス符号をクリックすると、それらの追加資料が表示されます。

文書を選択すると、その文書の説明が「**Topic Description**」の下に表示されます。複数の資料を選択するには、Ctrl キーを押したままにして、各資料を選択します。選択した文書を Acrobat Reader または xpdf で表示するには、「**View Book**」をクリックします。複数の資料を選択した場合は、選択したすべての資料が Acrobat Reader または xpdf で開かれます。

すべての文書を検索するには、ワードまたはワード・ストリングを「**Search**」フィールドに入力し、「**Search**」をクリックします。そのワードまたはワード・ストリングが出現する資料が、出現回数の多い順にリストされます。その資料をクリックして表示し、資料内で Ctrl+F を押して Acrobat の検索機能を使用するか、Alt+F を押して xpdf の検索機能を使用します。

Documentation Browser の使用方法について詳しくは、「**Help**」をクリックしてください。

関連資料

この「インストールとサービスのガイド」には、サーバーのセットアップと配線の方法、サポートされるオプション装置の取り付け方法、サーバーの構成方法を含め、サーバーに関する一般情報が記載されています。また、ユーザーが自分自身で問題を解決するのに役立つ情報や、サービス技術員向けの情報も記載されています。

サーバーには、以下の資料も付属しています。

- *Environmental Notices and User Guide*

この資料は、IBM System x Documentation CD に PDF 形式で収められています。この資料には、環境に関する注記が翻訳されて収録されています。

- *IBM 機械コードのご使用条件*

この資料は、IBM System x Documentation CD 上に PDF 形式で収められています。ご使用のサーバーに関する翻訳版の「*IBM 機械コードのご使用条件*」が記載されています。

- *IBM 保証情報*

この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。この資料には、保証条件と、IBM Web サイト上の「IBM 保証の内容と制限」へのポインターが記載されています。

- *Licenses and Attributions Document*

この資料は、IBM System x Documentation CD 上に PDF 形式で収められています。オープン・ソースの注意が記載されています。

- *ラック搭載手順*

この印刷資料には、サーバーをラックに搭載するための手順が記載されています。

- *Safety Information*

この資料は、IBM *System x Documentation* CD 上に PDF 形式で収められています。この資料には、注意と危険の注記の翻訳が記載されています。この文書に記載された注意と危険の注記にはそれぞれ番号が割り当てられており、これを使用して、「*Safety Information*」の中にご使用の言語で書かれた対応する注記を見付けることができます。

サーバーのモデルによっては、追加資料が、IBM *System x Documentation* CD で提供される場合もあります。

System x および BladeCenter の Tools Center は、ファームウェア、デバイス・ドライバ、およびオペレーティング・システムの更新、管理、デプロイメントのツールに関する情報が含まれるオンライン情報センターです。System x および BladeCenter の Tools Center は <http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER> にあります。

サーバーは、サーバー付属の資料では説明されていないフィーチャーを備えていることがあります。資料は、このようなフィーチャーに関する情報を組み込むために随時更新される可能性があり、また、サーバーの資料に含まれていない追加情報を提供するための技術更新情報を利用できる場合があります。このような更新は IBM Web サイトで入手できます。更新された資料および技術更新情報があるかどうかを確認するには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

本書で使用する注記

本書の注意および危険に関する注記は、IBM *System x Documentation* CD に収められている複数言語による「*Safety Information*」資料にも記載されています。安全に関する各注記には番号が付いています。この番号を使用して、「*Safety Information*」資料の中で、対応する自国語の注記を見つけることができます。

本書では、次の注記が使用されます。

- **注:** この注記には、重要なヒント、ガイダンス、助言が書かれています。
- **重要:** この注記には、不都合な、または問題のある状態を避けるために役立つ情報または助言が書かれています。また、これらの注記は、プログラム、デバイス、またはデータに損傷を及ぼすおそれのあることを示します。「重要」の注記は、損傷を起こすおそれのある指示や状態の記述の直前に書かれています。
- **注意:** この注記は、ユーザーに対して危険が生じる可能性がある状態を示します。「注意」の注記は、危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。
- **危険:** これらの注記は、ユーザーに対して致命的あるいはきわめて危険となりうる状態を示します。「危険」の注記は、致命的あるいはきわめて危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。

サーバーの機能および仕様

以下の情報は、サーバーの機能と仕様の要約です。 ご使用のモデルによっては、一部の機能が使用できなかったり、一部の仕様が適用されない場合があります。

表 1. サーバーの機能および仕様

マイクロプロセッサ (モデルにより異なる): 1 個のインテル・クアッドコア (Xeon E3-1200 シリーズ) またはデュアルコア (Pentium G850 あるいは Core i3 シリーズ) プロセッサをサポート - Multi-chip Package プロセッサ・アーキテクチャ - LGA 1155 ソケット対応の設計 - 最大 4 コアまで拡張可能 32 KB 命令 L1 キャッシュ、32 KB データ L1 キャッシュ、256 KB 命令/データ L2 キャッシュ、およびコア間で共用する最大 8 MB の L3 キャッシュ - Intel Extended Memory 64 Technology (EM64T) をサポート 注: - サーバーに使用されているマイクロプロセッサのタイプと速度を判別するには、Setup ユーティリティを使用します。 - サポートされるマイクロプロセッサのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us を参照してください。 メモリー: - 最小: 1 GB - 最大: 32 GB - タイプ: PC3L-12800 (single-rank または dual-rank)、1333 または 1600 MHz、ECC、DDR3 Unbuffered SDRAM DIMM のみ - コネクタ: 4 個のデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) コネクタ、2-way インターリーブ - サイズ: 1 GB (single-rank)、2 GB (single-rank)、4 GB (dual-rank)、および 8 GB (dual-rank)	メモリー: - UltraSlim DVD-ROM コンボ - マルチ・バーナー ハード・ディスク拡張ベイ (モデルにより異なる): 以下の構成のいずれか: 4 個の 2.5 型シンプル・スワップ SAS ハード・ディスク・ベイ 4 個の 2.5 型ホット・スワップ SAS ハード・ディスク・ベイ 2 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスク・ベイ 注: OS 4690 では 3TB ハード・ディスクはサポートされません。 PCI 拡張スロット: ライザー・カードの 2 つの PCI ライザー・スロットをサポート: - スロット 1 は ServeRAID-10i1 V2 SAS/SATA コントローラー専用 - スロット 2 は 1 つの PCI Express Gen2 x8 ハーフサイズ、フルハイトのアダプターをサポート パワー・サブライ (モデルによって異なる): 1 個の 300 ワット固定パワー・サブライ - 冗長性のため、最大 2 個のホット・スワップの 460 ワット・パワー・サブライ ファン: サーバーには標準で 4 つの速度制御機能付きファンが取り付けられています。	内蔵機能: - 統合管理モジュール II (IMM2) (複数の管理機能を単一のチップに統合) - Intel 82574L Gb イーサネット・コントローラー (TCP/IP オフロード・エンジン (TOE) および Wake on LAN サポート付き) 6 個の USB 2.0 ポート (前面に 2 個、背面に 4 個) 2 つのイーサネット・ポート 6 ポートの内蔵 SATA コントローラー 1 個のシリアル・ポート 1 つの VGA ポート RAID コントローラー (モデルによって異なる): - RAID レベル 0、1、および 10 を提供する ServeRAID-C100 オンボード RAID - RAID レベル 0、1、および 1E を提供する ServeRAID-BR10i1 v2

表 1. サーバーの機能および仕様 (続き)

RAID コントローラー (モデルによって異なる): - RAID レベル 0、1、および 10 を提供する ServeRAID-C100 オンボード RAID - RAID レベル 0、1、および 1E を提供する ServeRAID-BR10i v2 放出音響ノイズ: - 音響出力、アイドリング時: 最大 6.5 ベル - 音響パワー、稼働時: 最大 6.5 ベル 環境: - 室温: - サーバー電源オン時: 10°C から 35°C、許容高度: 0 m から 914.4 m - サーバー電源オン時: 10°C から 32°C、許容高度: 914.4 m から 2133.6 m - サーバー電源オン時: 10°C から 28°C、許容高度: 2133.6 m から 3050 m - サーバー電源オフ時: 10°C から 43°C - 出荷時: -40°C から 60°C - 湿度: - サーバーの電源オン時: 8% から 80% - サーバーの電源オフ時: 8% から 80% - 粒子汚染: 重要: 浮遊微小粒子や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、サーバーにリスクをもたらす可能性があります。微粒子およびガスの制限に関する情報は、『粒子汚染』を参照してください。	ビデオ・コントローラー (IMM2 に内蔵): - Matrox G200 - SVGA 互換ビデオ・コントローラー - Avocent デジタル・ビデオ圧縮 - ビデオ・メモリーは拡張不可 注: 最大ビデオ解像度は、75 Hz で 1600 x 1200 です。 サイズ: 1U - 高さ: 43 mm - 奥行き: 575.8 mm - 幅: 439 mm (ラック・ブラケットなし) 478 mm (ラック・ブラケットあり) - 最大質量: 10.67 kg (23.53 lb) (構成によって異なる) 発熱量 (消費電力): - 最小構成: 38 ワット - 最大構成: 504 ワット 電源入力: - 正弦波入力 (50-60 Hz) 必須 - 低電圧入力レンジ: - 最小: 100 V AC - 最大: 127 V AC - 高電圧入力レンジ: - 最小: 200 V AC - 最大: 240 V AC - 入力電力 (kVA) (近似値): - 最小: 0.038 kVA - 最大: 0.504 kVA	注: - 電力消費量と発熱量は、取り付けてあるオプション機構と使用している電源管理オプション機構の数とタイプに応じて変動します。 - 音響レベルは、管理された音響環境のもとで、米国規格協会 (ANSI) S12.10 および ISO 7779 によって指定された手順に従って測定されたもので、ISO 9296 に従って報告されています。特定の場所における実際の音圧レベルは、室内反響およびその他の近隣の騒音源によって、ここに示した平均値を超える場合があります。放出ノイズ・レベルは、無作為にサンプルとして抽出されたシステムの公称 (上限) 音響出力レベル (ベル単位) です。 - サーバーには、キーボード・コネクタやマウス・コネクタは付いていません。USB コネクタを使用して、サーバーに USB キーボードと USB マウスを接続することができます。

サーバーが提供する機能

このサーバーでは、次の機能およびテクノロジーが使用されています。

• Active Energy Manager

IBM Active Energy Manager ソリューションは、サーバーの電力消費量をその発生に合わせて測定し、レポートする IBM Systems Director 拡張機能です。この機能を使用すると、特定のソフトウェア・アプリケーション・プログラムやハードウェア構成と相関させて、電力消費量をモニターすることができます。システム管理インターフェースを通じて測定値を取得し、IBM Systems Director を使用してそれらの測定値を表示できます。IBM Systems Director および Active Energy Manager の必要なレベルなどの詳細については、IBM Systems Director インフォメーション・センター (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/director/v6r1x/index.jsp?topic=/director_6.1/fqm0_main.html) または <http://www.ibm.com/systems/software/director/resources.html> を参照してください。

- **Dynamic System Analysis (DSA)**

このサーバーには、サーバー上の内蔵 USB メモリーに IBM Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プログラムが格納されています。DSA は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収集して分析し、サーバーにおける主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。DSA は DSA ログを作成します。DSA ログは、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、統合管理モジュール II (IMM2) イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。この DSA ログをファイルとして IBM サポートに送信するか、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することができます。

Dynamic System Analysis には、2 つのエディション (DSA Portable と DSA Preboot) が使用可能です。両方のエディションについて詳しくは、124 ページの『DSA のエディション』を参照してください。

- **Features on Demand**

サーバーまたはサーバー内に取り付けられたオプションの装置に Features on Demand フィーチャーが組み込まれている場合、アクティベーション・キーを購入して機能をアクティブ化することができます。Features on Demand について詳しくは、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/> を参照してください。

- **IBM ServerGuide Setup and Installation CD**

Web からダウンロードできる *ServerGuide Setup and Installation CD* には、ユーザーがサーバーをセットアップし、Windows オペレーティング・システムをインストールするのに役立つプログラムが提供されています。ServerGuide プログラムは、インストール済みのオプション・ハードウェアを検出し、適切な構成プログラムとデバイス・ドライバを提供します。*ServerGuide Setup and Installation CD* について詳しくは、77 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **IBM Systems Director**

IBM Systems Director は、異機種混合環境で物理システムと仮想システムを管理する方法を簡素化するプラットフォーム管理の基盤です。IBM Systems Director は、業界標準を使用することによって、IBM および IBM 以外の x86 プラットフォームで複数のオペレーティング・システムと仮想化テクノロジーをサポートします。詳しくは、IBM Systems Director インフォメーション・センター (<http://www.ibm.com/systems/software/director/resources.html> and 13 ページの『IBM Systems Director』) を参照してください。

- **統合管理モジュール II (IMM2)**

統合管理モジュール II (IMM2) では、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わせられています。IMM2 は、高度なサービス・プロセッサの制御、モニター、およびアラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が発生すると、IMM2 は問題の診断に役立つ LED を点灯し、IMM2 イベント・ログにエラーを記録し、さらにユーザーに対してアラートを発行します。オプションで、IMM2 はリ

モート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。 IMM2 は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) バージョン 2.0
- Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3.0
- Common Information Model (CIM)
- Web ブラウザー

追加情報については、89 ページの『統合管理モジュールの使用』、および「*Integrated Management Module II User's Guide*」 (<http://www.ibm.com/supportportal>) を参照してください。

• 内蔵ネットワーク・サポート

このサーバーには、10 Mbps、100 Mbps、または 1000 Mbps のネットワークへの接続をサポートする内蔵デュアル・ポート Intel Gigabit Ethernet コントローラーが組み込まれています。詳しくは、94 ページの『Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

• 内蔵 Trusted Platform Module (TPM)

この内蔵セキュリティー・チップは、暗号機能を実行し、セキュアな秘密鍵と公開鍵を保管します。これは Trusted Computing Group (TCG) 仕様に対するハードウェア・サポートを提供します。TCG 仕様をサポートするためのソフトウェアをダウンロードすることができます (ソフトウェアが利用可能な場合)。TPM の実装について詳しくは、<http://www.ibm.com/systems/x/hardware/enterprise/index.html> を参照してください。Setup ユーティリティの「**System Security**」メニュー・オプションで TPM サポートを使用可能にすることができます (79 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照)。

• 大規模データ・ストレージ容量およびホット・スワップ機能

このサーバーは、サーバー・モデルによって最大 8 つの 2.5 型ホット・スワップまたはシンプル・スワップ SAS ハード・ディスクまたはシリアル ATA (SATA) ハード・ディスク、あるいは 4 つの 3.5 型ホット・スワップまたはシンプル・スワップ SATA ハード・ディスクをサポートします。

• 大容量のシステム・メモリー

unbuffered DIMM が取り付けられている場合は、サーバーは、最大 32 GB のシステム・メモリーをサポートします。メモリー・コントローラーは、最大 4 個の業界標準 PC3L-12800 (DDR3-1600 または DDR3-1333)、DDR3 (第 3 世代 double data rate)、unbuffered、SDRAM デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) に対するエラー修正コード (ECC) をサポートします。

• マルチコア・プロセッシング

このサーバーは、Intel Xeon[™] および Xeon[™] E3-1200 シリーズのマルチコア・マイクロプロセッサをサポートします。ご使用のサーバーには、1 個のマイクロプロセッサが取り付けられています。

• PCI アダプター機能

このサーバーには、2 個の PCI インターフェース・スロットがあります。いずれのスロットも、オプションの PCI-X 変換コネクタ・カードを介して、PCI Express または PCI-X アダプターをサポートすることができます。詳しくは、172 ページの『アダプターの交換』を参照してください。

- **冗長接続**

オプションのイーサネット・アダプターを追加すると、適用可能なアプリケーションがインストールされている冗長イーサネット接続にフェイルオーバー機能が提供されます。プライマリー・イーサネット接続に問題が発生し、オプションのイーサネット・アダプターがサーバーに取り付けられている場合、このプライマリー接続に関連するすべてのイーサネット・トラフィックは、オプションの冗長イーサネット・アダプター接続に自動的に切り替えられます。該当するデバイス・ドライバがインストールされている場合、この切り替えによるデータ損失は発生せず、ユーザー介入も不要です。

- **冗長冷却およびオプションの電源機能**

このサーバーは、最大 2 つの 460 ワットのホット・スワップ・パワー・サプライと 5 つのファンをサポートし、標準的な構成に対して冗長性とホット・スワップ機能を提供します。サーバー内のファンの冗長冷却により、ファンの 1 つに障害が起きても、サーバーの操作を続行できます。このサーバーには、最小 1 個の 460 ワットのホット・スワップ・パワー・サプライと 4 個のファンが搭載されています。電源の冗長性を得るために、オプションで 2 個目のパワー・サプライを注文することができます。

- **ServeRAID サポート**

ServeRAID アダプターは、構成を作成するためのハードウェア新磁気ディスク制御機構 (RAID) サポートを提供します。標準 RAID アダプターは、RAID レベル 0、1、および 10 を提供します。オプションの RAID アダプターもオーダーできます。

- **システム管理機能**

このサーバーには、統合管理モジュール II (IMM2) が付属しています。サーバーに付属のシステム管理ソフトウェアと一緒に IMM2 を使用すると、サーバーの機能をローカルでもリモート側でも管理することができます。IMM2 は、システム・モニタリング、イベント記録、およびネットワーク・アラート機能も提供します。サーバー背面にあるシステム管理コネクタは IMM2 専用です。専用のシステム管理コネクタは、管理ネットワーク・トラフィックを実動ネットワークから物理的に分離することによってセキュリティを強化します。Setup ユーティリティを使用して、専用のシステム管理ネットワークまたは共用ネットワークを使用するようにサーバーを構成できます。

- **UEFI 準拠サーバー・ファームウェア**

UEFI ファームウェアには、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) バージョン 2.1 準拠、Active Energy Management (AEM) テクノロジー、RAS (信頼性、可用性、保守容易性) 拡張機能、基本入出力システム (BIOS) 互換性サポートなどの機能が備わっています。UEFI は、BIOS に代わるものであり、オペレーティング・システム、プラットフォーム・ファームウェア、外部装置間の標準インターフェースを定義します。サーバーは、UEFI 準拠オペレーティング・システ

ム、BIOS ベースのオペレーティング・システム、および BIOS ベースのアダプターのほか、UEFI 準拠アダプターをブートすることができます。UEFI 準拠ファームウェアについて詳しくは、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5083207> にアクセスしてください。

注: このサーバーは DOS (ディスク・オペレーティング・システム) をサポートしません。

• VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。詳しくは、組み込みハイパーバイザーの使用を参照してください。

信頼性、可用性、および保守容易性

コンピューターの設計上で、最も重要な要素は、信頼性 (reliability)、可用性 (availability)、および保守性 (serviceability) (RAS) です。RAS 機能によって、サーバーに保管されているデータの保全性を保ち、サーバーが必要なときに使用できるようにし、問題を容易に診断して修理することができます。

ご使用のサーバーには、次の RAS 機能があります。

- 部品および作業ともに 3 年間の限定保証 (マシン・Type 2583)
- 24 時間サポート・センター
- 自動エラー再試行およびリカバリー
- マスク不能割り込み (NMI) 時の自動再始動
- 電源障害後の自動再始動
- 統合管理モジュール (IMM) の制御下での基本入出力システム・スイッチングのバックアップ
- ファン、電源、温度、電圧、およびパワー・サプライの冗長性のための組み込みモニター
- ほとんどのコネクタに装備されているケーブルの有無の検出機能
- Chipkill メモリー保護
- x4 DRAM テクノロジー DIMM のための SDDC (Single Device Data Correction) (16 GB の DIMM でのみ使用可能)。これにより、ハード障害の後に、最大 2 つの DRAM DIMM のうち単一の x4 DRAM DIMM でデータが使用可能になります。各ランクにある 1 つの x4 DRAM DIMM は、スペース・デバイスとして予約されています。
- ServeRAID およびイーサネット・アダプターの診断サポート
- エラー・コードおよびメッセージ
- エラー修正コード (ECC) L3 キャッシュおよびシステム・メモリー
- フル・アレイ・メモリー・ミラーリング (FAMM) 冗長性
- 速度感知機能付きのホット・スワップ冷却ファン
- ホット・スワップ・ハード・ディスク
- ホット・スワップ・パワー・サプライ
- 通知および Light Path 診断 LED パネル
- 統合管理モジュール (IMM)

- DIMM、マイクロプロセッサ、ハード・ディスク、ソリッド・ステート・ドライブ、パワー・サプライ、およびファンの Light Path 診断 LED
- メモリー・ミラーリングおよびメモリー・スペアリングのサポート
- メモリー・エラー修正コードおよびパリティ・テスト
- メモリー・サイズの縮小 (非ミラーリング・メモリー)。ミラーリングされていない訂正不能エラーをメモリー・コントローラーが検出した後にサーバーを再始動し、メモリー・コントローラーが操作上の回復をできない場合、IMM は訂正不能エラーをログに記録して POST に通知します。POST は、訂正不能エラーがあるメモリーを論理的にマップから外し、サーバーは残りの取り付け済みメモリーを使用して再始動します。
- メニュー方式のセットアップ、システム構成、および RAID 構成プログラム
- マイクロプロセッサの組み込みセルフテスト (BIST)、内部エラー・シグナル・モニター、内部サーマル・トリップ・シグナル・モニター、構成検査、および Light Path 診断によるマイクロプロセッサと電圧調節モジュールの障害識別
- マスク不可能割り込み (NMI) ボタン
- PCIe バスのパリティ・チェック
- 電源管理: 拡張構成および電力インターフェース機構 (ACPI) に準拠
- パワーオン・セルフテスト (POST)
- メモリー、SAS/SATA ハード・ディスク、またはソリッド・ステート・ドライブの 障害予知機能 (PFA) アラート
- フェイルオーバー・サポートのある冗長イーサネット機能
- 冗長ホット・スワップ・パワー・サプライおよび冗長ホット・スワップ・ファン
- 冗長ネットワーク・インターフェース・カード (NIC) サポート
- システム・エラー LED を一時的にオフにするためのリマインド・ボタン
- リモートのシステム問題判別のサポート
- ROM ベースの診断
- ROM チェックサム
- メモリー上の Serial Presence Detection (SPD)、システム・ボード上の VPD、パワー・サプライ、およびハード・ディスクまたはソリッド・ステート・ドライブのバックプレーン、マイクロプロセッサおよびメモリー拡張トレイ、ならびにイーサネット・アダプター
- Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) による過度の訂正可能エラーまたは複数 bit エラーの単一 DIMM 分離
- ソリッド・ステート・ドライブ
- システム管理機能およびモニター用待機電圧
- リモート初期プログラム・ロード (RIPL) または動的ホスト構成プロトコル/ブート・プロトコル (DHCP/BOOTP) を使用した LAN からの始動 (ブート)
- 構成メニューからのシステム自動構成
- システム・エラー・ログ (POST および IMM)
- Inter-Integrated Circuit (I2C) プロトコル・バスを通じたシステム管理モニター
- 訂正不能エラー (UE) の検出
- ローカルでの、または LAN 経由による、アップグレード可能 POST、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI)、診断、IMM ファームウェア、および読み取り専用メモリー (ROM) 常駐コード
- マイクロプロセッサ、システム・ボード、パワー・サプライ、および SAS/SATA (ホット・スワップ・ハード・ディスクおよびソリッド・ステート・ドライブ) バックプレーンに関する重要プロダクト・データ (VPD)
- Wake on LAN 機能

IBM Systems Director

IBM Systems Director は、物理システムと仮想システムを管理する方法を簡素化するプラットフォーム管理の基盤となり、IBM および IBM 以外の x86 プラットフォームで複数のオペレーティング・システムと仮想化テクノロジーをサポートします。

IBM Systems Director では、単一のユーザー・インターフェースによって管理対象システムを一貫性のある形で表示し、それらのシステムの相互関係を判別し、それぞれの状況を識別することができます。したがって、技術的リソースとビジネス・ニーズの相関関係を把握しやすくなります。IBM Systems Director に組み込まれた一連の共通タスクには、基本管理に必要な主要機能が多数あり、ビジネスにすぐに役立つ価値をもたらします。共通タスクには以下のものがあります。

- ディスカバリー
- インベントリー
- 構成
- システム・ヘルス
- 更新
- イベント通知
- 管理対象システムの自動化
-

IBM Systems Director の Web インターフェースとコマンド・ライン・インターフェースは、以下の一般的なタスクと機能の実行に重点を置いた一貫性のあるインターフェースです。

- ネットワーク上のシステムを詳しいインベントリーと他のネットワーク・リソースとの関連を用いて検出、ナビゲート、および視覚化します。
- システムで発生した問題とその問題の発生元を分離する方法をユーザーに通知します。
- システムの更新が必要なときにユーザーに通知し、定期的に更新を配布してインストールします。
- システムのリアルタイム・データを分析し、新たに発生した問題を管理者に通知する重要なしきい値を設定します。
- 単一システムの設定を構成し、その設定を複数のシステムに適用できる構成プランを作成する。
- インストール済みのプラグインを更新して、新しい機能や特性を基本機能に追加します。
- 仮想リソースのライフ・サイクルを管理します。

IBM Systems Director について詳しくは、IBM Systems Director Information Center (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/director/v6r1x/index.jsp?topic=/director_6.1/fqm0_main.html) および Systems Management Web サイト (<http://www.ibm.com/systems/management>) を参照してください。このサイトには、IBM Systems Management と IBM Systems Director の概要が掲載されています。

サーバーのコントロール、LED、および電源

このセクションでは、サーバーの前面と背面にあるコントロール、発光ダイオード (LED)、およびサーバーのオン/オフの方法について説明します。

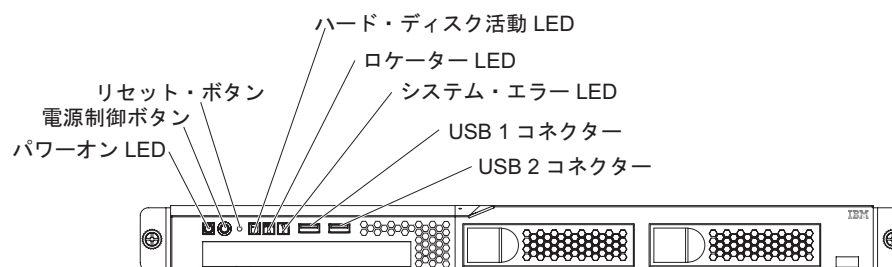
システム・ボード上のその他の LED の位置については、28 ページの『システム・ボードの LED』を参照してください。

正面図

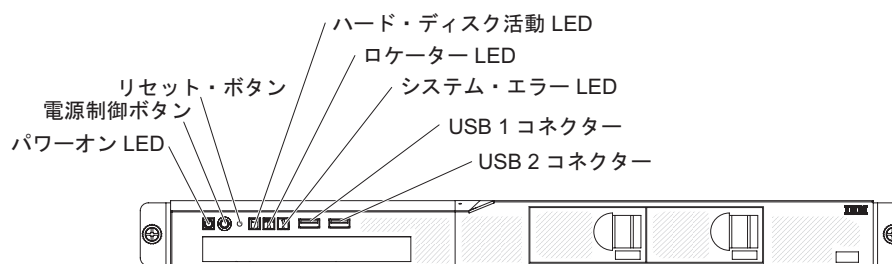
次の図は、サーバーの前面にあるコントロール、LED、およびコネクタを示したものです。

注: 本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

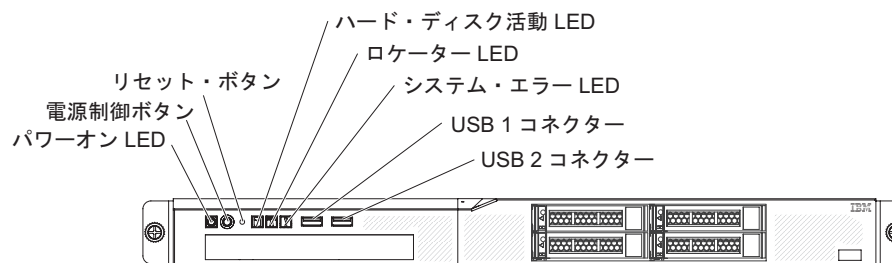
次の図は、2 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・モデルの前面にあるコントロール、LED、およびコネクタを示したものです。



次の図は、4 個の 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・モデルの前面にあるコントロール、LED、およびコネクタを示したものです。



次の図は、4 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・モデルの前面にあるコントロール、LED、およびコネクタを示したものです。



・ **パワーオン LED:** パワーオン LED の状態は次のとおりです。

- **オフ:** AC 電源が入っていないか、パワー・サプライまたは LED 自体が故障していることを示します。
- **高速で点滅 (1 秒間に 4 回):** サーバーは部分的にオンですが、完全にオンになる準備ができていません。電源制御ボタンが使用不可になっています。この状態は 1 分間から 3 分間続きます。
- **低速で点滅 (1 秒間に 1 回):** サーバーはオンになる準備ができています。電源制御ボタンを押すと、サーバーの電源をオンにすることができます。
- **点灯:** サーバーの電源はオンになっています。

• **電源制御ボタン:**

このボタンを押すと、サーバーの電源を手動でオンまたはオフにできます。

• **リセット・ボタン:**

このボタンを押すと、サーバーがリセットされ、パワーオン・セルフテスト (POST) が実行されます。ボタンを押すには、ペンまたは真すぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。

• **ハード・ディスク活動 LED:**

この LED が点滅しているときは、そのハード・ディスクが使用中であることを示します。

• **システム・ロケーター LED:**

この青色の LED は、複数のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見つけるために使用します。この LED はプレゼンス検出ボタンとしても使用されます。IBM Systems Director を使用して、この LED をリモート側で点灯させることができます。この LED は IMM2 によって制御されます。

• **システム・エラー LED:**

この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。この LED は IMM2 によって制御されます。

• **USB コネクター:**

USB マウス、キーボード、またはその他のデバイスなど、USB デバイスは、これらのコネクターのいずれかに接続します。

• **オプションの DVD イジェクト・ボタン:**

このボタンは、DVD または CD をオプションの DVD ドライブから取り出すのに使用します。

• **オプションの DVD ドライブ活動 LED:**

この LED が点灯しているときは、DVD ドライブが使用中であることを示します。

• **ホット・スワップ・ハード・ディスク活動 LED (一部のモデル):**

この LED は、SAS または SATA ハード・ディスクで使用されます。それぞれのホット・スワップ・ハード・ディスクには活動 LED があり、この LED が点滅しているときは、ドライブが使用中であることを示します。

• **ホット・スワップ・ハード・ディスク状況 LED (一部のモデル):**

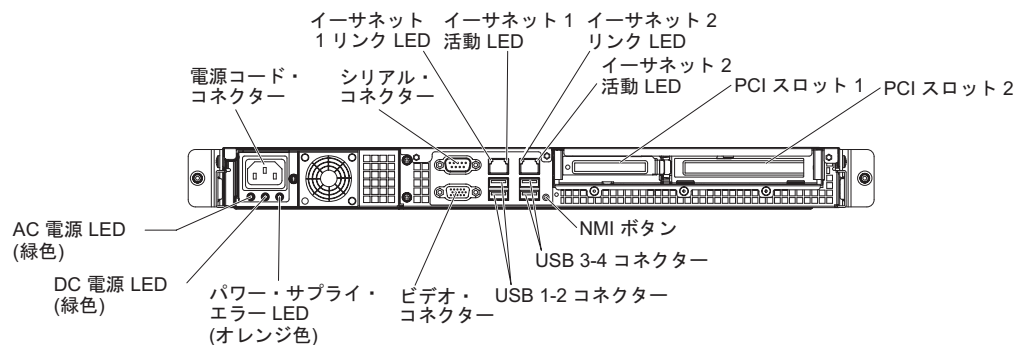
この LED は、SAS または SATA ハード・ディスクで使用されます。この LED が点灯したままになっているときは、ドライブに障害が発生したことを示します。オプションの IBM ServeRAID コントローラーがサーバーに取り付けられている場合、この LED がゆっくりと (1 秒に 1 回) 点滅しているときは、ドライブが再構成されていることを示します。LED が素早く (1 秒に 3 回) 点滅しているときは、コントローラーがドライブを識別していることを示します。

背面図

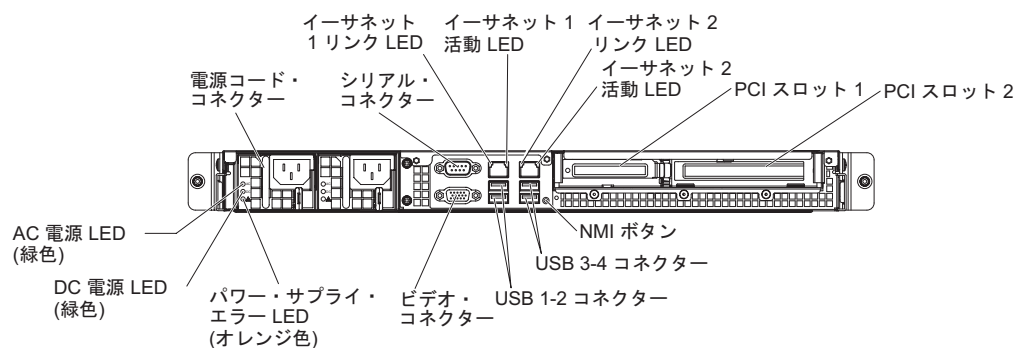
次の図は、サーバーの背面にあるコネクタおよび LED を示しています。

注: 本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

次の図は、固定パワー・サプライ・モデル背面の LED とコネクタを示しています。



次の図は、冗長パワー・サプライ・モデル背面の LED とコネクタを示しています。



- **イーサネット・リンク LED:** この LED が点灯している場合、イーサネット・ポート用の 10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-TX インターフェース上にアクティブなリンク接続が存在することを示します。
- **イーサネット活動 LED** これらの LED が点灯している場合、サーバーとネットワーク間に活動があることを示します。
- **AC 電源 LED:** この緑色の LED はパワー・サプライの状況情報を提供します。標準的な運用時には、AC 電源 LED と DC 電源 LED は両方とも点灯しています。この他の LED の組み合わせについては、116 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。

- **DC 電源 LED:** この緑色の LED はパワー・サプライの状況情報を提供します。標準的な運用時には、AC 電源 LED と DC 電源 LED は両方とも点灯しています。この他の LED の組み合わせについては、116 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。
- **パワー・サプライ・エラー LED:** この黄色の LED が点灯しているときは、パワー・サプライに障害が起こったことを示します。
- **電源コード・コネクタ:** このコネクタには電源コードを接続します。
- **ビデオ・コネクタ:** モニターは、このコネクタに接続します。
- **シリアル・コネクタ:** 9 ピンのシリアル装置は、このコネクタに接続します。シリアル・ポートは、統合管理モジュール II (IMM2) と共用されます。IMM2 は、Serial over LAN (SOL) を使用して、共用シリアル・ポートを制御してシリアル・トラフィックのリダイレクトを行えます。
- **USB コネクタ:** USB マウス、キーボード、またはその他のデバイスなど、USB デバイスは、これらのコネクタのいずれかに接続します。
- **イーサネット・コネクタ:** これらのコネクタのいずれかを使用して、サーバーをネットワークに接続します。イーサネット 1 コネクタを使用する場合、単一のネットワーク・ケーブルを使用してネットワークを IMM2 と共用できます。
- **NMI ボタン:** このボタンは、マイクロプロセッサにマスク不可能割り込みを強制する場合に押します。これにより、サーバーをブルー・スクリーンにして、メモリー・ダンプを取ることができます (このボタンを使用するのは、IBM サービス・サポートに指示された場合のみにしてください)。ボタンを押すには、ペンまたは真っすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。

サーバーのパワー・サプライ

サーバーを AC 給電部に接続しても、電源をオンにしなければ、オペレーティング・システムは稼働せず、統合管理モジュール II (IMM2) 以外のすべてのコア・ロジックはシャットダウンされています。

ただし、統合管理モジュール II (IMM2) からサーバーの電源をオンにするリモート要求などがあれば、サーバーはこれに応答できます。パワーオン LED が点滅している場合、サーバーは AC 電源に接続されてはいるが、電源がオンになっていないことを示します。

サーバーの電源をオンにする

サーバーの電源をオンにするには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーが AC 電源に接続されると約 5 秒後に、1 つ以上のファンが回転を開始してサーバーが電源に接続されている間の冷却を行い、パワーオン LED が素早く点滅し始めます。サーバーが AC 電源に接続されてから約 1 分から 3 分後に、電源制御ボタンがアクティブになり (パワーオン LED がゆっくりと点滅)、1 つ以上のファンが回転を開始してサーバーが電源に接続されている間の冷却を行います。電源制御ボタンを押すことにより、サーバーの電源をオンにできます。

手順

1. パワーオン・ボタンを押して、サーバーの電源をオンにします。
2. 次のいずれかの方法で、サーバーの電源をオンにすることもできます。
 - サーバーの電源がオンのときに電源障害が発生した場合は、電源が復元したときに、サーバーは自動的に再始動します。
 - 使用しているオペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合は、Wake on LAN 機能がサーバーをオンにできます。

注: 4 GB 以上の (物理または論理) メモリーを取り付けると、一部のメモリーは、さまざまなシステム・リソース用に予約され、オペレーティング・システムでは使用不可になります。システム・リソース用に予約されるメモリーの量は、オペレーティング・システム、サーバーの構成、および構成済みの PCI オプションによって異なります。

サーバーの電源をオフにする

サーバーの電源をオフにするには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーをオフにしたが、AC 電源に接続したままにしておくと、サーバーは、統合管理モジュール II (IMM2) からの要求 (例えば、サーバーをオンにするリモート要求) に応答できます。サーバーが AC 電源に接続されている間、1 つ以上のファンが稼働し続けます。サーバーからすべての電源を切るには、電気コンセントから電源コードを抜く必要があります。

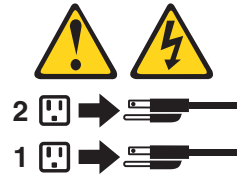
オペレーティング・システムによっては、サーバーの電源をオフにする前に、正常シャットダウンが必要な場合があります。オペレーティング・システムのシャットダウンについての詳細は、オペレーティング・システム関係の資料をお読みください。

安全 5



注意:

装置の電源制御ボタンは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くために、必ず、給電部からすべての電源コードを切り離してください。



手順

サーバーは、次のいずれの方法でも電源をオフにできます。

- ご使用のオペレーティング・システムがサーバーの電源をオフにする機能をサポートしている場合は、オペレーティング・システムからオフにできます。オペレーティング・システムが正常シャットダウンをすると、サーバーは自動的にオフになります。
- ご使用のオペレーティング・システムが、電源制御ボタンを押してオペレーティング・システムを正常シャットダウンし、サーバーをオフにする機能をサポートしている場合、電源制御ボタンを押してオペレーティング・システムの正常シャットダウンを開始しサーバーをオフにすることができます。
- オペレーティング・システムの機能が停止した場合は、電源制御ボタンを 4 秒間を超えて押し続けるとサーバーの電源をオフにできます。
- Wake on LAN 機能によってサーバーの電源をオフにすることができますが、以下の制約があります。

注: PCI アダプターを取り付ける場合、PCI Express アセンブリーおよび PCI-X アセンブリーを取り外す前に、電源コードを給電部から切り離す必要があります。これを行わない場合、Wake on LAN 機能が作動しない可能性があります。

- 統合管理モジュール II (IMM2) は、クリティカルなシステム障害に対する自動応答として、サーバーの電源をオフにすることができます。

第 2 章 オプション装置の取り付け

この章では、オプションのハードウェア・デバイスをサーバーに取り付ける手順を詳しく説明しています。

始める前に

この章で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは 22 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の手順も完了する必要があります。

重要: 取り付けるデバイスが正しく作動し、問題が発生しないことを確認するために、以下の予防措置に従ってください。

手順

1. サーバーおよびインストール済みのファームウェア・レベルが、取り付けるデバイスをサポートしていることを確認します。必要に応じて、UEFI および IMM ファームウェア、システム・ボードに格納されているその他のファームウェアを更新します。サーバー内でファームウェアが格納されている場所については、73 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。
2. ベスト・プラクティスを使用して、サーバーおよびオプションのデバイスに現行ファームウェアおよびデバイス・ドライバ更新を適用します。 *Firmware Update Guides* 資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=MIGR-5082923> にアクセスしてください。追加のヒントは、以下の Web サイトから入手可能です。
 - IBM サポート: <http://www.ibm.com/supportportal>
 - System x 構成ツール: <http://www.ibm.com/systems/x/hardware/configtools.html>
3. オプションのハードウェア・デバイスを取り付けの前に、サーバーが正しく作動していることを確認してください。サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。サーバーが正常に作動しない場合、診断の実行方法については、125 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。
4. この章の取り付け手順に従い、正しいツールを使用してください。誤って取り付けられたデバイスは、ソケットやコネクタのピンの損傷、配線の緩み、あるいはコンポーネントの緩みによって、システム障害の原因となる可能性があります。

IBM ビジネス・パートナー用の手順

Dynamic System Analysis (DSA) ストレス・テストを実行することによって、新規に取り付けたデバイスを検証する、IBM ビジネス・パートナー用の手順。

この章で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは以下の手順も完了する必要があります。

1. サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認した後、Dynamic System Analysis (DSA) ストレス・テストを実行します。DSA の使用については、123 ページの『IBM Dynamic System Analysis』を参照してください。
2. サーバーを複数回シャットダウンおよび再始動し、サーバーが正しく構成され、新しく取り付けた装置が正しく機能していることを確認します。
3. DSA ログをファイルとして保存し、そのファイルを IBM に送信します。データおよびログの転送については、『IBM への DSA データの送信』を参照してください。
4. サーバーを出荷する場合は、損傷を受けていないオリジナルの配送用資材で再梱包し、IBM の配送手順に従ってください。

IBM ビジネス・パートナー用のサポート情報は、<http://www.ibm.com/partnerworld/jp/>で入手できます。

IBM への DSA データの送信

IBM に DSA データを送信するには、標準アップロード、システムのシリアル番号を使用した標準アップロード、セキュア・アップロード、およびシステムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロードを使用できます。

始める前に

診断データを IBM に送信する前に、<http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html>の利用条件をお読みください。

手順

以下のいずれかの方法を使用して、IBM に診断データを送信することができます。

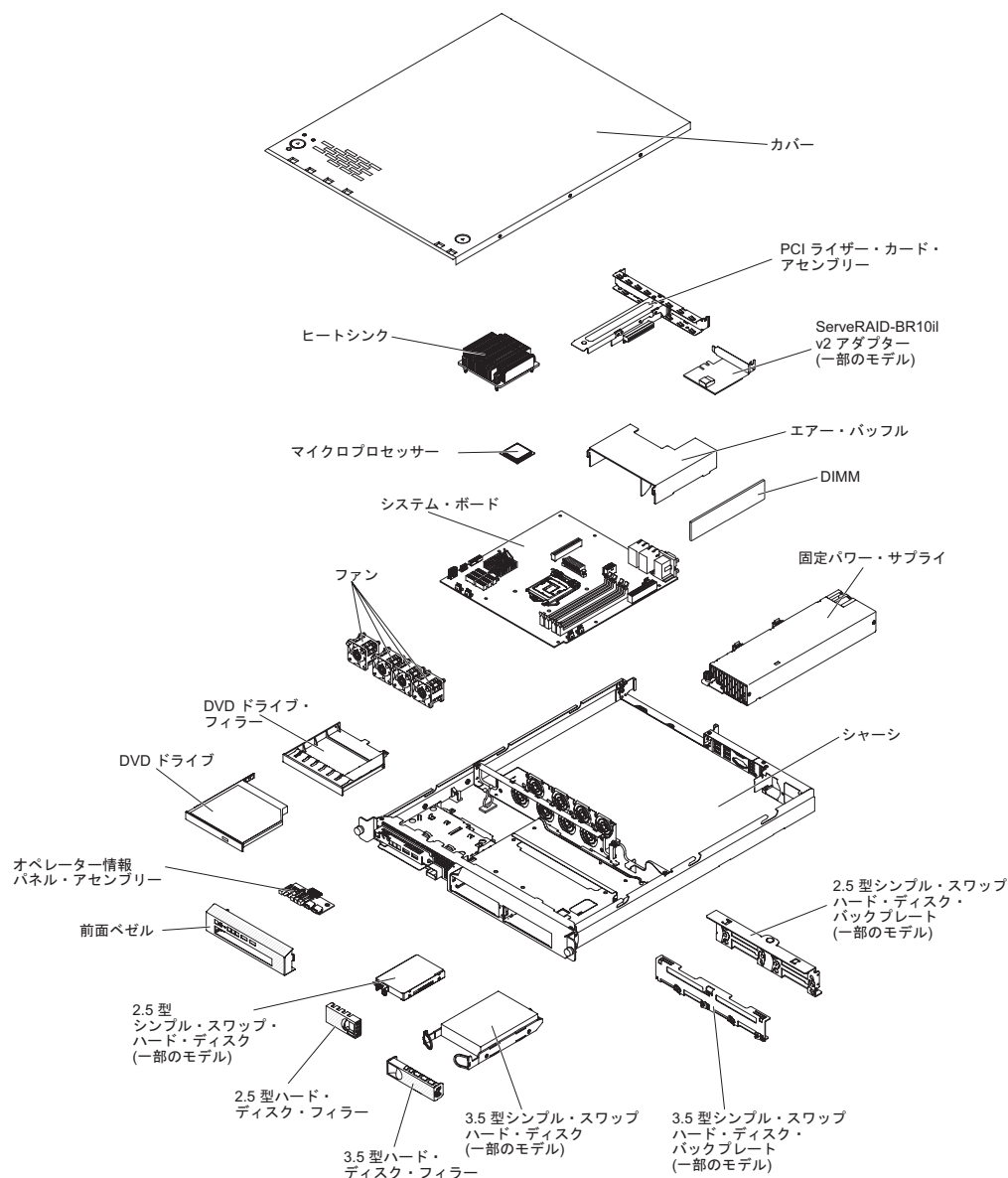
- 標準アップロード: http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- システムのシリアル番号を使用した標準アップロード: http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- セキュア・アップロード: http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:
http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

サーバー・コンポーネント

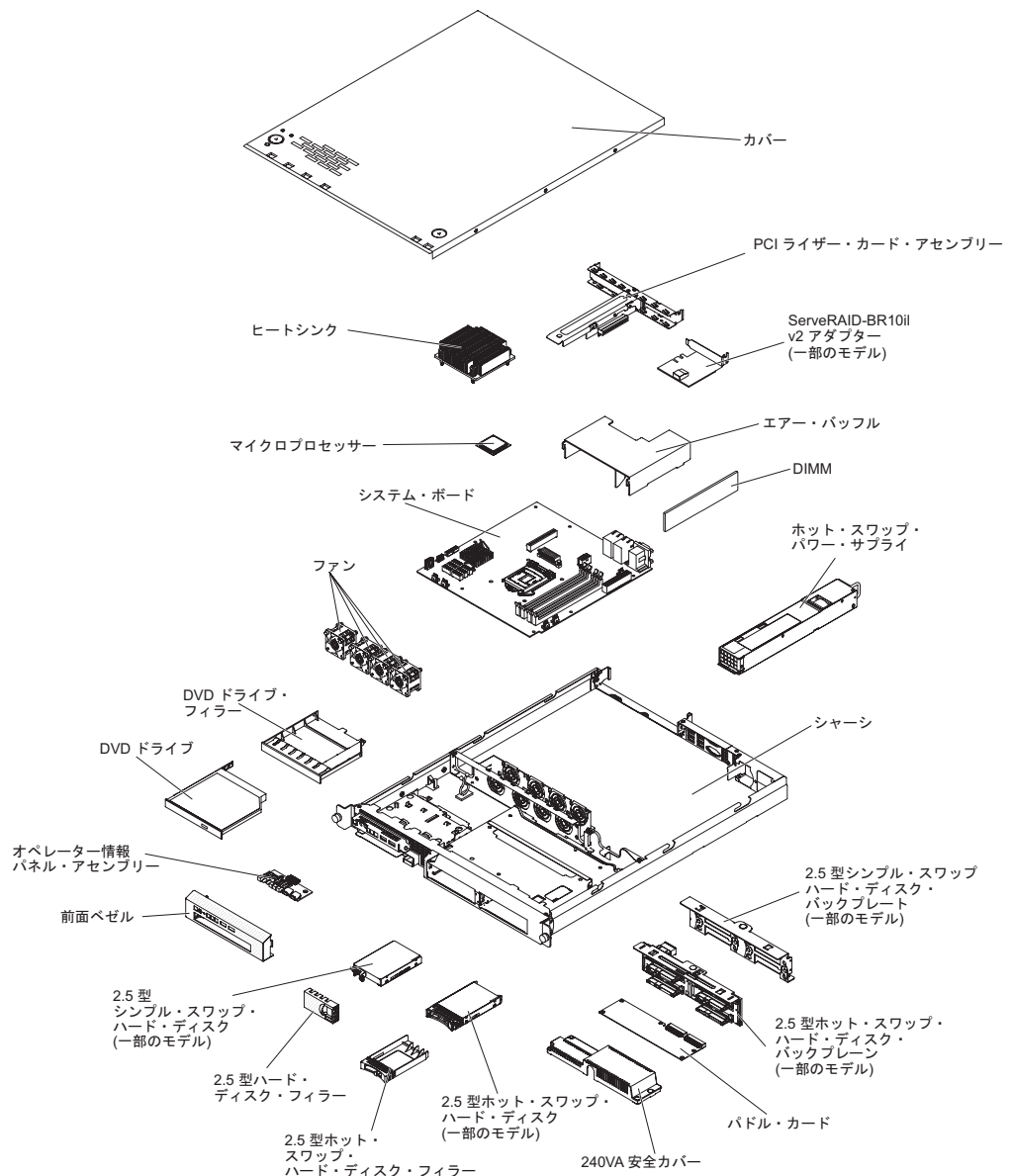
次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。

次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。本書の説明図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

固定パワー・サプライを備えたモデル:



リダンダント・パワー・サプライを備えたモデル:



コンポーネント上の青色は、コンポーネントをサーバーから取り外したり、取り付けたり、あるいはラッチの開閉などを行う際につかむことができるタッチ・ポイントを示します。

コンポーネントに付けられたオレンジ色またはコンポーネント上かその近くに付けられたオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントをホット・スワップできることを示しています。つまり、サーバーとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしている場合は、サーバーの稼働中でも、そのコンポーネントの取り外しや取り付けを行うことができます。

注: オレンジ色の部分は、ホット・スワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントを示す場合もあります。

特定のホット・スワップ・コンポーネントの取り外しまたは取り付けを行う前に、そのコンポーネントの取り外しまたは取り付けに関して行う可能性があるすべての追加指示を参照してください。

システム・ボードの内部コネクタ

次の図で、システム・ボード上の内部コネクタを示します。

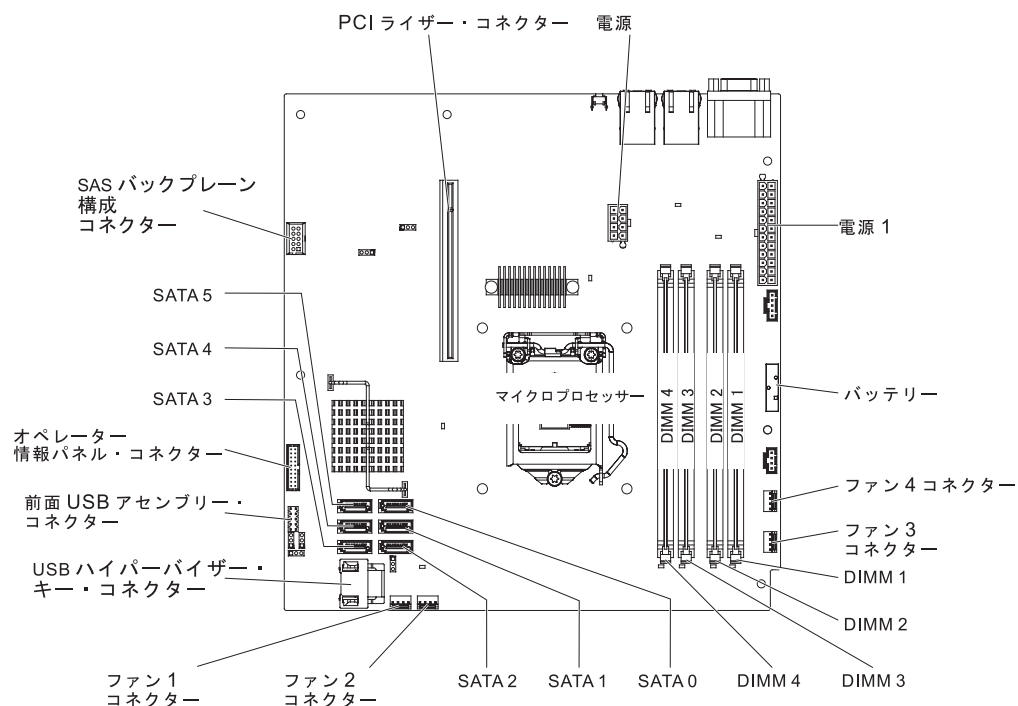


図 2. システム・ボード上の内部コネクタ： (cy1cd019)

システム・ボードの外部コネクタ

次の図に、システム・ボード上の外部コネクタを示します。

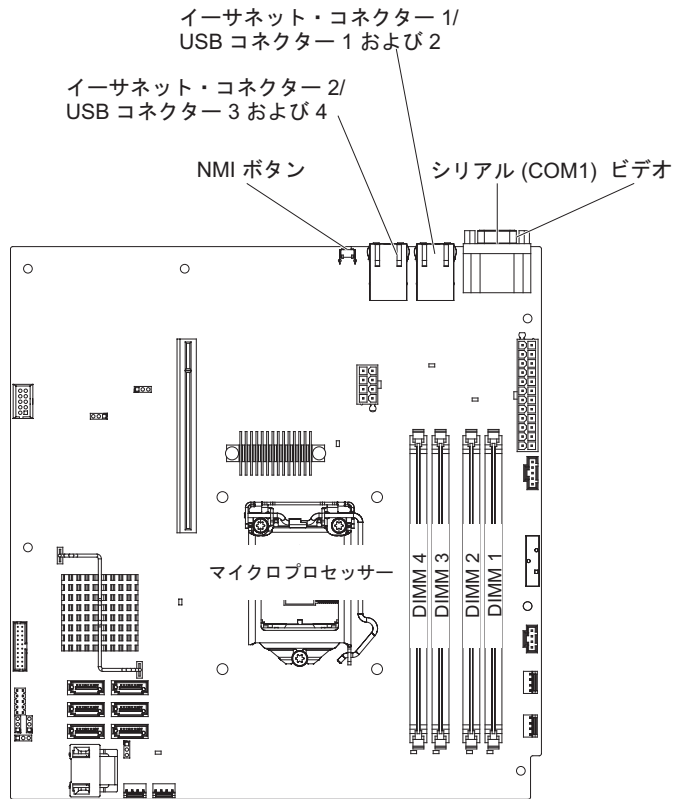


図 3. システム・ボード上の外部コネクタ： (cy1cd020)

システム・ボードのスイッチとジャンパー

次の図は、スイッチ、ジャンパー、およびボタンの位置と説明を示しています。

重要:

1. スイッチの設定の変更またはジャンパーの移動を行うときは、その前にサーバーの電源をオフにして、電源コードと外部ケーブルをすべて外してください。vii ページの『安全について』、39 ページの『取り付けのガイドライン』、および 18 ページの『サーバーの電源をオフにする』に記載されている情報を確認します。
2. システム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックのうち、本書の図に示されていないものは予約済みです。
3. スイッチ・ブロックの上に透明な保護ステッカーが張られている場合、スイッチにアクセスするためにステッカーを取り除いて廃棄する必要があります。

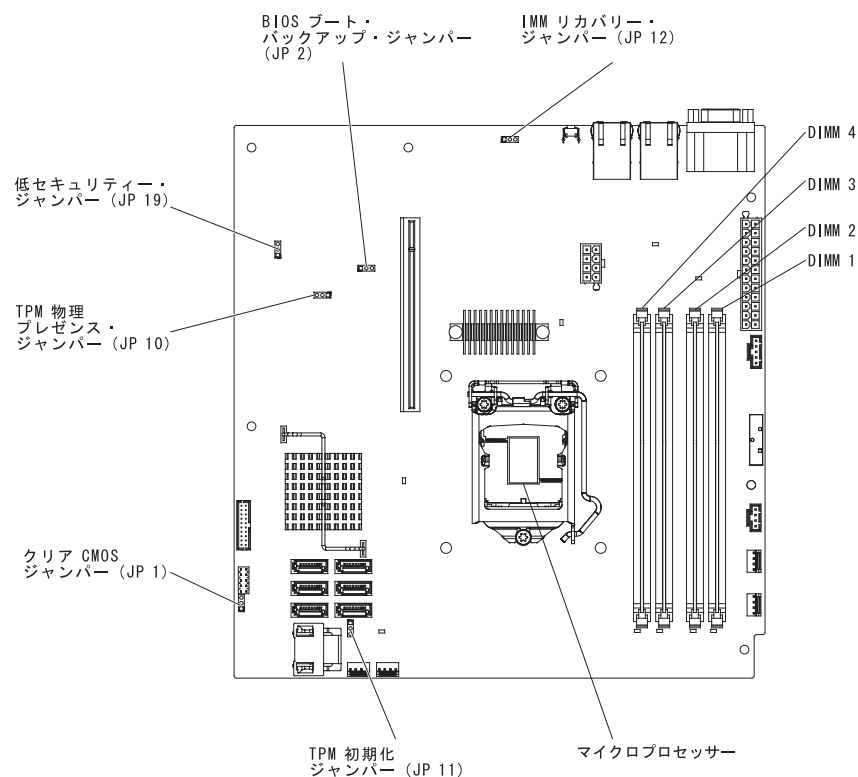


図4. システム・ボード上のスイッチ、ジャンパー、およびボタンの位置： (cylcd021a)

以下の表は、システム・ボード上のジャンパーについて説明しています。

表2. ジャンパーの定義

ジャンパー番号	ジャンパー名	ジャンパーの設定
JP1	CMOS クリア・ジャンパー	- ピン 1 および 2: CMOS データの保持 (デフォルト) - ピン 2 および 3: CMOS データをクリアする
JP2	BIOS ブロック・バックアップ・ジャンパー	- ピン 1 および 2: プライマリー BIOS ページからブート (デフォルト) - ピン 2 および 3: バックアップ BIOS ページからブート
JP8	ME リカバリー・ジャンパー	- ピン 1 および 2: 通常 (デフォルト) - ピン 2 および 3: ME リカバリーをアクティブにする
JP9	ME フラッシュ・オーバーライド・ジャンパー	- ピン 1 および 2: 通常 (デフォルト) - ピン 2 および 3: ME フラッシュをオーバーライドする
JP10	Trusted Platform Module (TPM) 物理プレゼンス・ジャンパー	ピン 1 および 2: TPM 物理プレゼンスの使用可能化 (デフォルト) ピン 2 および 3: TPM 物理プレゼンスの使用不可化

表 2. ジャンパーの定義 (続き)

ジャンパー番号	ジャンパー名	ジャンパーの設定
JP11	TPM 初期化ジャンパー	- ピン 1 および 2: 通常 (デフォルト) - ピン 2 および 3: TPM を開始する
JP12	IMM SPI ハーフ ROM 使用可能	- ピン 1 および 2: 使用不可 - ピン 2 および 3: IMM SPI ハーフ ROM を使用可能にする (デフォルト)
JP19	低セキュリティ_N ジャンパー	- ピン 1 および 2: 通常 (デフォルト) - ピン 2 および 3: 低セキュリティをアクティブにする
注: - ジャンパーがない場合、サーバーはピン 1 と 2 に設定されているものとして対応します。 - サーバーの電源をオンにする前にブート・ブロック・ジャンパーの位置をピン 1 と 2 からピン 2 と 3 に変更すると、どちらのフラッシュ ROM ページがロードされるかを通知するアラートが出されます。サーバーの電源をオンにした後は、ジャンパーのピン位置を変更しないでください。これを行うと、予測不能な問題が発生する可能性があります。		

システム・ボードの LED

次の図は、システム・ボード上の発光ダイオード (LED) を示しています。

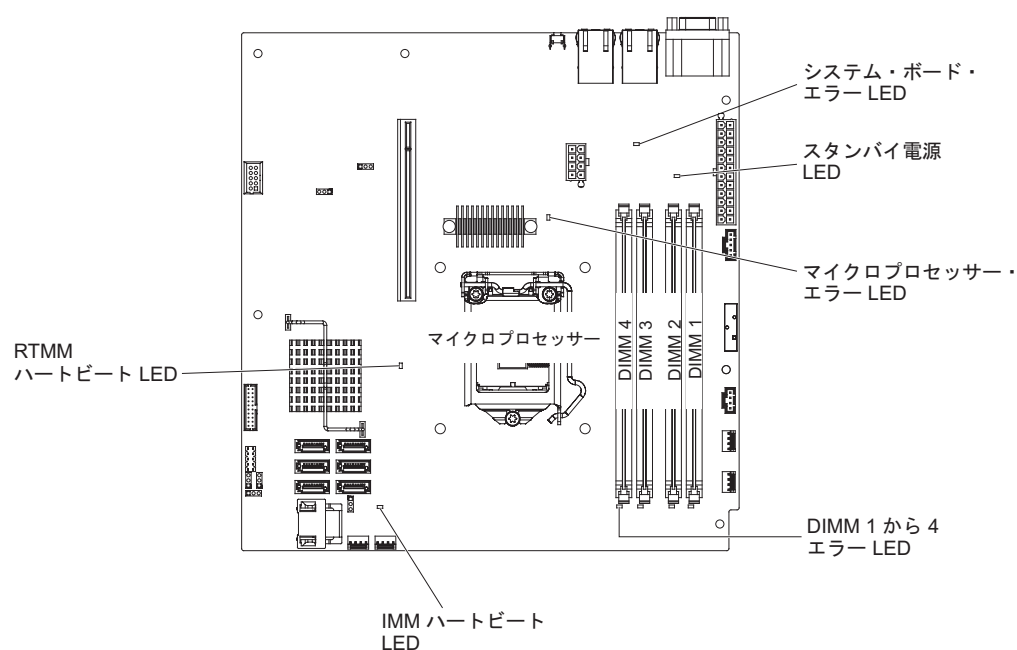


図 5. システム・ボード上の LED : (cylcd039)

注: サーバーから給電部を切り離す際、給電部が取り外されると LED が点灯しないため、LED を見ることはできません。給電部を切り離す前に、オペレーション情報パネルで点灯している LED、システム・ボード上のサーバー内部の LED を含めて、どの LED が点灯しているか書き留めておきます。

表 3. システム・ボードの LED

LED	説明
スタンバイ電源 LED	この LED が点灯している場合、サーバーが AC 電源に接続されていることを示します。
DIMM エラー LED	メモリー DIMM に障害があるか、誤って取り付けられています。
マイクロプロセッサ・エラー LED	マイクロプロセッサは、障害が発生しているか、欠落しているか、誤って取り付けられています。
システム・ボード・エラー LED	システム・ボード CPU VRD または電源電圧調節装置 (あるいはその両方) に障害があります。
IMM2 ハートビート LED	IMM2 のブート・プロセスの状況を示します。 サーバーが電源に接続されている場合、この LED は短い間隔で点滅して、IMM2 コードがロード中であることを示します。ロードが完了すると、LED は一時的に点滅を停止してから、長い間隔で点滅して、IMM2 が完全に作動可能であることを示します。こうなると、電源制御ボタンを押してサーバーを始動できます。
RTMM ハートビート LED	パワーオンおよびパワーオフの順序付け。

PCI ライザー・カード・アセンブリーのコネクター

次の図は、ライザー・カード・アセンブリー上の PCI スロットの場所を示します。

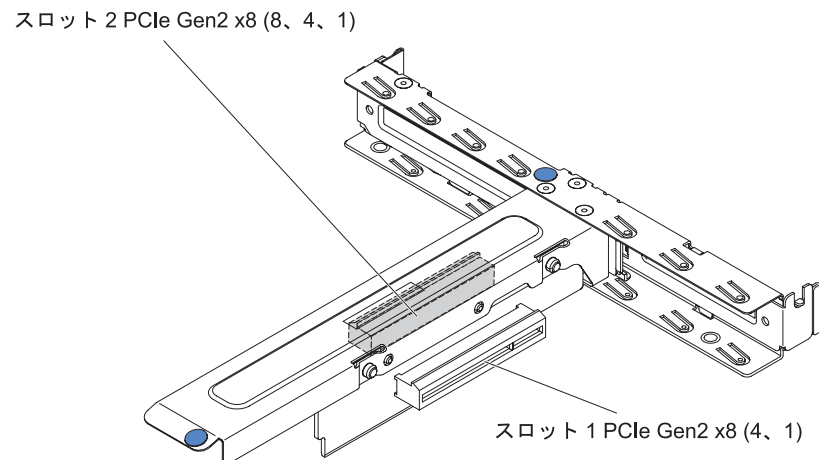


図 6. PCI ライザー・カード・アセンブリー上のコネクター： (cy1cd011)

メモリー・モジュールの取り付け

以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを取り付けます。

以下の注意書きは、このサーバーがサポートするデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) のタイプ、および DIMM を取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています (25 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。

ドライブを交換する場合は、以下のことを確認してください。

- このサーバーは、業界標準の 1066 MHz、1333 MHz、および 1600 MHz、PC3-12800 (single-rank または dual-rank) DDR3、registered または unbuffered SDRAM 搭載でエラー修正コード (ECC) 付きの DIMM をサポートしています。このサーバーがサポートするオプションのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> にアクセスして、お客様の国を選択してから、サーバーのオプション・リストまでナビゲートしてください。
- このサーバーがサポートするメモリーの最大容量は、サーバーに取り付けるメモリーのタイプによって決まります。
- システム構成に応じて使用可能なメモリー量が減少します。メモリーの一定容量はシステム・リソース用に予約されます。取り付け済みメモリーの合計量と構成済みメモリーの量を表示するには、Setup ユーティリティを実行してください。追加情報については、Setup ユーティリティの使用を参照してください。
- サーバーの最大動作速度は、サーバーで最も速度の遅い DIMM によって決まります。
- DIMM のペアを DIMM コネクタ 1 および 3 に取り付ける場合は、DIMM コネクタ 1 および 3 に取り付ける DIMM のサイズと速度が相互に一致している必要があります。ただし、DIMM コネクタ 2 と 4 に取り付けられた DIMM とサイズおよび速度が同じである必要はありません。
- 互換性があれば、さまざまなメーカーの DIMM を同じペアに使用することができます。
- DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、サーバー構成情報が変わります。サーバーを再始動すると、システムにより、メモリー構成が変更されたことを示すメッセージが表示されます。サーバーの電源がオンのときに、サーバー内のコンポーネントへ静電気が放出されると、サーバーが停止して、結果的にデータが失われるおそれがあります。こうした問題が起きないように、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップまたはその他の接地システムを使用してください。

重要: サーバーの電源がオンのときに、サーバー内のコンポーネントへ静電気が放出されると、サーバーが停止して、結果的にデータが失われるおそれがあります。こうした問題が起きないように、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップまたはその他の接地システムを使用してください。
- DDR3 DIMM の仕様は、DIMM 上のラベルに以下のフォーマットで記載されています。

ggg eRxff-PC3-wwwwwwm-aa-bb-cc

ここで、

- *ggg* は、DIMM の合計容量です (例えば、1GB、2GB、または 4GB)。
- *e* はランクの番号です。
 - 1 = single-rank
 - 2 = dual-rank
 - 4 = quad-rank
- *ff* は、デバイスの編成 (ビット幅) です。
 - 4 = x4 編成 (SDRAM 当たり 4 DQ ライン)
 - 8 = x8 編成
 - 16 = x16 編成
- *www* は、DIMM 帯域幅 (Mbps 単位) です。
 - 8500 = 8.53 GBps (PC3-1066 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 10600 = 10.66 GBps (PC3-1333 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 12800 = 12.8 GBps (PC3-1600 SDRAM、8 バイトの基本データ・バス)
- *m* は、DIMM のタイプです。
 - E = ECC 付きの unbuffered DIMM (UDIMM) (x72 ビット・モジュール・データ・バス)
 - R = registered DIMM (RDIMM)
 - U = ECC なしの unbuffered DIMM (x64 ビット基本データ・バス)
- *aa* は CAS 待ち時間で、最大動作周波数のクロック数で表します。
- *bb* は、JEDEC SPD 改訂エンコードおよび追加レベルです。
- *cc* は、DIMM 設計の参照設計ファイルです。
- *d* は、DIMM 参照設計の改訂番号です。

注: DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルを調べてください。ラベルの情報は、xxxxx nRxxx PC3-xxxxx-xx-xx-xxx の形式になっています。6 番目の数値位置の数表示は、DIMM が single-rank (n=1) であるか dual-rank (n=2) であるかを示します。

Unbuffered DIMM (UDIMM)

以下の注意書きでは、UDIMM を取り付けの際に考慮する必要がある情報を提供します。

- メモリー・チャンネルは、取り付け済みの DIMM 間に共通する最低周波数で作動します。
- このサーバーで使用可能な UDIMM オプションは、1 GB、2 GB、4 GB、および 8 GB (使用可能な場合) の DIMM です。
- このサーバーは、チャンネル当たり最大 2 つの single-rank または dual-rank UDIMM をサポートします。
- 次の表は、サポートされる UDIMM 装着構成のリストです。

表 4. チャンネルごとのサポートされる UDIMM 装着構成

チャンネルごとの DIMM コネクタ	各チャンネルに取り付けられた DIMM	DIMM のタイプ	DIMM 速度	DIMM ごとのランク (任意の組み合わせ)
2	1	Unbuffered DDR3 ECC	1066、1333、1600	single-rank、dual-rank
2	2	Unbuffered DDR3 ECC	1066、1333、1600	single-rank、dual-rank

- 次の表は、rank UDIMM を使用した DIMM の最大取り付け数です。

表 5. ランク付き UDIMM を使用した最大メモリー装着構成 (モデルにより異なる)

UDIMM の数	DIMM のタイプ	サイズ	メモリー合計
4	single-rank UDIMM	1 GB	4 GB
4	dual-rank UDIMM	2 GB	8 GB
4	dual-rank UDIMM	4 GB	16 GB
4	dual-rank UDIMM	8 GB	32 GB

- 次の表は、システム・パフォーマンスを最適化するための、UDIMM メモリーの取り付けに関する規則を示しています。

表 6. UDIMM 装着構成の規則

DIMMコネクタ 1	DIMMコネクタ 2	DIMMコネクタ 3	DIMMコネクタ 4
装着	空	空	空
装着	空	装着	空
装着	装着	装着	装着

ドライブの取り付け

このセクションでは、ドライブを取り付ける際のルールについて説明します。

以下の注記には、このサーバーがサポートするハード・ディスクのタイプと、ハード・ディスクの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。サポートされるハード・ディスクのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

- この章の説明のほかに、ドライブに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- ドライブに付属する資料で示されているすべてのケーブルおよびその他のデバイスがあるか確認します。
- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- ドライブに付属の説明書を確認して、ドライブでスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判別してください。SAS または SATA ハード・ディスクを取り付けている場合、その装置の SAS または SATA ID を必ず設定してください。
- 固定パワー・サプライ・モデルは、最大 4 個の 2.5 型または 3.5 型ホット・スワップまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクをサポートできます。

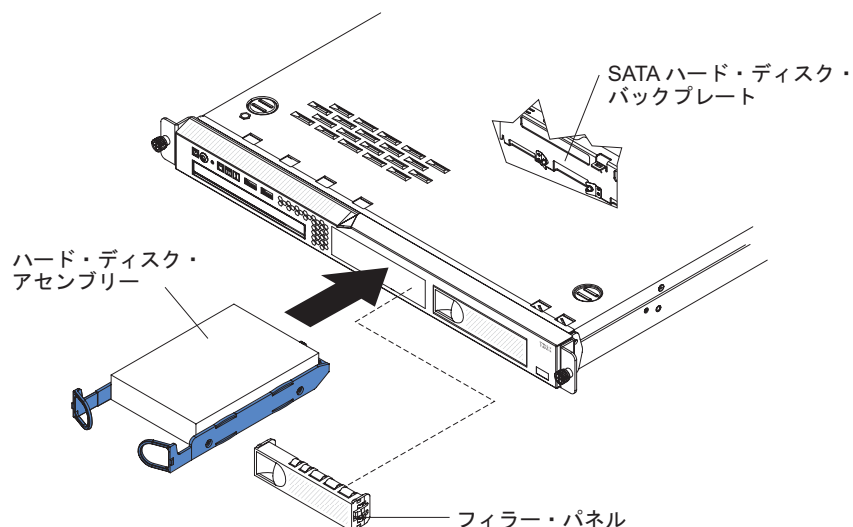
- 冗長パワー・サプライ・モデルは、最大 8 個の 2.5 型ホット・スワップまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクをサポートできます。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性と冷却を保護するには、すべてのベイと PCI スロットおよび PCI Express スロットがカバーされているか、占有されている必要があります。ドライブ、あるいは PCI または PCI Express アダプターを取り付けるときは、後でデバイスを取り外す場合に備えて、ベイ、あるいは PCI アダプターまたは PCI Express アダプター・スロット・カバーから外した EMC シールドとフィルター・パネルを保管しておきます。
- サーバーでサポートされているオプション装置の完全なリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

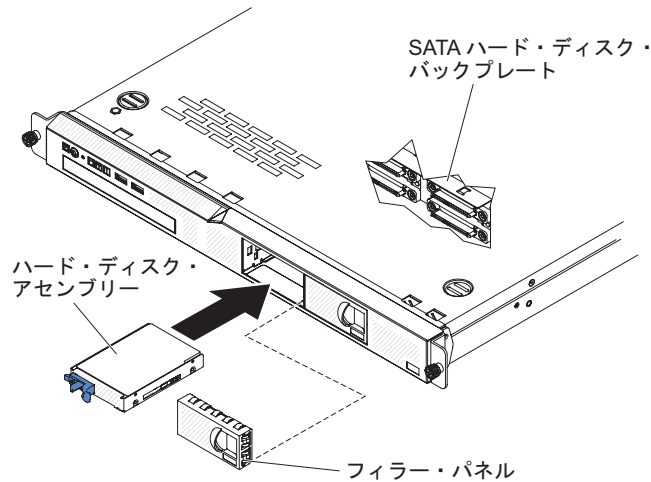
シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行してください。

重要: シンプル・スワップ・ハード・ディスクはホット・スワップできません。シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外しや取り付けを行う前に、サーバーからすべての電源を切断してください。

1. vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、すべての外部ケーブルと電源コードを切り離します。
3. サーバーのトップ・カバーが所定の位置にあり、完全に閉じられていることを確認します。
4. ベイからフィルター・パネルを取り外します。
5. ハード・ディスクを取り付けます。
 - 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、ドライブ・トレイのループをお互いの方向に引き寄せ、ドライブをサーバーの中にスライドさせて入れ、バックプレートにドライブが接続されるまで押し込みます。ドライブ・トレイのループを解放します。



- 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、ドライブがサーバーにカチッとハマるまでドライブをサーバーの中にスライドさせて入れ、バックプレートに接続します。



6. ベイにフィラー・パネルを取り付け、ドライブを覆います。

注: RAID コントローラーあるいは RAID アダプターが付いている場合は、ハード・ディスクを取り付けた後、ディスク・アレイの再構成が必要になることがあります。詳しくは、RAID コントローラーまたはアダプターの資料を参照してください。

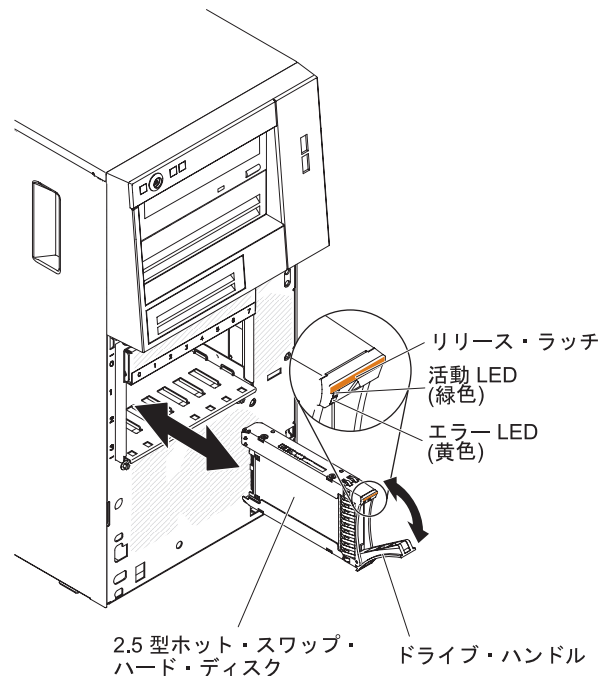
ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

2.5 型ドライブのホット・スワップ・サーバー・モデルは、4 つの 2.5 型 SAS ハード・ディスクをサポートします。

注: ハード・ディスクが 1 台のみの場合は、左側、または左上のドライブ・ベイに取り付けます。

ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行してください。

重要: ハード・ディスクのコネクターを損傷から守るため、ハード・ディスクを取り付けたり取り外したりする場合は、常にサーバーのトップ・カバーを取り付け、完全に閉じておいてください。



1. vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーのトップ・カバーが正しく取り付けられ、完全に閉じられていることを確認します。
重要: システムの冷却を正常に保つため、それぞれのベイにドライブまたはフィルター・パネルが入っていない状態で 10 分を超えてサーバーを作動させないでください。
3. 次のようにしてハード・ディスクをホット・スワップ・ベイに取り付けます。
 - ドライブ・トレイ・ハンドルが開いていることを確認します (図を参照)。
 - ベイからフィルター・パネルを取り外します。
 - ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールと揃えます。
 - ドライブ・アセンブリーをベイに入れて、ドライブが止まるまで慎重に押し込みます。
 - トレイ・ハンドルを「閉」位置 (ロック位置) に押し込みます。
 - ハード・ディスクの状況 LED をチェックして、ハード・ディスクが正しく作動しているか確認します。ドライブの黄色のハード・ディスク状況 LED が点灯したままの場合は、そのドライブに障害があり、交換する必要があります。緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセスされています。

取り付けるデバイスが他にある場合、ここで取り付けます。そうでない場合は、66 ページの『取り付けの完了』に進みます。

注: ハード・ディスクを取り付けた後、ディスク・アレイを再構成する必要がある場合があります。RAID コントローラーについては、IBM ServeRAID Support CD に収められている RAID の資料を参照してください。

オプションの DVD ドライブの取り付け

DVD ドライブを取り付けるには、以下の情報を使用します。

取り外したドライブを新規ドライブと交換する場合は、以下のことを確認してください。

- すべてのケーブル、および新しいドライブに付属する資料で指定されている他の装置が揃っていることを確認します。
- 新しいドライブに付属の説明を調べて、ドライブにスイッチまたはジャンパーの設定が必要かどうかを確認します。
- 古いドライブの側面に付いていた青色の光学式ドライブ・レールを取り外して、新しいドライブの取り付けに使用できるように用意します。

注: レーザーを含むドライブを取り付ける場合は、以下の安全上の予防措置を守ってください。

安全 3



注意:

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。



危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。

次のことに注意してください。カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。



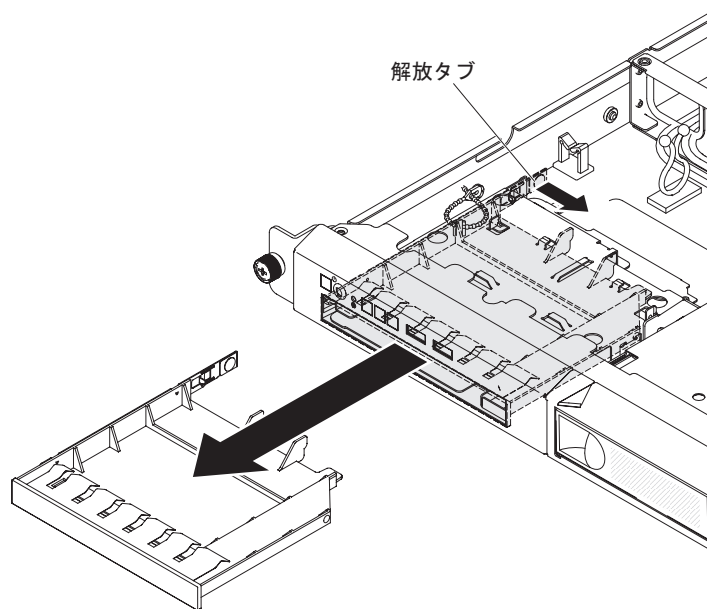
クラス 1 レーザー製品
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil A Laser de Classe 1

オプションの DVD ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。

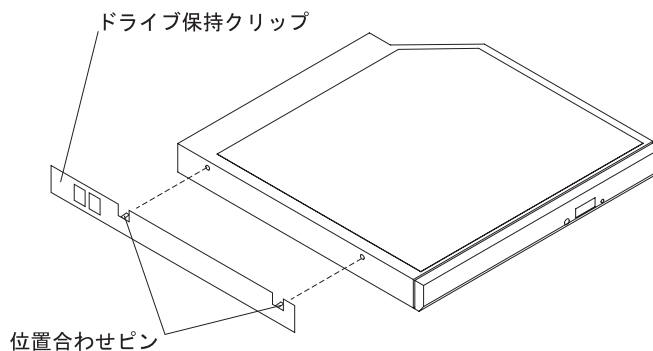
1. vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ジャンパーあるいはスイッチがある場合は、ドライブに付属の説明に従って設定します。

注: 新しいドライブを前面から入れて取り付けてから、ケーブルを接続する方が作業しやすい場合があります。

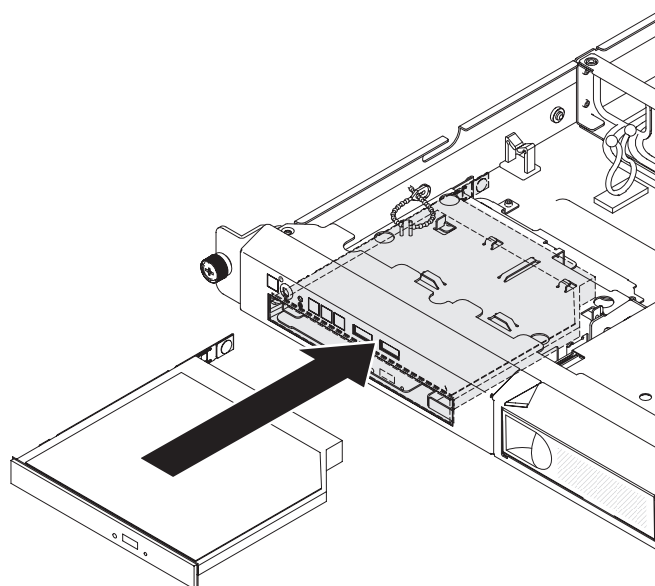
3. サーバーおよびすべての周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
4. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
5. 取り付けられている場合は、DVD ドライブのフィラーを取り外します。リリース・タブ (ドライブ保持クリップの後部) をサーバーの右サイドの方向に引いてクリップを解放し、次に、タブを引きながら DVD ドライブのフィラーをベイの外側に押して取り外します。今後の利用のために DVD ドライブのフィラーを保管します。



6. サーバーの塗装されていない金属面に、新しい DVD ドライブが入った帯電防止パッケージを触れさせてから、DVD ドライブをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
7. DVD ドライブに付属の説明書に従い、ジャンパーまたはスイッチを設定します。
8. DVD ドライブ・フィラーから保持クリップを取り外します。
9. DVD ドライブのフィラーに付属のドライブ保持クリップを新しい DVD ドライブの側面に取り付けます。



10. ドライブをドライブ・ベイに位置合わせし、ドライブを DVD ドライブ・ベイの中にスライドさせて、カチッと音がして定位置に収まるまで入れます。



取り付けるデバイスが他にある場合、ここで取り付けます。それ以外の場合は、66ページの『取り付けの完了』に進んでください。

取り付けのガイドライン

取り付けに関するガイドラインを使用して、IBM System x3250 M4 Type 2583 を取り付けます。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、システムは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないように、ホット・スワップ装置の取り付けまたは取り外しを行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

オプション装置を取り付ける前に、以下の情報をお読みください。

- vii ページの『安全について』の『安全について』、42 ページの『電源オンされているサーバー内部での作業』のガイドライン、および 42 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。この情報は、安全に作業するのに役立ちます。
- 取り付けるデバイスがサポートされていることを確認します。サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。
- 新規のサーバーを取り付ける場合は、この機会を利用して最新のファームウェア更新をダウンロードし、適用してください。このステップを行うことにより、既知の問題が対処され、サーバーが最高レベルのパフォーマンスで機能できるようになります。サーバーのファームウェア更新をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral>に進みます。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である

場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

ファームウェアの更新、管理、およびデプロイ用のツールに関する追加情報については、ToolsCenter for System x and BladeCenter (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER>) を参照してください。

- オプションのハードウェアを取り付ける前に、サーバーが正しく作動していることを確認してください。サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みの場合はそのオペレーティング・システムが始動することを確認します。または、19990305 エラー・コードが表示されていることを確認します。このエラー・コードは、オペレーティング・システムが検出されていないが、サーバーが正しく作動していることを示します。サーバーが正常に作動しない場合、診断の実行方法については、125 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。
- 作業を行う区域の整理整頓を心掛けてください。取り外したカバーやその他の部品は、安全な場所に置いてください。
- 自分 1 人では重すぎると思われる物体を持ち上げようとしないでください。重い物体を持ち上げる必要がある場合は、以下の予防措置に従ってください。
 - 足元が安全で、滑るおそれがないことを確認します。
 - 足の間でオブジェクトの重量が同量になるよう分散します。
 - ゆっくりとした持ち上げる力を使用します。重い物体を持ち上げるときは、決して身体を急に動かしたり、ひねったりしないでください。
 - 背筋を痛めないよう、脚の筋肉を使用して立ち上がるか、押し上げるようにして持ち上げます。
- サーバー、モニター、およびその他の装置用に、適切に接地されたコンセントの数量が十分にあることを確認してください。
- ディスク・ドライブを変更する場合は重要なデータはすべてバックアップします。
- 小型のマイナス・ドライバー、小型のプラス・ドライバー、および T8 TORX ドライバーを用意します。
- システム・ボードおよび内部コンポーネントのエラー LED を表示するには、サーバーを電源に接続しておく必要があります。
- ホット・スワップ・パワー・サプライ、ホット・スワップ・ファン、またはホット・プラグ USB デバイスを取り付けたり、交換するのに、サーバーの電源をオフにする必要はありません。ただし、アダプター・ケーブルの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーの電源をオフにする必要があります。また、ライザー・カードの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーから給電部を切り離しておく必要があります。
- コンポーネント上の青色は、コンポーネントをサーバーから取り外したり、取り付けたり、あるいはラッチの開閉などを行う際につかむことができるタッチ・ポイントを示します。
- コンポーネントに付けられたオレンジ色またはコンポーネント上かその近くに付けられたオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントをホット・スワップできることを示しています。つまり、サーバーとオペレーティング・システムがホッ

ト・スワップ機能をサポートしている場合は、サーバーの稼働中でも、そのコンポーネントの取り外しや取り付けを行うことができます。（オレンジのラベルは、ホット・スワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントも示しています。）特定のホット・スワップ・コンポーネントの取り外しまたは取り付けを行う前に、そのコンポーネントの取り外しまたは取り付けに関して行う可能性があるすべての追加指示を参照してください。

- サーバーに対する作業が終了したら、安全用のシールド、ガード、ラベル、および接地ワイヤーをすべて再取り付けします。

システムの信頼性に関するガイドライン

システムの信頼性に関するガイドラインは、システムの適切な冷却を確保するためのものです。

システムの適切な冷却と信頼性を確保するために、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- すべてのドライブ・ベイには、ドライブまたはフィラー・パネル、およびその中に電磁適合性 (EMC) シールドが取り付けられていること。
- サーバーに冗長電源がある場合、それぞれのパワー・サプライ・ベイにパワー・サプライが取り付けられている。
- サーバーの周囲に、サーバーが冷却システムを正しく作動させるための十分なスペースがある。約 50 mm の空きスペースをサーバーの前面および背面の周囲に確保してください。ファンの前には物を置かないでください。適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。サーバーのカバーを取り外して長時間 (30 分以上) サーバーを操作すると、サーバーのコンポーネントが損傷を受けることがあります。
- オプション・アダプターに付属の配線用手順に従っていること。
- 障害の起きたファンは早急に交換している。
- ホット・スワップ・ドライブを取り外してから 2 分以内に元に戻した。
- エアー・バッフルを取り付けないままサーバーを動作させないでください。エアー・バッフルを取り付けずにサーバーを動作させると、マイクロプロセッサがオーバーヒートする原因となる場合があります。

電源オンされているサーバー内部での作業

電源オンされているサーバー内部での作業のガイドライン

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないように、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

システム・ボード LED を見る、あるいはホット・スワップ・コンポーネントを交換するためには、カバーを外したままサーバーの電源をオンにしておく必要がある場合があります。電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行う場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 腕の部分がゆったりした衣服を着用しないでください。サーバー内部の作業をする前に、長袖シャツのボタンを留めてください。サーバー内部の作業中はカフス・ボタンを着けないでください。
- サーバー内部にネクタイやスカーフが垂れ下がらないようにしてください。
- ブレスレット、ネックレス、リング、緩みのある腕時計などの装身具は外してください。
- サーバーの上に身体を乗り出したときに、シャツのポケットから落下する可能性があるペンや鉛筆などを取り出してください。
- 用紙クリップ、ヘア・ピン、ねじなどの金属製のものがサーバーの中へ落ちないようにしてください。

静電気に弱い装置の取り扱い

静電気に弱い装置を取り扱うには、この情報を使用します。

重要: 静電気によってサーバーやその他の電子部品が損傷するおそれがあります。損傷を避けるために、静電気の影響を受けやすい部品は、取り付けの準備ができるまで帯電防止パッケージに入れておいてください。

静電気の放電による損傷のおそれを減らすために、次の注意事項を守ってください。

- 動きを制限する。動くと、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- 静電防止対策の採用が推奨されます。例えば、静電気放電用のリスト・ストラップがあればそれを着用してください。電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
- 部品は、縁または枠を持って慎重に取り扱ってください。
- はんだ付けの部分やピン、露出した回路には触れないでください。
- 部品は他人が手で触れたり、損傷したりする可能性のある場所に放置しないでください。
- 部品を帯電防止パッケージに入れたまま、サーバーの外側の塗装されていない金属面に 2 秒以上接触させてください。これにより、パッケージとご自分の身体から静電気が排出されます。

- 部品をそのパッケージから取り出して、それを下に置かずに直接サーバーに取り付けてください。部品を下に置く必要がある場合は、その帯電防止パッケージに戻します。部品をサーバーのカバーや金属面の上には置かないでください。
- 寒い天候では、部品の取り扱いには特に注意してください。暖房によって室内の湿度が下がり、静電気が増えます。

カバーの取り外し

以下の情報を使用して、カバーを取り外します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントまたはオプション装置を交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

注: オプションのハードウェアを取り付ける前に、サーバーが正しく作動していることを確認してください。サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みの場合はそのオペレーティング・システムが始動することを確認します。そうでない場合は、19990305 エラー・コードが表示されていることを確認します。このエラー・コードは、オペレーティング・システムが検出されていないが、サーバーが正しく作動していることを示します。

サーバー・カバーを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. 本書の冒頭から始まる『安全について』を読みます。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーがラックに取り付けられている場合は、サーバー前面の 2 つのつまみねじを緩め、サーバーをラックから取り外します。次に、サーバーを平らな帯電防止板の上に置きます。

注: サーバーから給電部を切り離す際、給電部が取り外されると LED が点灯しないため、LED を見ることはできません。給電部を切り離す前に、前面パネルと背面パネルで点灯している LED、システム・ボード上のサーバー内部の LED を含めて、どの LED が点灯しているか書き留めておきます。次に、問題の解決方法について本書を参照してください。

4. カバーの上部 (サーバーの前面付近の右側) にある青色のタブをしっかり押し、カバーをサーバー後部に向かってスライドさせ、カバーをシャーシから取り外します。

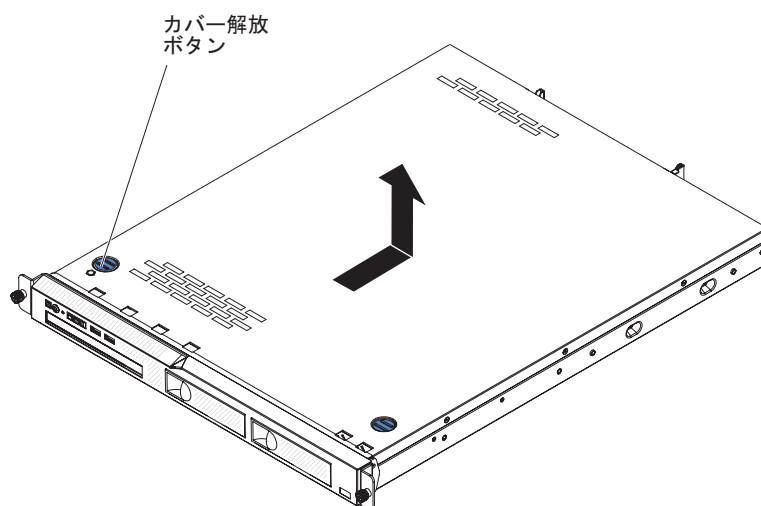


図7. カバーの取り外し

5. カバーを持ち上げてサーバーから外し、横に置きます。

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。

エアー・バッフルの取り外し

サーバーからエアー・バッフルを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントまたはオプション装置を交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

エアー・バッフルを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. 本書の冒頭から始まる『安全について』を読みます。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. エアー・バッフルをつかんで持ち上げ、サーバーから取り出して横に置きます。

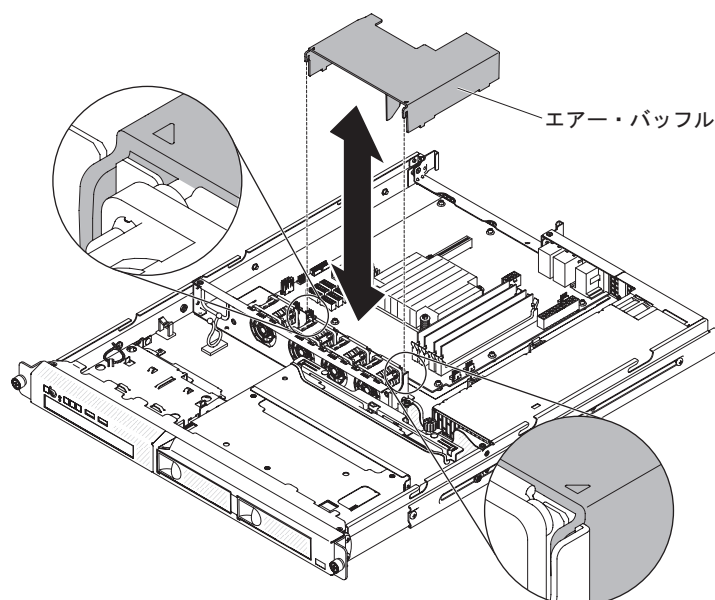


図8. エア・バッフルの取り外し

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、エア・バッフルを元どおりに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。エア・バッフルを取り外したままサーバーを作動させると、サーバーのコンポーネントが損傷する可能性があります。

PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し

以下の情報を使用して、PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

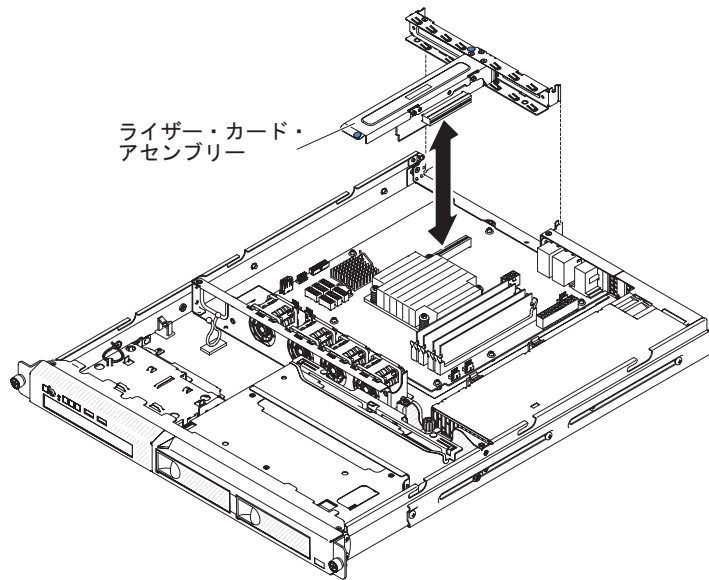
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
2. PCI ライザー・カード・アセンブリーにアダプターが取り付けられている場合、アダプターに接続されたケーブルをすべて取り外します。
3. PCI ライザー・カード・アセンブリーの前部と後部を持って、システム・ボードの PCI ライザー・カード・スロットから持ち上げます。



4. PCI ライザー・カード・アセンブリーの中のアダプターからケーブルをすべて取り外します。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリーを、平らな帯電防止面に置きます。PCI ライザー・カード・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

システム・ファンの取り付け

サーバーにシステム・ファンを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバーにオプション装置を取り付けようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

このタスクについて

システム・ファンを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. ファンの排気方向を示す矢印がサーバーの背面を指すように、ファンの向きを定めます。

注: 正しい排気は、サーバーの前面から背面への向きです。

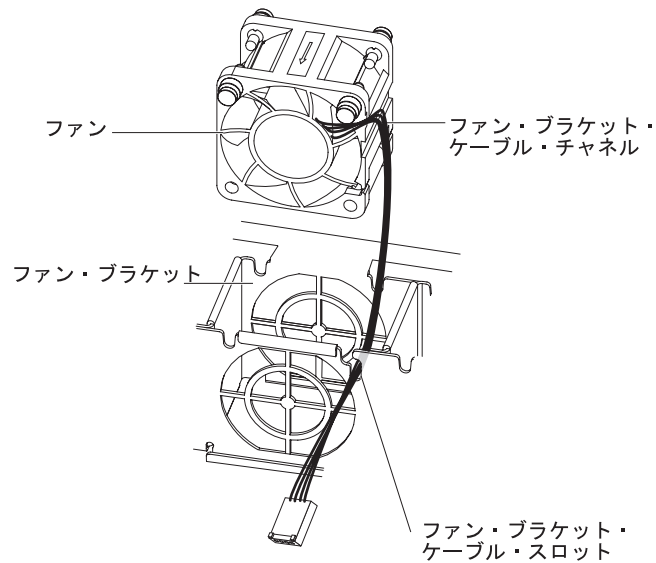


図9. システム・ファンの取り付け

2. ファンを以下のようにしてブラケットに取り付けます。
 - a. ファンのケーブルがファンの横のチャンネルに完全に収まっていることを確認してください。
 - b. 障害を起こしたファンを取り外した場所から、ファン・ブラケットの上部にあるファン・ケーブル・スロットにファン・ケーブルを配線します。
 - c. ファンをブラケットに挿入します。
 - d. ファンの 2 つのグレーで柔らかなタブが、ファン・ブラケットの対応するスロットにしっかりと収まっていることを確認します。
3. システム・ボードにファン・ケーブルを接続します (システム・ボード上のファン・ケーブル・コネクターの位置については 25 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照してください)。

次のタスク

取り付けるデバイスが他にある場合、ここで取り付けます。それ以外の場合は、66 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

ドライブの取り付け

このセクションでは、ドライブを取り付ける際のルールについて説明します。

以下の注記には、このサーバーがサポートするハード・ディスクのタイプと、ハード・ディスクの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。サポートされるハード・ディスクのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

- この章の説明のほかに、ドライブに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- ドライブに付属する資料で示されているすべてのケーブルおよびその他のデバイスがあるか確認します。
- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- ドライブに付属の説明書を確認して、ドライブでスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判別してください。SAS または SATA ハード・ディスクを取り付けている場合、その装置の SAS または SATA ID を必ず設定してください。
- 固定パワー・サプライ・モデルは、最大 4 個の 2.5 型または 3.5 型ホット・スワップまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクをサポートできます。
- 冗長パワー・サプライ・モデルは、最大 8 個の 2.5 型ホット・スワップまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクをサポートできます。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性と冷却を保護するには、すべてのベイと PCI スロットおよび PCI Express スロットがカバーされているか、占有されている必要があります。ドライブ、あるいは PCI または PCI Express アダプターを取り付けるときは、後でデバイスを取り外す場合に備えて、ベイ、あるいは PCI アダプターまたは PCI Express アダプター・スロット・カバーから外した EMC シールドとフィルター・パネルを保管しておきます。
- サーバーでサポートされているオプション装置の完全なリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。

ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバーにオプション装置を取り付けようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

このタスクについて

ホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを行います。

注: ハード・ディスクが 1 つのみの場合は、左のドライブ・ベイに取り付ける必要があります。

重要: ハード・ディスクのコネクターを損傷から守るため、ハード・ディスクを取り付けたり取り外したりする場合は、常にサーバーのカバーを取り付け、完全に閉じておいてください。

手順

1. 空のドライブ・ベイからフィラー・パネルを取り外します。フィラー・パネルは安全な場所に保管してください。
2. ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
3. ドライブ・ベイにハード・ディスクを取り付けます。
 - a. 必ず、トレイ・ハンドルを「開 (ロック解除)」位置にします。
 - b. ドライブをベイ内のガイド・レールと位置合わせします。

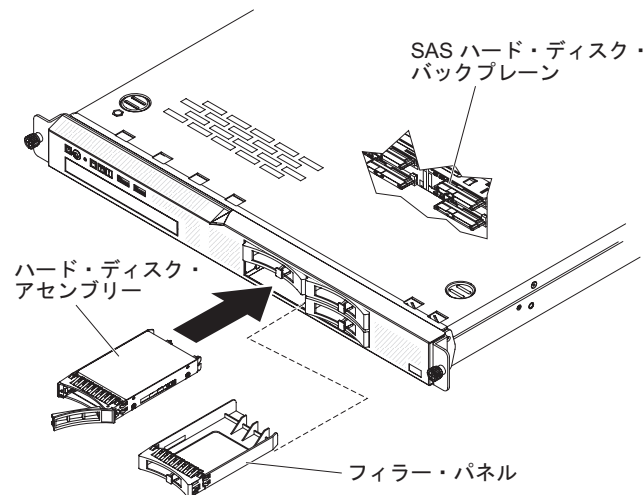


図 10. ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

- c. ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。
- d. 「閉 (ロック)」位置にトレイ・ハンドルを回します。
- e. ハード・ディスク状況 LED を調べ、ハード・ディスクが正常に動作しているかどうかを確認します。ドライブの黄色のハード・ディスク状況 LED が継続的に点灯している場合、そのドライブには障害があるため、交換する必要があります。緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。

注: ServeRAID アダプターを使用してサーバーを RAID 操作用に構成する場合、ハード・ディスクの取り付け後にディスク・アレイを再構成する必要があります。RAID 操作の詳細と、ServeRAID アダプターを使用するための詳細な説明に関しては、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。

4. 追加のホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付ける場合は、ここで実行してください。

次のタスク

取り付けるデバイスが他にある場合、ここで取り付けます。それ以外の場合は、66ページの『取り付けの完了』に進んでください。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバーにオプション装置を取り付けようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

このタスクについて

シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. 空のドライブ・ベイからフィラー・パネルを取り外します。
2. ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
3. ドライブ・ベイにハード・ディスクを取り付けます。
 - a. 黒いドライブ・ハンドルをつかみ、青色のリリース・ラッチを右にスライドさせたら、ドライブ・アセンブリをベイ内のガイド・レールと揃えます。

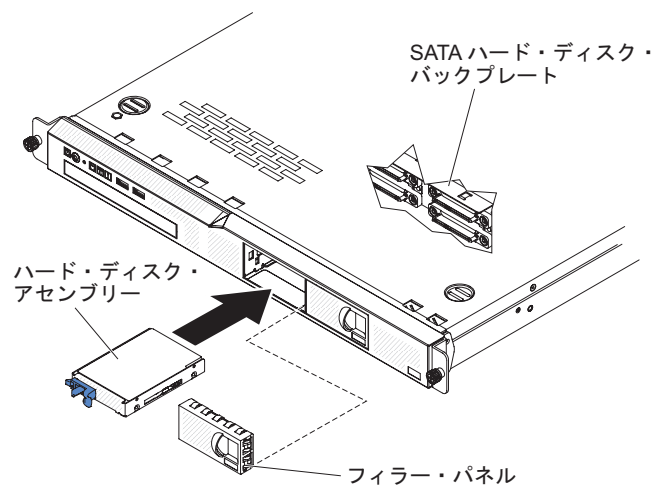


図 11. 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

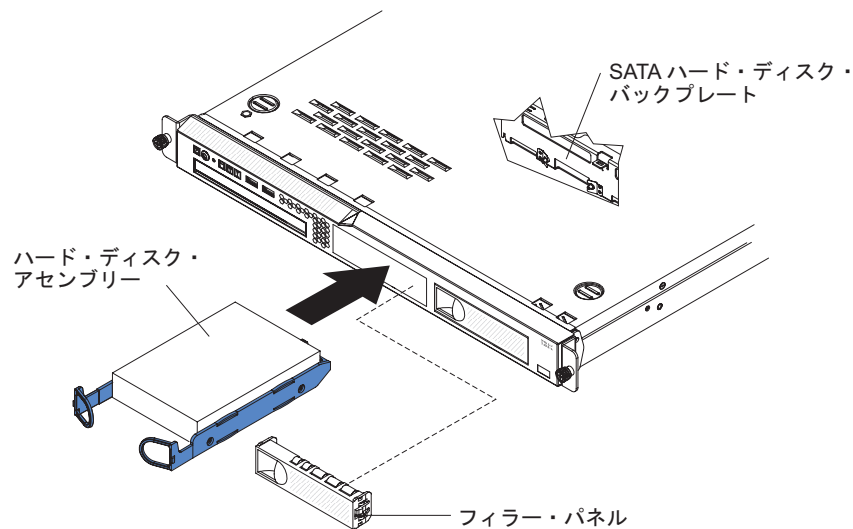


図 12. 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

- b. ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。
4. 前の手順で取り外したドライブ・ベイ・フィラー・パネルを再度取り付けます。
5. 追加のシンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付ける場合は、ここで実行してください。

次のタスク

取り付けるデバイスが他にある場合、ここで取り付けます。それ以外の場合は、66 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

オプションの DVD ドライブの取り付け

DVD ドライブを取り付けるには、以下の情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバーにオプション装置を取り付けようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

このタスクについて

DVD ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. 取り付けられている場合は、DVD ドライブのフィラー・パネルを取り外します。DVD ドライブ・フィラー・パネルの背面にある青色のリリース・タブを見つけて、そのタブを押しながら DVD ドライブ・フィラー・パネルをドライブ・ベイから押し出します。

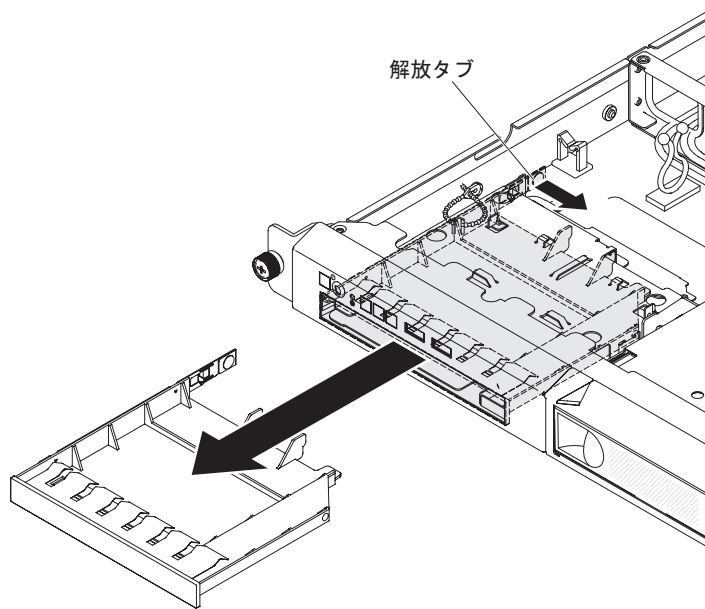


図 13. DVD ドライブ・フィラー・パネルの取り外し

2. DVD ドライブ・フィラー・パネルの側面から保持クリップを取り外します。今後の利用のために DVD ドライブのフィラー・パネルを保管します。

注: レーザーを含む光学式ドライブを取り付けている場合は、以下の安全上の予防措置を守ってください。

安全 3



注意:

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) が取り付けられている場合には、以下のことに注意してください。

- カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。



危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。



クラス 1 レーザー製品
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil A Laser de Classe 1

3. サーバーの塗装されていない金属面に、新しい光学式ドライブが入った帯電防止パッケージを触れさせてから、光学式ドライブをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
4. ドライブに付属の説明書に従い、ジャンパーまたはスイッチを設定します。
5. DVD ドライブ・フィラー・パネルから取り外したドライブの保持クリップを、新しい DVD ドライブの側面に取り付けます。

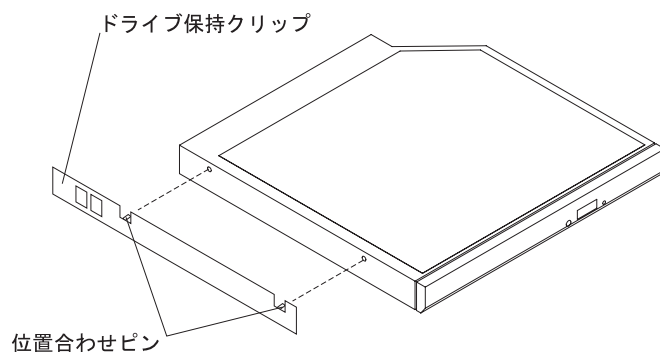


図 14. DVD ドライブ保持クリップの取り付け

6. DVD ドライブをドライブ・ベイに位置合わせし、光学式ドライブ・ベイに DVD ドライブをスライドさせて、DVD ドライブを定位置にはめ込みます。

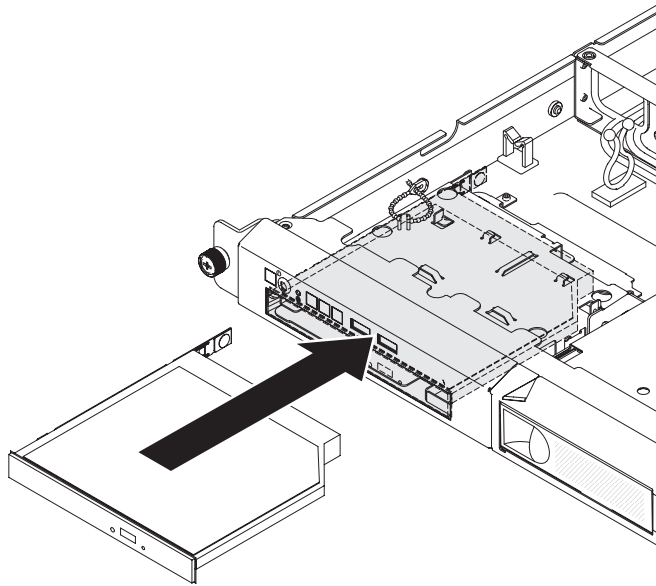


図 15. DVD ドライブの取り付け

7. ドライブに付属の説明書に従い、ジャンパーまたはスイッチを設定します。

次のタスク

取り付けるデバイスが他にある場合、ここで取り付けます。それ以外の場合は、66 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

メモリー・モジュールの取り付け

以下の注意書きは、サーバーがサポートする DIMM のタイプと、DIMM を取り付けの際に考慮すべきその他の情報についての説明です。

- 取り付ける DIMM をサーバーがサポートしていることを確認します (<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照)。
- DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、サーバー構成情報が変わります。サーバーを再始動すると、システムにより、メモリー構成が変更されたことを示すメッセージが表示されます。サーバー構成情報の表示は、Setup ユーティリティを使用して行うことができます。詳しくは、79 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照してください。
- このサーバーは、業界標準の double-data-rate 3 (DDR3)、1333 または 1600 MHz、PC3L-12800 (single-rank または dual-rank)、エラー修正コード (ECC) 付き unbuffered または SDRAM (synchronous dynamic random-access memory) デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) のみをサポートします。
- サーバーは、最大 4 つの single-rank または dual-rank Unbuffered DIMM をサポートします。
- サーバーの最大動作速度は、サーバーで最も速度の遅い DIMM によって決まります。
- DIMM のペアを DIMM コネクター 1 および 3 に取り付ける場合は、DIMM コネクター 1 および 3 に取り付ける DIMM のサイズと速度が相互に一致してい

る必要があります。ただし、DIMM コネクター 2 と 4 に取り付けられた DIMM とサイズおよび速度が同じである必要はありません。

- 互換性があれば、さまざまなメーカーの DIMM を同じペアに使用することができます。
- DDR3 DIMM の仕様は、DIMM 上のラベルに以下のフォーマットで記載されています。
- *gGB eRxf PC3v-wwwwwm-aa-bb-cc*

ここで、

- *gGB* は DIMM の合計容量です (例えば 1GB、2GB、または 4GB)。
- *eR* はランク数です。
 - 1R = single-rank
 - 2R = dual-rank
 - 4R = quad-rank
- *xf* はデバイス編成またはビット幅です (x4、x8、x16 など)
 - x4 = x4 編成 (1 SDRAM あたり 4 DQ 線)
 - x8 = x8 編成
 - x16 = x16 編成
- *wwwww* は、DIMM 帯域幅 (Mbps 単位) です。
 - 8500 = 8.53 GBps (DDR3-1066 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 10600 = 10.66 GBps (DDR3-1333 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 12800 = 12.80 GBps (DDR3-1600 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
- *m* は、DIMM のタイプです。
 - E = ECC 付きの unbuffered DIMM (UDIMM) (x72 ビット・モジュール・データ・バス)
 - R = registered DIMM (RDIMM)
 - U = ECC なしの unbuffered DIMM (x64 ビット基本データ・バス)
- *aa* は CAS 待ち時間で、最大動作周波数のクロック数で表します。
- *bb* は、JEDEC SPD 改訂エンコードおよび追加レベルです。
- *cc* は、DIMM 設計の参照設計ファイルです。

注:

1. DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルを調べてください。このラベル上の情報は、*xGB nRxx PC3v-xxxxxx-xx-xx-xx* の形式で記載されています。6 番目の数値位置の数表示は、DIMM が single-rank (n=1) であるか dual-rank (n=2) であるかを示します。
2. システム構成に応じて使用可能なメモリー量が減少します。メモリーの一定容量はシステム・リソース用に予約されます。取り付け済みメモリーの合計量と構成済みメモリーの量を表示するには、Setup ユーティリティを実行してください。詳細は、74 ページの『サーバーの構成』を参照してください。

Unbuffered DIMM (UDIMM)

以下の注意書きでは、UDIMM を取り付ける際に考慮する必要がある情報を提供します。

- メモリー・チャンネルは、取り付け済みの DIMM 間に共通する最低周波数で作動します。
- このサーバーで使用可能な UDIMM オプションは、1 GB、2 GB、4 GB、および 8 GB (使用可能な場合) の DIMM です。
- このサーバーは、チャンネルあたり最大 2 つの single-rank または dual-rank UDIMM をサポートします。
- 次の表は、サポートされる UDIMM 装着構成のリストです。

表 7. チャンネルごとのサポートされる UDIMM 装着構成

チャンネルごとの DIMM コネクター	各チャンネルに取り付けられた DIMM	DIMM のタイプ	DIMM 速度	DIMM ごとのランク (任意の組み合わせ)
2	1	Unbuffered DDR3 ECC	1066、1333、1600	single-rank、dual-rank
2	2	Unbuffered DDR3 ECC	1066、1333、1600	single-rank、dual-rank

- 次の表は、rank UDIMM を使用した DIMM の最大取り付け数です。

表 8. ランク付き UDIMM を使用した最大メモリー装着構成 (モデルにより異なる)

UDIMM の数	DIMM のタイプ	サイズ	メモリー合計
4	single-rank UDIMM	1 GB	4 GB
4	dual-rank UDIMM	2 GB	8 GB
4	dual-rank UDIMM	4 GB	16 GB
4	dual-rank UDIMM	8 GB	32 GB

- 次の表は、システム・パフォーマンスを最適化するための、UDIMM メモリーの取り付けに関する規則を示しています。

表 9. UDIMM 装着構成の規則

DIMMコネクター 1	DIMMコネクター 2	DIMMコネクター 3	DIMMコネクター 4
装着	空	空	空
装着	空	装着	空
装着	装着	装着	装着

DIMM の取り付け

以下の情報を使用して、DIMM を取り付けます。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバーにオプション装置を取り付けようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

重要: サーバーの電源が入っているときに、サーバー内のコンポーネントへ静電気が放出されると、サーバーが停止して、結果的にデータが失われるおそれがあります。こうした潜在的な問題が起きないように、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

このタスクについて

下図は、システム・ボード上の DIMM コネクターの位置を示しています。

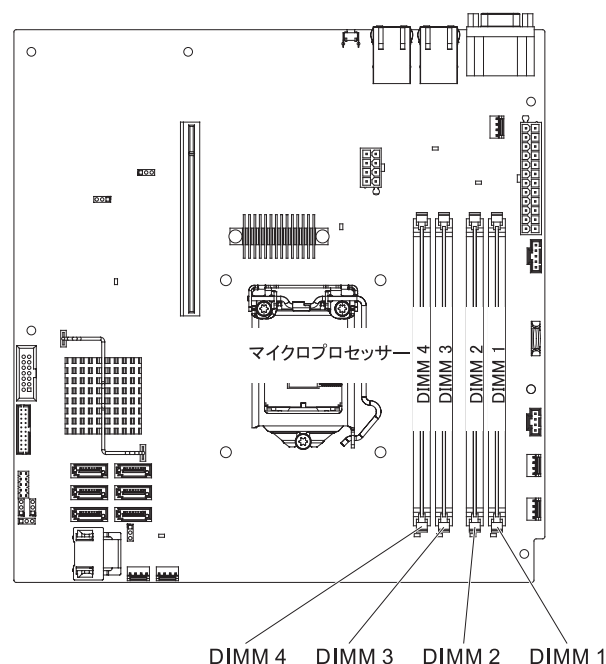


図 16. システム・ボード上の DIMM コネクターの位置： (jinhu114)

DIMM を取り付けるには、次のステップに従ってください。

手順

1. システム・ボード上の DIMM コネクターを確認します。DIMM を取り付けるコネクターを決定します。次の表に示されている順序で DIMM を取り付けます。

表 10. DIMM の取り付け順序

DIMM の数	取り付け順序 (コネクタ)
最初の DIMM ペア	1, 3
2 番目の DIMM ペア	2, 4

2. DIMM コネクタのそれぞれの端にある保持クリップを開きます。

重要: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクタを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。

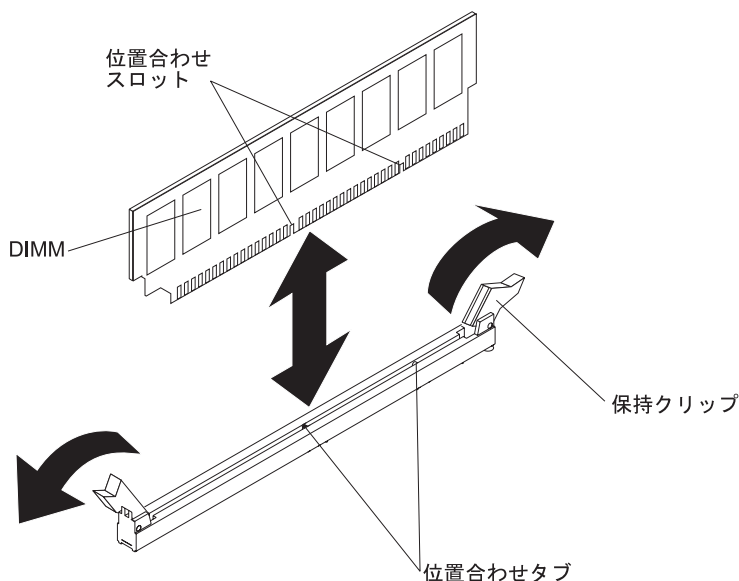


図 17. DIMM の取り付け

3. DIMM が入っている静電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない金属面に接触させます。次に DIMM をパッケージから取り出します。
4. 位置合わせスロットと位置合わせタブの位置が正しく合う方向に DIMM を向けます。
5. DIMM の端を、DIMM コネクタの両端にあるスロットの位置に合わせて、DIMM をコネクタに挿入します。
6. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクタにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。DIMM がコネクタにしっかり収まると、保持クリップがカチッという音を立て、ロック位置に固定されます。

注: DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。

次のタスク

取り付けるデバイスが他にある場合、ここで取り付けます。それ以外の場合は、66 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

アダプターの取り付け

以下の情報を使用して、アダプターを取り付けます。

始める前に

ここには、サーバーがサポートするアダプターのタイプの説明と、アダプターを取り付けるときに考慮すべき事項が記載されています。

- 取り付けるアダプターをサーバーがサポートしていることを確認するには、
<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。
- この説明のほかに、アダプターに付属の資料に記載されている説明に従います。
- アダプター・スロットは PCI ライザー・カード・アセンブリーにあります。アダプター・スロットにアクセスするためには、まず PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外す必要があります。
- PCI ライザー・カード・アセンブリー上の拡張スロットは、以下に示すように、さまざまなフォーム・ファクターの非ホット・プラグ・アダプターに対応しています。
 - 拡張スロット 1: 2U ブラケット付きロー・プロファイル (このスロットは、ServeRAID-10i1 v2 SAS/SATA コントローラー専用です)
 - 拡張スロット 2: フルハイト、ハーフサイズ

スロット 2 PCIe Gen2 x8 (8、4、1)

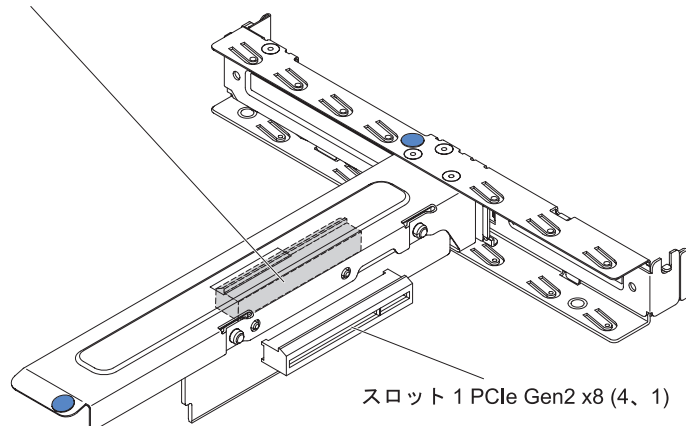


図 18. PCI ライザー・カード・アセンブリー

- オプションの ServeRAID-BR10i1 v2 コントローラーは、PCI ライザー・カード・アセンブリーの拡張スロット 1 に取り付けなければなりません。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバーにオプション装置を取り付けようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

このタスクについて

アダプターを取り付けるには、次の手順に従ってください。

手順

1. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (45 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
2. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからアダプターを取り出します。
3. アダプターを、コンポーネントが上を向くようにして平らで帯電防止された面に置き、必要であればアダプター・メーカーの説明に従いジャンパーまたはスイッチをセットします。
4. アダプターに配線指示書がある場合は、この指示に従います。アダプターを取り付ける前に、アダプターのケーブルを配線します。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリーから拡張スロット・カバーを取り外し、今後の利用のために保管します。
6. アダプターのコネクタを PCI ライザー・カード・アセンブリーのコネクタと位置合わせし、アダプターを PCI ライザー・カード・アセンブリーに挿入します。コネクタの端を、PCI ライザー・カード・アセンブリーにしっかりと押し込みます。アダプターが PCI ライザー・カード・アセンブリーにしっかりと取り付けられていることを確認します。

重要: 金属製のアダプター・ブラケットの U 字の形の開口部が、拡張スロット・ブラケットのタブに噛み合っていることを確認してください。

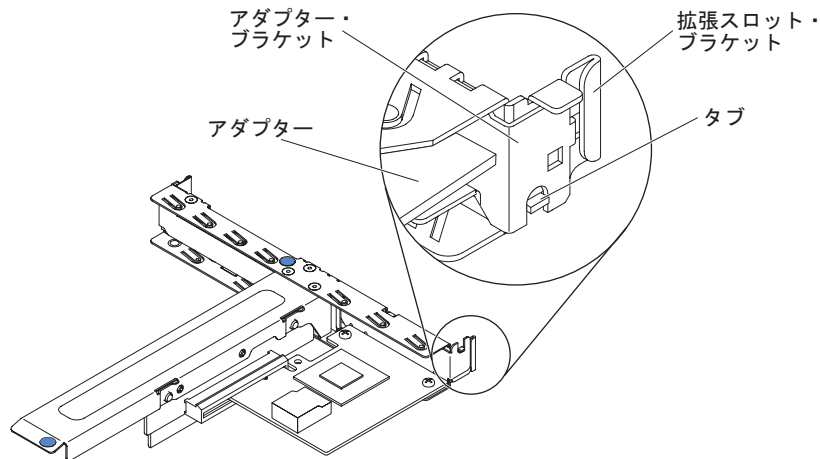


図 19. アダプターの取り付け

7. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます (67 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。
- 重要:** アダプターの取り付け時に、アダプターが PCI ライザー・カード・アセンブリーに正しく収まっていること、および PCI ライザー・カード・アセンブリーがシステム・ボード上のライザー・カード・コネクタにしっかりと取り付けられていることを確認してから、サーバーの電源をオンにします。アダプターを正しく取り付けないと、システム・ボード、PCI ライザー・カード・アセンブリー、またはアダプターが損傷するおそれがあります。

次のタスク

取り付けるデバイスが他にある場合、ここで取り付けます。それ以外の場合は、66 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

注: オプションの ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID 操作用に構成されている場合、アダプターを取り付けた後にディスク・アレイの再構成が必要になる場合があります。RAID 操作に関する追加情報および ServeRAID マネージャーの使用に関する詳しい説明については、*IBM ServerRAID Support CD* に収録されている ServeRAID の資料を参照してください。

ServeRAID アダプターの取り付け

以下の情報を使用して、IBM ServeRAID アダプターを取り付けます。

始める前に

構成情報については、ServeRAID 資料 (<http://www.ibm.com/supportportal>) を参照してください。

重要: ServeRAID アダプターが UEFI ベース・サーバーで適切に機能するように、アダプター・ファームウェアおよびサポートするデバイス・ドライバーが最新バージョンに更新されていることを確認してください。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバーにオプション装置を取り付けようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

このタスクについて

IBM ServeRAID アダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (45 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
2. これから使用するスロットの拡張スロット・カバーを取り外し、今後の利用のために保管します。

重要: すべての未使用のスロットに PCI 拡張スロット・カバーを取り付ける必要があります。これによりサーバーの電波障害の規制が守られ、サーバー・コンポーネントの適切な通気が確保されます。

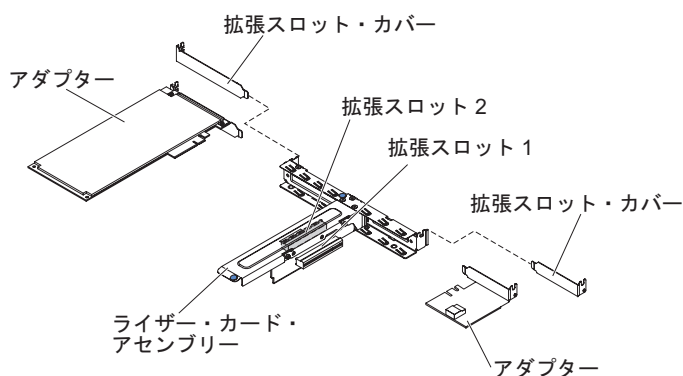
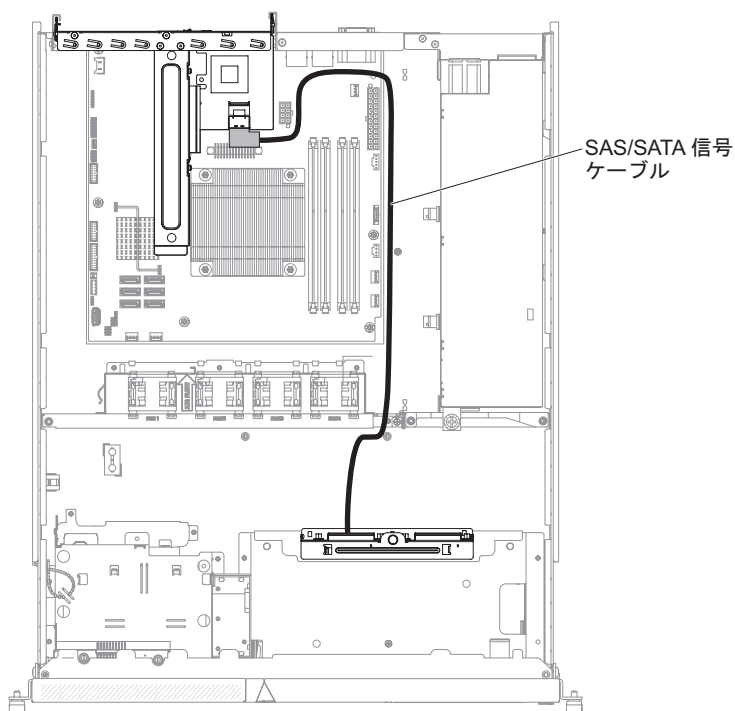


図 20. ServeRAID アダプターの取り付け

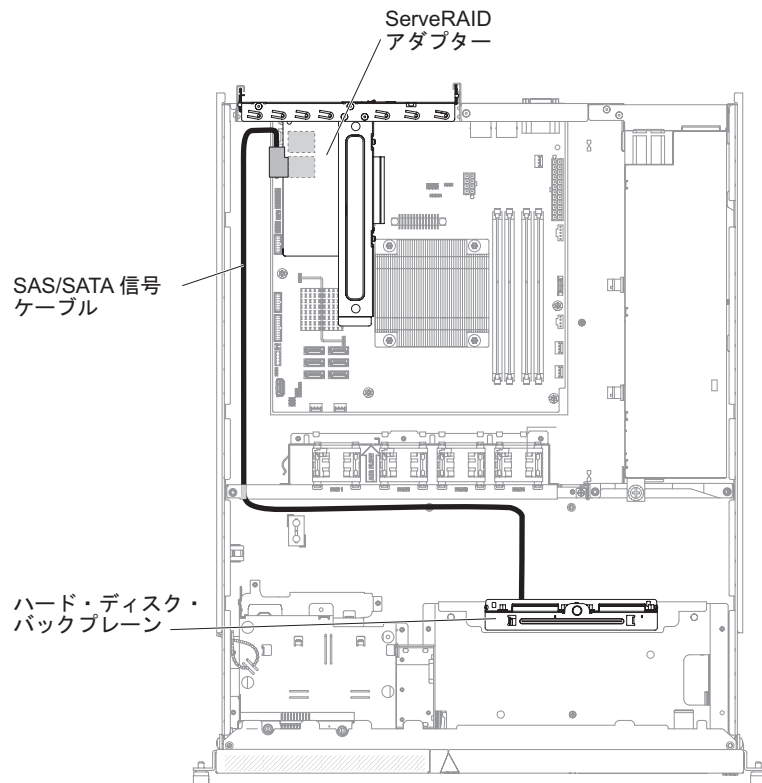
3. 新しい ServeRAID アダプターが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない面に接触させてから、アダプターの上端または上隅でアダプターをつかんで、パッケージから取り出します。
4. ドライブ・バックプレーンに接続されている信号ケーブルを、ServeRAID アダプターに接続します。
 - ServeRAID アダプターを PCI ライザー・カード・アセンブリーのスロット 1 に取り付ける場合は、次の図に示すように、ドライブ・バックプレーンから信号ケーブルを配線します。



- ServeRAID-M1050 または ServeRAID-M5014 アダプターを PCI ライザー・カード・アセンブリーのスロット 2 に取り付ける場合は、次の図に示すように、ドライブ・バックプレーンからファン 1 の左側のファン・ケージの穴を通して信号ケーブルを配線します。信号ケーブルは、ServeRAID アダプターのポート 0 に接続してください。

注:

- a. 信号ケーブルは、ServeRAID-M1050 または ServeRAID-M5014 アダプターのポート 0 に接続する必要があります。
- b. 配線後にケーブル・タイを使用してシステム・ボード上のケーブルを固定してください。



5. 切り欠きが PCI ライザー・カード・アセンブリーのコネクターの位置に正しく合うように、ServeRAID アダプターの位置を合わせます。
6. ServeRAID アダプターがしっかり固定されるまで、PCI ライザー・カード・アセンブリーのコネクターに挿入します。
重要: アダプターの差し込みが不完全な場合、サーバーあるいはアダプターが損傷を受けることがあります。
7. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます (67 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。

次のタスク

取り付けるデバイスが他にある場合、ここで取り付けます。それ以外の場合は、66 ページの『取り付けの完了』に進んでください。

注: サーバーの再始動時、既存の RAID 構成を新規の ServeRAID アダプターにインポートするようにプロンプトが出されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け

以下の情報を使用して、ホット・スワップ・パワー・サプライを取り付けます。

始める前に

以下に、サーバーがサポートするパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付ける際に考慮すべき事項について示します。

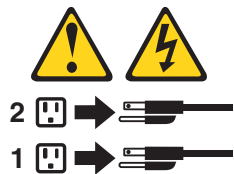
- ご使用のサーバー・モデルによっては、460 ワットのホット・スワップ・パワー・サプライが標準装備されています。冗長性をサポートするには、追加のホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける必要があります (ご使用のモデルに取り付けられていない場合)。
- 取り付けるデバイスがサポートされていることを確認します。サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。

安全 5



注意:

装置の電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8



注意:

電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

このタスクについて

ホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける場合は、以下のステップを実行してください。

手順

1. サイド・クリップをつかんで引き、パワー・サプライ・フィラー・パネルを空のパワー・サプライ・ベイから取り外します。パワー・サプライ・フィラー・パネルは、後でパワー・サプライを取り外した場合のために保管します。

重要: 通常の操作中は、適切な冷却を維持するために、パワー・サプライあるいはパワー・サプライ・フィラー・パネルのいずれかが各パワー・サプライ・ベイに取り付けられている必要があります。

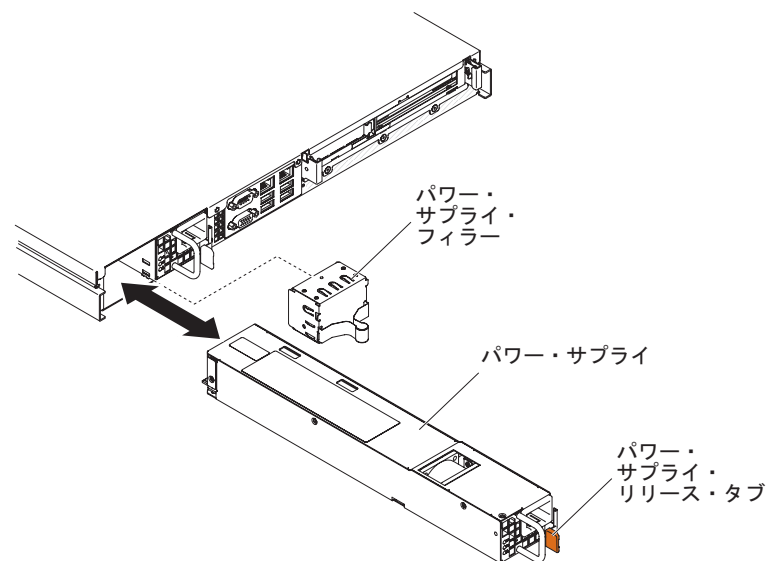


図 21. ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け

2. ホット・スワップ・パワー・サプライを、リリース・ラッチがカチッと音がして所定の位置に収まるまでベイ内にスライドさせます。
3. 新規のパワー・サプライ用の電源コードの一方の端をパワー・サプライ背面の AC コネクタに接続し、電源コードの他方の端を適切に接地された電源コンセントに接続します。
4. サーバーの電源がオフになっている場合は、オンにします。
5. パワー・サプライ上の AC 電源 LED が点灯して、パワー・サプライが正常に作動していることを示すことを確認します。サーバーの電源がオンになったら、パワー・サプライ上の DC 電源 LED も点灯していることを確認します。

次のタスク

取り付けるデバイスが他にある場合、ここで取り付けます。それ以外の場合は、『取り付けの完了』に進んでください。

取り付けの完了

取り付けを完了するには、この情報を使用します。

このタスクについて

取り付けを完了するには、次のステップを実行してください。

手順

1. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外した場合は、再取り付けします (67 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。
2. エアー・バッフルを取り外した場合は、再取り付けします (68 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
3. サーバー・カバーを取り外した場合は、再取り付けします (69 ページの『カバーの交換』を参照)。
4. サーバーをラック・キャビネットに取り付けます (手順については、サーバーに付属の「ラック搭載手順」を参照)。
5. ケーブルおよび電源コードを再接続します (70 ページの『ケーブルの接続』を参照)。
6. サーバー構成を更新します (72 ページの『サーバー構成の更新』を参照)。
7. 必要に応じて、サーバーを元のラックの中にスライドさせます。
8. サーバーを始動します。サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認します。
9. (IBM ビジネス・パートナーのみ) 22 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の追加ステップを実行します。

PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換

PCI ライザー・カード・アセンブリーを交換するには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

PCI ライザー・カード・アセンブリーを交換するには、次のステップを実行してください。

手順

1. アダプターを PCI ライザー・カード・アセンブリーに取り付けます (176 ページの『ServeRAID アダプターの交換』を参照)。
2. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外したときに切り離したアダプター・ケーブルをすべて再接続します。
3. PCI ライザー・カード・アセンブリーをサーバー後部のガイドおよびシステム・ボードの PCI ライザー・カード・コネクタに注意深く位置合わせします。次に、青色のタブでマークされた位置に親指を置いて PCI ライザー・カード・アセンブリーを押し下げます。ライザー・カード・アセンブリーがシステム・ボードのコネクタに完全に収まったか確認してください。

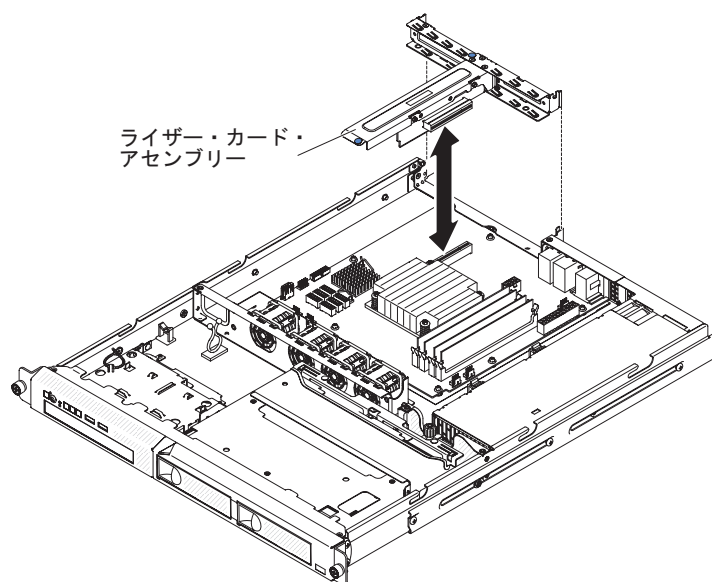


図 22. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け

4. カバーを取り付けます (69 ページの『カバーの交換』を参照)。
5. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。

6. 取り外した電源コードおよびケーブルを再接続します。
7. すべての接続デバイスとサーバーの電源をオンにします。

エアー・バッフルの交換

以下の情報を使用して、エアー・バッフルを交換します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

エアー・バッフルを交換するには、次のステップを実行してください。

手順

1. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
2. エアー・バッフル・ピンをサーバー・シャーシとファン・ケージ・アセンブリー上のバッフル・ピン・ホールに位置合わせしてから、エアー・バッフルをサーバー内に下ろします。エアー・バッフルを下に押して、しっかりと収まった状態にします。

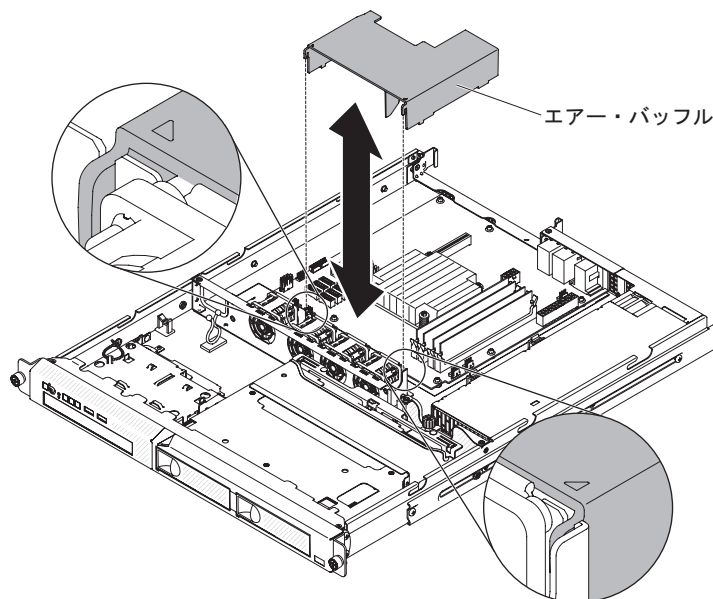


図 23. エアー・バッフルの取り付け

3. カバーを再び取り付けます (69 ページの『カバーの交換』を参照)。
4. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、エアー・バッフルを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。エアー・バッフルが取り外された状態でサーバーを稼働させると、サーバー・コンポーネントが損傷する可能性があります。

カバーの交換

カバーを交換するには、この情報を使用します。

始める前に

すべてのケーブル、アダプター、および他のサーバー・コンポーネントが正しく取り付けられ、固定されているか、およびサーバー内のツールまたは部品が緩んでいないかチェックしてください。また、すべての内部ケーブルが正しく配線されていることを確認します。

重要: カバーを前方にスライドさせる前に、カバーの前面、背面、および側面のすべてのタブがシャーシと正しくかみ合っていることを確認します。すべてのタブがシャーシと正しくかみ合っていない場合、後でカバーを取り外すのが非常に難しくなります。

このタスクについて

サーバーのカバーを再取り付けするには、次のステップを実行してください。

手順

1. カバーがサーバー後部から約 13 mm 外に出るように、サーバー上部にカバーを置きます。
2. カバーをサーバー前面方向にスライドさせます。

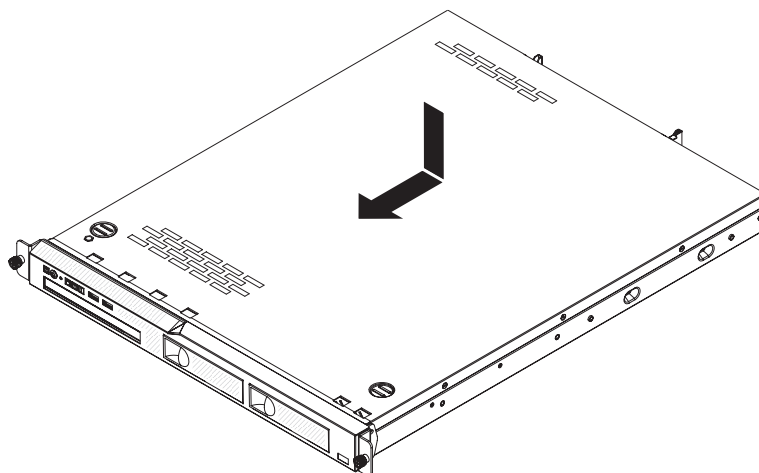


図 24. カバーの取り付け

3. カバーがサーバー上のすべての差し込みタブときちんとかみ合っているかどうかを確認します。
4. サーバーを格納装置に取り付け、2 つの前面つまみねじを締めてサーバーをラックに固定します。
5. 外部ケーブルおよび電源コードを再接続します。

次のタスク

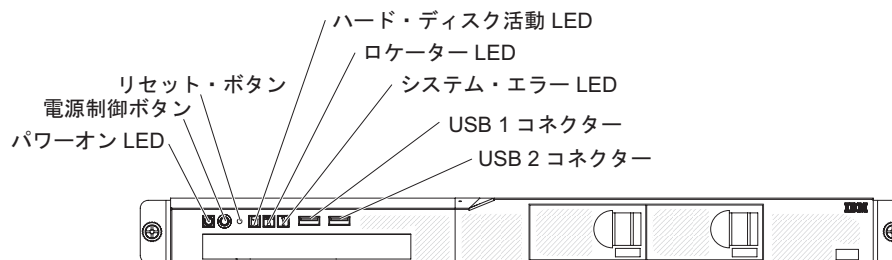
サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

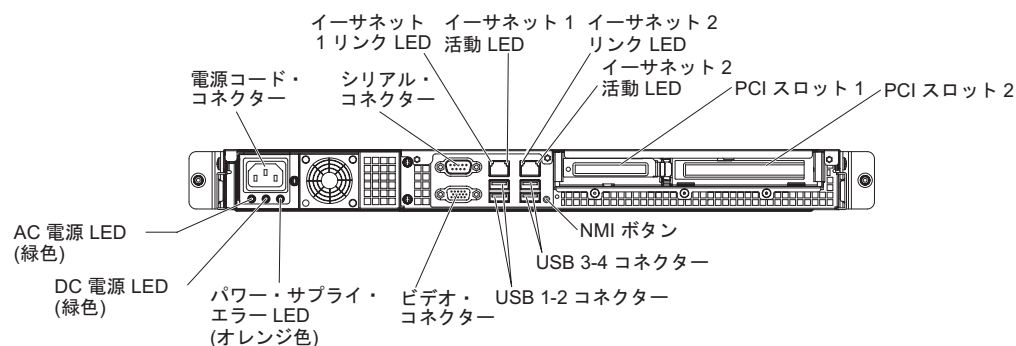
ケーブルの接続

ケーブルを接続するには、この情報を使用します。

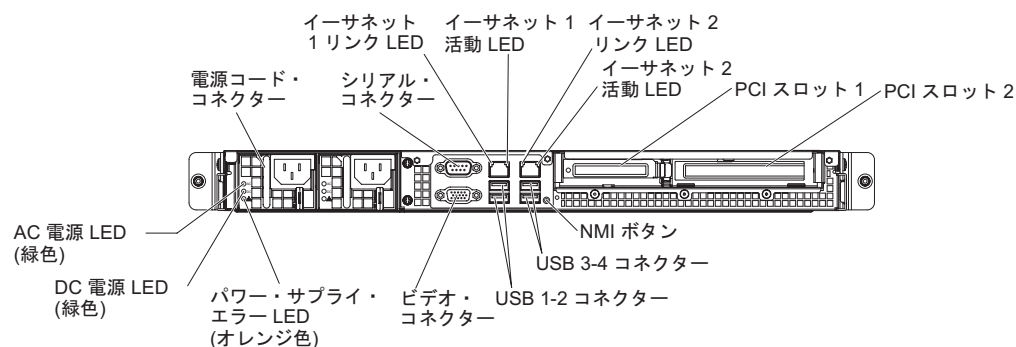
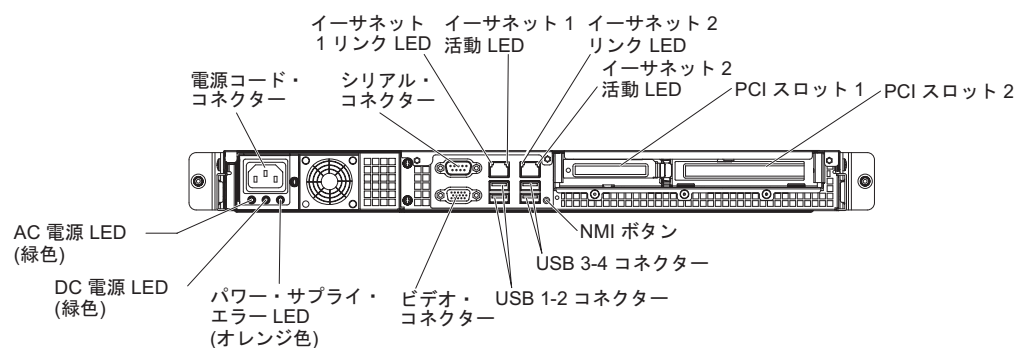
このタスクについて

次の図は、サーバー前面の入出力コネクターの位置を示しています。





次の図は、サーバーの背面にある入出力コネクタの位置を示しています。



手順

1. ケーブルの接続または取り外し時は、事前にサーバーの電源をオフにする必要があります。
2. 詳しいケーブル配線の手順については、外付けデバイスに付属の資料を参照してください。ケーブルの配線作業は、デバイスを取り付ける前に行ったほうが簡単な場合があります。
3. ケーブルの ID は、サーバーおよびオプション装置に付属のケーブルに印刷されています。この ID を使用して、ケーブルを正しいコネクタに接続します。

サーバー構成の更新

サーバー構成を更新するには、この情報を使用します。

このタスクについて

装置を追加または取り外した後で初めてサーバーを始動すると、構成が変更されたことを伝えるメッセージが表示される場合があります。このとき新しい構成設定値を保存できるように、**Setup** ユーティリティが自動的に開始します。

オプション装置の中には、デバイス・ドライバをインストールしなければならないものがあります。デバイス・ドライバのインストールについては、その装置に付属の資料を参照してください。

サーバーにオプションの **RAID** アダプターが装備されていて、ハード・ディスクの取り付けまたは取り外しを行った場合は、**RAID** アダプターに付属の資料を参照して、ディスク・アレイの再構成に関する説明を確認してください。

イーサネット・コントローラーの構成については、94 ページの『Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

第 3 章 構成情報と説明

この章では、ファームウェアの更新方法と構成ユーティリティの使用法について説明します。

ファームウェアの更新

以下の情報を使用して、システムのファームウェアを更新します。

重要:

1. 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. Trusted Platform Module (TPM) の特性が新しいファームウェアによって変更される場合があるため、ファームウェアを更新する前に、必ず TPM に格納されているすべてのデータをバックアップしてください。手順については、ご使用の暗号化ソフトウェアの資料を参照してください。
3. 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバ・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバ・アップデートをインストールする前に、ダウンロードされたアップデートに付属の README および変更履歴・ファイルをお読みください。これらのファイルには、初期ファームウェアまたはデバイス・ドライバ・バージョンから最新バージョンにアップデートする特別な手順を含み、アップデートおよびアップデート・インストール手順に関する重要な情報が記載されています。

UpdateXpress システム・パックまたは UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。UpdateXpress システム・パックには、ご使用のサーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバ更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。UpdateXpress システム・パック・インストーラーを使用して、UpdateXpress システム・パックおよび個々のファームウェアおよびデバイス・ドライバ更新を獲得し、適用してください。

UpdateXpress システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER>) にアクセスし、「**UpdateXpress System Pack Installer**」をクリックします。

更新をクリックすると、その更新で修正された問題のリストが含まれている情報ページが表示されます。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていない場合でも、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress システム・パックあるいは UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがあれば、必ず別にインストールしてください。

サーバーのファームウェアは、定期的に更新されており、IBM の Web サイトからダウンロードすることができます。UEFI ファームウェア、デバイス・ドライバー、および統合管理モジュール (IMM) ファームウェアなどのファームウェアの最新レベルを確認するには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスしてください。

サーバーの最新のファームウェアをダウンロードし、ダウンロード・ファイルに含まれている説明を使用してファームウェアをインストールします。

サーバー内の装置を交換した場合、その装置のメモリーに保管されているファームウェアを更新するか、CD または DVD イメージから既存のファームウェアを復元することが必要な場合があります。

以下のリストは、ファームウェアが格納されている場所を示しています。

- UEFI ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に格納されます。
- IMM2 ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に保管されています。
- イーサネット・ファームウェアは、イーサネット・コントローラーおよびシステム・ボード上の ROM に保管されています。
- ServeRAID ファームウェアは、システム・ボードおよび RAID アダプター (取り付けられている場合) 上の ROM に保管されています。
- SAS/SATA ファームウェアは、システム・ボード上の SAS/SATA コントローラーの ROM に格納されます。

サーバーの構成

ご使用のサーバーには、次の構成プログラムが付属しています。

- **Setup ユーティリティ**

Setup ユーティリティは、UEFI ファームウェアの一部です。このユーティリティを使用して、割り込み要求 (IRQ) 設定の変更、始動装置シーケンスの変更、日時の設定、およびパスワードの設定などの構成タスクを実行します。このプログラムの使用については、79 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照してください。

- **Boot Manager プログラム**

Boot Manager は、UEFI ファームウェアの一部です。このプログラムを使用して、Setup ユーティリティに設定された始動シーケンスをオーバーライドし、始動シーケンスの最初の装置を一時的に割り当てます。このプログラムの使用法について詳しくは、87 ページの『Boot Manager の使用』を参照してください。

- **IBM ServerGuide Setup and Installation CD**

ServerGuide プログラムは、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールを提供します。RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーなどの基本ハードウェア機能を構成し、オペレーティング・システムのインストールを簡略化するには、サーバーの取り付け時にこの CD を使用してください。この CD の使用については、77 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **統合管理モジュール**

統合管理モジュール II (IMM2) は、構成、ファームウェアおよびセンサー・データ・レコード/現場交換可能ユニット (SDR/FRU) データの更新、およびネットワークのリモート管理のために使用します。IMM の使用については、89 ページの『統合管理モジュールの使用』および「*Integrated Management Module II User's Guide*」(<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=migr-5086346>) を参照してください。

- **VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー**

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクタ 3 および 4 に取り付けることができます。組み込みハイパーバイザーの使用法について詳しくは、93 ページの『組み込みハイパーバイザーの使用』を参照してください。

- **リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能**

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール (IMM2) に組み込まれた機能です。リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスク・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスク・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーでできるようにします。
- ディスク・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者がブルー・スクリーン・キャプチャー機能を使用すると、停止状態の原因の判別に役立ちます。詳しくは、90 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。

- **イーサネット・コントローラー構成**

イーサネット・コントローラーの構成については、94 ページの『Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・ソフトウェア**

このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・サポートを提供します。Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、95 ページの『Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化』を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアの RAID ソフトウェア**

このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアの RAID サポートを提供します。RAID 用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、95 ページの『Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化』を参照してください。

- **IBM Advanced Settings ユーティリティ (ASU) プログラム**

このプログラムは、UEFI 設定および IMM 設定を変更するための Setup ユーティリティの代替手段として使用します。ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、Setup ユーティリティを実行するためにサーバーを再始動する必要なしに、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができます。このプログラムの使用法について詳しくは、96 ページの『IBM Advanced Settings ユーティリティ・プログラム』を参照してください。

- **RAID アレイの構成**

RAID アレイの構成については、95 ページの『RAID アレイの構成』を参照してください。

次の表は、サーバー構成の種類、および RAID アレイの構成と管理に使用できるアプリケーションをリストしています。

表 11. RAID アレイを構成および管理するためのサーバー構成とアプリケーション

サーバー構成	RAID アレイの構成 (オペレーティング・システムのインストール前)	RAID アレイの管理 (オペレーティング・システムのインストール後)
ServeRAID-H1110 アダプター	LSI ユーティリティ (Setup ユーティリティ、Ctrl+C を押します)、ServerGuide、ヒューマン・インターフェース・インフラストラクチャー (HII)	MegaRAID Storage Manager (MSM)、ストレージ管理用 SAS2IRCU (コマンド・ライン) ユーティリティ
ServeRAID-M1115 アダプター	MegaRAID BIOS 構成ユーティリティ (Ctrl+H を押して開始)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI (コマンド・ライン・インターフェース)、および IBM Director
ServeRAID-M5110 アダプター	MegaRAID BIOS 構成ユーティリティ (Ctrl+H を押して開始)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI、および IBM Director
ServeRAID-M5120 アダプター	MegaRAID BIOS 構成ユーティリティ (Ctrl+H を押して開始)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI、および IBM Director

注:

1. ヒューマン・インターフェース・インフラストラクチャー (HII) および SAS2IRCU について詳しくは、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnid=MIGR-5088601> にアクセスしてください。
2. MegaRAID について詳しくは、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnid=MIGR-5073015> にアクセスしてください。

ServerGuide Setup and Installation CD の使用

以下の情報は、ServerGuide Setup and Installation CD の使用についての概要として使用することができます。

ServerGuide Setup and Installation CD には、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールが入っています。

ServerGuide プログラムは、サーバーのモデルとインストール済みのオプション・ハードウェア・デバイスを検出し、セットアップ時にその情報を使用してハードウェアを構成します。ServerGuide は、更新済みデバイス・ドライバを提供し、場合によっては自動的にインストールすることによりオペレーティング・システムのインストールを単純化します。

ServerGuide Setup and Installation CD のイメージを <http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnid=SERV-GUIDE> から無料でダウンロードすることができます。

ServerGuide Setup and Installation CD の他に、オペレーティング・システムをインストールするためのオペレーティング・システム CD が必要です。

ServerGuide の機能

ここでは ServerGuide の機能の概要を説明します。

フィーチャーおよび機能は、ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。ご使用のバージョンについて詳しく知るためには、*ServerGuide Setup and Installation CD* を開始し、オンラインの概説を表示します。すべての機能がすべてのサーバー・モデルでサポートされているとは限りません。

ServerGuide プログラムは、以下の特長を備えています。

- 使いやすいインターフェース
- ディスケットを使用しないセットアップ、および検出したハードウェアに基づく構成プログラム
- サーバーのモデルと検出されたハードウェア用のデバイス・ドライバの提供
- セットアップ中に選択可能なオペレーティング・システムの区画サイズとファイル・システムのタイプ

ServerGuide プログラムは、以下のタスクを実行します。

- システム日付および時刻を設定します。
- 取り付けられたハードウェアのオプションを検出し、ほとんどのアダプターおよびデバイスのための更新済みデバイス・ドライバを提供します。
- サポートされる Windows オペレーティング・システム用にディスク不要のインストールを提供します。
- ご使用のハードウェアおよびオペレーティング・システムのインストールに関するヒントにリンクする、オンラインの README ファイルが含まれます。

セットアップおよび構成の概要

ServerGuide のセットアップおよび構成には、この情報を使用します。

ServerGuide Setup and Installation CD を使用する場合、セットアップ・ディスクは必要ありません。この CD を使用して、サポートされている IBM サーバー・モデルを構成できます。セットアップ・プログラムは、ご使用のサーバー・モデルをセットアップするのに必要なタスクのリストを提供します。ServeRAID アダプターまたは RAID 機能付き SAS/SATA コントローラーを備えたサーバーでは、SAS/SATA RAID 構成プログラムを実行して論理ドライブを作成できます。

注: フィーチャーおよび機能は、ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

標準的なオペレーティング・システムのインストール

このセクションでは、ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールについて説明します。

ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムをインストールするために要する時間を削減することができます。このプログラムは、ご使用のハードウェアおよびインストールする予定のオペレーティング・システムに必要なデバイス・ドライバを提供します。このセクションでは、ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールについて説明します。

注: フィーチャーおよび機能は、ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

1. セットアップ処理が完了するとオペレーティング・システムのインストール・プログラムが開始します。(インストールを完了するためにはオペレーティング・システム CD が必要です。)
2. ServerGuide プログラムは、サーバー・モデル、サービス・プロセッサ、ハード・ディスク、コントローラー、およびネットワーク・アダプターに関する情報を保管します。その上で、プログラムはより新しいデバイス・ドライバがないかどうか CD をチェックします。この情報は保管された上で、オペレーティング・システムのインストール・プログラムに渡されます。
3. ServerGuide プログラムは、ご使用のオペレーティング・システムの選択および取り付けられたハード・ディスクに基づいて、オペレーティング・システムの区画オプションを提供します。
4. ServerGuide プログラムは、ご使用のオペレーティング・システムの CD を挿入して、サーバーを再始動するように指示してきます。この時点から、オペレーティング・システムのインストール・プログラムがインストールの完了まで制御します。

ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール

この情報を使用して、ServerGuide を使用しないでサーバーにオペレーティング・システムをインストールすることができます。

サーバーのハードウェアを既に構成しており、オペレーティング・システムのインストールに ServerGuide プログラムを使用しない場合、<http://www.ibm.com/supportportal> からこのサーバー用のオペレーティング・システムのインストール手順をダウンロードすることができます。

Setup ユーティリティの使用

これらの手順を使用して、Setup ユーティリティを開始することができます。

以下の作業を実行するには、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) Setup ユーティリティ・プログラムを使用します。

- 装置構成情報の表示
- 装置および入出力ポートの表示および割り当て変更
- 日時の設定
- パスワードの設定と変更
- サーバーの始動の特性と始動装置の順序の設定
- 拡張ハードウェア機能の設定の指定および変更
- 電源管理機能の設定の表示、指定、および変更
- エラー・ログの表示およびクリア
- 割り込み要求 (IRQ) 設定値の変更
- 構成の競合の解決

Setup ユーティリティの開始

以下の情報を使用して、Setup ユーティリティを開始します。

このタスクについて

Setup ユーティリティを開始するには、以下の手順で行います。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。

注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。管理者パスワードを設定している場合は、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするために、管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、Setup ユーティリティの限られたメニューしか利用できません。
3. 表示または変更する設定を選択します。

Setup ユーティリティのメニュー選択項目

サーバーの構成データおよび設定を表示または構成するには、Setup ユーティリティ・メインメニューを使用します。

UEFI の Setup ユーティリティのメインメニューには、以下の選択項目があります。ファームウェアのバージョンによっては、メニュー選択がここでの説明と少し異なる場合があります。

• System Information

サーバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。Setup ユーティリティの他の選択項目を使用して変更を行った場合は、その変更の一部は System Information に反映されますが、System Information から直接設定を変更することはできません。この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

– System Summary

マイクロプロセッサの ID、速度、およびキャッシュ・サイズ、サーバーのマシン・タイプおよびモデル、シリアル番号、システム UUID、インストール済みのメモリー容量などの構成情報を表示するには、この項目を選択します。Setup ユーティリティの他のオプションを使用して構成変更を行った場合、その変更は System Summary に反映されますが、System Summary から直接設定を変更することはできません。

– Product Data

システム・ボード ID、ファームウェアの改訂レベルまたは発行日、Integrated Management Module と診断コード、およびバージョンと日付を表示するには、この項目を選択します。

この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

• System Settings

サーバー・コンポーネントの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

– Adapters and UEFI Drivers

サーバーに取り付けられた UEFI 1.10 準拠のアダプターとドライバーおよび UEFI 2.0 準拠のアダプターとドライバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。

– Processors

プロセッサの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

– Memory

この選択項目を選択し、メモリー設定を表示あるいは変更します。

– Devices and I/O Ports

装置と入出力 (I/O) ポートの割り当てを表示または変更するには、この項目を選択します。シリアル・ポートの構成、リモート・コンソール・リダイレクトの構成、内蔵イーサネット・コントローラー、SAS/SATA コントローラー、

SATA 光ディスク・ドライブ・チャンネル、PCI スロット、およびビデオ・コントローラーの使用可能化または使用不可化を行うことができます。装置を使用不可に設定した場合、その装置を構成することはできず、オペレーティング・システムはその装置を検出できません (これは、装置を切断するのと同等です)。

– **Power**

消費量、プロセッサ、およびパフォーマンス状態を制御するためにパワー・キャッピングを表示または変更するには、この項目を選択します。

– **Operating Modes**

オペレーティング・プロファイルの表示または変更するには、この項目を選択します (パフォーマンス (performance) および電力使用率 (power utilization))。

– **Legacy Support**

この選択項目を選択して、レガシー・サポートを表示あるいは設定します。

– **Force Legacy Video on Boot**

この選択項目を選択して、INT ビデオ・サポートを強制します (オペレーティング・システムが UEFI のビデオ出力規格をサポートしない場合)。

– **Rehook INT 19h**

装置に対してブート・プロセスの制御を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Disable**」です。

– **Legacy Thunk Support**

UEFI と UEFI に未対応の PCI 大容量ストレージ・デバイスとのデータのやりとりを使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

– **Infinite Boot Retry**

UEFI によるレガシー・ブート順序の無限再試行を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Disable**」です。

– **BBS Boot**

BBS 方法のレガシー・ブートを有効または無効にする場合に、この項目を選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

– **System Security**

Trusted Platform Module (TPM) サポートを表示または構成するには、この選択項目を選択します。

– **Integrated Management Module**

Integrated Management Module の設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

– **Power Restore Policy**

電源の切断後に動作のモードを設定するには、この項目を選択します。

– **Commands on USB Interface**

この選択項目は、IMM の Ethernet over USB インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

- **Network Configuration**

この選択項目は、以下のことを行う場合に選択します。システム管理ネットワークのインターフェース・ポート、IMM MAC アドレス、現行 IMM IP アドレス、およびホスト名の表示。固定 IMM IP アドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスの定義。固定 IP アドレスを使用するか DHCP で IMM2 IP アドレスを割り当てるかの指定。ネットワーク変更の保存。IMM のリセット。

- **Reset IMM to Defaults**

IMM デフォルト設定の表示またはリセットを行うには、この項目を選択します。

- **Reset IMM**

IMM をリセットするには、この項目を選択します。

- **Recovery**

この選択項目を選択し、システム・リカバリー・パラメーターを表示あるいは変更します。

- **POST Attempts**

POST に対する試行の回数値を表示または変更するには、この項目を選択します。

• **POST Attempts Limit**

Nx 回ブート失敗パラメーターを表示または変更するには、この項目を選択します。

- **System Recovery**

システム・リカバリー設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

• **POST Watchdog Timer**

POST ウォッチドッグ・タイマーを表示または使用可能に設定するには、この項目を選択します。

• **POST Watchdog Timer Value**

この選択項目を選択し、POST ローダーのウォッチドッグ・タイマー値を表示あるいは設定します。

• **Reboot System on NMI**

この選択項目を選択し、マスク不可割り込み (NMI) が発生するたびにシステムを再始動させる機能を使用可能または使用不可にします。 **Enable** (使用可能) がデフォルトです。

• **Halt on Severe Error**

重大エラーが検出されるたびにシステムが OS にブートして POST イベント・ビューアーを表示することを使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。**Disable** (使用不可) がデフォルトです。

– **Storage**

この選択項目を選択し、ストレージ・デバイス設定を表示あるいは変更します。

– **Network**

この選択項目を選択し、ネットワーク・デバイス・オプション (iSCSI など) を表示あるいは変更します。

– **Drive Health**

ブレード・サーバーに取り付けられているコントローラーの状況を表示するには、この項目を選択します。

• **Date and Time**

この選択項目を選択して、サーバーの日時を 24 時間形式 (時:分:秒) で設定します。

この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

• **Start Options**

始動シーケンス、キーボードの NumLock 状態、PXE ブート・オプション、および PCI デバイスのブート優先順位を含めた始動オプションを表示または変更する場合、この項目を選択します。始動オプションの変更は、サーバーを始動すると有効になります。

始動シーケンスは、サーバーがブート・レコードを検出するために装置をチェックする順序を指定します。サーバーは、最初に検出したブート・レコードから始動します。サーバーに Wake on LAN ハードウェアおよびソフトウェアがあり、オペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合には、Wake on LAN 機能の始動シーケンスを指定できます。例えば、CD-RW/DVD ドライブ内のディスクを検査し、次にハード・ディスクを検査し、その次にネットワーク・アダプターを検査するというような始動シーケンスを定義できます。

この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

• **Boot Manager**

この選択項目を選択して、デバイスのブート優先順位の表示、追加、削除、または変更、ファイルからのブート、一回限りのブート方法の選択、またはブート順序のデフォルト設定へのリセットを行います。

• **System Event Log**

この選択項目は、POST イベント・ログおよびシステム・イベント・ログを表示できるシステム・イベント・マネージャーに入る場合に選択します。エラー・ログでページ間を移動するには、矢印キーを使用できます。この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

POST イベント・ログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードおよびメッセージが含まれています。

システム・イベント・ログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、統合管理モジュール (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。

重要: サーバーの前面のシステム・エラー LED が点灯しているが、その他にはエラー表示が何もない場合は、システム・イベント・ログをクリアしてください。また、エラーの修復または修正が完了したら、システム・イベント・ログをクリアしてサーバー前面にあるシステム・エラー LED をオフにしてください。

– **POST Event Viewer**

この選択項目を選択して、POST エラー・メッセージを表示する POST イベント・ビューアーに入ります。

– **System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを表示する場合に選択します。

– **Clear System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを消去する場合に選択します。

• **User Security**

パスワードを設定、変更、またはクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、85 ページの『パスワード』を参照してください。

この選択項目は、Setup ユーティリティの完全および限定メニューに表示されます。

– **Set Power-on Password**

始動パスワードを設定または変更するには、この項目を選択します。詳しくは、86 ページの『始動パスワード』を参照してください。

– **Clear Power-on Password**

始動パスワードをクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、86 ページの『始動パスワード』を参照してください。

– **Set Administrator Password**

管理者パスワードを設定または変更する場合、この選択項目を選択します。管理者パスワードは、システム管理者が使用するもので、これによって Setup ユーティリティの完全メニューへのアクセスを制限します。管理者パスワードが設定されている場合、Setup ユーティリティの完全メニューが使用可能になるのは、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力した場合のみです。詳しくは、87 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

– **Clear Administrator Password**

管理者パスワードをクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、87 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

- **Save Settings**

変更した設定を保存するには、この項目を選択します。

- **Restore Settings**

変更した設定を取り消して、前回の設定をリストアするには、この項目を選択します。

- **Load Default Settings**

変更した設定を取り消して、工場出荷時の設定をリストアするには、この項目を選択します。

- **Exit Setup**

この選択項目を選択して、Setup ユーティリティを終了します。設定値に加え
た変更内容を保存していなかった場合は、変更を保存するか保存しないで終了す
るかを尋ねられます。

パスワード

「**User Security**」メニュー選択項目から、始動パスワードおよび管理者パスワード
を設定、変更、削除できます。

「**User Security**」メニュー選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューに
のみあります。

始動パスワードのみを設定している場合、システム始動を完了するため、および
Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするために、始動パスワードを入力
する必要があります。

管理者パスワードは、システム管理者が使用するものであり、Setup ユーティリ
ティの完全メニューへのアクセスを制限します。管理者パスワードのみを設定した場
合は、システムの始動時にパスワードを入力する必要はありませんが、Setup ユー
ティリティのメニューにアクセスする際に、管理者パスワードを入力する必要があ
ります。

ユーザーの始動パスワードおよびシステム管理者の管理者パスワードを設定した場
合、システム始動を完了するには始動パスワードを入力する必要があります。シス
テム管理者は、管理者パスワードを入力すると、Setup ユーティリティの完全メ
ニューにアクセスできます。システム管理者は、始動パスワードを設定、変更、お
よび削除するためのユーザー権限を与えることができます。始動パスワードを入力
したユーザーは、Setup ユーティリティの限定メニューにのみアクセスできます。
ユーザーは、システム管理者から権限が与えられている場合、始動パスワードの設
定、変更、および削除を行うことができます。

始動パスワード:

始動パスワードが設定されている場合、サーバーの電源をオンにした後、始動パスワードを入力するまではシステムの始動は完了しません。パスワードには、6 文字から 20 文字までの印刷可能な ASCII 文字を任意に組み合わせて使用できます。

始動パスワードが設定されると、Unattended Start モードを使用可能にすることができます。このモードでは、キーボードとマウスはロックされたままですが、オペレーティング・システムは始動できます。始動パスワードを入力することにより、キーボードとマウスのロックを解除できます。

始動パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法でサーバーへのアクセスを回復できます。

- 管理者パスワードが設定されている場合、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力します。Setup ユーティリティーを開始して、始動パスワードをリセットします。

重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

- サーバーからバッテリーを取り外し、30 秒待ってから、再度取り付けます。
- 始動パスワードのスイッチの位置を変更して (システム・ボード・スイッチ・ブロック (SW1) のスイッチ 2 を使用可能にする)、パスワード検査をバイパスします (詳しくは、26 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照)。

重要: スwitchの設定を変更したりジャンパーを動かしたりする場合は、その前にサーバーの電源をオフにして、電源コードと外部ケーブルをすべて外してください。vii ページの『安全について』で始まる『安全について』を参照してください。本書に表示されていないシステム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックでは、設定の変更またはジャンパーの移動を行わないでください。

スイッチ・ブロック SW1 上のすべてのスイッチのデフォルトは、「オフ」です。

サーバーの電源がオフの間に、スイッチ・ブロック (SW1) のスイッチ 2 を「オン」位置に移動して、始動パスワード・オーバーライドを使用可能にします。

Setup ユーティリティーを開始して、始動パスワードをリセットできます。スイッチを前の位置に戻す必要はありません。

始動パスワード・オーバーライド・スイッチは、管理者パスワードには影響しません。

管理者パスワード:

管理者パスワードを設定している場合、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。パスワードには、6 から 20 個の印刷可能な ASCII 文字の任意の組み合わせを使用できます。

重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

Boot Manager の使用

Boot Manager については、この情報を使用します。

このタスクについて

ブート・マネージャー・プログラムは標準装備されたメニュー方式の構成ユーティリティ・プログラムであり、Setup ユーティリティの設定を変更することなく、一時的に最初の始動装置を再定義するために使用できます。

ブート・マネージャー・プログラムを使用するには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーを再始動します。
3. 「<F12> Select Boot Device」というプロンプトが表示されたら、F12 を押します。
4. 上矢印キーと下矢印キーを使用してメニューから項目を選択し、Enter を押します。

タスクの結果

次にサーバーが始動するときは、Setup ユーティリティに設定された始動シーケンスに戻ります。

バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始

以下の情報を使用して、バックアップ・サーバー・ファームウェアを開始します。

システム・ボードには、サーバー・ファームウェア用のバックアップ・コピー領域があります。これはサーバー・ファームウェアの 2 次コピーであり、サーバー・ファームウェアの更新プロセス時にのみ更新されるものです。サーバー・ファームウェアの 1 次コピーが損傷した場合は、このバックアップ・コピーを使用してください。

サーバーを強制的にバックアップ・コピーから始動するには、サーバーの電源をオフにしてから、UEFI ブート・バックアップ・ジャンパーをバックアップ位置 (ピン 2 と 3) に設定して、UEFI リカバリー・モードを使用可能にします。UEFI ブート・バックアップ・ジャンパーの位置については、26 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照してください。

サーバー・ファームウェアの 1 次コピーがリストアされるまで、バックアップ・コピーを使用してください。1 次コピーがリストアされたら、サーバーの電源をオフにし、UEFI ブート・バックアップ・ジャンパーを 1 次の位置 (ピン 1 と 2) に戻します。

UpdateXpress System Pack Installer

UpdateXpress System Pack Installer は、ご使用のサーバーでサポートされ、インストールされているデバイス・ドライバおよびファームウェアを検出し、使用可能なアップデートをインストールします。

UpdateXpress システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolset/v1r0/>) にアクセスし、「UpdateXpress System Pack Installer」をクリックします。

UEFI のデフォルトをロードした後の電源ポリシー・オプションのデフォルトの設定値への変更

電源ポリシー・オプションのデフォルトの設定値は IMM2 によって設定されます。

このタスクについて

電源ポリシー・オプションをデフォルトの設定値に変更するには、以下のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。

注: サーバーが AC 電源に接続されてから約 20 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。管理者パスワードを設定している場合は、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするために、管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、Setup ユーティリティの限られたメニューしか利用できません。
3. 「System Settings」 > 「Integrated Management Module」を選択してから、「Power Restore Policy」の設定を Restore に設定します。
4. 「System Configuration and Boot Management」 > 「Save Settings」に戻ります。
5. 戻って、電源ポリシーの設定値をチェックし、これが「Restore」(デフォルト)に設定されていることを確認します。

次のタスク

重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

統合管理モジュールの使用

統合管理モジュール (IMM) は、以前にベースボード管理コントローラーのハードウェアで提供されていた機能の第 2 世代です。これは、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能を単一のチップにチップにまとめています。

IMM は、以下の基本的なシステム管理機能をサポートします。

- Active Energy Manager。
- アラート (インバンドおよびアウト・オブ・バンドのアラート、PET トラップ - IPMI スタイル、SNMP、E メール)。
- 自動ブート障害リカバリー (ABR)
- 2 個のマイクロプロセッサ構成で 1 個のマイクロプロセッサが内部エラーをシグナル通知した場合の障害時の自動マイクロプロセッサ使用不可および再始動。1 個のマイクロプロセッサが障害を起こした場合、サーバーは障害のあるマイクロプロセッサを使用不可にし、もう 1 個のマイクロプロセッサを使用して再始動します。
- POST が完了しなかった場合、またはオペレーティング・システムが停止してオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーがタイムアウトになった場合の、自動サーバー再始動 (ASR)。ASR 機能が使用可能になっている場合、IMM はオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーを監視し、タイムアウト後にシステムをリブートするように構成されている場合があります。そうでない場合、IMM は管理者がオペレーティング・システム・メモリー・ダンプのために Light Path 診断パネルの NMI ボタンを押して、マスク不可能割り込み (NMI) を生成することを許可します。ASR は IPMI でサポートされています。
- 仮想メディア・キー。これにより、リモート・プレゼンス・サポート (リモート・ビデオ、リモート・キーボード/マウス、およびリモート・ストレージ) が可能になります。
- ブート・シーケンス操作。
- コマンド・ライン・インターフェース。
- 構成の保存とリストア。
- DIMM エラー・アシスタンス。Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) により POST 中に検出された障害のある DIMM が使用不可になり、IMM により関連システム・エラー LED と障害のある DIMM のエラー LED が点灯します。
- 温度、電圧、ファン障害、パワー・サプライ障害、およびパワー・バックプレーン障害用のファン速度制御を備えた環境モニター。
- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) 仕様 V2.0 および Intelligent Platform Management Bus (IPMB) のサポート。
- 無効システム構成 (CONFIG) LED サポート。
- ファン、パワー・サプライ、マイクロプロセッサ、ハード・ディスクで発生したエラーとシステム・エラーを報告する Light Path 診断 LED インディケーター。
- ローカル・ファームウェア・コード・フラッシュ更新
- マスク不可能割り込み (NMI) の検出および報告

- オペレーティング・システム障害のブルー・スクリーン・キャプチャー。
- PCI 構成データ。
- 電源/リセット制御 (電源投入、ハードおよびソフト・シャットダウン、ハードおよびソフト・リセット、スケジュール電源制御)。
- パワー・サプライ入力電力の照会。
- ROM ベースの IMM ファームウェア・フラッシュ・アップデート。
- Serial over LAN (SOL)。
- Telnet または SSH を介したシリアル・ポート・リダイレクト。
- SMI 処理
- システム・イベント・ログ (SEL) - ユーザーが読み取り可能なイベント・ログ

IMM は、OSA SMBridge 管理ユーティリティ・プログラムを使用して、以下のリモート・サーバー管理機能も提供します。

• コマンド・ライン・インターフェース (IPMI シェル)

コマンド・ライン・インターフェースでは、IPMI 2.0 プロトコルを使用したサーバー管理機能への直接アクセスが可能です。 コマンド・ライン・インターフェースを使用すると、サーバー電源の制御、システム情報の表示、およびサーバーの識別を行うためにコマンドを実行できます。 また、1 つ以上のコマンドをファイルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行することもできます。

• Serial over LAN

リモートの場所からサーバーを管理するには、Serial over LAN (SOL) 接続を確立します。 リモートで UEFI 設定の表示および変更、サーバーの再始動、サーバーの識別、およびその他の管理機能の実行を行うことができます。 標準の Telnet クライアント・アプリケーションはどれも SOL 接続にアクセスできません。

IMM についての詳細は、「*Integrated Management Module II User's Guide*」(<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnidocid=migr-5086346>) を参照してください。

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール II (IMM2) に組み込まれた機能です。

リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスク・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスク・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーでできるようにします。

- ディスケット・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者は、ハング状態の原因を判別するためにブルー・スクリーン・キャプチャーを使用することができます。

IMM ホスト名の取得

以下の情報を使用して、IMM ホスト名を取得します。

このタスクについて

インストール後初めて IMM にログオンする場合、IMM のデフォルトは DHCP になっています。DHCP サーバーが利用不能の場合、IMM は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を使用します。デフォルトの IPv4 ホスト名は『IMM-』(IMM MAC アドレスの最後の 12 文字を追加)です。デフォルトのホスト名は、サーバーの背面にあるパワー・サプライについている IMM ネットワーク・アクセス・タグにも示されています。IMM ネットワーク・アクセス・タグは IMM のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

IPv6 リンク・ローカル・アドレス (LLA) は、IMM のデフォルトのホスト名から導き出されます。IMM LLA は、サーバーの背面にあるパワー・サプライの IMM ネットワーク・アクセス・タグにあります。リンク・ローカル・アドレスを導き出すには、以下の手順を実行します。

手順

1. IMM MAC アドレスの最後の 12 文字をとります (例えば、5CF3FC5EAAD0)。
2. この番号を 16 進文字のペアに分けます (例えば、5C:F3:FC:5E:AA:D0)。
3. 16 進文字を最初の 6 文字と最後の 6 文字に分けます。
4. 12 文字の中央に『FF』と『FE』を追加します (例えば、5C F3 FC FF FE 5E AA D0)。
5. 最初の 16 進文字のペアを2 進数に変換します (例えば 5=0101、C=1100 で、結果は 01011100 F3 FC FF FE 5E AA D0)。
6. 左から 7 番目の2 進文字数を (0 なら 1 に、1 なら 0 に) 反転させます。結果は 01011110 F3 FF FE 5E AA D0 となります。
7. 2 進数を 16 進数に戻します (例えば、5E F3FCFFFE5EAAD0)。

IMM 用の IP アドレスの取得

IMM 用の IP アドレスを取得するには、この情報を使用します。

このタスクについて

Web インターフェースにアクセスしてリモート・プレゼンス機能を使用するには、IMM の IP アドレスまたはホスト名が必要です。IMM の IP アドレスは、Setup ユーティリティを使用して取得できます。また、IMM のホスト名は、IMM ネットワーク・アクセス・タグから取得できます。サーバーには、IMM 用のデフォルト IP アドレス 192.168.70.125 があります。

IP アドレスを入手するには、以下のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。

注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。(このプロンプトは、数秒間しか画面に表示されません。素早く F1 を押してください。) 始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定している場合、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. Setup ユーティリティのメインメニューから「**System Settings**」を選択します。
4. 次の画面で「**Integrated Management Module**」を選択します。
5. 次の画面で「**Network Configuration**」を選択します。
6. IP アドレスを特定し、それを書き留めます。
7. Setup ユーティリティを終了します。

Web インターフェースへのログオン

以下の情報を使用して、Web インターフェースにログオンします。

このタスクについて

IMM Web インターフェースにログオンするには、次の手順を実行してください。

手順

1. サーバーに接続されているシステムで、Web ブラウザーを開きます。「アドレス」または「URL」フィールドに、接続する IMM の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

注: インストール後初めて IMM にログオンする場合、IMM のデフォルトは DHCP になっています。DHCP ホストが利用不能の場合、IMM は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を割り当てます。IMM ネットワーク・アクセス・タグは IMM のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

2. ログイン・ページで、ユーザー名とパスワードを入力します。 IMM を初めて使用する場合、ユーザー名とパスワードはシステム管理者から入手できます。 ログインの試行はシステム・イベント・ログにすべて記録されます。

注: IMM は、最初はユーザー名 `USERID` とパスワード `PASSWORD` (英字の `O` でなく `0`) を使用して設定されます。読み取り/書き込み権限が付与されています。このデフォルトのパスワードは、初回ログイン時に変更する必要があります。

3. 「**Log in**」をクリックしてセッションを開始します。「**System Status and Health**」ページにシステム状況のクイック・ビューが表示されます。

タスクの結果

注: IMM GUI を使用中にブートしてオペレーティング・システムをロードするときに、「**System Status**」 > 「**System State**」でメッセージ『**Booting OS or in unsupported OS**』が表示される場合は、Windows 2008 または 2012 ファイアウォールを無効にするか、Windows 2008 または 2012 コンソールに次のコマンドを入力してください。これは、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能にも影響を与える場合があります。

```
netsh firewall set icmpsetting type=8 mode=ENABLE
```

デフォルトで、icmp パケットは Windows ファイアウォールによってブロックされます。Web インターフェースと CLI インターフェースの両方で上記に示されたように設定を変更した後、IMM GUI は「OS booted」状況に変わります。

組み込みハイパーバイザーの使用

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアは、オプションの組み込みハイパーバイザー付き IBM USB フラッシュ・デバイスで使用可能です。

このタスクについて

USB フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクタに取り付けることができます (これらのコネクタの位置については、25 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照してください)。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。ハイパーバイザー機能をアクティブにするには、USB フラッシュ装置が必要です。

組み込みハイパーバイザー機能の使用を開始するには、**Setup** ユーティリティーの始動シーケンスに USB フラッシュ・デバイスを追加する必要があります。

USB フラッシュ・デバイスを始動シーケンスに追加するには、以下の手順を実行してください。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。
3. Setup ユーティリティのメインメニューから「**Boot Manager**」を選択します。
4. 「**Add Boot Option**」を選択し、次に「**Generic Boot Option**」 > 「**Embedded Hypervisor**」を選択します。Enter キーを押してから、Esc を選択します。
5. 「**Change Boot Order**」 > 「**Change the order**」を選択します。上矢印キーと下矢印キーを使用して「**Embedded Hypervisor**」を選択し、プラス(+) キーとマイナス (-) キーを使用して、ブート順序内で「**Embedded Hypervisor**」を移動します。「**Embedded Hypervisor**」がブート順序内の正しい位置になったら、Enter キーを押します。「**Commit Changes**」を選択して Enter キーを押します。
6. 「**Save Settings**」を選択し、次に「**Exit Setup**」を選択します。

タスクの結果

組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・イメージが破損した場合、
<http://www.ibm.com/systems/x/os/vmware/esxi/>からイメージをダウンロードすることができます。

追加情報と手順については、「VMware vSphere 4.1 Documentation」(http://www.vmware.com/support/pubs/vs_pages/vsp_pubs_esxi41_e_vc41.html) または
「VMware vSphere Installation and Setup Guide」(<http://pubs.vmware.com/vsphere-50/topic/com.vmware.ICbase/PDF/vsphere-esxi-vcenter-server-50-installation-setup-guide.pdf>)
を参照してください。

Ethernet コントローラーの構成

以下の情報を使用して、イーサネット・コントローラーを構成します。

イーサネット・コントローラーはシステム・ボードに組み込まれています。これらのコントローラーは、10 Mbps、100 Mbps、または 1 Gbps のネットワークに接続するためのインターフェースを提供し、さらにネットワーク上のデータの同時送受信を可能にする全二重 (FDX) 機能を提供します。サーバーのイーサネット・ポートがオートネゴシエーションをサポートしている場合は、コントローラーは、ネットワークのデータ転送速度 (10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-T) と二重モード (全二重または半二重) を検出し、自動的にその速度とモードで稼働します。

ジャンパーをセットしたりコントローラーを構成したりする必要はありません。ただし、デバイス・ドライバをインストールして、オペレーティング・システムがコントローラーをアドレスできるようにする必要があります。

デバイス・ドライバおよびイーサネット・コントローラーの構成に関する情報を検索するには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化

Features on Demand Ethernet ソフトウェアを使用可能にするには、この情報を使用します。

統合管理モジュールに組み込まれている、Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand (FoD) ソフトウェア・アップグレード・キーをアクティブにすることができます。Features on Demand Ethernet ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」を参照してください。資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/>にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックします。

Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化

Features on Demand RAID ソフトウェアを使用可能にするには、この情報を使用します。

統合管理モジュールに組み込まれている RAID 用の Features on Demand (FoD) ソフトウェア・アップグレード・キーをアクティブにすることができます。Features on Demand RAID ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」を参照してください。資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/>にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックします。

RAID アレイの構成

Setup ユーティリティを使用して、RAID アレイを構成するユーティリティにアクセスすることができます。

このタスクについて

アレイを構成する特定の手順は、ご使用の RAID コントローラーによって異なります。詳しくは、ご使用の RAID コントローラー用の説明書を参照してください。RAID コントローラーのユーティリティにアクセスするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

注: サーバーが電源に接続されてから約 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1 Setup>」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードを設定している場合は、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするために、管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、Setup ユーティリティの限られたメニューしか利用できません。
3. 「**System Settings**」 > 「**Storage**」を選択します。
4. Enter キーを押して、デバイス・ドライバーのリストを最新表示します。
5. ご使用の RAID コントローラーに適したデバイス・ドライバーを選択し、Enter キーを押します。

6. ご使用の RAID コントローラーの説明書にある指示に従います。

IBM Advanced Settings ユーティリティ・プログラム

IBM Advanced Settings ユーティリティ (ASU) プログラムは、UEFI 設定の変更を行うための、Setup ユーティリティの代替となるプログラムです。

ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができるので、Setup ユーティリティにアクセスするためにシステムを再始動する必要がありません。

また、ASU プログラムを使用して、オプションのリモート・プレゼンス機能またはその他の IMM2 設定を構成できます。 リモート・プレゼンス機能は、システム管理の拡張機能を備えています。

また、ASU プログラムを使用すると、コマンド・ライン・インターフェースから IMM LAN over USB インターフェースを構成することもできます。

セットアップ・コマンドを実行するには、コマンド・ライン・インターフェースを使用します。 すべての設定をファイルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行できます。 ASU プログラムは、バッチ処理モードを使用したスクリプト環境をサポートします。

ASU プログラムの詳しい説明とダウンロードについては、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-ASU> にアクセスしてください。

IBM Systems Director の更新

以下の情報を使用して、IBM Systems Director を更新します。

このタスクについて

サーバーの管理に IBM Systems Director を使用する予定がある場合は、IBM Systems Director に適用可能な最新の更新と暫定修正があるかどうかを確認する必要があります。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

最新バージョンのインストール

このタスクについて

最新バージョンの IBM Systems Director を見つけてインストールするには、次のステップを実行してください。

手順

1. IBM Systems Director の最新バージョンを確認します。
 - a. <http://www.ibm.com/systems/software/director/resources.html> に進みます。
 - b. サーバーに付属しているものよりも新しいバージョンの IBM Systems Director がドロップダウン・リストに表示されている場合は、Web ページの指示に従って最新バージョンをダウンロードしてください。
2. IBM Systems Director プログラムをインストールします。

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合の更新のインストール

このタスクについて

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合に更新と暫定修正を特定してインストールするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ディスカバリーとインベントリーの収集タスクを実行したことを確認します。
2. IBM Systems Director Web インターフェースのウェルカム・ページで、「更新の表示」をクリックします。
3. 「**Check for updates**」をクリックします。表に使用可能な更新が表示されます。
4. インストールする更新を選択して、「**Install**」をクリックします。インストール・ウィザードが開始します。

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合の更新のインストール

このタスクについて

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合に更新と暫定修正を特定してインストールするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ディスカバリーとインベントリーの収集タスクを実行したことを確認します。
2. インターネットに接続されているシステムで、<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスします。
3. 「**Product family**」リストから「**IBM Systems Director**」を選択します。
4. 「**Product**」リストから「**IBM Systems Director**」を選択します。
5. 「**Installed version**」リストから最新バージョンを選択して、「**Continue**」をクリックします。
6. 使用可能な更新をダウンロードします。

7. ダウンロードしたファイルを管理サーバーにコピーします。
8. 管理サーバーの IBM Systems Director Web インターフェースのウェルカム・ページで、「管理」タブをクリックし、「更新マネージャー」をクリックします。
9. 「**Import updates**」をクリックして、管理サーバーにコピーしたダウンロード済みファイルの場所を指定します。
10. Web インターフェースのウェルカム・ページに戻り、「**View updates**」をクリックします。
11. インストールする更新を選択して、「**Install**」をクリックします。インストール・ウィザードが開始します。

汎用固有 ID (UUID) の更新

システム・ボードを交換した場合、汎用固有 ID (UUID) を更新する必要があります。Advanced Settings ユーティリティを使用して、UEFI ベースのサーバーの UUID を更新します。

このタスクについて

ASU は、複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしてください。ASU は、IBM Web サイトからダウンロードできます。ASU をダウンロードし、UUID を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

手順

1. Advanced Settings ユーティリティ (ASU) をダウンロードします。
 - a. <http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスします。
 - b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
 - c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
 - d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
 - e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。
2. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で UUID を設定します。次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、UUID を設定します。
 - ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
 - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
 - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)
3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。

- Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - *ibm_rndis_server_os.inf*
 - *device.cat*
 - Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - *cdc_interface.sh*
4. ASU をインストールした後、次のコマンド構文を使用して UUID を設定します。asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> [access_method]

ここで、

<uuid_value>

ユーザーが割り当てる最大 16 バイトの 16 進値。

[access_method]

以下の方式からユーザーが使用することを選択したアクセス方式。

- オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>] [password <imm_password>]

ここで、

imm_internal_ip

IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。 デフォルト値は 169.254.95.118 です。

imm_user_id

IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。 デフォルト値が使用され、ASU がオンライン認証 LAN アクセス方式を使用して IMM にアクセスできない場合、ASU は自動的に非認証 KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --user <user_id>
--password <password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
```

KCS アクセス方式は IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。詳細については、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」を参照してください。

「ASU Users Guide」には IBM Web サイトからアクセスできます。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

- a. <http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスします。
 - b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
 - c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
 - d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
 - e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。「**Online Help**」のところまでスクロールダウンし、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードします。
- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

```
host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
```

ここで、

imm_external_ip

外部 IMM LAN IP アドレス。デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

imm_user_id

IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
--user <user_id> --password <password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
```

- ブート可能メディア:

ToolsCenter Web サイト (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER>) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「**IBM ToolsCenter**」ページをスクロールダウンし、該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

DMI/SMBIOS データの更新

DMI/SMBIOS データを更新するには、この情報を使用します。

このタスクについて

システム・ボードを交換した場合、Desktop Management Interface (DMI) を更新する必要があります。Advanced Settings ユーティリティを使用して、UEFI ベースのサーバーの DMI を更新します。ASU は複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしてください。IBM Web サイトから ASU をダウンロードすることができます。ASU をダウンロードし、DMI を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

手順

1. Advanced Settings ユーティリティ (ASU) をダウンロードします。
 - a. <http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスします。
 - b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
 - c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
 - d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
 - e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。
2. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で DMI を設定します。次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、DMI を設定します。
 - ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
 - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
 - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)
3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。
 - Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - *ibm_rndis_server_os.inf*
 - *device.cat*

- Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:

- *cdc_interface.sh*

4. ASU をインストールした後、以下のコマンドを入力して DMI を設定します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> [access_method]
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> [access_method]
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> [access_method]
```

ここで、

<m/t_model>

サーバーのマシン・タイプおよび型式番号。 *mtm xxxxyyy* と入力してください。ここで、*xxxx* はマシン・タイプ、*yyy* はサーバーの型式番号です。

<s/n>

サーバーのシリアル番号。 *sn zzzzzzz* と入力します。ここで、*zzzzzzz* はシリアル番号です。

<asset_method>

サーバーの資産タグ番号。 *asset aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa* と入力します。ここで、*aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa* は資産タグ番号です。

[access_method]

以下の方式からユーザーが選択したアクセス方式。

- オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

```
[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>] [password <imm_password>]
```

ここで、

imm_internal_ip

IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。 デフォルト値は 169.254.95.118 です。

imm_user_id

IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。 デフォルト値が使用され、ASU がオンライン認証 LAN アクセス方式を使用して IMM にアクセスできない場合、ASU は自動的に非認証 KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
```



```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --user <imm_user_id>
--password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

KCS アクセス方式は IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。

「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードするには、以下の手順を実行します。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

- a. <http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスします。
 - b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
 - c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
 - d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
 - e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。「**Online Help**」のところまでスクロールダウンし、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードします。
- 以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

```
host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
```

ここで、

imm_external_ip

外部 IMM LAN IP アドレス。 デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

imm_user_id

IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> --host <imm_ip>
```

- ブート可能メディア:

ToolsCenter Web サイト (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=TOOL-CENTER>) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「**IBM ToolsCenter**」ページをスクロールダウンし、該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

第 4 章 トラブルシューティング

この章では、サーバーで発生した問題を解決するために役立つ診断ツールとトラブルシューティング情報について説明します。

この章の情報を使用しても問題の診断や訂正ができない場合は、513 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照して詳しい情報を入手してください。

ここから開始します

多くの問題は、本書およびワールド・ワイド・ウェブ (WWW) にあるトラブルシューティング手順に従うことで、外部の支援を得ずに解決することができます。

本書には、お客様が実行できる診断テスト、トラブルシューティング手順、およびエラー・メッセージとエラー・コードの説明が記載されています。ご使用のオペレーティング・システムおよびソフトウェアに付属の資料にも、トラブルシューティング情報が含まれています。

問題の診断

IBM または認定保証サービス提供者に連絡する前に、以下の手順を、ここに示されている順序で実行して、サーバーに関する問題を診断してください。

手順

1. **問題が発生する前の状態にサーバーを戻します。** 問題が発生する前に変更したハードウェア、ソフトウェア、あるいはファームウェアがある場合は、可能であればそれらの変更を元に戻します。これを行う対象には、以下の項目があります。
 - ハードウェア・コンポーネント
 - デバイス・ドライバーおよびファームウェア
 - システム・ソフトウェア
 - UEFI ファームウェア
 - システム入力電力またはネットワーク接続
2. **Light Path 診断 LED およびイベント・ログを確認します。** このサーバーは、ハードウェアおよびソフトウェアの問題診断が容易に行えるように設計されています。
 - **Light Path 診断 LED** Light Path 診断 LED の使用については、Light Path 診断を参照してください。
 - **イベント・ログ:** 通知イベントおよび診断については、119 ページの『イベント・ログ』を参照してください。
 - **ソフトウェアまたはオペレーティング・システムのエラー・コード:** 特定のエラー・コードに関する情報は、ソフトウェアまたはオペレーティング・システムの資料を参照してください。資料については、製造メーカーの Web サイトをご覧ください。

3. **IBM Dynamic System Analysis (DSA)** を実行して、システム・データを収集します。ハードウェア、ファームウェア、ソフトウェア、およびオペレーティング・システムについての情報を収集するには、Dynamic System Analysis (DSA) を実行します。IBM または認定保証サービス提供者に連絡する際に、この情報を提供してください。DSA の実行方法については、「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を参照してください。

最新バージョンの DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA> にアクセスしてください。

4. **コードの更新を確認して、適用します。** 多くの問題に対応するフィックスまたは回避策が、更新済みの UEFI ファームウェア、デバイス・ファームウェア、またはデバイス・ドライバで使用可能である場合があります。・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスしてください。

重要: 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバ更新をインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

- a. **UpdateXpress システム更新をインストールします。** UpdateXpress System Pack または UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。UpdateXpress System Pack には、サーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバ更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。さらに、IBM ToolsCenter Bootable Media Creator を使用して、ファームウェア更新の適用およびブート診断の実行に適切なブート可能メディアを作成することができます。UpdateXpress System Pack について詳しくは、および 73 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。Bootable Media Creator について詳しくは、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-BOMC>を参照してください。

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress System Pack または UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがある場合は、必ず個別にインストールしてください (ステップ 4b を参照)。

- b. **手動のシステム更新をインストールします。**

- 1) **既存のコード・レベルを判別します。**

DSA で、「**Firmware/VPD**」をクリックしてシステム・ファームウェア・レベルを表示するか、「**Software**」をクリックしてオペレーティング・システム・レベルを表示します。

- 2) 最新レベルではないコードの更新をダウンロードして、インストールします。

・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、
<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスしてください。

更新をクリックすると、情報ページが表示され、その更新で修正された問題のリストが記載されています。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていない場合、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

5. 構成の誤りを確認して、訂正します。サーバーが誤って構成されている場合、それを使用可能にするとシステム機能に障害が起きることがあります。サーバーの構成を誤って変更した場合、使用可能であったシステム機能が作動を停止することがあります。
 - a. インストール済みのすべてのハードウェアおよびソフトウェアがサポートされていることを確認します。 <http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照して、サーバーがインストール済みのオペレーティング・システム、オプション装置、およびソフトウェア・レベルをサポートしていることを確認してください。サポートされていないハードウェアまたはソフトウェア・コンポーネントがある場合、それをアンインストールして、それが問題の原因ではないかどうかを判別します。IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を求める前に、サポートされていないハードウェアを取り外す必要があります。
 - b. サーバー、オペレーティング・システム、およびソフトウェアのインストールおよび構成が正しく行われていることを確認します。多くの構成問題は、電源ケーブルや信号ケーブルの緩み、あるいはしっかり取り付けられていないアダプターに原因があります。サーバーの電源をオフにし、ケーブルを接続し直し、アダプターを取り付け直して、サーバーの電源をオンに戻すことで、問題を解決できる場合があります。チェックアウト手順の実行については、109 ページの『チェックアウト手順について』を参照してください。サーバーの構成については、73 ページの『第 3 章 構成情報と説明』を参照してください。
6. コントローラーおよび管理ソフトウェアの資料を参照します。問題が特定の機能に関連している場合 (例えば、RAID ハード・ディスクが RAID アレイにオフラインとしてマークされる場合) には、関連のコントローラーと管理または制御ソフトウェアの資料を参照して、コントローラーが正しく構成されていることを確認してください。

RAID アダプターおよびネットワーク・アダプターなど、さまざまなデバイスの問題判別に関する情報を入手できます。

オペレーティング・システムまたは IBM ソフトウェアやデバイスに関する問題については、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

7. トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを確認します。トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントには、既知の問題および推奨される解決策が文書化されています。トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを検索するには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

8. **トラブルシューティング表を使用します。** 識別可能な現象が発生している問題の解決方法を見つけるには、127 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

単一の問題が複数の現象の原因になっていることがあります。最も顕著な現象のトラブルシューティング手順に従ってください。その手順で問題を診断できない場合は、可能であれば、別の現象に関する手順を使用してください。

問題が解決しない場合は、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して、追加の問題判別および場合によってはハードウェアの交換について支援を求めてください。オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスしてください。エラー・コードおよび収集されたデータに関する情報を提供できるように準備してください。

文書化されていない問題

診断手順を完了しても問題が残る場合、その問題はこれまでに IBM によって確認されていない可能性があります。すべてのコードが最新レベルであり、すべてのハードウェアおよびソフトウェアの構成が有効であり、どの Light Path 診断 LED およびログ項目もハードウェア・コンポーネントの障害を示していないことを確認した後で、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を得てください。

オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスしてください。エラー・コード、収集されたデータ、および使用した問題判別手順についての情報を提供できるように準備してください。

Service Bulletin

IBM では、IBM System x3250 M4 サーバーで発生する可能性がある問題を解決するためにお客様が利用できる最新のヒントと技法によって、サポートの Web サイトを常時更新しています。

IBM IBM System x3250 M4サーバーに使用可能な Service Bulletin を検索するには、 にアクセスして、2583 と retain を検索してください。

チェックアウト手順

チェックアウト手順は、サーバーの問題を診断するために行う必要がある一連の作業です。

チェックアウト手順について

ハードウェアの問題を診断するためのチェックアウト手順を行う前に、以下の情報をよくお読みください。

- vii ページの『安全について』ページから始まる『安全について』をお読みください。
- IBM Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの主要コンポーネント (システム・ボード、イーサネット・コントローラー、キーボード、マウス (ポインティング・デバイス)、シリアル・ポート、およびハード・ディスクなど) の基本テスト方式を提供します。これらのプログラムを使用して、一部の外部装置をテストすることもできます。問題の原因がハードウェアにあるか、ソフトウェアにあるかが不確実な場合は、診断プログラムを使用して、ハードウェアが正しく作動しているかどうかを確認することができます。
- DSA を実行すると、1 つの問題で複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に DSA を実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

例外: 複数のエラー・コードあるいは複数の Light Path 診断 LED が 1 つのマイクロプロセッサ・エラーを示す場合、エラーはマイクロプロセッサ内またはマイクロプロセッサ・ソケット内にある可能性があります。マイクロプロセッサ問題の診断については、135 ページの『マイクロプロセッサ問題』を参照してください。

- DSA を実行する前に、障害のあるサーバーが共用ハード・ディスク・クラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のシステム) の一部であるかどうかを判断する必要があります。クラスターの一部である場合は、記憶装置 (つまり、記憶装置内のハード・ディスク) または記憶装置に接続されているストレージ・アダプターをテストするプログラムを除いて、すべての診断プログラムを実行できます。以下の場合は、障害のあるサーバーがクラスターの一部である可能性があります。
 - ユーザーが、障害のあるサーバーがクラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のサーバー) の一部であると確認した場合。
 - 1 つ以上の外部記憶装置が障害を起こしているサーバーに接続されており、接続されている記憶装置の少なくとも 1 つは別のサーバーまたは未確認装置にも接続されている場合。
 - 1 つ以上のサーバーが、障害を起こしているサーバーの近くに配置されている場合。

重要: サーバーが共用ハード・ディスク・クラスターの一部である場合は、一度に 1 つだけテストを実行してください。「クイック」テストや「通常」テストなど、一組になっているテストを実行しないでください。これを行うと、一連のハード・ディスク診断テストが使用可能にされることがあります。

- サーバーが停止され、POST エラー・コードが表示される場合は UEFI/POST エラー・コードを参照してください。サーバーが停止されるが、エラー・メッセージが表示されない場合は、127 ページの『現象別トラブルシューティング』および 145 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

- パワー・サプライの問題については、143 ページの『電源の問題の解決』、139 ページの『電源問題』、および 116 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。
- 偶発的な問題が生じる場合は、イベント・ログをチェックしてください。これについては、119 ページの『イベント・ログ』および DSA メッセージを参照してください。

チェックアウト手順の実行

チェックアウト手順の実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

チェックアウト手順を実行するには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーはクラスターの一部ですか。
 - **いいえ:** ステップ 2 に進みます。
 - **はい:** クラスターに関連した、障害のあるすべてのサーバーをシャットダウンします。 ステップ 2 に進みます。
2. 次のステップを実行してください。
 - a. パワー・サプライ LED を検査します (116 ページの『パワー・サプライ LED』を参照)。
 - b. サーバーおよび接続されているすべての外部デバイスの電源をオフにします。
 - c. すべての内部デバイスおよび外部デバイスの互換性について、
<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>で確認します。
 - d. ケーブルおよび電源コードをすべてチェックします。
 - e. すべてのディスプレイ制御装置を中間位置に設定します。
 - f. すべての外部デバイスの電源を入れます。
 - g. サーバーの電源を入れます。サーバーが始動しない場合は、127 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。
 - h. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED を確認します。それが点灯している場合は、Light Path 診断 LED をチェックします (Light Path 診断を参照)。
 - i. 以下の結果が生じているかどうかを確認します。
 - POST の正常終了 (詳しくは、123 ページの『POST』を参照)。
 - オペレーティング・システム・デスクトップ上の読み取り可能な画面によって示される、始動の正常終了。
3. 判読可能なイメージがモニター画面に表示されていますか。
 - **いいえ:** 127 ページの『現象別トラブルシューティング』で障害の現象を見つけ出します。必要があれば、145 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

- **はい:** DSA を実行します (125 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。
 - DSA がエラーを報告する場合は、DSA メッセージ の指示に従ってください。
 - DSA がエラーを報告しなくても、なお問題があると思われる場合は、145 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

診断ツール

次のツールは、ハードウェア関連の問題の診断と解決に役立ちます。

- **Light Path 診断**

Light Path 診断を使用して、システム・エラーを迅速に診断します。詳しくは、Light Path 診断を参照してください。

- **イベント・ログ**

イベント・ログには、サブシステム IMM2、POST、DSA、およびサーバー・ベースボード管理コントローラーのエラーの検出時に生成されるエラー・コードとメッセージがリストされます。詳しくは、119 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

- **統合管理モジュール II**

統合管理モジュール II (IMM2) では、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わせられています。IMM は、高度なサービス・プロセッサの制御、モニター、およびアラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が起きたりすると、IMM は、問題の診断に役立つよう LED を点灯して、IMM イベント・ログにエラーを記録し、ユーザーに問題のアラートを出します。オプションで、IMM はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。IMM は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

- Intelligent Platform Management Protocol (IPMI) バージョン 2.0
- Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3
- Common Information Model (CIM)
- Web ブラウザー

統合管理モジュール II (IMM2) の詳細については、89 ページの『統合管理モジュールの使用』、統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ、および「*Integrated Management Module II User's Guide*」 (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=migr-5086346>) を参照してください。

- **IBM Dynamic System Analysis**

問題を診断するために、DSA Portable および DSA Preboot の 2 つのエディションの IBM Dynamic System Analysis (DSA) が使用可能です。

- DSA Portable

DSA Portable は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。DSA Portable は、サーバーのオペレーティング・システム上で稼働し、サーバーに関する以下の情報を収集します。

- ドライブのヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサのイベント・ログ
- 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
- インストールされているアプリケーションとホット・フィックス
- カーネル・モジュール
- Light Path 診断の状況
- マイクロプロセッサ、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサ (統合管理モジュール) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Portable は DSA ログを作成します。これはシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、統合管理モジュール (IMM) イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。この DSA ログをファイルとして IBM サポートに送信する (IBM サポートに必要な場合) か、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することができます。

注: 最新の構成データを使用していることを確認するために、使用可能な最新バージョンの DSA を使用してください。DSA の資料およびダウンロード情報については、<http://www.ibm.com/systems/management>を参照してください。

追加情報については、123 ページの『IBM Dynamic System Analysis』および DSA メッセージを参照してください。

- DSA Preboot

DSA Preboot 診断プログラムは、サーバーの内蔵 USB メモリーに格納されます。DSA Preboot は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収集して分析し、サーバーにおける主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。DSA Preboot は、サーバーに関する以下の情報を収集します。

- ドライブのヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサのイベント・ログ
- 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
- Light Path 診断の状況
- マイクロプロセッサ、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサ (統合管理モジュール) の状況および構成

- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付け済みの場合) の診断も提供します。

1. Emulex ネットワーク・アダプター
2. IMM I2C バス
3. Light Path 診断パネル
4. メモリー・モジュール
5. マイクロプロセッサ
6. 光ディスク装置 (CD または DVD)
7. SAS または SATA ドライブ

DSA Preboot プログラムをサーバーで実行する場合の詳細については、125 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。

• 現象別トラブルシューティング

これらの表には、問題の現象と、問題を訂正するための処置がリストされています。詳しくは、127 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

エラー LED

このセクションでは、システム・ボード上のエラー LED と、検出された問題を訂正するための推奨処置について説明します。

図はシステム・ボード LED を示しています。システム・ボードには、エラー LED があり、これらの LED がエラーの発生源を特定するのに役立ちます。診断プログラムを実行して、エラーの原因を検出します (123 ページの『IBM Dynamic System Analysis』を参照)。

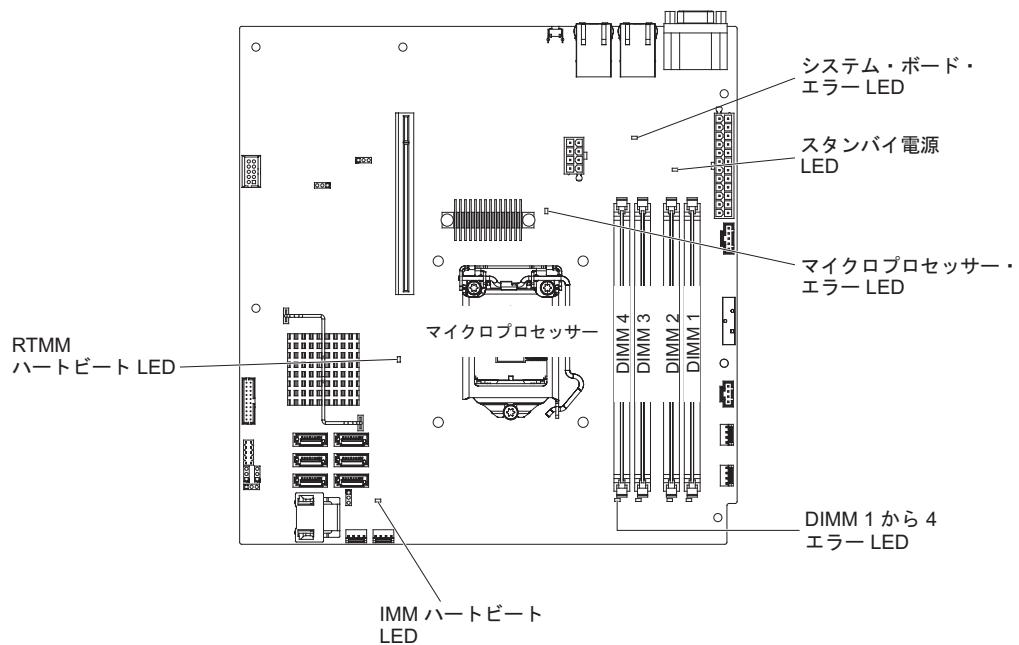


図 25. システム・ボード上の LED

サーバーが AC 給電部に接続されていて、パワー・サプライが正常に作動していれば、サーバーの電源がオンになっていなくても LED が点灯するように設計されています。オペレーティング・システムがシャットダウンしたときに問題を切り分けるには、この機構が役に立ちます。

注: 給電部からサーバーを切り離すと、LED が点灯しないために LED の表示ができなくなります。給電部を切り離す前にどの LED が点灯しているかをメモしておきます。これには、オペレーション情報パネル上で点灯している LED、およびサーバー内部のシステム・ボードにある LED も含まれます。

ほとんどのエラーは、最初にサーバーのコントロール・パネル・アセンブリーのシステム・エラー LED の点灯によって示されます。この LED が点灯した場合は、サーバー内の別の場所にある 1 つ以上の LED も点灯していることがあり、そこからエラーの原因を突き止めることができます。

LED を確認するためにサーバーの内部で作業するときは、事前に vii ページの『安全について』と 42 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

エラーが発生した場合は、次の順序でサーバーの LED を見てください。

1. サーバー前面のコントロール・パネル・アセンブリーをチェックします。システム・エラー LED が点灯しているときは、エラーが発生したことを示します。
2. サーバーの前面および背面をチェックし、コンポーネント LED が点灯しているものがないかを判別します。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外し、サーバーの内部を見て、点灯している LED がないかどうかを確認します。サーバー内のいくつかのコンポーネントには LED が付いていて、問題の場所を示すために点灯します。例えば、DIMM エラーでは、システム・ボード上の障害の起きている DIMM のすぐ隣にある LED が点灯します。

4. サーバーのトップ・カバーの内側にあるシステム・サービス・ラベルを見てください。そこには内部コンポーネントの概要が掲載されています。この情報だけでエラーを修復するのに十分な場合がよくあります。

次の表では、システム・ボード上の LED と、検出された問題を訂正するための推奨処置について説明します。

表 12. LED ライトごとに検出された問題を修正するための推奨アクション

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。		
LED	説明	処置
DIMM エラー LED	メモリー DIMM に障害があるか、誤って取り付けられています。	- エラー LED が点灯している DIMM を取り外します。 - DIMM を取り付け直します。 - 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 - DIMM (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード
マイクロプロセッサ・エラー LED	マイクロプロセッサは、障害が発生しているか、欠落しているか、誤って取り付けられています。 注: (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサが正しく取り付けられていることを確認します (240 ページの『マイクロプロセッサとヒートシンクの交換』を参照)。	- システム・イベント・ログをチェックして、LED が点灯した理由を判別します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサを取り付け直します。 - 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサ (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード
システム・ボード・エラー LED	システム・ボード CPU VRD または電源電圧調節装置 (あるいはその両方) に障害があります。	(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

表 12. LED ライトごとに検出された問題を修正するための推奨アクション (続き)

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。		
LED	説明	処置
IMM2 ハートビート LED	IMM2 のブート・プロセスの状況を示します。 サーバーが電源に接続されている場合、この LED は短い間隔で点滅して、IMM2 コードがロード中であることを示します。ロードが完了すると、LED は一時的に点滅を停止してから、長い間隔で点滅して、IMM2 が完全に作動可能であることを示します。こうなると、電源制御ボタンを押してサーバーを始動できます。	サーバーを電源に接続してから 30 秒以内に LED が点滅を開始しない場合は、以下のステップを実行してください。 (トレーニングを受けた技術員のみ) ファームウェアを回復します (147 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照)。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
RTMM ハートビート LED	パワーオンおよびパワーオフの順序付け。	- この LED が 1 Hz で点滅する場合は、正常に機能しておりアクションは必要ありません。 (トレーニングを受けた技術員のみ) LED が点滅していない場合は、システム・ボードを交換します。

パワー・サプライ LED

このセクションでは、サーバーの背面にあるパワー・サプライ LED、および検出された問題を修正するための推奨アクションについて説明します。

サーバーを始動するために必要な最小構成は、以下のとおりです。

- 1 個のマイクロプロセッサ
- 1 個の 1 GB DIMM
- パワー・サプライ
- 電源コード
- ServeRAID SAS/SATA アダプター
- 4 個の冷却ファン

次の図は、固定パワー・サプライ・モデル背面の LED とコネクタを示しています。

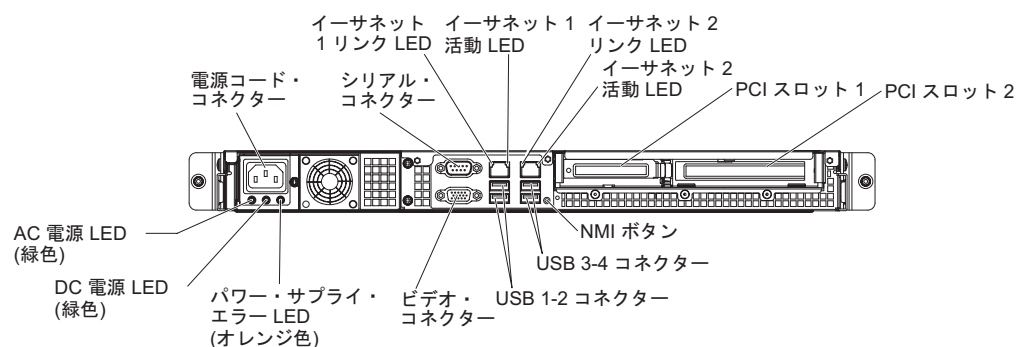


図 26. 固定パワー・サプライ・モデル背面の LED とコネクタ

次の図は、冗長パワー・サプライ・モデル背面の LED とコネクタを示しています。

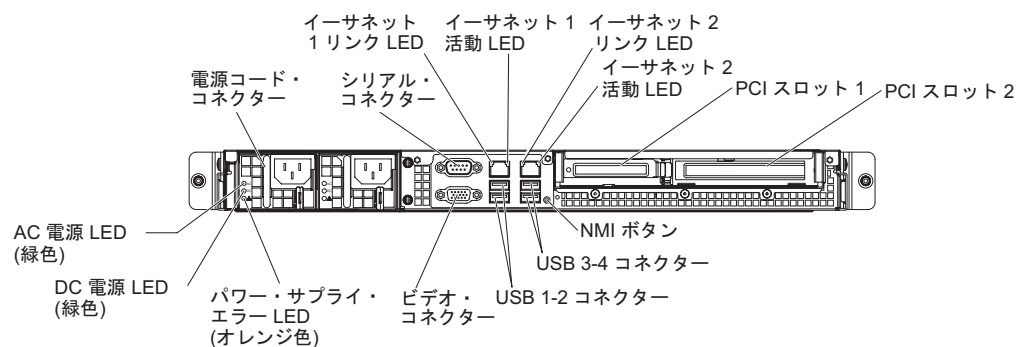


図 27. 冗長パワー・サプライ・モデル背面の LED とコネクタ

次の表は、パワー・サプライ LED のさまざまな組み合わせによって示される問題と、検出された問題を修正するための推奨アクションを説明します。

表 13. パワー・サプライ LED

AC パワー・サプライ LED			説明	処置	注
AC	DC	エラー			
オン	オン	オフ	正常に作動		
オフ	オフ	オフ	サーバーに AC 電源が接続されていない、または AC 給電部に問題がある。	- サーバーへの AC 電源をチェックします。 - 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。 - サーバーを再始動します。エラーが修正されない場合は、パワー・サプライ LED を確認します。 - 問題が解決しない場合は、パワー・サプライを交換します。	AC 電源を接続していないときは、これが正常な状態です。

表 13. パワー・サプライ LED (続き)

AC パワー・サプライ LED			説明	処置	注
AC	DC	エラー			
オン	オフ	オフ	障害のあるシステム・ボードまたは障害のあるパワー・サプライ	1. サーバーの電源をオフにし、サーバーの電源コードを切り離し、電源コードを再接続します。 2. システム・ボード・エラー (障害) LED が点灯していない場合は、パワー・サプライを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード・エラー LED が点灯している場合は、システム・ボードを交換します。	パワー・サプライが完全に差し込まれていないことを示す典型的な例です。これはシステムの電源をオンにする前の正常な状態です。
オン	オフまたは点滅	オン	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換してください。	
オン	オン	オフ	正常に作動		
オン	オン	オン	パワー・サプライに障害があるが、まだ作動可能	パワー・サプライを交換してください。	

システム・パルス LED

このセクションでは、システムのパワーオンとパワーオフおよびブート進行をモニターする、システム・ボード上のシステム・パルス LED について説明します。

以下の LED はシステム・ボードにあり、システムのパワーオンとパワーオフの順序付けおよびブート進行をモニターします (これらの LED の場所については、28 ページの『システム・ボードの LED』を参照してください)。

表 14. システム・パルス LED

LED	説明	処置
RTMM ハートビート	パワーオンおよびパワーオフの順序付け。	1. LED が 1Hz で点滅する場合は正しく機能しているため、処置は不要です。 2. LED が点滅していない場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

表 14. システム・パルス LED (続き)

LED	説明	処置
IMM2 ハートビート	IMM2 ハートビート・ブート・プロセス。	IMM2 ハートビート順序付けプロセスのさまざまなステージを以下のステップで説明します。 1. この LED が高速で点滅している場合 (約 4Hz)、IMM2 コードがロード・プロセス中であることを示します。 2. この LED が一時的にオフになると、IMM2 コードのロードが完了したことを示します。 3. この LED が一時的にオフになってから低速で点滅し始める場合 (約 1Hz)、IMM2 が完全に作動可能であることを示します。この時点で、電源制御ボタンを押してサーバーの電源をオンにすることができます。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 給電部をサーバーに接続してから 30 秒以内にこの LED が点滅しない場合は、システム・ボードを交換します。

イベント・ログ

POST イベント・ログ、システム・イベント・ログ、統合管理モジュール (IMM2) イベント・ログ、および DSA イベント・ログに、エラー・コードとメッセージが表示されます。

- POST イベント・ログ:** このログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードとメッセージが入っています。 POST イベント・ログの内容は、Setup ユーティリティーから表示できます (79 ページの『Setup ユーティリティーの開始』を参照)。POST エラー・コードについては、UEFI/POST エラー・コードを参照してください。
- システム・イベント・ログ:** このログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、統合管理モジュール (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。 システム・イベント・ログの内容は、Setup ユーティリティーおよび Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (IPMI イベント・ログとして) 表示することができます。

システム・イベント・ログにはサイズの制限があります。 ログがフルになっても、新しい項目が既存の項目を上書きしません。したがって、Setup ユーティリティーを使用して、定期的にシステム・イベント・ログを消去する必要があります。 エラーのトラブルシューティング中に最新のイベントを分析できるようにするには、システム・イベント・ログを保管してからクリアする必要がある場合があります。 システム・イベント・ログについて詳しくは、統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージを参照してください。

メッセージは画面の左側にリストされ、選択されたメッセージの詳細は画面の右側に表示されます。1 つの項目から次の項目に移動するには、上矢印キー (↑) および下矢印キー (↓) を使用します。

一部の IMM センサーは、それぞれの設定値に達するとログされる表明イベントを発生させる場合があります。設定値の状態が存続しない場合は、対応する表明解除イベントがログされます。ただし、すべてのイベントが表明型のイベントであるわけではありません。

- **統合管理モジュール II (IMM2) イベント・ログ:** このログにはすべての IMM、POST およびシステム管理割り込み (SMI) イベントのフィルタリングされたサブセットが入っています。IMM Web インターフェースから IMM イベント・ログを表示することができます。詳しくは、92 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。IMM イベント・ログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (ASM イベント・ログとして) 表示することもできます。IMM エラー・メッセージについて詳しくは、統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージを参照してください。
- **DSA イベント・ログ:** このログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムによって生成されるもので、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、IMM シャーシ・イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。DSA イベント・ログは DSA プログラムから表示できます (121 ページの『サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する』を参照)。DSA および DSA メッセージについて詳しくは、123 ページの『IBM Dynamic System Analysis』および DSA メッセージを参照してください。

セットアップ・ユーティリティーを使用してイベント・ログを表示する

Setup ユーティリティーからイベント・ログを表示するには、この情報を使用します。

このタスクについて

POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示するには、次のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. 「**System Event Log**」を選択し、以下のいずれかの手順を使用します。
 - POST イベント・ログを表示するには、「**POST Event Viewer**」を選択します。
 - システム・イベント・ログを表示するには、「**System Event Log**」を選択します。

サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する

サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示するには、この情報を使用します。

サーバーがハングしていない状態で IMM がネットワークに接続されているときは、サーバーを再始動しないで 1 つ以上のイベント・ログを表示するいくつかの方法があります。

Dynamic System Analysis (DSA) の Portable エディションをすでにインストールしてある場合は、それを使用してシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、または IMM イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、オペレーティング・システム・イベント・ログ、またはマージされた DSA ログを表示することができます。また、DSA Preboot を使用してこれらのログを表示することもできますが、DSA Preboot を使用するにはサーバーを再始動する必要があります。DSA Portable をインストールする場合、あるいは DSA Preboot の CD イメージの新バージョンの有無を確認し、ダウンロードする場合は、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA> にアクセスしてください。

IPMITool がサーバーにインストール済みの場合は、これを使用してシステム・イベント・ログを表示できます。最新バージョンの Linux オペレーティング・システムには、現行バージョンの IPMITool が付属しています。IPMI の概要については、<http://www.ibm.com/developerworks/linux/blueprints/> にアクセスして「**Using Intelligent Platform Management Interface (IPMI) on IBM Linux platforms**」をクリックします。

IMM イベント・ログは、統合管理モジュール II (IMM2) Web インターフェースの「**Event Log**」リンクを通して表示できます。詳しくは、92 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。

次の表は、サーバーの状態に応じてイベント・ログを表示するために使用できる方法を説明しています。最初の 3 つの状態に対しては、通常サーバーの再始動は必要ありません。

表 15. イベント・ログを表示する方法

状態	処置
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されている。	以下の方法のいずれかを使用します。 • DSA Portable を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または IBM サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMITool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。

表 15. イベント・ログを表示する方法 (続き)

状態	処置
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されていない。	• DSA Portable を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または IBM サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMITool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。
サーバーはハング状態ではなく、統合管理モジュール II (IMM2) がネットワークに接続されている。	Web ブラウザーで IMM2 の IP アドレスを入力し、「 Event Log 」ページに進みます。詳しくは、91 ページの『IMM ホスト名の取得』および 92 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。
サーバーは停止しており、IMM との間で通信を行うことができない。	• DSA Preboot がインストールされている場合は、サーバーを再始動し、F2 を押して DSA Preboot を開始し、イベント・ログを表示します (詳しくは、125 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 • 代わりに、サーバーを再始動し、F1 を押して Setup ユーティリティを開始して、POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示することもできます。詳しくは、120 ページの『セットアップ・ユーティリティを使用してイベント・ログを表示する』を参照してください。

イベント・ログの消去

イベント・ログを消去するには、この情報を使用します。

このタスクについて

イベント・ログを消去する場合は、以下のステップを実行してください。

注: サーバーが再始動されるたびに、POST エラー・ログは自動的に消去されます。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. IMM システム・イベント・ログを消去するには、「**System Event Log**」 > 「**Clear System Event Log**」を選択してから、Enter キーを 2 回押します。

POST

サーバーの電源をオンにすると、サーバーのコンポーネントとサーバー内の一部のオプション装置の動作を検査する一連のテストが実行されます。この一連のテストを「パワーオン・セルフテスト」、すなわち POST と呼びます。

注: このサーバーは、サーバー状況に関してビープ・コードを使用しません。

始動パスワードが設定されている場合、POST が実行されるようにするには、プロンプトに従ってパスワードを入力し、**Enter** キーを押す必要があります。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが表示されます。詳しくは、UEFI/POST エラー・コードを参照してください。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが POST イベント・ログに送信されます。詳しくは、119 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

IBM Dynamic System Analysis

IBM Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。

DSA は、サーバーに関する次の情報を収集します。

- ドライブのヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサのイベント・ログ
- ハードウェア・インベントリ情報 (PCI および USB 情報を含む)
- インストール済みのアプリケーションおよびホット・フィックス (DSA Portable のみで使用可能)
- カーネル・モジュール (DSA Portable のみで使用可能)
- Light Path 診断の状況
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- パフォーマンス・データおよび実行中のプロセスの詳細
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサ (統合管理モジュール) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データおよびファームウェア情報

DSA が生成したメッセージの結果を受けて取るべきアクションについての、システム固有の情報については、DSA メッセージを参照してください。

DSA を使用して問題が検出できない場合は、145 ページの『未解決問題の解決』を参照してサーバーのテストに関する情報を見つけてください。

注: DSA プリブートは、プログラムを始動した際、応答しないように見える場合があります。これは、プログラムのロード中は正常な動作です。

サーバーの DSA コードが最新バージョンであることを確認してください。 DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を入手するには、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA> にアクセ

スしてください。

DSA のエディション

以下の 2 つのエディションの Dynamic System Analysis が使用可能です。

• DSA Portable

DSA Portable エディションは、オペレーティング・システムの内部で実行されます。実行するためにサーバーを再始動する必要はありません。このエディションは、Web からダウンロードする自己解凍型ファイルとしてパッケージされています。このファイルは、実行すると一時フォルダーに自己解凍され、ハードウェアおよびオペレーティング・システムに関する情報の包括的な収集を実行します。実行後には、一時ファイルおよびフォルダーを自動的に削除し、データ収集および診断の結果をサーバーに残します。

サーバーを始動できる場合は、DSA Portable を使用してください。

• DSA Preboot

DSA Preboot は、オペレーティング・システムの外部で実行されます。実行するためにはサーバーを再始動する必要があります。DSA Preboot はサーバー上でフラッシュ・メモリーとして提供されるか、IBM ToolsCenter Bootable Media Creator (BoMC) を使用して、CD、DVD、ISO、USB、または PXE などのブート可能メディアを作成することができます。詳細については、BoMC の「ユーザー・ガイド」(<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-BOMC>) を参照してください。他のエディションの DSA の機能に加えて、DSA Preboot には診断ルーチンが組み込まれているため、オペレーティング・システム環境の内部で実行するとサーバーが停止する場合があります (デバイスのリセットやネットワーク接続の喪失など)。このエディションのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用して、実行する診断を指定したり、診断とデータ収集の結果を表示することができます。

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付けられている場合) に対する診断を行います。

- Emulex ネットワーク・アダプター
- 光ディスク装置 (CD または DVD)
- テープ・ドライブ (SCSI、SAS、または SATA)
- メモリー
- マイクロプロセッサ
- チェックポイント・パネル
- I2C バス
- SAS ドライブおよび SATA ドライブ

サーバーを再始動できない場合、または包括的な診断が必要な場合は、DSA Preboot を使用してください。

ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA>に進んでください。

DSA Preboot 診断プログラムの実行

以下の情報を使用して、DSA Preboot 診断プログラムを実行します。

このタスクについて

注: DSA メモリー・テストは、実行するのに最大 30 分かかります。問題がメモリーの問題でない場合は、メモリー・テストをスキップしてください。

DSA プリブート診断プログラムを実行するには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーが稼働中の場合は、サーバーとそれに接続されているすべての装置の電源をオフにします。
2. すべての接続されている装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源を入れます。
3. プロンプト「<F2> Diagnostics」が表示されたら、F2 を押します。

注: DSA プリブート診断プログラムは、プログラムを始動した際、異常なほど長時間応答しないように見える場合があります。これは、プログラムのロード中は正常な動作です。ロード・プロセスには、最大 10 分かかります。

4. オプションとして、「Quit to DSA」を選択してスタンドアロン・メモリー診断プログラムを終了することができます。

注: スタンドアロン・メモリー診断環境を終了後、サーバーを再始動して、スタンドアロン・メモリー診断環境に再度アクセスする必要があります。

5. 「gui」と入力するとグラフィカル・ユーザー・インターフェースを表示することができます。または、「cmd」と入力して DSA インタラクティブ・メニューを表示することもできます。
6. 画面の指示に従って、実行する診断テストを選択してください。

タスクの結果

診断プログラムでハードウェアのエラーが検出されないのに、通常のサーバー操作時に問題が続く場合は、ソフトウェアのエラーが原因である場合があります。ソフトウェアの問題と思われる場合は、ソフトウェアに付属の情報を参照してください。

1 つの問題について複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に診断プログラムを実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

テストの途中でサーバーが停止し、続行できなくなった場合には、サーバーを再始動し、もう一度 DSA Preboot 診断プログラムの実行を試みてください。問題が解決しない場合は、サーバーの停止時にテストされていたコンポーネントを交換してください。

診断テキスト・メッセージ

診断テキスト・メッセージは、テストの実行中に表示されます。

診断テキスト・メッセージには、以下の結果のいずれかが示されます。

Passed: テストはエラーなしに完了しました。

Failed: テストでエラーが検出されました。

Aborted: サーバー構成が原因で、テストが進行できませんでした。

テストの失敗に関する追加情報が、それぞれのテストの拡張診断結果から入手可能です。

テスト・ログ結果の表示および DSA コレクションの転送

テスト・ログ結果を表示し、DSA コレクションを転送するには、この情報を使用します。

このタスクについて

テストの完了時に結果を確認するためにテスト・ログを表示するには、DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェースを実行している場合は「Status」列で「**Success**」リンクをクリックし、DSA 対話式メニューを実行している場合は `:x` と入力して「Execute Tests」メニューを終了するか、またはグラフィカル・ユーザー・インターフェースの「**Diagnostic Event Log**」を選択します。DSA Preboot コレクションを外付け USB デバイスに転送するには、DSA 対話式メニューで `copy` コマンドを入力します。

手順

- DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を実行している場合は、「Status」列で「**Success**」リンクをクリックします。
- DSA 対話式メニュー (CLI) を実行している場合は、`:x` と入力して「Execute Tests」メニューを終了してから、「**completed tests**」を選択して結果を表示します。

タスクの結果

サーバーの問題の診断に役立てるために、DSA エラー・ログを IBM サポートに送信することもできます。

自動サービス要求 (コール・ホーム)

IBM は、データを自動的に収集して送信できるツール、またはエラーが検出された場合に IBM サポートをコールできるツールを提供しています。

これらのツールは、IBM サポートによる問題診断処理の迅速化に役立ちます。以下のセクションでは、コール・ホーム・ツールについて説明します。

IBM Electronic Service Agent

IBM エレクトロニック・サービス・エージェントは、システム・ハードウェア・エラーおよびハードウェアとソフトウェアのインベントリ情報のモニター、追跡、取り込みを行い、保守可能な問題を IBM サポートに直接報告します。

データを手動で収集するように選択することもできます。これは最小のシステム・リソースしか使用せず、IBM の Web サイトからダウンロードすることができます。IBM エレクトロニック・サービス・エージェントの詳細な情報またはダウンロードが必要な場合は、<http://www.ibm.com/support/electronic/portal/> にアクセスしてください。

エラー・メッセージ

このセクションでは、問題の検出時に生成される UEFI/POST、IMM、および DSA のエラー・コードとメッセージをリストします。

詳細については、UEFI/POST エラー・コード、統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ、および DSA メッセージを参照してください。

現象別トラブルシューティング

トラブルシューティング表を利用して、識別可能な現象がある問題に対する解決策を見つけてください。

このタスクについて

これらの表の中に該当の問題に対する解決策が見つからない場合、サーバーのテストについては DSA メッセージを、DSA Preboot プログラムの実行に関する追加情報は 125 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。問題の解決に役立つ追加情報については、105 ページの『ここから開始します』を参照してください。

新しいソフトウェアまたは新しいオプション装置を追加した直後にサーバーが作動しなくなった場合は、トラブルシューティング表を使用する前に、次のステップを実行します。

手順

1. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED をチェックします。それが点灯している場合は、Light Path 診断 LED (Light Path 診断を参照) をチェックします。
2. 追加したばかりのソフトウェアまたは装置を取り除きます。

3. IBM Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、サーバーが正常に稼働しているかどうかを判断します (DSA の使用法については、DSA メッセージを参照)。
4. 新しいソフトウェアをインストールまたは新しい装置を取り付け直します。

一般的な問題

表 16. 一般的な現象と処置

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
カバー・ラッチが破損している、LED が機能しない、あるいはこれと類似の問題が発生した。	その部品が CRU の場合は交換します。その部品がマイクロプロセッサまたはシステム・ボードの場合は、トレーニングを受けた技術員が部品を交換する必要があります。
画面はオンになっているが、サーバーが停止している。F1 を押しても Setup ユーティリティーを開始できない。	- 詳しくは、151 ページの『Nx 回ブート失敗』を参照してください。 - 詳しくは、147 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。

ハード・ディスクの問題

表 17. ハード・ディスクの現象と処置

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
ハード・ディスク診断テストで認識されないドライブがある。	診断テストで示されたドライブを取り外し、再度ハード・ディスク診断テストを実行します。残りのドライブが認識される場合は、取り外したドライブを新しいものと交換します。
ハード・ディスク診断テスト中にサーバーが応答しなくなる。	サーバーが応答を停止したときにテストしていたハード・ディスクを取り外し、再度診断テストを実行します。ハード・ディスクの診断テストが正常に実行される場合は、取り外したドライブを新しいものと交換します。
オペレーティング・システムの始動中にハード・ディスクが検出されない。	すべてのハード・ディスクとケーブルを取り付け直し、再度ハード・ディスク診断テストを実行します。
ハード・ディスクがハード・ディスク診断テストにパスしたが、問題は継続する。	SCSI ハード・ディスク診断テストを実行します (125 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 注: このテストは、RAID アレイを備えるサーバー、または SATA ハード・ディスクを備えるサーバーでは使用できません。
ハード・ディスクの障害が発生し、関連した黄色のハード・ディスク状況 LED が点灯している。(ホット・スワップ・ハード・ディスク)	- RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーと、そのコントローラーに接続されたデバイスを再構成します。 - DSA ディスク・ドライブ・テストを実行します (123 ページの『IBM Dynamic System Analysis』を参照)。 - ドライブがテストを失敗する場合、ドライブを交換します。

表 17. ハード・ディスクの現象と処置 (続き)

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
新たに取付けたハード・ディスクが認識されない。	- 関連した黄色のハード・ディスク状況 LED を確認します。LED が点灯している場合、ドライブに障害があることを示します。 - LED が点灯している場合、ベイからドライブを外し、45 秒間待ちます。その後ドライブ・アセンブリがハード・ディスク・バックプレーンに接続していることを確認して、ドライブを再度取り付けます。 - 関連する緑色のハード・ディスク活動 LED および黄色の状況 LED を確認します。 - 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED が点灯していない場合、コントローラーがドライブを認識し、正常に作動していることを示します。DSA ハード・ディスク・テストを実行して、ドライブが検出されているかどうかを判別してください。 - 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED がゆっくり点滅している場合、コントローラーがドライブを認識し、再作成していることを示します。 - いずれの LED も点灯または点滅していない場合は、ハード・ディスク・バックプレーンを確認します (ステップ 4 に進む)。 - 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED が点灯している場合、ドライブを交換します。LED の活動状況が変わらない場合は、ステップ 4 に進みます。LED の活動に変化がある場合は、ステップ 1 に戻ります。 - ハード・ディスク・バックプレーンが正しく取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられている場合、バックプレーンを曲げたり、動かすことなく、ドライブ・アセンブリをバックプレーンに正常に接続することができます。 - バックプレーン電源ケーブルを取り付け直し、ステップ 1 から 3 までは繰り返します。 - バックプレーン信号ケーブルを取り付け直し、ステップ 1 から 3 までは繰り返します。 - バックプレーン構成ケーブルを取り付け直し、ステップ 1 から 3 までは繰り返します。 - バックプレーン信号ケーブルまたはバックプレーンに問題がある可能性があります。 - 影響を受けたバックプレーン信号ケーブルを交換します。 - 影響を受けたバックプレーンを交換します。 - SAS/SATA アダプターおよびハード・ディスクに対して DSA テストを実行します (123 ページの『IBM Dynamic System Analysis』を参照)。 - アダプターがテストにパスしたがドライブが認識されない場合は、バックプレーン信号ケーブルを交換してテストを再度実行します。 - バックプレーンを交換します。 - アダプターがテストに失敗する場合は、バックプレーン信号ケーブルをアダプターから取り外してから再度テストを実行します。 - アダプターがこのテストに失敗する場合は、アダプターを交換します。 146 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。
複数のハード・ディスクに障害が起きました。	ハード・ディスク、SAS/SATA RAID アダプター、およびサーバーのデバイス・ドライバーとファームウェアが最新レベルになっていることを確認します。 重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
複数のハード・ディスクがオフラインです。	- ストレージ・サブシステム・ログを検討して、バックプレーンやケーブルなどの問題が、ストレージ・サブシステム内で起きていないか確認します。 146 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。
交換したハード・ディスクが再ビルドされない。	- ハード・ディスクがアダプターに認識されているか (緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅しているか) 確認します。 - SAS/SATA RAID アダプターの資料を検討して、正しい構成パラメーターおよび設定値か判別します。

表 17. ハード・ディスクの現象と処置 (続き)

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
緑色のハード・ディスク活動 LED が、関連するドライブの実際の状態を正確に表示しない。(ホット・スワップ・ハード・ディスク)	- ドライブの使用中に緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅しない場合は、DSA ディスク・ドライブ・テストを実行します (123 ページの『IBM Dynamic System Analysis』を参照)。 - 以下のいずれかの手順を使用します。 - ドライブがテストをパスする場合、バックプレーンを交換します。 - ドライブがテストを失敗する場合、ドライブを交換します。
黄色のハード・ディスク状況 LED が、関連するドライブの実際の状態を正確に表示しない。(ホット・スワップ・ハード・ディスク)	- 黄色のハード・ディスク LED と RAID アダプター・ソフトウェアがドライブに対して同じ状況を示さない場合は、次のステップを行います。 - サーバーの電源をオフにします。 - SAS/SATA アダプターを取り付け直します。 - バックプレーン構成ケーブル、信号ケーブル、およびバックプレーン電源ケーブルを取り付け直します。 - ハード・ディスクを取り付け直します。 - サーバーの電源を入れ、ハード・ディスク LED の活動を確認します。 146 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。

DVD ドライブの問題

表 18. DVD ドライブの現象と処置

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
オプションの DVD ドライブが認識されない。	- 次の点を確認します。 - DVD ドライブが接続されている SATA コネクター (1 次または 2 次) が Setup ユーティリティで利用可能になっているか。 - ケーブルおよびジャンパーがすべて正しく取り付けられているか。 - DVD ドライブ用の正しいデバイス・ドライバーがインストールされている。 - DVD ドライブの診断プログラムを実行します。 - 次のコンポーネントを取り付け直します。 - DVD ドライブ - DVD ドライブ・ケーブル - ステップ 3 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

表 18. DVD ドライブの現象と処置 (続き)

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
CD または DVD が正しく作動しない。	- CD または DVD をクリーニングします。 - CD または DVD を新規 CD または DVD メディアと取り替えます。 - DVD ドライブの診断プログラムを実行します。 - 曲がったピンや、損傷がないか、コネクタや信号ケーブルを調べます。 - DVD ドライブを取り付け直します。 - DVD ドライブを交換します。
DVD ドライブ・トレイが正常に作動しない。	- サーバーの電源がオンになっていることを確認します。 - まっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先をトレイ解放穴に差し込みます。 - DVD ドライブを取り付け直します。 - DVD ドライブを交換します。

ハイパーバイザーの問題

表 19. ハイパーバイザーの現象と処置

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが予期したブート順序にリストされない、ブート・デバイスのリストに表示されない、または類似の問題が発生した。	- オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが、始動時にブート・マネージャーの <F12> Select Boot Device で選択されていることを確認します。 - 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスがコネクタに正しく取り付けられていることを確認します (USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外しおよび USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付けを参照)。 - オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスに付属の資料を参照して、セットアップおよび構成情報を確認します。 - 他のソフトウェアがサーバー上で動作することを確認します。

再現性の低い問題

表 20. 再現性の低い問題と処置

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
時々起こる問題、または診断が困難な問題。	- 次の点を確認します。 - すべてのケーブルとコードが、サーバーの背面および接続装置にしっかりと接続されている。 - サーバーの電源が入っているとき、ファン・グリルから空気が流れている。空気の流れがないときは、ファンが回っていません。これにより、サーバーが過熱し、シャットダウンすることがあります。 - システム・エラー・ログまたは IMM イベント・ログをチェックします (119 ページの『イベント・ログ』を参照)。

キーボード、マウス、または USB デバイスの問題

表 21. キーボード、マウス、または USB デバイスの現象と処置

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
キーボードのすべてのキーまたは一部のキーが機能しない。	- 次の点を確認します。 - キーボード・ケーブルがしっかりと接続されている。 - サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 - USB キーボードを使用している場合は、Setup ユーティリティを実行してキーボードなし操作を有効にします。 - USB キーボードを使用しており、キーボードが USB ハブに接続されている場合、キーボードをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 - キーボードを交換します。

表 21. キーボード、マウス、または USB デバイスの現象と処置 (続き)

• 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 • 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 • IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
マウスまたは USB デバイスが機能しない。	1. 次の点を確認します。 • マウスまたは USB デバイスのケーブルがサーバーにしっかりと接続されているか。 • マウスまたは USB デバイスのドライバーが正しくインストールされているか。 • サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 • マウス・オプションが Setup ユーティリティで有効にされている。 2. USB マウスまたは USB デバイスを使用しており、それが USB ハブに接続されている場合、マウスまたは USB デバイスをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 3. マウスまたは USB デバイスを交換します。

メモリーの問題

表 22. メモリーの問題と処置

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
表示されたシステム・メモリーの容量が、実際に取り付けられたメモリーの容量より少ない。	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 - 次の点を確認します。 - オペレーター情報パネル上のどのエラー LED も点灯していない。 - システム・ボード上の DIMM エラー LED が点灯していない。 - メモリー・モジュールが正しく取り付けられている。 - 正しいタイプのメモリーが取り付けられている。 - メモリーを変更した場合、Setup ユーティリティーでメモリー構成を更新した。 - メモリーのすべてのバンクが使用可能になっている。サーバーが問題を検出したときにメモリー・バンクを自動的に使用不可にしたか、メモリー・バンクが手動で使用不可にされた可能性があります。 - サーバーを最小メモリー構成にした場合にメモリー・ミスマッチがない。 - DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 - POST エラー・ログを確認します。 - DIMM がシステム管理割り込み (SMI) によって使用不可にされていた場合は、その DIMM を交換します。 - DIMM がユーザーまたは POST によって使用不可にされた場合は、DIMM を取り付け直します。次に Setup ユーティリティーを実行して、DIMM を使用可能にします。 - Setup ユーティリティーですべての DIMM が初期化されていることを確認します。次にメモリー診断を実行します (125 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 - サーバーを最小メモリー構成にしたときに、メモリー・ミスマッチがないことを確認します。 - 各ペアの DIMM が一致することを確認しながら、一度に 1 つの DIMM ペアを追加します。 - DIMM を取り付け直します。 - Setup ユーティリティーを使用してすべての DIMM を再度使用可能にしてから、サーバーを再始動します。 - 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 - DIMM (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを取り替えます。

表 22. メモリーの問題と処置 (続き)

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
1 つのブランチ内の複数の DIMM 列で障害の発生が確認された。	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. 該当の DIMM を取り付け直してから、サーバーを再始動します。 2. 障害を起こしている DIMM を取り替えます。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを取り替えます。

マイクロプロセッサ問題

表 23. マイクロプロセッサの現象と処置

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
サーバーをオンにすると、サーバーが直接 POST イベント・ビューアーになる。	1. サーバーがすべてのマイクロプロセッサをサポートし、マイクロプロセッサの速度とキャッシュ・サイズが相互に一致していることを確認します。マイクロプロセッサ情報を表示するには、Setup ユーティリティを実行して「System Information」 > 「System Summary」 > 「Processor Details」を選択します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 1 を取り付け直します。 3. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 b. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード

モニターの問題

一部の IBM モニターには、独自のセルフテスト機能が備わっています。モニターに問題があると思われる場合は、そのモニターに付属している資料を参照して、モニターをテストおよび調整します。問題を診断できない場合は、保守サービスを依頼してください。

表 24. モニターおよびビデオの現象と処置

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
モニターのテスト。	- モニター・ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 - サーバーで別のモニターを使用するか、または同じモニターを別のサーバーでテストしてみます。 - 診断プログラムを実行します。モニターが診断プログラムの検査をパスした場合は、ビデオ・デバイス・ドライバーに問題があることが考えられます。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
画面に何も表示されない。	- サーバーが KVM スイッチに接続されている場合は、問題の原因を除去するために KVM スイッチをバイパスします。モニター・ケーブルをサーバーの背面にある正しいモニター・コネクタに直接接続してみます。 - 次の点を確認します。 - サーバーの電源がオンになっている。サーバーに電源供給されていない場合は、139 ページの『電源問題』を参照してください。 - モニターのケーブルが正しく接続されている。 - モニターの電源が入っていて、輝度とコントラストが正しく調節されているか。 - サーバーの電源をオンにしたときに、POST エラーが生成されない。 - モニターが正しいサーバーで制御されていることを確認します (該当する場合)。 - 損傷したサーバー・ファームウェアがビデオに影響を及ぼしていないことを確認します。73 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - システム・ボードのチェックポイント LED を監視し、コードが変化する場合は、次のステップに進みます。 - 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 - モニター - ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード 145 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

表 24. モニターおよびビデオの現象と処置 (続き)

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
サーバーの電源をオンにした時点ではモニターが作動するが、一部のアプリケーション・プログラムを開始すると画面がブランクになる。	- 次の点を確認します。 - アプリケーション・プログラムが、モニターの能力を超える表示モードを設定していない。 - アプリケーションに必要なデバイス・ドライバーがインストールされている。 - ビデオ診断を実行します (125 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 - サーバーがビデオ診断に合格した場合、ビデオは良好です。145 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。 (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーがビデオ診断に失敗する場合は、システム・ボードを交換します。
モニターに画面ジッターがあるか、または画面イメージが波打つ、読めない、ローリングする、またはゆがむ。	- モニターのセルフテストで、モニターが正しく作動していることが示された場合は、モニターの位置を検討してください。その他の装置 (変圧器、電気製品、蛍光灯、および他のモニターなど) の周囲の磁界が、画面のジッターや波打ち、判読不能、ローリング、あるいは画面のゆがみの原因となる可能性があります。これが発生した場合は、モニターの電源を切ります。 重要: 電源を入れたままカラー・モニターを移動すると、画面がモノクロになることがあります。 デバイスとモニターの間を 305 mm 以上離し、モニターをオンにします。 注: - ディスクレット・ドライブの読み取り/書き込みエラーを防ぐため、モニターと外付けディスクレット・ドライブの間を 76 mm 以上にします。 - IBM 以外のモニター・ケーブルを使用すると、予測できない問題が起こるおそれがあります。 - モニターとケーブルを取り付け直します。 - 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 - モニター (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード
画面に誤った文字が表示される。	- 誤った言語が表示される場合は、サーバーのファームウェアを正しい言語の最新レベルに更新します (73 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。 - モニターとケーブルを取り付け直します。 - 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 - モニター (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード

ネットワーク接続の問題

表 25. ネットワーク接続の問題と処置

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
SSL が使用可能にされた状態で LDAP アカウントを使用したログインが失敗する。	- ライセンス・キーが有効であることを確認します。 - 新規のライセンス・キーを生成して、再度ログインします。

オプション装置の問題

表 26. オプション装置の問題と処置

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
新たに取り付けた IBM オプション装置が作動しない。	- 次の点を確認します。 - 装置がサーバー用に設計されている (http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照)。 - 装置に付属の取り付け手順に従い正しい取り付けがされている。 - 取り付けた他の装置やケーブルの接続が緩んでいない。 - Setup ユーティリティで構成情報を更新した。メモリーまたは他の装置を変更する場合は、必ず構成を更新する必要があります。 - 取り付けたばかりの装置を取り付け直します。 - 取り付けたばかりの装置を交換します。
前に動作していた IBM オプション装置が動作しなくなった。	- 装置のケーブルがすべてしっかりと接続されていることを確認してください。 - 装置にテスト手順が付属している場合は、その手順を使用して装置をテストします。 - 障害のある装置を取り付け直します。 - 障害のある装置を交換します。

電源問題

表 27. 電源の問題と処置

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
電源制御ボタンが作動せず、リセット・ボタンが作動しない (サーバーが始動しない)。 注: 電源制御ボタンは、サーバーが電源に接続された後、約 5 秒から 10 秒経過するまで機能しません。	- 電源制御ボタンが正しく機能していることを確認します。 - サーバーの電源コードを切り離します。 - 電源コードを再接続します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ 1a および 1b を繰り返します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 - サーバーが始動しない場合は、強制パワーオン・ジャンパーを使用して電源制御ボタンをバイパスします (26 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照)。サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 - 以下のようにして、リセット・ボタンが正しく機能していることを確認します。 - サーバーの電源コードを切り離します。 - 電源コードを再接続します。 - 次の点を確認します。 - 電源コードがサーバーと、通電されている電源コンセントに正しく接続されている。 - 取り付けたメモリーのタイプが正しい。 - DIMM が完全に取り付けられているか。 - パワー・サプライ上の LED が問題があることを示していない。 (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサが正しい順序で取り付けられている。 - 次のコンポーネントを取り付け直します。 - DIMM (トレーニングを受けた技術員のみ) 内部コンポーネントへ行くすべてのパワー・サプライ・ケーブル (トレーニングを受けた技術員のみ) 電源スイッチ・コネクタ - 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 - DIMM - パワー・サプライ (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード - オプション装置を取り付けた場合は、それを取り外してから、サーバーを再始動してください。これでサーバーが始動する場合は、パワー・サプライがサポートできる数を超える装置が取り付けられていることが考えられます。 116 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。 145 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

表 27. 電源の問題と処置 (続き)

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
サーバーの電源がオフにならない。	- ACPI オペレーティング・システムまたは非 ACPI オペレーティング・システムの使用の有無を調べます。非 ACPI オペレーティング・システムを使用している場合は、次のステップを実行してください。 - Ctrl+Alt+Delete を押します。 - 電源制御ボタンを 5 秒以上押してサーバーの電源をオフにします。 - サーバーを再始動します。 - もしサーバーが POST で障害を起こし電源制御ボタンが働かない場合は、電源コードを 5 秒間外してから、電源コードを再接続してサーバーを再始動してください。 - それでも問題が解決しない場合、または ACPI 対応オペレーティング・システムを使用している場合は、システム・ボードの問題が考えられます。
サーバーが予期せずにシャットダウンし、オペレーター情報パネル上の LED が点灯していない。	145 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

シリアル・ポートの問題

表 28. シリアル・ポートの問題と処置

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
オペレーティング・システムによって識別されたシリアル・ポートの数が、取り付けられたシリアル・ポートの数より少ない。	- 次の点を確認します。 - Setup ユーティリティで各ポートに固有のアドレスが割り当てられており、どのシリアル・ポートも使用不可にされていない。 - シリアル・ポート・アダプター (装着されている場合) がしっかりと取り付けられている。 - シリアル・ポート・アダプターを取り付け直します。 - シリアル・ポート・アダプターを交換します。

表 28. シリアル・ポートの問題と処置 (続き)

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
シリアル装置が動作しない。	- 次の点を確認します。 - その装置がサーバーと互換性があるか。 - シリアル・ポートが使用可能で、固有のアドレスが割り当てられているか。 - 装置が正しいコネクタに接続されているか。 - 次のコンポーネントを取り付け直します。 - 障害を起こしているシリアル装置 - シリアル・ケーブル - 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 - 障害を起こしているシリアル装置 - シリアル・ケーブル (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード

ServerGuide の問題

表 29. ServerGuide の問題と処置

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
ServerGuide Setup and Installation CD が始動しない。	- サーバーが ServerGuide プログラムをサポートしており、始動可能 (ブート可能) な DVD ドライブを備えていることを確認します。 - 始動 (ブート) シーケンスの設定が変更された場合は、DVD ドライブがその始動シーケンスの最初になっていることを確認します。 - 複数の DVD ドライブが取り付けられている場合は、1 次ドライブとして 1 つのドライブだけが設定されていることを確認してください。その 1 次ドライブから CD を始動してください。
ServeRAID マネージャー・プログラムが、取り付けられているすべてのドライブを認識できないか、またはオペレーティング・システムをインストールできない。	- ハード・ディスクが正しく接続されていることを確認します。 - SAS ハード・ディスクのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。
オペレーティング・システムのインストール・プログラムがよくループする。	ハード・ディスク上でさらに多くのスペースを使用可能にしてください。

表 29. ServerGuide の問題と処置 (続き)

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
ServerGuide プログラムがオペレーティング・システムの CD を始動しない。	オペレーティング・システム CD が ServerGuide プログラムによってサポートされていることを確認してください。サポートされるオペレーティング・システムのバージョンのリストについては、 http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-GUIDE にアクセスし、ご使用の ServerGuide バージョン用のリンクをクリックして、サポートされる Microsoft Windows オペレーティング・システムのリストまでスクロールダウンします。
オペレーティング・システムをインストールできない。オプションを選択できない。	サーバーがそのオペレーティング・システムをサポートしていることを確認します。サポートしている場合は、論理ドライブが定義されていないか (SCSI RAID サーバーの場合)、または ServerGuide システム区画が存在していません。ServerGuide プログラムを実行して、セットアップが完了していることを確認します。

ソフトウェア問題

表 30. ソフトウェアの問題と処置

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
ソフトウェアが原因と思われる問題	- その問題の原因がソフトウェアであるかを判別するには、以下の点を確認します。 - サーバーが、ソフトウェアを使用するための必要最小限のメモリーを備えている。必要なメモリーを確認するには、ソフトウェアに付属の説明書を参照してください。アダプターまたはメモリーを取り付けた直後の場合は、サーバーでメモリー・アドレスの競合が生じている可能性があります。 - そのソフトウェアがサーバーに対応しているか。 - 他のソフトウェアがサーバー上で動作するか。 - このソフトウェアが他のサーバー上では作動する。 - ソフトウェアの使用中にエラー・メッセージを受け取った場合は、そのソフトウェアに付属の説明書を参照して、メッセージの内容と問題の解決方法を調べてください。 - ソフトウェア・ベンダーに連絡してください。

USB ポートの問題

表 31. USB ポートの問題と処置

- 問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
USB 装置が動作しない。	- 次の点を確認します。 - 正しい USB デバイス・ドライバがインストールされている。 - オペレーティング・システムが USB 装置をサポートしている。 - Setup ユーティリティーで USB 構成オプションが正しく設定されていることを確認します (詳しくは、79 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照)。 - USB ハブを使用している場合は、USB 装置をハブから切り離しサーバーに直接接続してみます。

電源の問題の解決

電源の問題を解決するには、この情報を使用します。

このタスクについて

電源の問題を解決する際に困難が伴う可能性があります。例えば、短絡がいずれかの配電バスのどこかに存在している可能性があります。通常は、短絡により、過電流状態が原因で電源サブシステムがシャットダウンします。電源問題を診断する場合は、以下の一般手順を使用します。

手順

- サーバーの電源をオフにし、すべての電源コードを切り離します。
- 電源サブシステムのケーブルが緩んでいないかを調べます。また、短絡があるかどうか (例えば、回路ボード上に短絡の原因となる緩んだねじがあるかどうか) を調べます。
- Light Path 診断パネル上で点灯している LED を確認します (Light Path 診断 LEDを参照)。
- サーバーがサーバーの始動に必要な最小構成になるまで、アダプターを取り外し、すべての内部装置および外部装置へのケーブルおよび電源コードを切り離します (145 ページの『未解決問題の解決』を参照)。
- すべての AC 電源コードを再接続し、サーバーの電源をオンにします。サーバーが正常に始動した場合は、問題が特定されるまで、アダプターおよび装置を一度に 1 つずつ取り付け直します。

次のタスク

サーバーが最小構成でも始動しない場合は、116 ページの『パワー・サプライ LED』を参照して、問題が特定されるまで、最小構成のコンポーネントを一度に 1

つつ交換します。

イーサネット・コントローラーの問題の解決

イーサネット・コントローラーの問題を解決するには、この情報を使用します。

このタスクについて

イーサネット・コントローラーをテストするために使用する方法は、使用しているオペレーティング・システムによって異なります。イーサネット・コントローラーの情報については、オペレーティング・システムの資料を参照し、イーサネット・コントローラー・デバイス・ドライバの README ファイルを参照してください。

以下の手順を試してみてください。

手順

1. サーバーに付属した正しいデバイス・ドライバがインストール済みであること、およびそれらが最新レベルのものであることを確認してください。
2. イーサネット・ケーブルが正しく取り付けられていることを確認します。
 - ケーブルは、すべての接続部がしっかり接続されていることが必要です。ケーブルが接続されているにもかかわらず、問題が解決しない場合は、別のケーブルで試してみてください。
 - イーサネット・コントローラーを 100 Mbps で動作するように設定した場合は、カテゴリ 5 の配線を使用する必要があります。
 - 2 つのサーバーを (ハブを使用せずに) 直接接続する場合、または X ポートを備えるハブを使用していない場合は、クロスオーバー・ケーブルを使用してください。ハブが X ポートを備えているかどうか判別するには、ポートのラベルを調べてください。ラベルに X が記載されている場合は、ハブは X ポートを備えています。
3. ハブが自動ネゴシエーションをサポートしているかどうかを調べます。サポートしていない場合は、内蔵イーサネット・コントローラーを、ハブの速度と二重モードに合わせて手動で構成してください。
4. サーバーの背面パネルにあるイーサネット・コントローラー LED をチェックします。これらの LED は、コネクタ、ケーブル、またはハブに問題があるかどうかを示します。
 - イーサネット・コントローラーがハブからリンク・パルスを受信すると、イーサネット・リンク状況 LED が点灯します。LED がオフの場合は、コネクタまたはケーブルに欠陥があるか、またはハブに問題がある可能性があります。
 - イーサネット・コントローラーがイーサネット・ネットワークを介してデータを送信または受信すると、イーサネット送信/受信活動 LED が点灯します。イーサネットの送信/受信活動がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバがインストールされていることを確認してください。
5. サーバー背面の LAN 活動 LED をチェックしてください。LAN 活動 LED は、イーサネット・ネットワークでデータがアクティブであるときに点灯しま

す。LAN 活動 LED がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。

6. 問題を引き起こしているオペレーティング・システム固有の原因がないかどうかを確認します。
7. クライアントとサーバーのデバイス・ドライバーが同じプロトコルを使用していることを確認します。
- 8.

次のタスク

ハードウェアが正常に機能しているように見えるのに、イーサネット・コントローラーがネットワークに接続できない場合は、ネットワーク管理者は、ほかにエラーの原因が考えられないかどうかを調べる必要があります。

未解決問題の解決

Dynamic System Analysis (DSA) で障害を診断できない場合、またはサーバーが機能しない場合は、このセクションの情報を使用して未解決問題を解決してください。

このタスクについて

障害（継続的または再現性の低い）の原因がソフトウェアの問題にあると思われる場合は、142 ページの『ソフトウェア問題』を参照してください。

CMOS メモリー内のデータの破損またはサーバー・ファームウェアの破損が、未解決問題の原因となる場合があります。CMOS データをリセットするには、CMOS クリア・ジャンパー (JP1) を使用して CMOS メモリーを消去し、始動パスワードを変更します。詳しくは、25 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照してください。UEFI ファームウェアが破損していると思われる場合は、147 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。

パワー・サプライが正しく動作している場合は、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーのケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. 障害を特定できるまで、以下の装置を一度に 1 つずつ、取り外すかまたは切り離します。そのたびに、サーバーの電源をオンにして再構成を行ってください。
 - 外付け装置
 - サージ抑制装置 (サーバー上)
 - プリンター、マウス、および IBM 以外の装置。
 - 各アダプター。
 - ハード・ディスク

注: サーバーの始動に必要な最小構成は、1 つのマイクロプロセッサと 1 つの 2 GB DIMM です。

4. サーバーの電源を入れます。問題が解決しない場合は、次のコンポーネントを次の順序で確かめてください。
 - a. パワー・サプライ
 - b. メモリー
 - c. マイクロプロセッサー
 - d. システム・ボード

次のタスク

あるアダプターをサーバーから取り外すと問題が解消され、再び同じアダプターを取り付けると問題が再発する場合は、そのアダプターに原因があると考えられます。そのアダプターを別のアダプターと交換しても問題が再発する場合は、ライザー・カードに原因があると考えられます。

ネットワーキングの問題があると思われ、サーバーがすべてのシステム・テストにパスした場合は、サーバーの外部のネットワーク配線に問題がある可能性があります。

問題判別のヒント

ハードウェアとソフトウェアにはさまざまな組み合わせがあるため、以下の情報を利用して問題判別の補助としてください。可能であれば、IBM に支援を要求するときはこれらの情報を準備しておいてください。

サーバーのモデル番号とシリアル番号は、フロント・ベゼル上で見付けることができます。

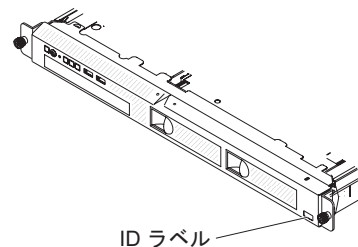


図 28. サーバー前面の ID ラベル

- マシン・タイプおよびモデル
- マイクロプロセッサーまたはハード・ディスクのアップグレード
- 障害の現象
 - サーバーは診断テストに失敗しますか？
 - 起こったことは何ですか？ いつ？ どこで？
 - 障害は単一のサーバーで発生するのか、または複数のサーバーで発生するのか。
 - その障害は再現可能か。
 - これまでにこのサーバー構成が正常に作動したことがあったか。
 - その構成で障害が発生する前に何か変更したか。

- この障害を報告するのは初めてか。
- 診断プログラムのタイプおよびバージョン・レベル
- ハードウェア構成 (システム・サマリーの画面印刷)
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- オペレーティング・システム・ソフトウェア

問題によっては、作動するサーバーと作動しないサーバーの間で構成およびソフトウェア・セットアップを比較することで、解決できる場合があります。診断の目的でサーバーを相互に比較するときは、すべてのサーバーにおいて以下の要素が厳密に同じである場合に限り、サーバーが同じであると見なしてください。

- マシン・タイプおよびモデル
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- アダプターおよび接続機構、およびそれぞれの位置
- アドレス・ジャンパー、ターミネーター、およびケーブル配線
- ソフトウェアのバージョンとレベル
- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル
- 構成オプションの設定
- オペレーティング・システム制御ファイルのセットアップ

IBM に保守を依頼する方法については、513 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)

サーバー・ファームウェアをリカバリーするには、この情報を使用します。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

更新中の電源障害などによってサーバー・ファームウェアが損傷した場合は、次のいずれかの方法でサーバー・ファームウェアをリカバリーできます。

- **インバンド方式:** ブート・ブロック・ジャンパー (自動ブート・リカバリー) またはサーバーの Firmware Update Package Service Pack を使用して、サーバー・ファームウェアをリカバリーする。
- **アウト・オブ・バンド方式:** 最新のサーバー・ファームウェア更新パッケージを使用し、IMM Web Interface からファームウェアを更新する。

注: サーバー更新パッケージは、以下のいずれかから入手できます。

- ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェアの更新をダウンロードする。
- IBM サービス技術員に連絡する。

ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェア更新パッケージをダウンロードするには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

サーバーのフラッシュ・メモリーは、1 次バンクとバックアップ・バンクから構成されます。UEFI ファームウェアのブート可能イメージを、バックアップ・バンクに維持しておく必要があります。1 次バンク内のサーバー・ファームウェアが破損した場合、UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2)でバックアップ・バンクを手動でブートできます。または、イメージが破損している場合には、Automated Boot Recovery 機能を使用して自動的にバックアップ・バンクをブートできます。

インバンドの手動リカバリー方式

このセクションでは、インバンドの手動リカバリー方式について詳しく説明します。

このタスクについて

サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を 1 次バンクに復元するには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外します。
3. カバーのロックを解除し、取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. システム・ボード上の UEFI ブート・バックアップ・ジャンパーを見つけます。

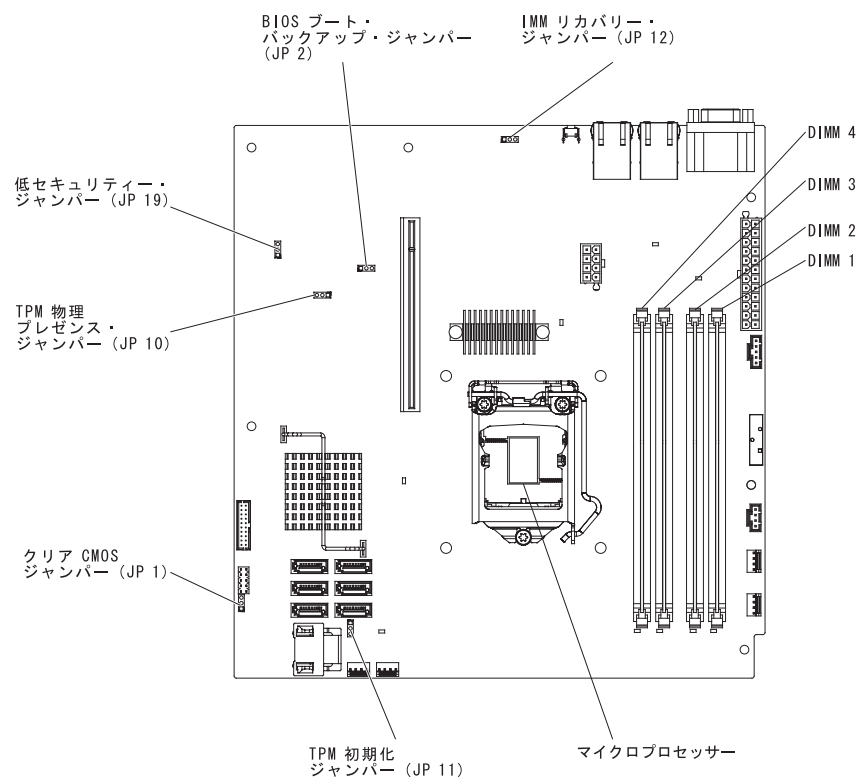


図 29. システム・ボード上のスイッチ、ジャンパー、およびボタンの位置

5. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパーをピン 1 および 2 からピン 2 および 3 に移動して、UEFI リカバリー・モードを使用可能にします。
6. サーバーのカバーを取り付け直し、電源コードをすべて再接続します。
7. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。
8. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
9. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。
10. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを切り離してから、サーバーのカバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
11. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパーをピン 2 および 3 からプライマリー位置 (ピン 1 および 2) に戻します。
12. カバーを再び取り付けます (69 ページの『カバーの交換』を参照)。
13. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
14. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。これによって 1 次バンクがリカバリーされない場合、引き続き次のステップを実行します。
15. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
16. システム・バッテリーを取り外すことにより、CMOS をリセットします (200 ページの『システム・バッテリーの取り外し』を参照)。

17. システム・バッテリーをサーバーから約 5 分から 15 分間取り外したままにします。
18. システム・バッテリーを再取り付けします (システム・バッテリーの取り付けを参照)。
19. カバーを再び取り付けます (69 ページの『カバーの交換』を参照)。
20. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
21. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。
22. これらのリカバリー作業で問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してサポートを依頼してください。

インバンドの自動ブート・リカバリー方式

このセクションでは、インバンドの自動ブート・リカバリー方式について詳しく説明します。

このタスクについて

注: Light Path 診断パネルのシステム・ボード LED が点灯し、ログ項目が表示される場合、または Booting Backup Image がファームウェア・スプラッシュ画面に表示される場合は、この方式を使用します。それ以外の場合はインバンド手動リカバリー方式を使用してください。

手順

1. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
2. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。
3. サーバーを再始動します。
4. ファームウェア・スプラッシュ画面で、1 次バンクに復元するようにプロンプトが出されたら、F3 を押します。サーバーは 1 次バンクからブートします。

アウト・オブ・バンド方式

IMM2 資料「*Integrated Management Module II User's Guide*」 (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=migr-5086346>) を参照してください。

自動ブート・リカバリー (ABR)

自動ブート・リカバリー (ABR) にはこの情報を使用します。

このタスクについて

サーバーが始動するときに、統合管理モジュール II が 1 次バンクのサーバー・ファームウェアに問題を検出した場合、サーバーはバックアップ・ファームウェア・バンクに自動的に切り替わり、ユーザーに 1 次バンクのファームウェアを回復する機会を与えます。UEFI ファームウェアを回復する指示については、147 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。1 次バンクのファームウェアを回復したら、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーを再始動します。
2. 「Press F3 to restore to primary」のプロンプトが表示されたら、F3 を押して 1 次バンクからサーバーを始動します。

Nx 回ブート失敗

Nx 回ブート失敗にはこの情報を使用します。

装置の追加やアダプターのファームウェア更新などの構成変更、およびファームウェアまたはアプリケーションのコードの問題により、サーバーの POST (パワーオン・セルフテスト) が失敗することがあります。これが発生した場合、サーバーは以下のいずれかの方法で応答します。

- サーバーは自動的に再始動し、POST を再試行します。
- サーバーは停止し、ユーザーはサーバーの POST を再試行するために、サーバーを手動で再始動する必要があります。

指定された回数の連続試行 (自動でも手動でも) の後、Nx 回ブート失敗機能により、サーバーはデフォルトの UEFI 構成に復帰し、Setup ユーティリティが開始され、ユーザーが構成に対し必要な修正を加えてサーバーを再始動できるようにします。サーバーがデフォルトの構成で POST を正常に完了できない場合、システム・ボードに問題がある可能性があります。

Nx 回ブート失敗機能をトリガーする連続再始動試行回数を指定するには、Setup ユーティリティで、「System Settings」 > 「Recovery」 > 「POST Attempts」 > 「POST Attempts Limit」をクリックします。選択可能なオプションは、3、6、9、および 255 (Nx 回ブート失敗機能を使用不可にする) です。

第 5 章 部品リスト、IBM System x3250 M4 Type 2583

IBM System x3250 M4 Type 2583 の部品リスト

この章で説明する交換可能なコンポーネントは、『交換可能なサーバー・コンポーネント』で特に指定されている場合を除き、IBM System x3250 M4 Type 2583 サーバーで利用が可能です。更新された部品リストについては、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

交換可能なサーバー・コンポーネント

IBM System x3250 M4 Type 2583 の交換可能なサーバー・コンポーネント。

交換可能なコンポーネントは、構造部品と現場交換可能ユニット (FRU) から構成されます。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が構成部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。構成部品のリストについては、構成部品を参照してください。
- **Tier 1 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付け作業を依頼することもできます。

保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「保証情報」資料を参照してください。サービスと支援を受ける方法について詳しくは、513 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。本書の説明図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

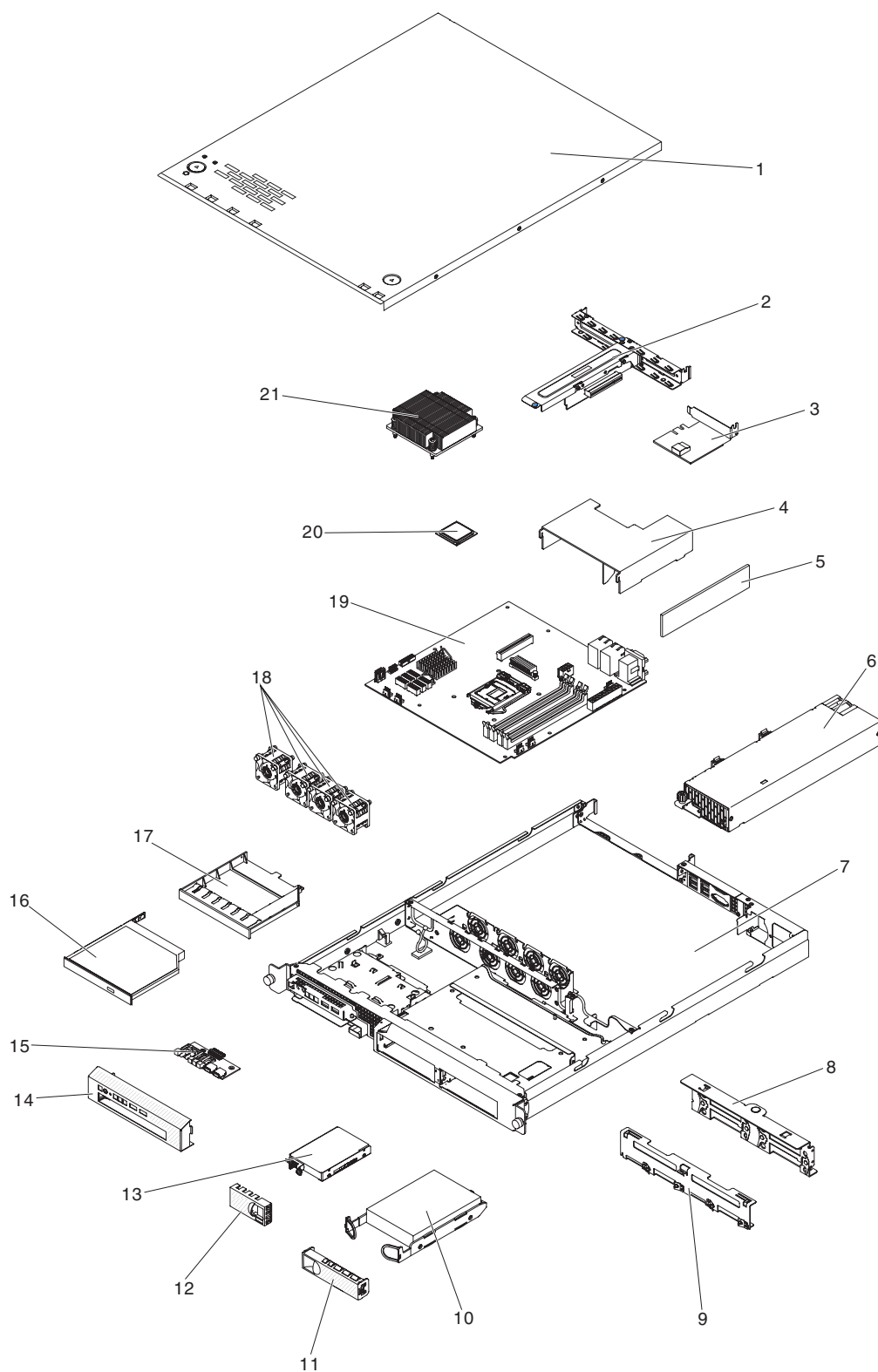


図 30. サーバー・コンポーネント： (cylcd024)

下表にはサーバー交換可能コンポーネントの部品番号が記載されています。

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部品 番号
1	トップ・カバー	81Y7455		
2	PCI ライザー・カード・アセンブリー	81Y7457		
3	ServeRAID-BR10il v2 アダプター (ブラケット付き)	49Y4737		
4	エアー・バッフル	81Y7453		
5	メモリー、1 GB single-rank PC3-10600R-999 DDR3 ECC UDIMM	44T1572		
5	メモリー、2 GB single-rank PC3-10600R-999 DDR3 ECC UDIMM	44T1574		
5	メモリー、4 GB dual-rank PC3-10600R-999 DDR3 ECC UDIMM	44T1575		
5	メモリー、2 GB single-rank PC3-12800 CL11 DDR3、ECC UDIMM	00D4953		
5	メモリー、4 GB dual-rank PC3-12800 CL11 DDR3、ECC UDIMM	00D4957		
5	メモリー、8 GB dual-rank PC3-12800 CL11 DDR3、ECC UDIMM	00D4961		
5	メモリー、4 GB dual-rank PC3L-10600 CL9 DDR3、ECC UDIMM	49Y1422		
6	パワー・サブライ、300 ワット、固定			81Y6301
6	パワー・サブライ、460 ワット、ホット・スワップ (リダ ンダント・パワー・サブライ)			39Y7229
7	シャーシ (固定パワー・サブライを装備)			81Y7456
7	シャーシ (リダンダント・パワー・サブライを装備)			90Y5958
8	バックプレート、シンプル・スワップ、2.5 型		81Y7466	
8	バックプレーン、ホット・スワップ、2.5 型 (リダンダン ト・パワー・サブライを装備)		46C6757	
9	バックプレート、シンプル・スワップ、3.5 型、SATA (ケ ーブル 1 本)		81Y7465	
9	バックプレート、シンプル・スワップ、3.5 型、SATA (ケ ーブル 2 本)		81Y7464	
10	ハード・ディスク、シンプル・スワップ、3.5 型 SATA、2 TB	42D0788		
10	ハード・ディスク、シンプル・スワップ、3.5 型 SATA、1 TB	43W7625		
10	ハード・ディスク、シンプル・スワップ、3.5 型 SATA II、500 GB	39M4517		
10	ハード・ディスク、シンプル・スワップ、3.5 型 SATA II、250 GB	39M4529		
11	フィラー・パネル、3.5 型シンプル・スワップ・ハード・デ ィスク	39M4343		
12	フィラー・パネル、2.5 型シンプル・スワップ・ハード・デ ィスク	81Y7460		

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部品 番号
12	フィラー・パネル、2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク (リダンダント・パワー・サプライを装備)	44T2248		
13	ハード・ディスク、シンプル・スワップ、2.5 型 SAS、600 GB	49Y2028		
13	ハード・ディスク、シンプル・スワップ、2.5 型 SAS、300 GB	49Y1992		
13	ハード・ディスク、シンプル・スワップ、2.5 型 SAS、146 GB	49Y1997		
13	ハード・ディスク、ホット・スワップ、2.5 型 SAS、146 GB (リダンダント・パワー・サプライを装備)	42D0678		
13	ハード・ディスク、ホット・スワップ、2.5 型 SAS、300 GB (リダンダント・パワー・サプライを装備)	42D0638		
13	ハード・ディスク、ホット・スワップ、2.5 型 SAS、500 GB (リダンダント・パワー・サプライを装備)	42D0708		
13	ハード・ディスク、ホット・スワップ、2.5 型 SAS、600 GB (リダンダント・パワー・サプライを装備)	49Y2004		
13	ハード・ディスク、ホット・スワップ、2.5 型 SATA、250 GB	81Y9723		
13	ハード・ディスク、ホット・スワップ、2.5 型 SATA、500 GB	81Y9727		
13	ハード・ディスク、ホット・スワップ、2.5 型 SATA、1 TB	81Y9731		
13	ハード・ディスク、2.5 型 SATA、256 GB	90Y8644		
13	ハード・ディスク、2.5 型 SATA、128 GB	90Y8649		
14	前面ベゼル	81Y7458		
15	オペレーター情報パネル・アセンブリ		90Y5298	
16	CD-RW/DVD-RW ドライブ	44W3256		
16	DVD-ROM ドライブ	44W3254		
17	フィラー・パネル、DVD ドライブ・ベイ	49Y4868		
18	システム・ファン、シンプル・スワップ	81Y7454		
19	システム・ボード			00D8551
20	マイクロプロセッサ、Ci3-2100、3.1 GHz、1333 MHz、3 MB キャッシュ、2C (65W)			69Y5148
20	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1270、3.4 GHz、1333 MHz、8MB キャッシュ、4C (80W)			69Y5149
20	マイクロプロセッサ、Ci3-2120、3.3 GHz、1333 MHz、3 MB キャッシュ、2C (65W)			69Y5151
20	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1240、3.3 GHz、1333 MHz、8MB キャッシュ、4C (80W)			69Y5152
20	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1280、3.5 GHz、1333 MHz、8MB キャッシュ、4C (95W)			81Y6933
20	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1220、3.1 GHz、1333 MHz、8MB キャッシュ、4C (80W)			81Y6945

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部品 番号
20	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1230、3.2 GHz、1333 MHz、8MB キャッシュ、4C (80W)			81Y6947
20	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1260L、2.3 GHz、1333 MHz、8MB キャッシュ、4C (45W)			81Y6949
20	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1220L 2.2GHz 2C 3MB キャッシュ			81Y6951
20	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1220L v2 2.3GHz、3MB キャッシュ			00Y7408
20	マイクロプロセッサ、Pentium G850 2.9GHz 2C 3MB キャッシュ			81Y7504
20	マイクロプロセッサ、Pentium G850 2.9GHz 2C 3MB キャッシュ			00D8552
20	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1220 v2、3.1GHz 4C 8MB キャッシュ			00D8552
20	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1270 v2、3.5GHz 4C 8MB キャッシュ			00D8553
20	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1280 v2、3.6GHz 4C 8MB キャッシュ			00D8554
20	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1240 v2、3.4GHz 4C 8MB キャッシュ			00D8555
20	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1230 v2、3.3GHz 4C 8MB キャッシュ			00D8556
20	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1265L v2、2.5GHz 4C 8MB キャッシュ			00D8557
20	マイクロプロセッサ、Celeron G440、1.6GHz 1C 1MB キャッシュ			94Y6303
20	マイクロプロセッサ、Core i3 2120、3.3GHz 2C 3MB キャッシュ			99Y1447
21	ヒートシンク		81Y7495	
22	安全カバー、240 VA			81Y7526
23	パドル・カード、パワー・サプライ・バックプレーン			00D3712
	バッテリー、3.0 V	33F8354		
	PCI ライザー・カード	81Y7494		
	ServeRAID-M1015 SAS/SATA アダプター	46M0861		
	ServeRAID-M5014 SAS/SATA アダプター	46M0918		
	ServeRAID-H1110 SAS/SATA アダプター	81Y4494		
	ServeRAID-M1000 シリーズ拡張フィーチャー・キー	46M0864		
	ケーブル、前面 USB およびオペレーター情報パネル		81Y7463	
	ケーブル、バックプレート、3.5 型シンプル・スワップ、SATA (ケーブル 2 本)		81Y7464	
	ケーブル、バックプレート、3.5 型シンプル・スワップ、SATA (ケーブル 1 本)		81Y7465	

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部品 番号
	ケーブル、バックプレート、2.5 型シンプル・スワップ、SAS		81Y7466	
	ケーブル、バックプレーン、2.5 型シンプル・スワップ、SATA		00D4344	
	ケーブル、DVD ドライブ		59Y3229	
	ケーブル、パワー・サプライ装置変換コネクタ電源		00D8685	
	QLogic 10Gb デュアル・ポート CNA	42C1802		
	QLogic 10Gb SFP+ SR 光トランシーバー	42C1816		
	Brocade 10Gb デュアル・ポート CNA	42C1822		
	Brocade 10Gb SFP+ SR 光トランシーバー	42C1819		
	Emulex 8Gb FC シングル・ポート HBA	42D0491		
	Emulex 8Gb FC デュアル・ポート HBA	42D0500		
	フィラー、パワー・サプライ (リダンダント・パワー・サプライを装備)	49Y4821		
	ハード・ディスク・ケージ、2.5 型ホット・スワップ (リダンダント・パワー・サプライを装備)	81Y7528		
	ハード・ディスク・ケージ、3.5 型シンプル・スワップ	81Y7461		
	QLogic 8Gb FC シングル・ポート HBA	42D0507		
	QLogic 8Gb FC デュアル・ポート HBA	42D0516		
	NetXtreme II 1000 Express デュアル・ポート・イーサネット・アダプター	49Y7947		
	NetXtreme II 1000 Express クアッド・ポート・イーサネット・アダプター	49Y7949		
	NetXtreme 1000 Express デュアル・ポート・イーサネット・アダプター			94Y6263
	NetXtreme I クアッド・ポート・アダプター	90Y9355		
	NetXtreme I デュアル・ポート・アダプター	90Y9373		
	イーサネット・デュアル・ポート・サーバー・アダプター I340-T2	49Y4232		
	イーサネット・クアッド・ポート・サーバー・アダプター I340-T4	49Y4242		
	ブラケット、EAR	39M4351		
	各種キット	81Y7459		
	1U ツール不要キット	24P1121		
	サービス・ラベル	81Y7507		
	サービス・ラベル	00D4340		
	サービス・ラベル	00D4342		

電源コード

本製品を安全に使用するために、接地接続機構プラグ付き電源コードが提供されています。感電事故を避けるため、常に正しく接地されたコンセントで電源コードおよびプラグを使用してください。

米国およびカナダで使用される IBM 電源コードは、Underwriter's Laboratories (UL) にリストされており、Canadian Standards Association (CSA) の認証を受けています。

115 ボルト用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定の電源コードをご使用ください。最小 18 AWG、Type SVT または SJT、3 線コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、平行ブレード型、15 アンペア 125 ボルト定格の接地端子付きプラグ。

230 ボルトで動作するユニット (米国で使用) の場合、最小 18 AWG、タイプ SVT または SJT、3 芯コード、最大長 15 フィートおよびタンデム・ブレード、定格 15 アンペア、250 ボルトの接地タイプ接続プラグで構成される、UL リストと CSA 認定のコード・セットを使用します。

230 ボルト (米国以外における) 用の装置には、接地端子付きプラグを使用した電源コードをご使用ください。これは、装置を使用する国の安全についての適切な承認を得たものでなければなりません。

特定の国または地域用の電源コードは、通常その国または地域でだけお求めいただけます。

IBM 電源コードの部品番号	使用される国および地域
39M5200	電源コード (4.3 m) 100 V: IEC320 C13 - NEMA 5-15P
39M5378	ジャンパー電源コード (4.3 m) 100-200 V/PDU: IEC320 C13 - IEC320 C14
39M5392	Afghanistan, Albania, Algeria, Andorra, Angola, Armenia, Austria, Azerbaijan, Belarus, Belgium, Benin, Bosnia and Herzegovina, Bulgaria, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Cameroon, Cape Verde, Central African Republic, Chad, Comoros, Congo (Democratic Republic of), Congo (Republic of), Cote D'Ivoire (Ivory Coast), Croatia (Republic of), Czech Republic, Dahomey, Djibouti, Egypt, Equatorial Guinea, Eritrea, Estonia, Ethiopia, Finland, France, French Guyana, French Polynesia, Germany, Greece, Guadeloupe, Guinea, Guinea Bissau, Hungary, Iceland, Indonesia, Iran, Kazakhstan, Kyrgyzstan, Laos (People's Democratic Republic of), Latvia, Lebanon, Lithuania, Luxembourg, Macedonia (former Yugoslav Republic of), Madagascar, Mali, Martinique, Mauritania, Mauritius, Mayotte, Moldova (Republic of), Monaco, Mongolia, Morocco, Mozambique, Netherlands, New Caledonia, Niger, Norway, Poland, Portugal, Reunion, Romania, Russian Federation, Rwanda, Sao Tome and Principe, Saudi Arabia, Senegal, Serbia, Slovakia, Slovenia (Republic of), Somalia, Spain, Suriname, Sweden, Syrian Arab Republic, Tajikistan, Tahiti, Togo, Tunisia, Turkey, Turkmenistan, Ukraine, Upper Volta, Uzbekistan, Vanuatu, Vietnam, Wallis and Futuna, Yugoslavia (Federal Republic of), Zaire
39M5130	Denmark
39M5144	Bangladesh, Lesotho, Macao, Maldives, Namibia, Nepal, Pakistan, Samoa, South Africa, Sri Lanka, Swaziland, Uganda

IBM 電源コードの部品番号	使用される国および地域
39M5151	アブダビ、バーレーン、ボツワナ、ブルネイ・ダルサラーム、チャネル諸島、中国 (香港特別行政区)、Cyprus, Dominica, Gambia, Ghana, Grenada, Iraq, Ireland, Jordan, Kenya, Kuwait, Liberia, Malawi, Malaysia, Malta, Myanmar (Burma), Nigeria, Oman, Polynesia, Qatar, Saint Kitts and Nevis, Saint Lucia, Saint Vincent and the Grenadines, Seychelles, Sierra Leone, Singapore, Sudan, Tanzania (United Republic of), Trinidad and Tobago, United Arab Emirates (Dubai), United Kingdom, Yemen, Zambia, Zimbabwe
39M5158	Liechtenstein, Switzerland
39M5165	Chile, Italy, Libyan Arab Jamahiriya
39M5172	Israel
39M5095	220 - 240 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela
39M5081	110 - 120 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela
39M5219	Korea (Democratic People's Republic of), Korea (Republic of)
39M5199	日本
39M5068	Argentina, Paraguay, Uruguay
39M5226	インド
39M5233	Brazil

第 6 章 コンポーネントの取り外しと交換

サーバー・コンポーネントの取り外しと交換を行うには、この情報を使用します。

交換可能なコンポーネントには、次のタイプがあります。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が構造部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **Tier 1 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付け作業を依頼することもできます。

コンポーネントが構造部品であるか、Tier 1 CRU であるか、Tier 2 CRU であるか、FRU であるかを判別するには、153 ページの『第 5 章 部品リスト、IBM System x3250 M4 Type 2583』を参照してください。

保証の条件に関する情報については、サーバーに付属の資料「保証情報」を参照してください。

サービスと支援を受ける方法については、513 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

装置またはコンポーネントの返却

装置またはコンポーネントに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

サーバー・コンポーネントの取り外しと交換

このセクションでは、サーバー内のサーバー・コンポーネントの取り外しと交換について説明します。

Tier 1 CRU の取り外しと交換

このセクションでは、サーバー内の Tier 1 CRU の取り外しと交換について説明します。

IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換は、お客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の図は、お客様がご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

カバーの取り外し

以下の情報を使用して、カバーを取り外します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントまたはオプション装置を交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

注: オプションのハードウェアを取り付ける前に、サーバーが正しく作動していることを確認してください。サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みの場合はそのオペレーティング・システムが始動することを確認します。そうでない場合は、19990305 エラー・コードが表示されていることを確認します。このエラー・コードは、オペレーティング・システムが検出されていないが、サーバーが正しく作動していることを示します。

サーバー・カバーを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. 本書の冒頭から始まる『安全について』を読みます。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーがラックに取り付けられている場合は、サーバー前面の 2 つのつまみねじを緩め、サーバーをラックから取り外します。次に、サーバーを平らな静電防止板の上に置きます。

注: サーバーから給電部を切り離す際、給電部が取り外されると LED が点灯しないため、LED を見ることはできません。給電部を切り離す前に、前面パネル

と背面パネルで点灯している LED、システム・ボード上のサーバー内部の LED を含めて、どの LED が点灯しているか書き留めておきます。次に、問題の解決方法について本書を参照してください。

4. カバーの上部 (サーバーの前面付近の右側) にある青色のタブをしっかりと押し、カバーをサーバー後部に向かってスライドさせ、カバーをシャーシから取り外します。

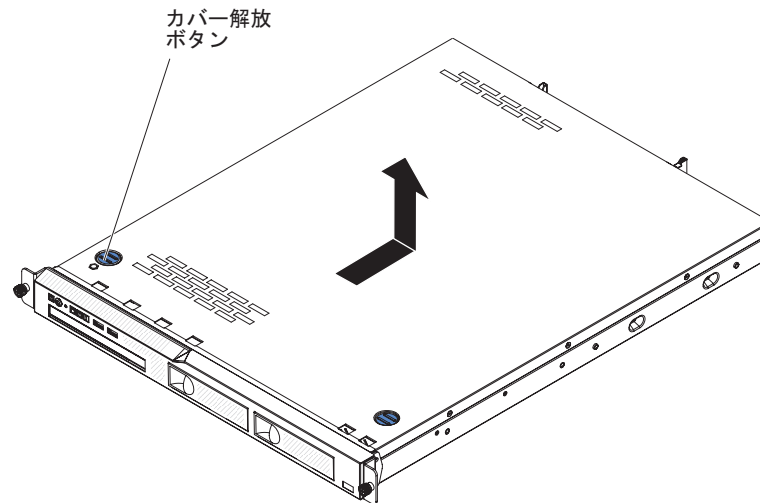


図 31. カバーの取り外し

5. カバーを持ち上げてサーバーから外し、横に置きます。

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。

カバーの交換

カバーを交換するには、この情報を使用します。

始める前に

すべてのケーブル、アダプター、および他のサーバー・コンポーネントが正しく取り付けられ、固定されているか、およびサーバー内のツールまたは部品が緩んでいないかチェックしてください。また、すべての内部ケーブルが正しく配線されていることを確認します。

重要: カバーを前方にスライドさせる前に、カバーの前面、背面、および側面のすべてのタブがシャーシと正しくかみ合っていることを確認します。すべてのタブがシャーシと正しくかみ合っていない場合、後でカバーを取り外すのが非常に難しくなります。

このタスクについて

サーバーのカバーを再取り付けするには、次のステップを実行してください。

手順

1. カバーがサーバー後部から約 13 mm 外に出るように、サーバー上部にカバーを置きます。

2. カバーをサーバー前面方向にスライドさせます。

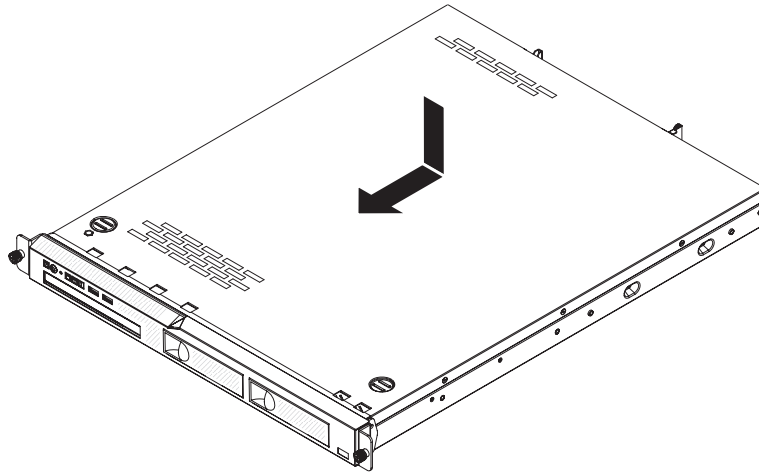


図 32. カバーの取り付け

3. カバーがサーバー上のすべての差し込みタブときちんとかみ合っているかどうかを確認します。
4. サーバーを格納装置に取り付け、2 つの前面つまみねじを締めてサーバーをラックに固定します。
5. 外部ケーブルおよび電源コードを再接続します。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

ベゼルの取り外し

ベゼルを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

ベゼルを取り外すには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーがラックに取り付けられている場合は、サーバー前面の 2 つのリリース・ラッチを押し、ラックからサーバーを取り出します。

重要: ラック・キャビネットからサーバーを取り外すには、2 人以上の人員が必要です。

2. サーバーとすべての周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを抜きます。
3. サーバーのトップ・カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. サーバーの内部から、ベゼル解放ラッチをサーバーの左サイドに向けて押します。
5. ベゼルの手前に回転させてから、サーバーから引き離します。

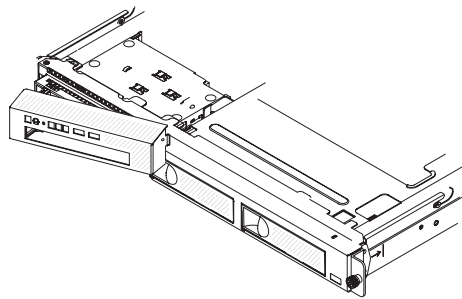


図 33. ベゼルの取り外し

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、ベゼルおよびサーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。

ベゼルの交換

ベゼルの交換するには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

ベゼルを取り付けるには、ベゼルの右端のタブをシャーシの前部に挿入してから、所定の位置に回転させてはめ込みます。

手順

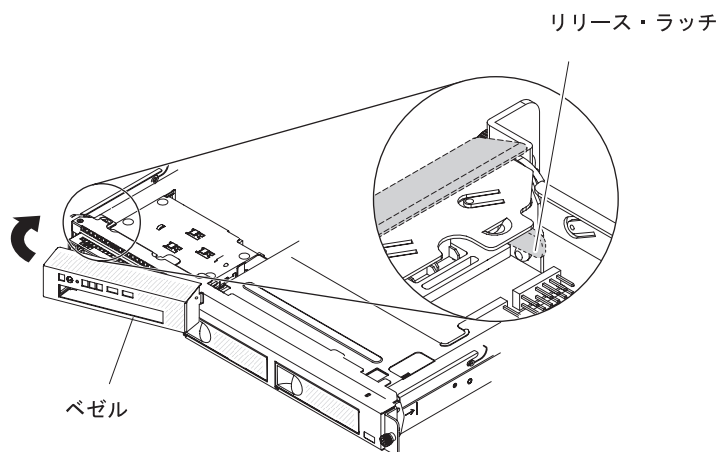


図 34. ベゼルの取り付け

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、ベゼルおよびサーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。

エアー・バッフルの取り外し

サーバーからエアー・バッフルを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントまたはオプション装置を交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

エアー・バッフルを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. 本書の冒頭から始まる『安全について』を読みます。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. エアー・バッフルをつかんで持ち上げ、サーバーから取り出して横に置きます。

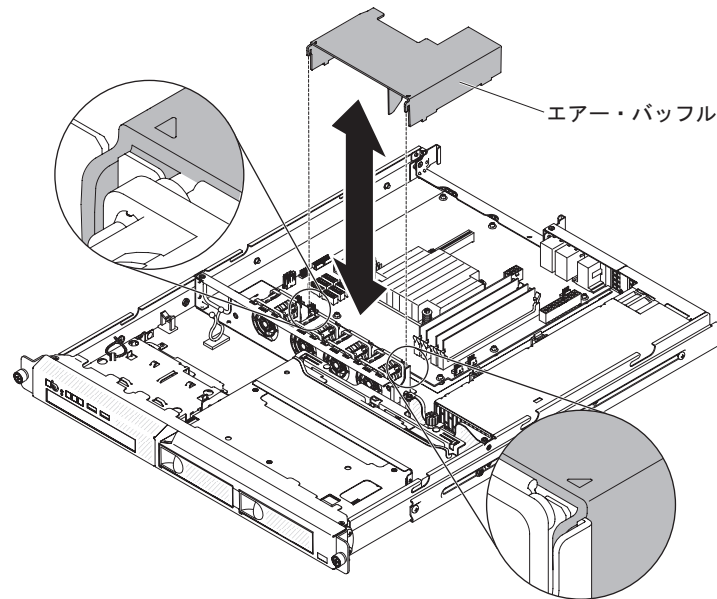


図 35. エア・バッフルの取り外し

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、エア・バッフルを元どおりに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。エア・バッフルを取り外したままサーバーを作動させると、サーバーのコンポーネントが損傷する可能性があります。

エア・バッフルの交換

以下の情報を使用して、エア・バッフルを交換します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

エア・バッフルを交換するには、次のステップを実行してください。

手順

1. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
2. エア・バッフル・ピンをサーバー・シャーシとファン・ケージ・アセンブリー上のバッフル・ピン・ホールに位置合わせしてから、エア・バッフルをサーバー内に下ろします。エア・バッフルを下に押して、しっかりと収まった状態にします。

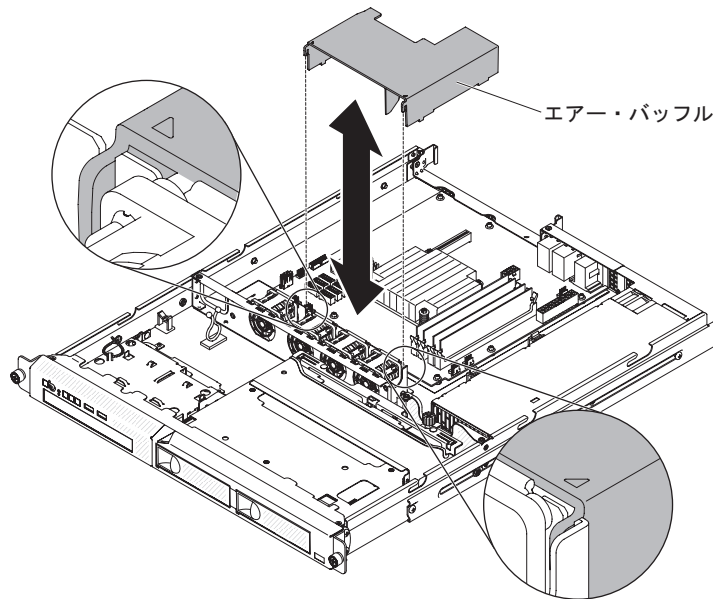


図 36. エア・バッフルの取り付け

3. カバーを再び取り付けます (69 ページの『カバーの交換』を参照)。
4. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、エア・バッフルを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。エア・バッフルが取り外された状態でサーバーを稼働させると、サーバー・コンポーネントが損傷する可能性があります。

PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し

以下の情報を使用して、PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

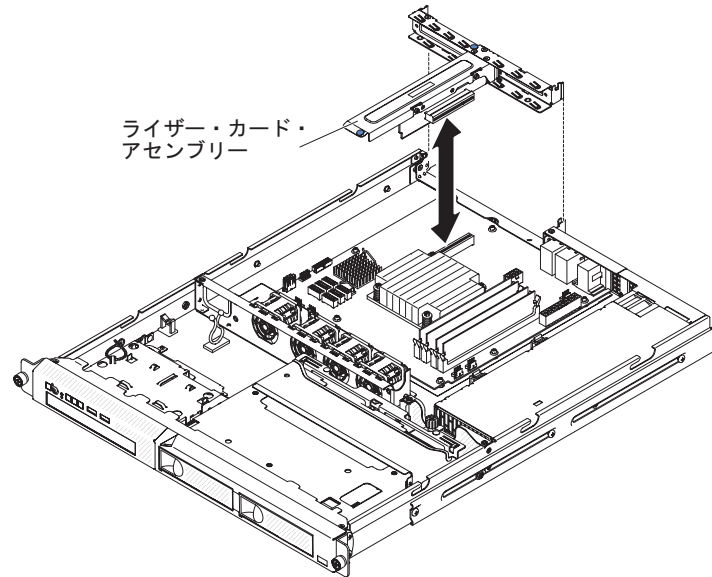
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
2. PCI ライザー・カード・アセンブリーにアダプターが取り付けられている場合、アダプターに接続されたケーブルをすべて取り外します。
3. PCI ライザー・カード・アセンブリーの前部と後部を持って、システム・ボードの PCI ライザー・カード・スロットから持ち上げます。



4. PCI ライザー・カード・アセンブリーの中のアダプターからケーブルをすべて取り外します。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリーを、平らな帯電防止面に置きます。 PCI ライザー・カード・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換

PCI ライザー・カード・アセンブリーを交換するには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

PCI ライザー・カード・アセンブリーを交換するには、次のステップを実行してください。

手順

1. アダプターを PCI ライザー・カード・アセンブリーに取り付けます (176 ページの『ServeRAID アダプターの交換』を参照)。
2. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外したときに切り離したアダプター・ケーブルをすべて再接続します。
3. PCI ライザー・カード・アセンブリーをサーバー後部のガイドおよびシステム・ボードの PCI ライザー・カード・コネクタに注意深く位置合わせします。次に、青色のタブでマークされた位置に親指を置いて PCI ライザー・カード・アセンブリーを押し下げます。ライザー・カード・アセンブリーがシステム・ボードのコネクタに完全に収まったか確認してください。

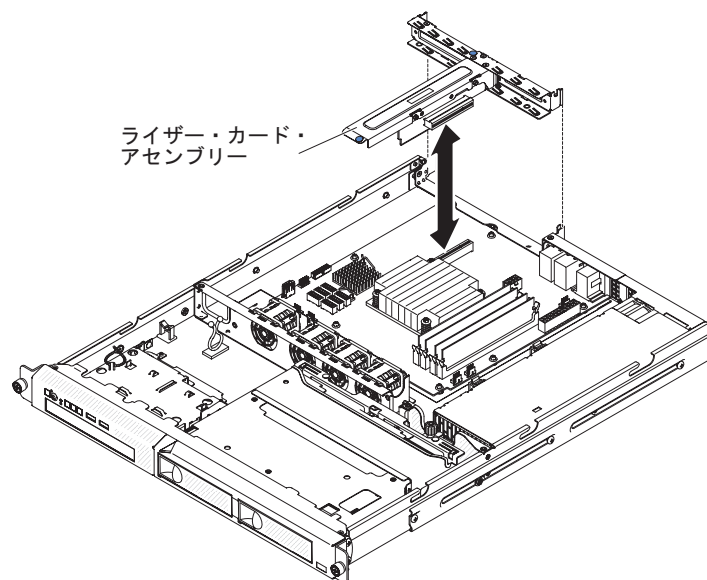


図 37. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け

4. カバーを取り付けます (69 ページの『カバーの交換』を参照)。
5. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。

6. 取り外した電源コードおよびケーブルを再接続します。
7. すべての接続デバイスとサーバーの電源をオンにします。

アダプターの取り外し

アダプターを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

アダプターを取り外すには、以下の手順を実行します。

手順

1. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
2. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (45 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
3. ケーブルをアダプターから切り離します。
4. PCI ライザー・カード・アセンブリーの前部グリップ・ポイントと後部エッジをつかみ、持ち上げてサーバーから取り外します。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリーを、平らな帯電防止面に置きます。
6. アダプターの上端または上部の隅を慎重につかみ、PCI ライザー・カード・アセンブリーから引き抜きます。

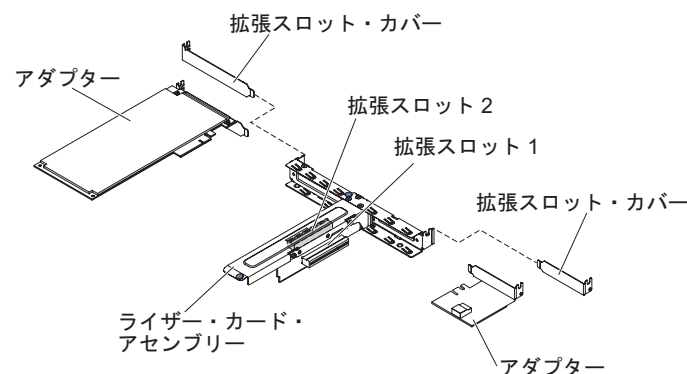


図 38. アダプターの取り外し

7. PCI ライザー・カード・アセンブリーに拡張スロット・カバーを取り付けます。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材が

ある場合は、それを使用して荷造りしてください。

アダプターの交換

以下の情報を使用して、アダプターを交換します。

始める前に

ここには、サーバーがサポートするアダプターのタイプの説明と、アダプターを取り付けるときに考慮すべき事項が記載されています。

- 取り付けるアダプターをサーバーがサポートしていることを確認するには、
<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。
- この説明のほかに、アダプターに付属の資料に記載されている説明に従います。
- アダプター・スロットは PCI ライザー・カード・アセンブリーにあります。アダプター・スロットにアクセスするためには、まず PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外す必要があります。
- PCI ライザー・カード・アセンブリー上の拡張スロットは、以下に示すように、さまざまなフォーム・ファクターの非ホット・プラグ・アダプターに対応しています。
 - 拡張スロット 1: 2U ブラケット付きロー・プロファイル (このスロットは、ServeRAID-10iL v2 SAS/SATA コントローラー専用です)
 - 拡張スロット 2: フルハイト、ハーフサイズ

スロット 2 PCIe Gen2 x8 (8、4、1)

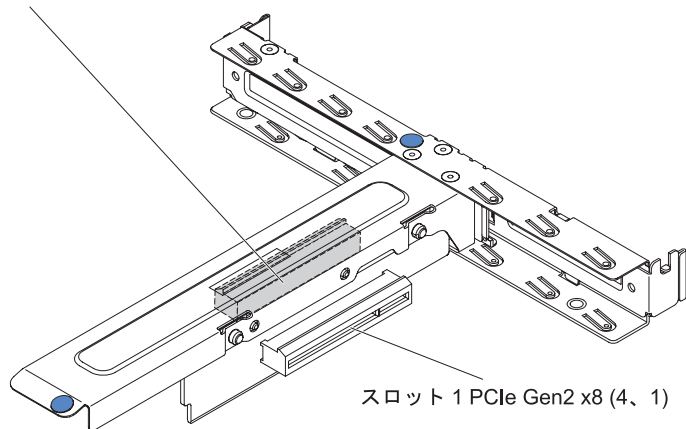


図 39. PCI ライザー・カード・アセンブリー

- オプションの ServeRAID-BR10iL v2 コントローラーは、PCI ライザー・カード・アセンブリーの拡張スロット 1 に取り付けなければなりません。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

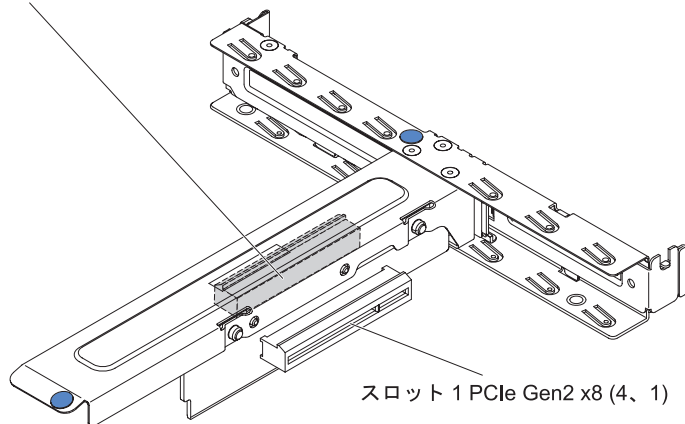
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

ここでは、サーバーがサポートするアダプターのタイプの説明と、アダプターを取り付けるときに考慮すべき事項が記載されています。

- このセクションの手順と、アダプターに付属の資料の手順に従ってください。アダプター上のスイッチ設定またはジャンパー設定を変更する必要がある場合は、アダプターに付属の説明に従ってください。
- アダプター・スロットは PCI ライザー・カード・アセンブリーにあります。アダプター・スロットにアクセスするためには、まず PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外す必要があります。
- PCI ライザー・カード・アセンブリー上の拡張スロットは、以下に示すように、さまざまなフォーム・ファクターの非ホット・プラグ・アダプターに対応しています。
 - 拡張スロット 1: 2U ブラケット付きロー・プロファイル (このスロットは、ServeRAID-10il v2 SAS/SATA コントローラー専用です)
 - 拡張スロット 2: フルハイト、ハーフサイズ

スロット 2 PCIe Gen2 x8 (8、4、1)



- オプションの ServeRAID-BR10il v2 コントローラーは、PCI ライザー・カード・アセンブリーの拡張スロット 1 に取り付けなければなりません。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

アダプターを交換するには、以下の手順を実行します。

手順

1. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
2. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (45 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
3. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからアダプターを取り出します。

4. アダプターを、コンポーネントが上を向くようにして平らで帯電防止された面に置き、必要であればアダプター・メーカーの説明に従いジャンパーまたはスイッチをセットします。
5. アダプターに配線指示書がある場合は、この指示に従います。アダプターを取り付ける前に、アダプターのケーブルを配線します。
6. PCI ライザー・カード・アセンブリーから拡張スロット・カバーを取り外し、今後の利用のために保管します。
7. アダプターのコネクタを PCI ライザー・カード・アセンブリーのコネクタと位置合わせし、アダプターを PCI ライザー・カード・アセンブリーに挿入します。コネクタの端を、PCI ライザー・カード・アセンブリーにしっかりと押し込みます。アダプターが PCI ライザー・カード・アセンブリーにしっかりと取り付けられていることを確認します。

重要: 金属製のアダプター・ブラケットの U 字の形の開口部が、拡張スロット・ブラケットのタブに噛み合っていることを確認してください。

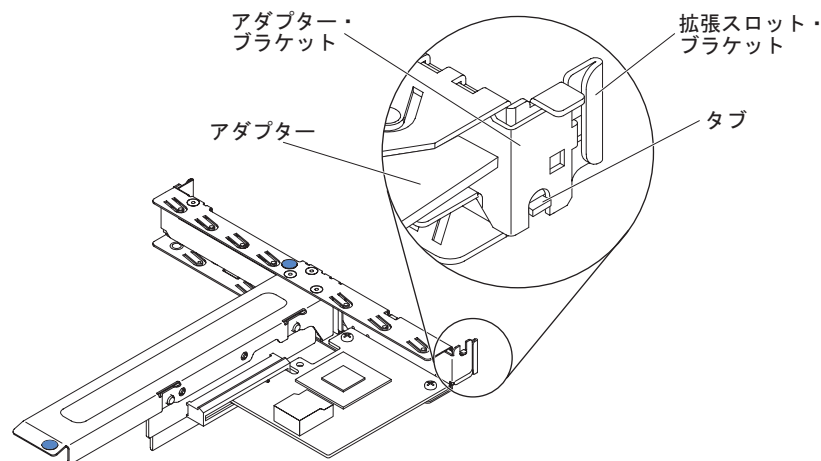


図 40. アダプターの取り付け

8. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます (67 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。

重要: アダプターの取り付け時に、アダプターが PCI ライザー・カード・アセンブリーに正しく収まっていること、および PCI ライザー・カード・アセンブリーがシステム・ボード上のライザー・カード・コネクタにしっかりと取り付けられていることを確認してから、サーバーの電源をオンにします。アダプターを正しく取り付けないと、システム・ボード、PCI ライザー・カード・アセンブリー、またはアダプターが損傷するおそれがあります。

9. カバーを再び取り付けます (69 ページの『カバーの交換』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

注: Brocade アダプター上で Windows 2011 SBS をサポートするには、3.0.0.0 以降のバージョンのドライバー・パッケージを使用する必要があります。

ServeRAID アダプターの取り外し

以下の情報を使用して、IBM ServeRAID アダプターを取り外します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

IBM ServeRAID アダプターを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
2. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (45 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
3. ServeRAID アダプターから信号ケーブルを切り離します。
4. PCI ライザー・カード・アセンブリーの前部グリップ・ポイントと後部エッジをつかみ、持ち上げてサーバーから取り外します。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリーを、平らな帯電防止面に置きます。
6. 注意しながら ServeRAID アダプターの端をつかんで、そのアダプターを PCI ライザー・カード・アセンブリー上のコネクタから引き抜きます。

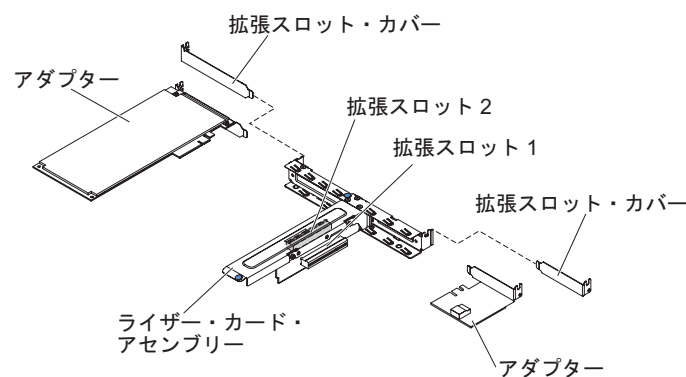


図 41. アダプターの取り外し

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ServeRAID アダプターの交換

以下の情報を使用して、IBM ServeRAID アダプターを交換します。

始める前に

構成情報については、ServeRAID 資料 (<http://www.ibm.com/supportportal>) を参照してください。

重要: ServeRAID アダプターが UEFI ベース・サーバーで適切に機能するように、アダプター・ファームウェアおよびサポートするデバイス・ドライバーが少なくとも 11.x.x-XXX に更新されていることを確認してください。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

IBM ServeRAID アダプターを交換するには、次のステップを実行してください。

手順

1. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
2. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (45 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
3. これから使用するスロットの拡張スロット・カバーを取り外し、今後の利用のために保管します。

重要: すべての未使用のスロットに PCI 拡張スロット・カバーを取り付ける必要があります。これによりサーバーの電波障害の規制が守られ、サーバー・コンポーネントの適切な通気が確保されます。

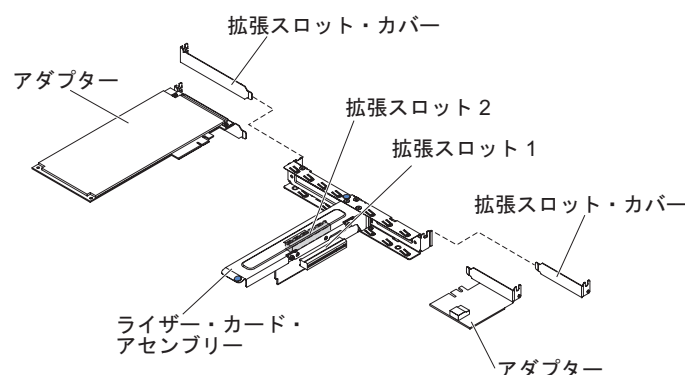
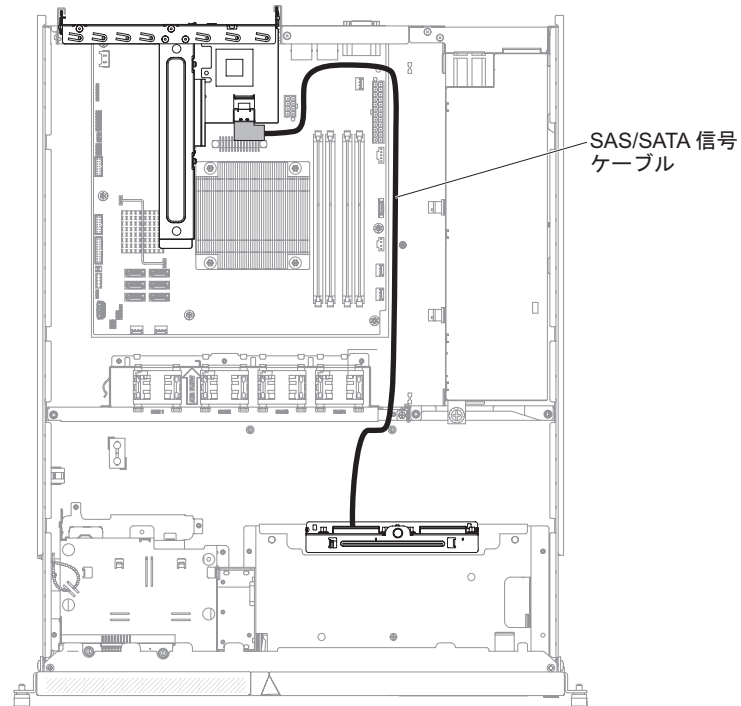


図 42. ServeRAID アダプターの取り付け: (cylcd012)

4. 新しい ServeRAID アダプターが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない面に接触させてから、アダプターの上端または上隅でアダプターをつかんで、パッケージから取り出します。

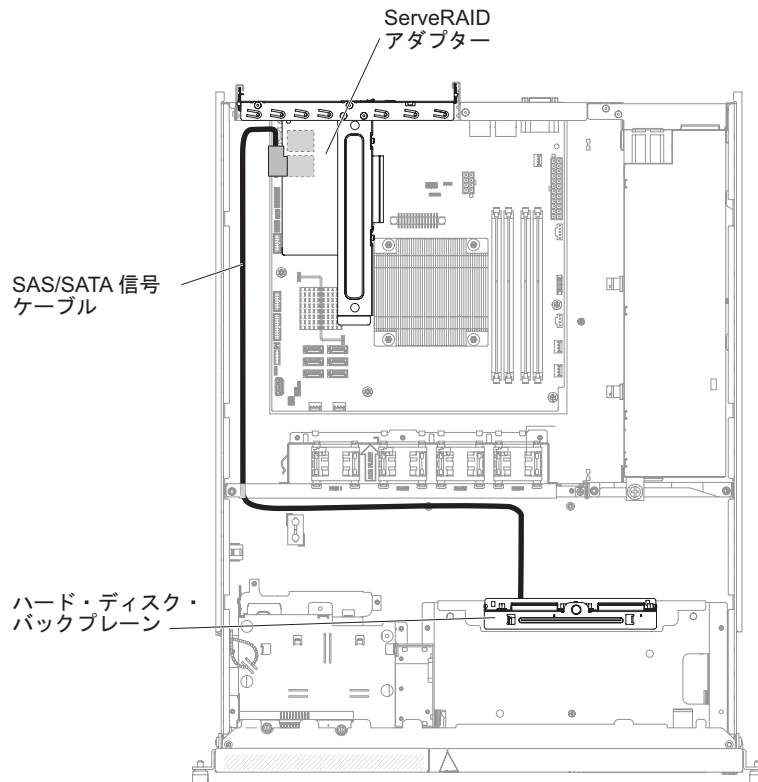
5. ドライブ・バックプレーンに接続されている信号ケーブルを、ServeRAID アダプターに接続します。
- ServeRAID-BR10il v2 アダプターを PCI ライザー・カード・アセンブリーのスロット 1 に取り付ける場合は、次の図に示すように、ドライブ・バックプレーンから信号ケーブルを配線します。



- ServeRAID-M1050 または ServeRAID-M5014 アダプターを PCI ライザー・カード・アセンブリーのスロット 2 に取り付ける場合は、次の図に示すように、ドライブ・バックプレーンからファン 1 の左側のファン・ケージの穴を通して信号ケーブルを配線します。信号ケーブルは、ServeRAID アダプターのポート 0 に接続してください。

注:

- a. 信号ケーブルは、ServeRAID-M1050 または ServeRAID-M5014 アダプターのポート 0 に接続する必要があります。
- b. 配線後にケーブル・タイを使用してシステム・ボード上のケーブルを固定してください。



6. 切り欠きが PCI ライザー・カード・アセンブリーのコネクターの位置に正しく合うように、ServeRAID アダプターの位置を合わせます。
7. ServeRAID アダプターがしっかり固定されるまで、PCI ライザー・カード・アセンブリーのコネクターに挿入します。
重要: アダプターの差し込みが不完全な場合、サーバーあるいはアダプターが損傷を受けることがあります。
8. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます (67 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。
9. カバーを再び取り付けます (69 ページの『カバーの交換』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

注: サーバーの再始動時、既存の RAID 構成を新規の ServeRAID アダプターにインポートするようにプロンプトが出されます。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

重要: シンプル・スワップ・ハード・ディスクをサーバーから取り外す場合は、事前に以下の予防措置を行ってデータ、ファームウェア、および構成データを保存してください。

- ディスク・ドライブ、ディスク・ドライブ・コントローラー (システム・ボードに内蔵されているコントローラーを含む)、ディスク・ドライブ・バック・プレート、またはディスク・ドライブ・ケーブルを変更する前に、ハード・ディスクに保管されている重要なデータをすべてバックアップしてください。
- RAID アレイのコンポーネントを取り外す前に、RAID 構成情報をすべてバックアップしてください。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクをベイから取り外すには、次のステップを実行してください。

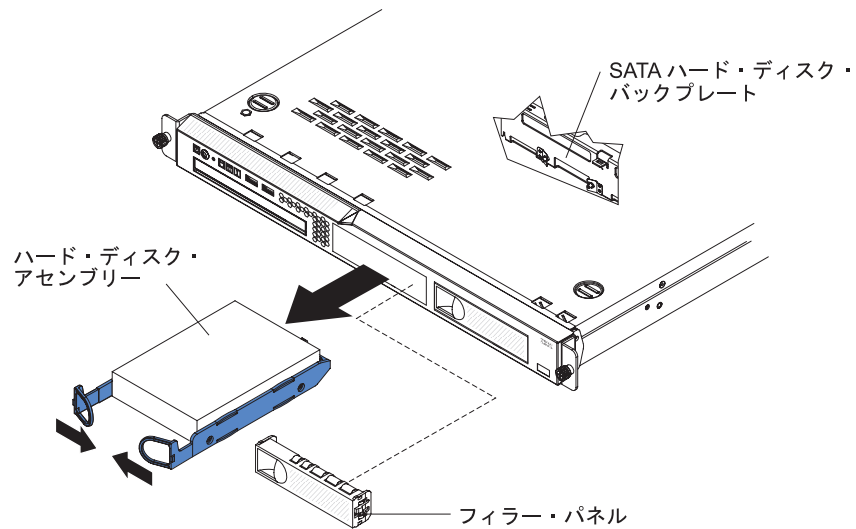
vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

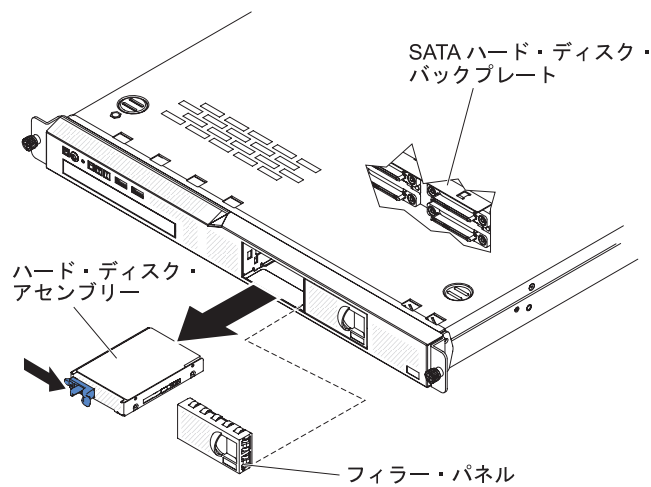
このタスクについて

手順

1. サーバーのトップ・カバーが所定の位置にあり、完全に閉じられていることを確認します。
2. ベイからフィラー・パネルを取り外します。
3. ハード・ディスクを取り外します。
 - 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、ドライブ・トレイのループをお互いの方向に引き寄せ、ドライブをベイから引き出します。



- 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、リリース・ラッチを押し、ドライブをベイから引き出します。



次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクの再取り付け

シンプル・スワップ・ハード・ディスクを交換するには、この情報を使用します。

始める前に

サーバーにシンプル・スワップ・ドライブを取り付ける際には、事前にサーバーの電源をオフにする必要があります。シンプル・スワップ SAS または SATA ハード・ディスクを取り付ける前に、次の情報をお読みください。サポートされるハード・ディスクのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

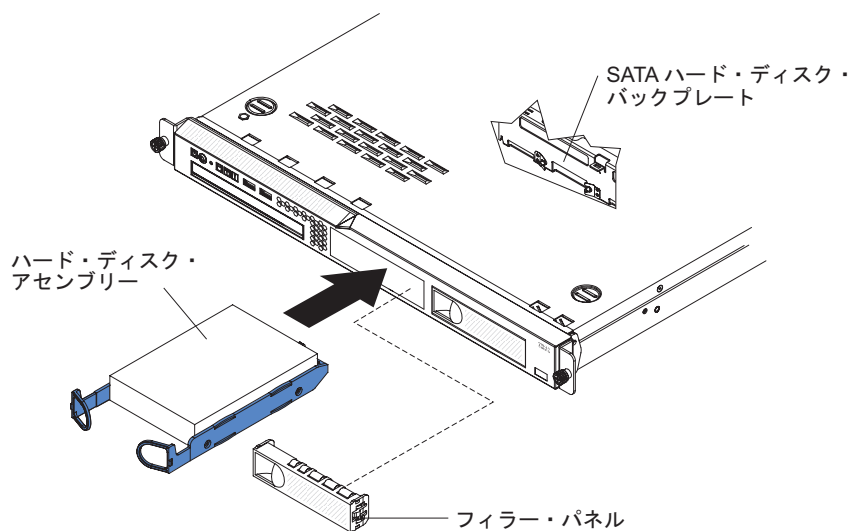
シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを行います。

注:

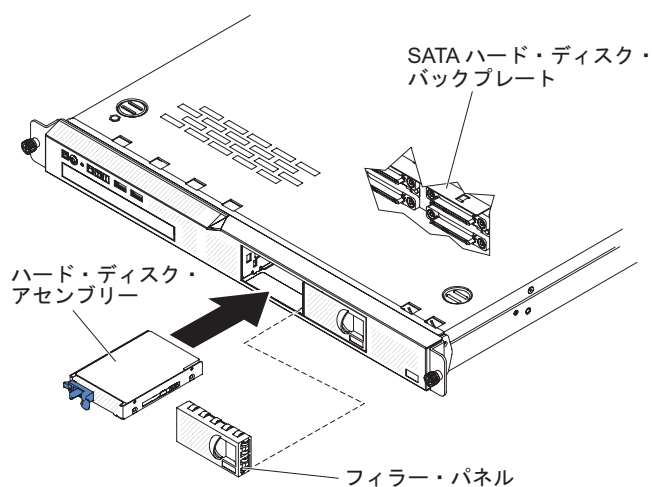
1. ハード・ディスクが 1 台のみの場合は、左側、または左上のドライブ・ベイに取り付けます。
2. OS 4690 では 3TB ハード・ディスクはサポートされません。

手順

1. 空のドライブ・ベイからフィラー・パネルを取り外します。
2. ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
3. ベイからフィラー・パネルを取り外します。
4. ドライブ・ベイにハード・ディスクを取り付けます。
 - a. 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、ドライブ・トレイのループをお互いの方向に引き寄せ、ドライブをサーバーの中にスライドさせて入れ、バックプレートにドライブが接続されるまで押し込みます。ドライブ・トレイのループを解放します。



- b. 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、ドライブがサーバーにカチッとハマるまでドライブをサーバーの中にスライドさせて入れ、バックプレートに接続します。



5. 前の手順で取り外したドライブ・ベイ・フィラー・パネルを再度取り付けます。
6. 追加のシンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付ける場合は、ここで実行してください。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

重要:

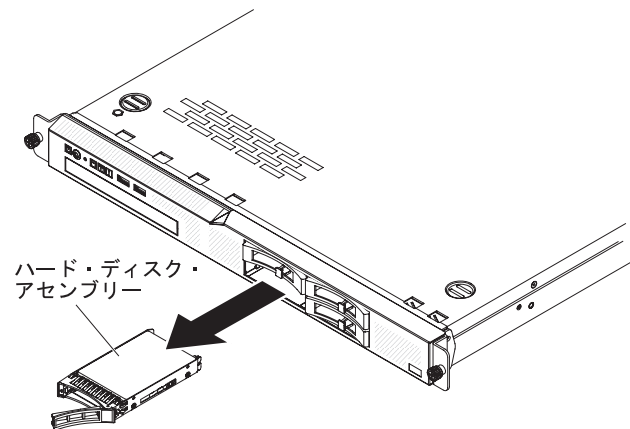
- ハード・ディスクのコネクターを損傷から守るため、ハード・ディスクを取り付けたり取り外したりする場合は、常にサーバーのカバーを取り付け、完全に閉じておいてください。
- システムを適切に冷却するために、各ベイにハード・ディスクかフィラー・パネルを取り付けない状態で、2 分を超えてサーバーを動作させないでください。
- ディスク・ドライブ、ディスク・ドライブ・コントローラー (システム・ボードに内蔵されているコントローラーを含む)、ディスク・ドライブ・バックプレーン、またはディスク・ドライブ・ケーブルを変更する前に、ハード・ディスクに保管されている重要なデータをすべてバックアップしてください。
- RAID アレイのコンポーネントを取り外す前に、RAID 構成情報をすべてバックアップしてください。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

このタスクについて

ホット・スワップ ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを行います。

重要: ハード・ディスクのコネクターを損傷から守るため、ハード・ディスクを取り付けたり取り外したりする場合は、常にサーバーのトップ・カバーを取り付け、完全に閉じておいてください。



手順

1. ドライブのハンドルを開いた位置 (ドライブに対して垂直になるよう) にします。
2. 解放ラッチをゆっくり左方向にスライドさせて、ドライブ・ハンドルのロックを解除します。

3. ハンドルをつかんで、ホット・スワップ・ハード・ディスクをドライブ・ベイから引き抜きます。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換

ホット・スワップ・ハード・ディスクを交換するには、この情報を使用します。

始める前に

以下の注記には、このサーバーがサポートするハード・ディスクのタイプと、ハード・ディスクの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。サポートされるハード・ディスクのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

- この章の説明のほかに、ハード・ディスクに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- ドライブに付属する資料で示されているすべてのケーブルおよびその他のデバイスがあるか確認します。
- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- ドライブに付属の説明書を確認して、ドライブでスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判別してください。SAS または SATA ハード・ディスクを取り付けている場合、その装置の SAS または SATA ID を必ず設定してください。
- サーバーには、最大 8 個の 2.5 型または 4 個の 3.5 型ホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスクを取り付けることができます。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性と冷却を保護するには、すべてのベイと PCI スロットおよび PCI Express スロットがカバーされているか、占有されている必要があります。ドライブ、あるいは PCI または PCI Express アダプターを取り付けるときは、後で装置を取り外す場合に備えて、ベイ、あるいは PCI または PCI Express アダプター・スロット・カバーから外した EMC シールドとフィルター・パネルを保管しておきます。
- サーバーでサポートされているオプション装置の完全なリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

このタスクについて

2.5 型ドライブのホット・スワップ・サーバー・モデルは、4 つの 2.5 型 SAS ハード・ディスクをサポートします。

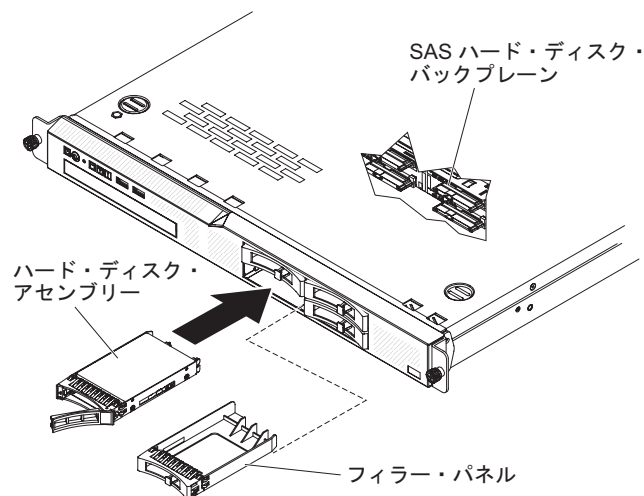
ホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスクを交換するには、次のステップを行います。

注: ハード・ディスクが 1 つのみの場合は、左のドライブ・ベイに取り付ける必要があります。

重要: ハード・ディスクのコネクターを損傷から守るため、ハード・ディスクを取り付けたり取り外したりする場合は、常にサーバーのトップ・カバーを取り付け、完全に閉じておいてください。

手順

1. サーバーのトップ・カバーが所定の位置にあり、完全に閉じられていることを確認します。
2. 空のドライブ・ベイからフィラー・パネルを取り外します。フィラー・パネルは安全な場所に保管してください。
3. ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
4. ドライブ・ベイにハード・ディスクを取り付けます。



- a. ドライブ・トレイ・ハンドルが開いていることを確認します。
- b. ベイからフィラー・パネルを取り外します。
- c. ドライブをベイ内のガイド・レールと位置合わせします。
- d. ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。
- e. トレイ・ハンドルを「閉」位置 (ロック位置) に押します。
- f. ハード・ディスク状況 LED を調べて、ハード・ディスクが正しく作動していることを確認します。ドライブの黄色のハード・ディスク状況 LED が点灯したままの場合は、そのドライブに障害があり、交換する必要があります。緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。

注: ServeRAID アダプターを使用してサーバーを RAID 操作用に構成する場合、ハード・ディスクの取り付け後にディスク・アレイを再構成する必要があります。

生じる可能性があります。RAID 操作の詳細と、ServeRAID アダプターを使用するための詳細な説明に関しては、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。

5. 追加のホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付ける場合は、ここで実行してください。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

オプションの DVD ドライブの取り外し

DVD ドライブを取り外すには、以下の情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

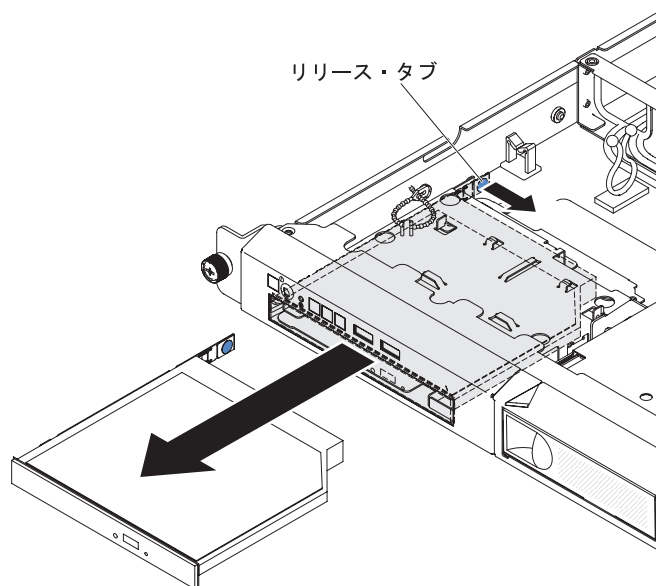
このタスクについて

DVD ドライブを取り外すには、次のステップを実行してください。

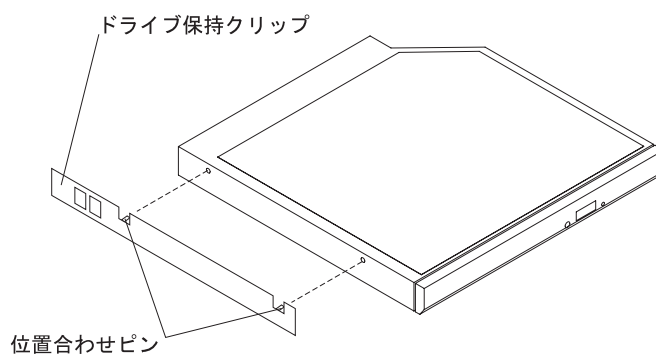
手順

1. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
2. リリース・タブ (ドライブ保持クリップの後部) をサーバーの右サイドの方向に押してクリップを解放してから、タブを押しながらドライブをベイの外側に押して取り外します。

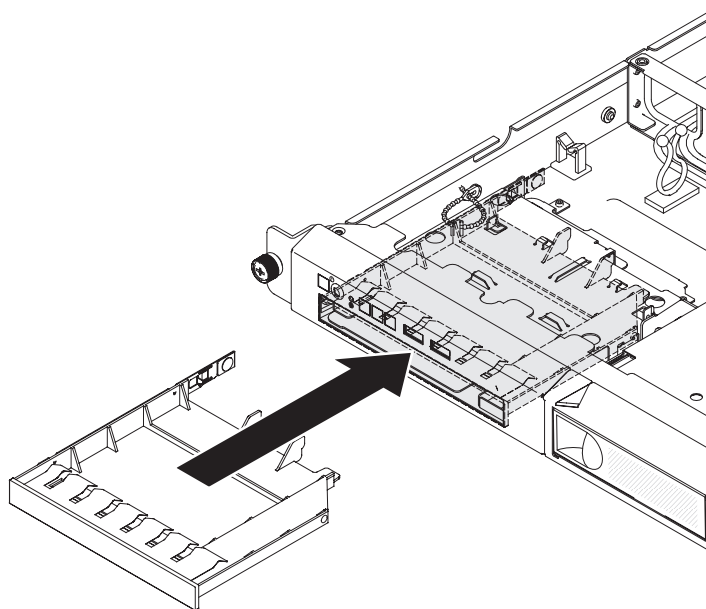
注: 最初、ドライブが動かないときは、ドライブの右側、後部の角をサーバーの前方に向けて押す必要がある場合があります。



3. ドライブから保持クリップを取り外します。



4. DVD ドライブの交換を行わない場合は、DVD ドライブ・フィラーを再取り付けします。
- 取り外したドライブ保持クリップを、DVD ドライブ・フィラーの側面に取り付けます。
 - DVD ドライブを DVD ドライブ・ベイにスライドして入れ、ドライブが所定の位置にカチッと収まるまで押します。



重要: システムの冷却を正常に保つため、それぞれのベイにドライブまたはフィルター・パネルが入っていない状態で 10 分を超えてサーバーを作動させないでください。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

オプションの DVD ドライブの交換

DVD ドライブを交換するには、以下の情報を使用します。

始める前に

以下に、サーバーがサポートするドライブのタイプの説明と、ドライブを取り付けるときに考慮すべき事項を示します。サポートされるドライブのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

- この章の説明のほかに、ドライブに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- ドライブに付属する資料で示されているすべてのケーブルおよびその他のデバイスがあるか確認します。
- このサーバーは、1 つのウルトラ・スリム SATA 光学式ドライブをサポートします。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

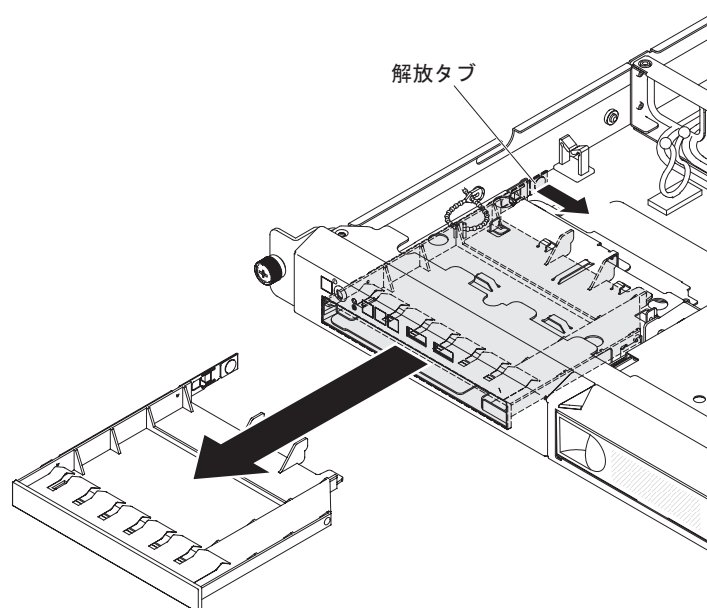
注: サーバーから給電部を切り離す際、給電部が取り外されると LED が点灯しないため、LED を見ることはできません。給電部を切り離す前に、オペレーター情報パネル、Light Path 診断パネル、およびサーバー内部のシステム・ボード上の LED を含めて、どの LED が点灯しているかをメモしておきます。

このタスクについて

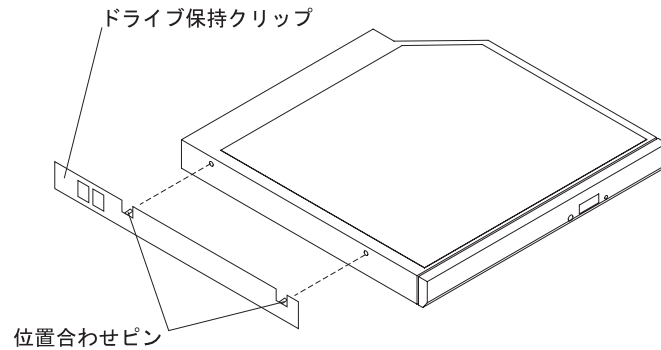
DVD ドライブを交換するには、次のステップを実行してください。

手順

1. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
2. 取り付けられている場合は、DVD ドライブのフィラー・パネルを取り外します。DVD ドライブ・フィラー・パネルの背面にある青色のリリース・タブを見つけて、そのタブを押しながら DVD ドライブ・フィラー・パネルをドライブ・ベイから押し出します。



3. DVD ドライブ・フィラー・パネルから保持クリップを取り外します。今後の利用のために DVD ドライブのフィラー・パネルを保管します。
4. 上記のステップで取り外したドライブ保持クリップを、新しい DVD ドライブの側面に取り付けます。



注: レーザーを含む光学式ドライブを取り付けている場合は、以下の安全上の予防措置を守ってください。

安全 3



注意:

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) が取り付けられている場合には、以下のことに注意してください。

- ・ カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。
- ・ 本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。



危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。



クラス 1 レーザー製品

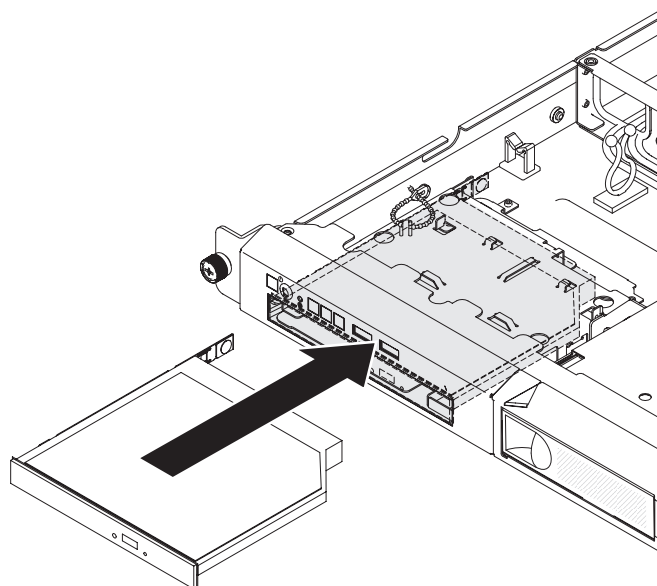
Laser Klasse 1

Laser Klass 1

Luokan 1 Laserlaite

Appareil A Laser de Classe 1

5. DVD ドライブをベイにスライドして入れ、DVD ドライブが所定の位置にカチッと収まるまで押します。



6. ドライブに付属の説明書に従い、ジャンパーまたはスイッチを設定します。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

DIMM の取り外し

以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを取り外します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

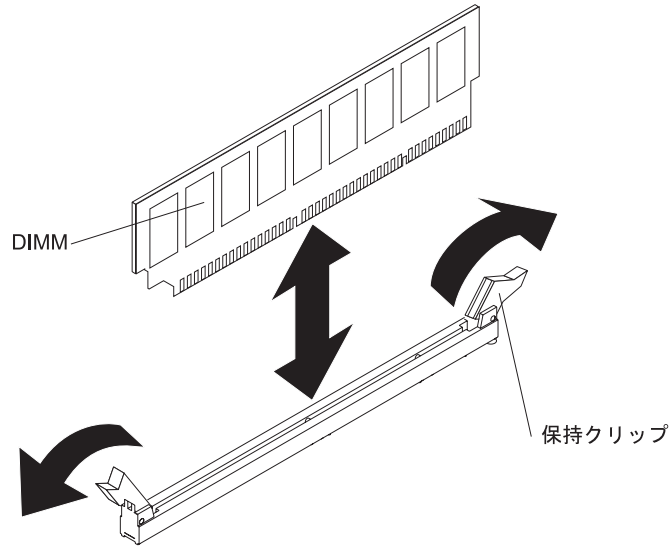
このタスクについて

デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
2. エアー・バッフルが取り付けられている場合は取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
3. 慎重に DIMM コネクターの各端にある保持クリップを開き、DIMM を取り外します。

重要: 保持クリップの破損や DIMM コネクターの損傷を防止するために、クリップは慎重に取り扱ってください。



次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

メモリー・モジュールの取り付け

以下の注意書きは、サーバーがサポートする DIMM のタイプと、DIMM を取り付けの際に考慮すべきその他の情報についての説明です。

- 取り付ける DIMM をサーバーがサポートしていることを確認します (<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照)。
- DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、サーバー構成情報が変わります。サーバーを再始動すると、システムにより、メモリー構成が変更されたことを示すメッセージが表示されます。サーバー構成情報の表示は、Setup ユーティリティを使用して行うことができます。詳しくは、79 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照してください。
- このサーバーは、業界標準の double-data-rate 3 (DDR3)、1333 または 1600 MHz、PC3L-12800 (single-rank または dual-rank)、エラー修正コード (ECC) 付き unbuffered または SDRAM (synchronous dynamic random-access memory) デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) のみをサポートします。
- サーバーは、最大 4 つの single-rank または dual-rank Unbuffered DIMM をサポートします。
- サーバーの最大動作速度は、サーバーで最も速度の遅い DIMM によって決まります。
- DIMM のペアを DIMM コネクター 1 および 3 に取り付ける場合は、DIMM コネクター 1 および 3 に取り付ける DIMM のサイズと速度が相互に一致している必要があります。ただし、DIMM コネクター 2 と 4 に取り付けた DIMM とサイズおよび速度が同じである必要はありません。

- 互換性があれば、さまざまなメーカーの DIMM を同じペアに使用することができます。
- DDR3 DIMM の仕様は、DIMM 上のラベルに以下のフォーマットで記載されています。
- *gGB eRxf PC3v-wwwwwm-aa-bb-cc*

ここで、

- *gGB* は DIMM の合計容量です (例えば 1GB、2GB、または 4GB)。
- *eR* はランク数です。
 - 1R = single-rank
 - 2R = dual-rank
 - 4R = quad-rank
- *xf* はデバイス編成またはビット幅です (x4、x8、x16 など)
 - x4 = x4 編成 (1 SDRAM あたり 4 DQ 線)
 - x8 = x8 編成
 - x16 = x16 編成
- *wwwww* は、DIMM 帯域幅 (Mbps 単位) です。
 - 8500 = 8.53 GBps (DDR3-1066 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 10600 = 10.66 GBps (DDR3-1333 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 12800 = 12.80 GBps (DDR3-1600 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
- *m* は、DIMM のタイプです。
 - E = ECC 付きの unbuffered DIMM (UDIMM) (x72 ビット・モジュール・データ・バス)
 - R = registered DIMM (RDIMM)
 - U = ECC なしの unbuffered DIMM (x64 ビット基本データ・バス)
- *aa* は CAS 待ち時間で、最大動作周波数のクロック数で表します。
- *bb* は、JEDEC SPD 改訂エンコードおよび追加レベルです。
- *cc* は、DIMM 設計の参照設計ファイルです。

注:

1. DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルを調べてください。このラベル上の情報は、*xGB nRxx PC3v-xxxxxx-xx-xx-xx* の形式で記載されています。6 番目の数値位置の数表示は、DIMM が single-rank (n=1) であるか dual-rank (n=2) であるかを示します。
2. システム構成に応じて使用可能なメモリー量が減少します。メモリーの一定容量はシステム・リソース用に予約されます。取り付け済みメモリーの合計量と構成済みメモリーの量を表示するには、Setup ユーティリティを実行してください。詳細は、74 ページの『サーバーの構成』を参照してください。

Unbuffered DIMM (UDIMM)

以下の注意書きでは、UDIMM を取り付ける際に考慮する必要がある情報を提供します。

- メモリー・チャンネルは、取り付け済みの DIMM 間に共通する最低周波数で作動します。
- このサーバーで使用可能な UDIMM オプションは、1 GB、2 GB、4 GB、および 8 GB (使用可能な場合) の DIMM です。
- このサーバーは、チャンネルあたり最大 2 つの single-rank または dual-rank UDIMM をサポートします。
- 次の表は、サポートされる UDIMM 装着構成のリストです。

表 32. チャンネルごとのサポートされる UDIMM 装着構成

チャンネルごとの DIMM コネクター	各チャンネルに取り付けられた DIMM	DIMM のタイプ	DIMM 速度	DIMM ごとのランク (任意の組み合わせ)
2	1	Unbuffered DDR3 ECC	1066、1333、1600	single-rank、dual-rank
2	2	Unbuffered DDR3 ECC	1066、1333、1600	single-rank、dual-rank

- 次の表は、rank UDIMM を使用した DIMM の最大取り付け数です。

表 33. ランク付き UDIMM を使用した最大メモリー装着構成 (モデルにより異なる)

UDIMM の数	DIMM のタイプ	サイズ	メモリー合計
4	single-rank UDIMM	1 GB	4 GB
4	dual-rank UDIMM	2 GB	8 GB
4	dual-rank UDIMM	4 GB	16 GB
4	dual-rank UDIMM	8 GB	32 GB

- 次の表は、システム・パフォーマンスを最適化するための、UDIMM メモリーの取り付けに関する規則を示しています。

表 34. UDIMM 装着構成の規則

DIMMコネクター 1	DIMMコネクター 2	DIMMコネクター 3	DIMMコネクター 4
装着	空	空	空
装着	空	装着	空
装着	装着	装着	装着

DIMM の取り付け

以下の情報を使用して、DIMM を取り付けます。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

重要: サーバーの電源が入っているときに、サーバー内のコンポーネントへ静電気が放出されると、サーバーが停止して、結果的にデータが失われるおそれがあります。こうした潜在的な問題が起きないように、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

このタスクについて

下図は、システム・ボード上の DIMM コネクターの位置を示しています。

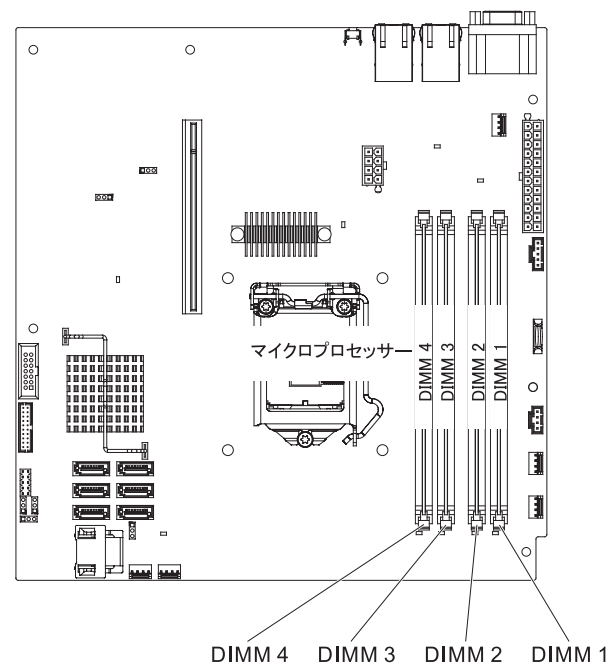


図 43. システム・ボード上の DIMM コネクターの位置

DIMM を取り付けるには、次のステップに従ってください。

手順

1. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
2. エアー・バッフルが取り付けられている場合は取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。

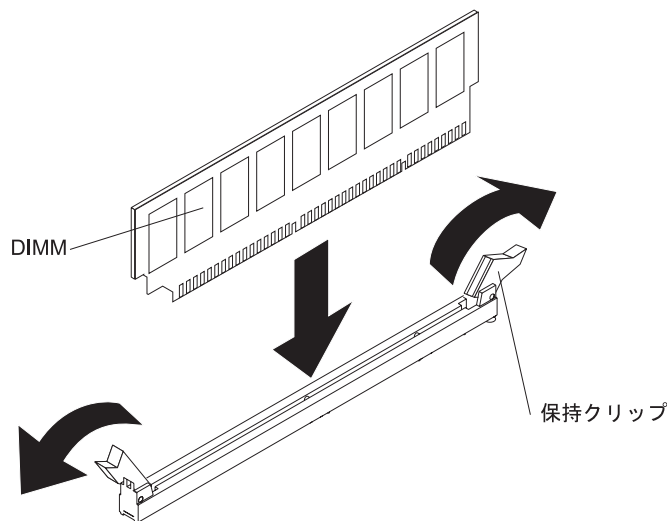
3. システム・ボード上の DIMM コネクタを確認します。DIMM を取り付けるコネクタを決定します。次の表に示されている順序で DIMM を取り付けます。

表 35. DIMM の取り付け順序

DIMM の数	取り付け順序 (コネクタ)
最初の DIMM ペア	1, 3
2 番目の DIMM ペア	2, 4

4. DIMM コネクタのそれぞれの端にある保持クリップを開きます。

重要: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクタを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。



5. DIMMが入っている静電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない金属面に接触させます。次に DIMM をパッケージから取り出します。
6. 位置合わせスロットと位置合わせタブの位置が正しく合う方向に DIMM を向けます。
7. DIMM の端を、DIMM コネクタの両端にあるスロットの位置に合わせて、DIMM をコネクタに挿入します。
8. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクタにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。DIMM がコネクタにしっかり収まると、保持クリップがカチッという音を立て、ロック位置に固定されます。

注: DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。

9. 取り外したすべてのケーブルを再接続します。
10. エアー・バッフルが取り外されていた場合は再取り付けします (68 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
11. カバーを再び取り付けます (69 ページの『カバーの交換』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

システム・ファンの取り外し

サーバーのシステム・ファンを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用リスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

このタスクについて

システム・ファンを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
2. エアー・バッフルが取り付けられている場合は取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
3. 電源コードを再接続してからサーバーの電源をオンにします。

重要: トップ・カバーを外した状態で長時間 (30 分を超えて) サーバーを作動させると、サーバーのコンポーネントに損傷を与える可能性があります。
4. システム・ボードの LED を調べて交換すべきファンを決定します (28 ページの『システム・ボードの LED』を参照)。点灯している LED が交換すべきファンを示します。
5. サーバーの電源を切り、電源コードを再度切り離します。
6. サーバーから障害を起こしたファンを取り外します。
 - a. システム・ボードからファン・ケーブルを切り離します。ケーブル保持クリップまたはケーブル・ホルダーからケーブルを取り外す必要がある場合があります。コネクタへのファン・ケーブルの引き回しをメモしてください。ファンを取り付けるときに、ファン・ケーブルを同じように引き回す必要があります。
 - b. 人差し指と親指でファンの上部をつまんで、ファンを持ち上げてサーバーから外します。

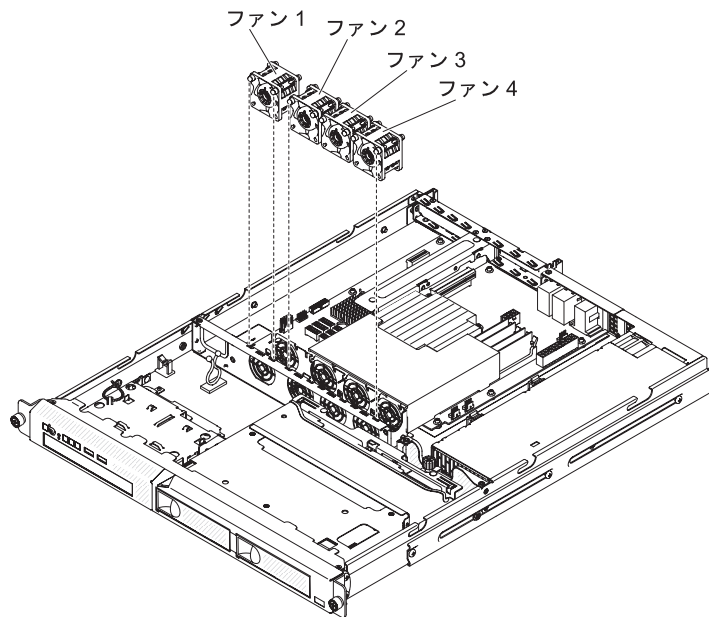


図 44. システム・ファン

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

システム・ファンの交換

サーバーのシステム・ファンを交換するには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用リスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

このタスクについて

システム・ファンを交換するには、次のステップを実行してください。

手順

1. 交換用ファンの排気方向を示す矢印がサーバーの背面を指すように、ファンの向きを定めます。

注: 正しい排気は、サーバーの前面から背面への向きです。

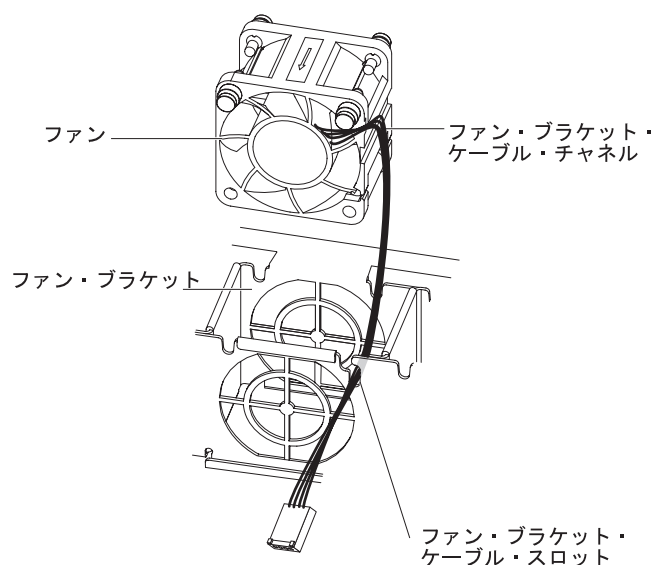


図 45. システム・ファンの取り付け

2. 取り替え用ファンを以下のようにしてブラケットに取り付けます。
 - a. ファンのケーブルがファンの横のチャンネルに完全に収まっていることを確認してください。
 - b. 障害を起こしたファンを取り外した場所から、ファン・ブラケットの上部にあるファン・ケーブル・スロットにファン・ケーブルを配線します。
 - c. ファンをブラケットに挿入します。
 - d. ファンの 2 つのグレーで柔らかなタブが、ファン・ブラケットの対応するスロットにしっかりと収まっていることを確認します。
3. システム・ボードに置換ファン・ケーブルを接続します (システム・ボード上のファン・ケーブル・コネクタの位置については 28 ページの『システム・ボードの LED』を参照してください)。
4. エアー・バッフルが取り外されていた場合は再取り付けします (68 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
5. カバーを再び取り付けます (69 ページの『カバーの交換』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

システム・バッテリーの取り外し

システム・バッテリーを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

以下の注では、バッテリーの交換時に考慮すべき事項について説明します。

- IBM は安全性を考慮してこの製品を設計しました。起こりうる危険な事態を防止するために、リチウム・バッテリーの正しい取り扱いが必要です。バッテリーを交換する場合、以下の説明を厳守する必要があります。

注: 米国の場合、バッテリーの廃棄に関しては、1-800-IBM-4333 に電話してください。

- オリジナルのリチウム・バッテリーを、重金属バッテリーまたは重金属コンポーネントを含むバッテリーに交換する場合、以下の環境上の考慮事項に配慮する必要があります。重金属を含むバッテリーおよび蓄電池は、通常の家ごみと一緒に廃棄しないでください。製造者、流通業者、または販売代理人によって無料で回収され、再利用されるか、正しい方法で廃棄されます。
- 交換用バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-IBM-SERV に、カナダでは 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、サポート・センターまたは指定のビジネス・パートナーにご連絡ください。

注: バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。

安全 2



注意:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (華氏 212 度) 以上に過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

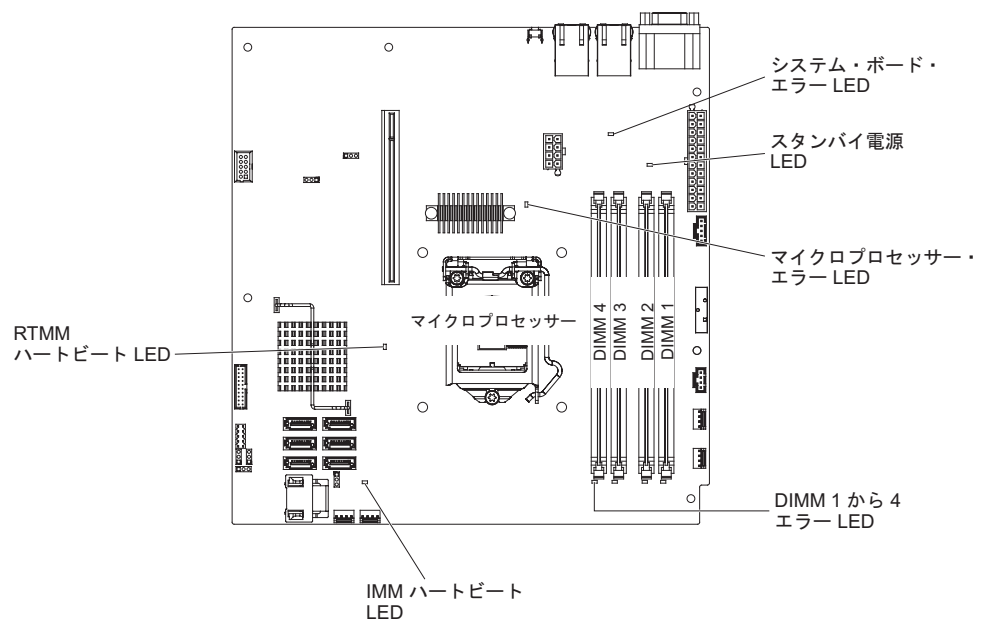
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

バッテリーを取り外すには、次の手順で行います。

手順

1. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
2. エアー・バッフルが邪魔になる場合は、持ち上げておきます (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
3. 次のように、システム・バッテリーを取り外します。次の図は、システム・バッテリーの位置を示しています。



- a. バッテリー・ホルダーにゴム製のカバーが付いている場合は、指を使ってバッテリー・コネクタからバッテリー・カバーを持ち上げます。
- b. 指を 1 本使ってバッテリーをソケットから外れるように押して、横に傾けます。

重要: 過度の力でバッテリーを傾けたり押しついたりしないでください。

- c. 親指と人差し指を使用してバッテリーをソケットから持ち上げます。

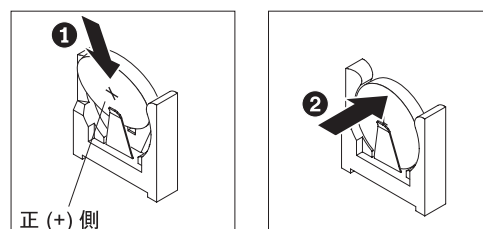


図 46. システム・バッテリーの取り外し

重要: 過度の力でバッテリーを持ち上げないでください。正しくバッテリーを取り外さないと、システム・ボード上のソケットが損傷する可能性があります。ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

4. バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください (詳しくは「*Environmental Notices and User's Guide*」を参照)。

システム・バッテリーの交換

システム・バッテリーを交換するには、この情報を使用します。

始める前に

以下の注では、バッテリーの交換時に考慮すべき事項について説明します。

- IBM は安全性を考慮してこの製品を設計しました。起こりうる危険な事態を防止するために、リチウム・バッテリーの正しい取り扱いが必要です。バッテリーを交換する場合、以下の説明を厳守する必要があります。

注: 米国の場合、バッテリーの廃棄に関しては、1-800-IBM-4333 に電話してください。

- オリジナルのリチウム・バッテリーを、重金属バッテリーまたは重金属コンポーネントを含むバッテリーに交換する場合、以下の環境上の考慮事項に配慮する必要があります。重金属を含むバッテリーおよび蓄電池は、通常の家ごみと一緒に廃棄しないでください。製造者、流通業者、または販売代理人によって無料で回収され、再利用されるか、正しい方法で廃棄されます。
- 交換用バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-IBM-SERV に、カナダでは 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、サポート・センターまたは指定のビジネス・パートナーにご連絡ください。

注: バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。

安全 2



注意:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (華氏 212 度) 以上に過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

バッテリーを交換するには、次の手順で行います。

手順

1. 交換バッテリーに付属の特殊な取り扱いや取り付けの説明書があれば、それに従ってください。
2. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルが邪魔になる場合は、持ち上げておきます (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. 新しいバッテリーを次のように挿入します。
 - a. 正符号 (+) がパワー・サプライの方を向くように、バッテリーを配置します。
 - b. バッテリーを傾けて、バッテリー・クリップの反対側でバッテリーをソケットに挿入できるようにします。
 - c. バッテリーをソケットの中に押し下げ、所定の位置にはめ込みます。

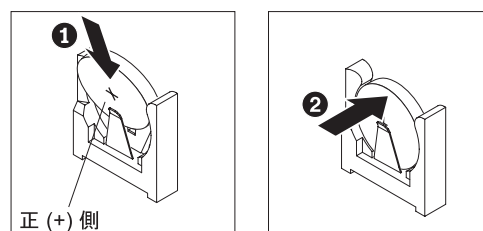


図 47. システム・バッテリーの取り付け

- d. バッテリー・ホルダーからゴム製のカバーを取り外した場合は、指を使ってバッテリー・コネクターの上部にバッテリー・カバーを取り付けます。
 5. エアー・バッフルを再び取り付けます (68 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
 6. カバーを再び取り付けます (69 ページの『カバーの交換』を参照)。
 7. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
 8. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。
 9. Setup ユーティリティを開始して、構成をリセットします。
 - a. システムの日付と時刻を設定します。
 - b. 始動パスワードを設定します。
 - c. サーバーを再構成します。
- 詳しくは、79 ページの『Setup ユーティリティの開始』を参照してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し

ホット・スワップ・パワー・サプライを取り外すには、以下の情報を使用します。

始める前に

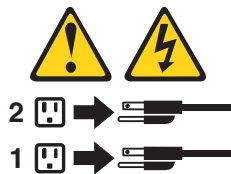
ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外しまたは取り付けを行う場合は、以下の予防措置を順守してください。

安全 5



注意:

装置の電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8



注意:

電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

このタスクについて

ホット・スワップ・パワー・サプライを取り外すには、次のステップを実行してください。

重要: サーバーにホット・スワップ・パワー・サプライが 1 台しか取り付けられていない場合は、パワー・サプライを取り外す前にサーバーの電源をオフにする必要があります。

手順

1. パワー・サプライ背面のコネクターから電源コードを外します。
2. オレンジ色のリリース・ラッチを押して、所定の位置に保持します。

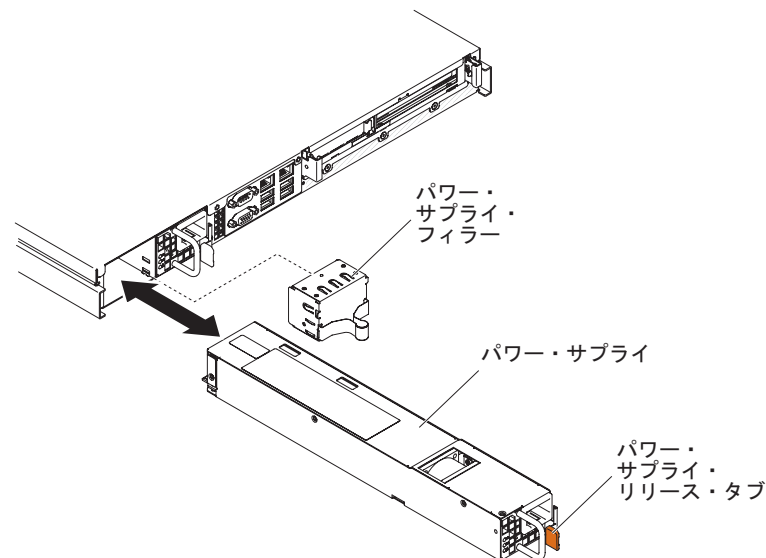


図 48. ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し

3. ハンドルをつかんで、パワー・サプライをベイから引き抜きます。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ホット・スワップ・パワー・サプライの交換

ホット・スワップ・パワー・サプライを交換するには、この情報を使用します。

始める前に

以下に、サーバーがサポートするパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付ける際に考慮すべき事項について示します。

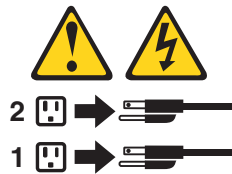
- ご使用のサーバー・モデルによっては、460 ワットのホット・スワップ・パワー・サプライが標準装備されています。冗長性をサポートするには、追加のホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける必要があります（ご使用のモデルに取り付けられていない場合）。
- 取り付けるデバイスがサポートされていることを確認します。サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。

安全 5



注意:

装置の電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8



注意:

パワー・サプライのカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

このタスクについて

ホット・スワップ・パワー・サプライを交換または取り付ける場合は、以下のステップを実行してください。

手順

1. サイド・クリップをつかんで引き、パワー・サプライ・フィラー・パネルを空のパワー・サプライ・ベイから取り外します。パワー・サプライ・フィラー・パネルは、後でパワー・サプライを取り外した場合のために保管します。

重要: 通常の操作中は、適切な冷却を維持するために、パワー・サプライあるいはパワー・サプライ・フィラー・パネルのいずれかが各パワー・サプライ・ベイに取り付けられている必要があります。

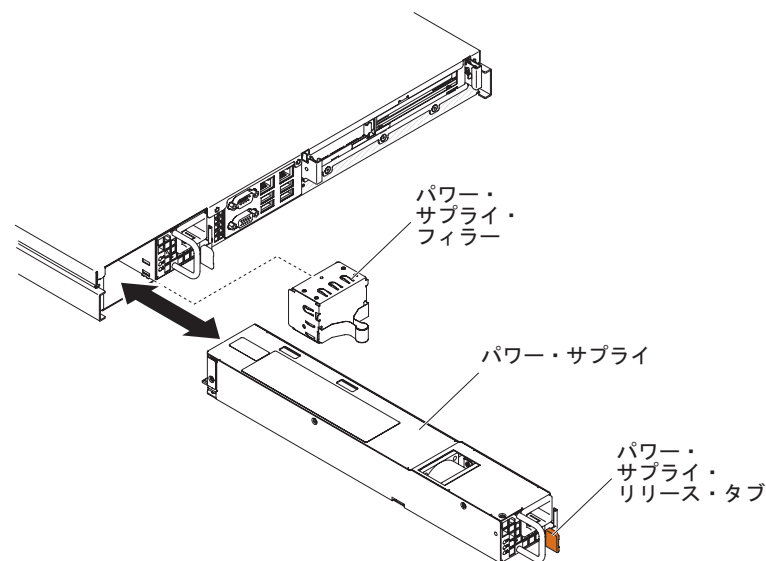


図 49. ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け

2. ホット・スワップ・パワー・サプライを、リリース・ラッチがカチッと音がして所定の位置に収まるまでベイ内にスライドさせます。
3. 新規のパワー・サプライ用の電源コードの一方の端をパワー・サプライ背面の AC コネクタに接続し、電源コードの他方の端を適切に接地された電源コンセントに接続します。
4. サーバーの電源がオフになっている場合は、オンにします。
5. パワー・サプライ上の AC 電源 LED が点灯して、パワー・サプライが正常に作動していることを示すことを確認します。サーバーの電源がオンになったら、パワー・サプライ上の DC 電源 LED も点灯していることを確認します。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

Tier 2 の CRU の取り外しと交換

このセクションでは、サーバー内の Tier 2 CRU の取り外しと交換について説明します。

Tier 2 CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付けを依頼することもできます。

本書の図は、お客様がご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

DVD ドライブ・ケーブルの取り外し

DVD ドライブ・ケーブルを取り外すには、以下の情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

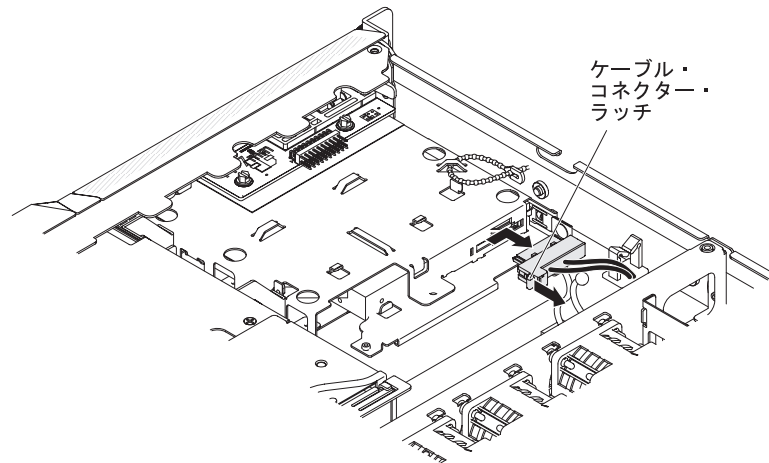
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

DVD ドライブ・ケーブルを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
2. エアー・バッフルが取り付けられている場合は取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
3. 光学式ドライブ・ケージ・コネクタからケーブルを引き抜きます。



4. ケーブルがケーブル・タイまたはケーブル・クリップに付いている場合は、そこから取り外します。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

DVD ドライブ・ケーブルの交換

DVD ドライブ・ケーブルを交換するには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

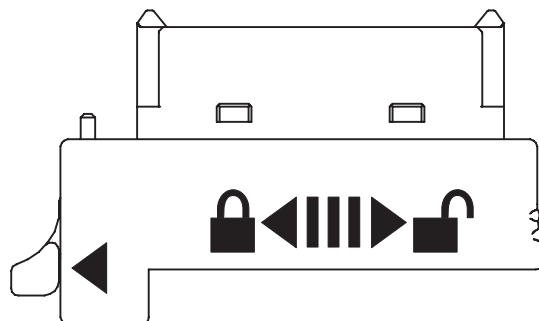
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

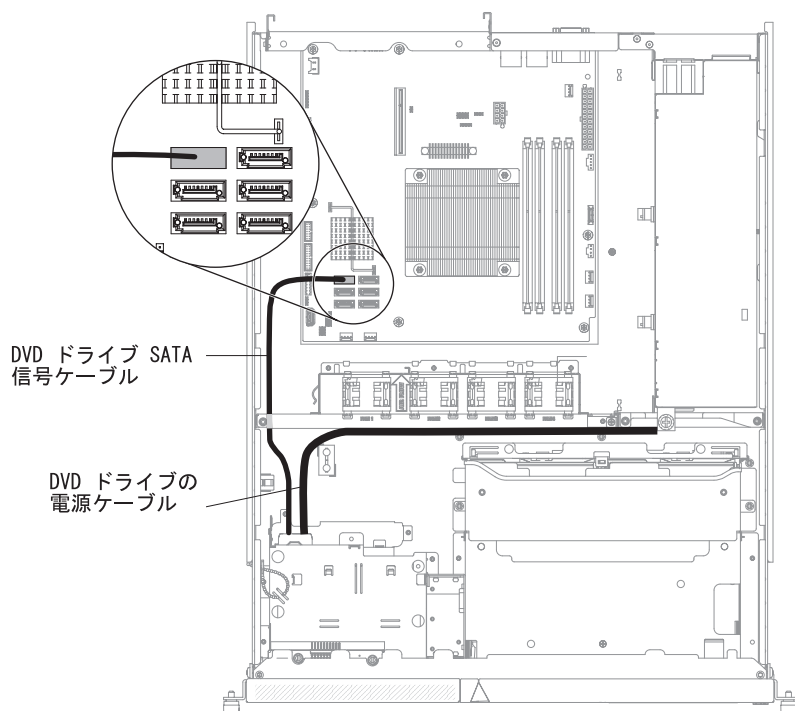
DVD ドライブ・ケーブルを交換するには、次のステップを実行してください。

手順

1. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
2. エアー・バッフルが取り付けられている場合は取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
3. ケーブル・コネクタを光ディスク・ドライブ・ケージの背面にあるコネクタを位置合わせします。
4. ケーブル・コネクタ・ラッチを引き上げたまま、ケーブル・コネクタをロック位置までスライドさせて、ケーブルを所定の位置にロックします。



5. 光ディスク・ドライブ・ケージの背面にあるコネクタに DVD ケーブルを接続します。
6. DVD 信号ケーブルを、ファン 1 の左側にあるファン・ケージの穴に通します。
下の図には、DVD 信号ケーブルの配線方法を記載しています。



7. ケーブル・タイおよびケーブル・クリップを使用して、ケーブルをサーバーに固定します。
8. エアー・バッフルが取り外されていた場合は再取り付けします (68 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
9. カバーを再び取り付けます (69 ページの『カバーの交換』を参照)。

次のタスク

1. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
2. 取り外した電源コードおよびケーブルを再接続します。
3. すべての接続デバイスとサーバーの電源をオンにします。

オペレーター情報パネル・アセンブリーの取り外し

オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

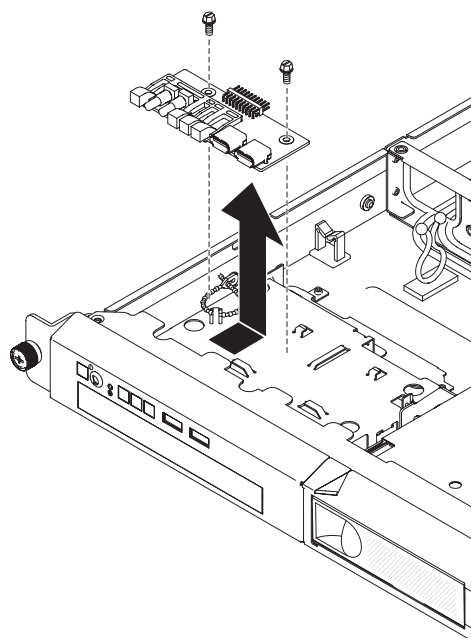
始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り外すには、次のステップを実行してください。



手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (左サイド・カバーの取り外しを参照)。
2. エアー・バッフルを取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
3. オペレーター情報パネル・ボードから信号ケーブルを外します。
4. オペレーター情報パネル・アセンブリーを DVD ドライブ・ハウジングに固定しているねじを取り外します。
5. オペレーター情報パネル・アセンブリーをサーバーから取り出します。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材が

ある場合は、それを使用して荷造りしてください。

オペレーター情報パネル・アセンブリーの交換

オペレーター情報パネル・アセンブリーを交換するには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

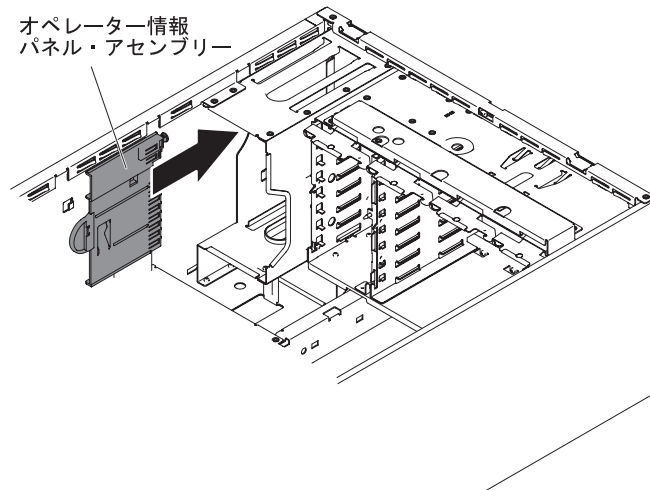
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (左サイド・カバーの取り外しを参照)。
2. エアー・バッフルを取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
3. ファン・ケージ・アセンブリーを取り外します (ファン・ケージ・アセンブリーの取り外しを参照)。
4. ドライブ・ベイ 1 の背面からドライブ・ケーブルを切り離します。
5. ドライブ・ベイ 1 に取り付けられている DVD ドライブ (186 ページの『オプションの DVD ドライブの取り外し』を参照) またはテープ・ドライブ (オプションのテープ・ドライブの取り外しを参照) を取り外します。
6. オペレーター情報パネル・アセンブリーが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからアセンブリーを取り出します。
7. オペレーター情報パネル・アセンブリーに角度をつけてアセンブリーの端がガイド・スロットに入るようにします。



8. オペレーター情報パネル・アセンブリーを前方にスライドさせて、リリース・ラッチを定位置に収めます。
9. オペレーター情報パネル・アセンブリー・ケーブルをシステム・ボードに接続します (25 ページの『システム・ボードの内部コネクター』および 内部ケーブルのルーティングおよびコネクターを参照)。
10. 前のステップで取り外した DVD ドライブをドライブ・ベイ 1 に再取り付けします (51 ページの『オプションの DVD ドライブの取り付け』および オプションのテープ・ドライブの取り付けを参照)。
11. ドライブ・ケーブルをドライブ・ベイ 1 の背面に接続します。
12. ファン・ケージ・アセンブリーを再び取り付けます (ファン・ケージ・アセンブリーの取り付けを参照)。
13. エアー・バッフルを再び取り付けます (エアー・バッフルの取り付けを参照)。
14. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (左サイド・カバーの取り付けを参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し

3.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

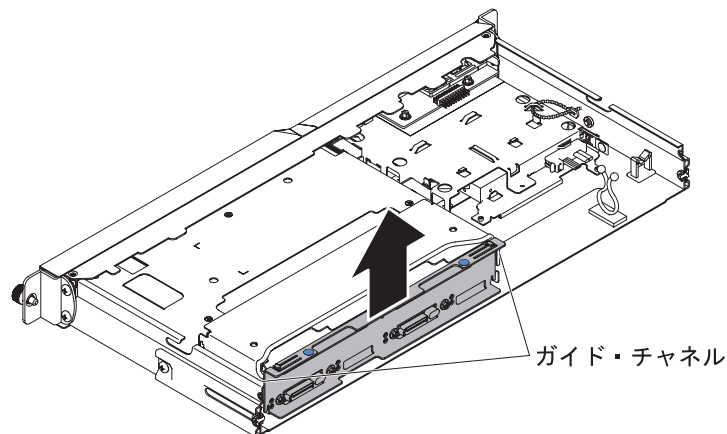
サーバーにシンプル・スワップ・ドライブを取り付ける際には、事前にサーバーの電源をオフにする必要があります。シンプル・スワップ SAS または SATA ハード・ディスクを取り付ける前に、次の情報をお読みください。サポートされるハード・ディスクのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートを取り外すには、次のステップを実行します。



手順

1. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
2. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
3. ハード・ディスクあるいはフィラーをサーバーからわずかに引き出し、バックプレート・アセンブリー/バックプレーンから外します。詳しくは、シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外しを参照してください。
4. 作業スペースを広げるために、ファンを取り外します (197 ページの『システム・ファンの取り外し』を参照)。
5. ハード・ディスクをサーバーから少し引き出して、バック・プレートから離します。

6. バック・プレートを持ち上げてサーバーから取り外します。
7. ケーブルがバックプレートに接続されている場所をメモしてから切り離します。
8. バック・プレートに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートの交換

3.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレートを交換するには、この情報を使用します。

始める前に

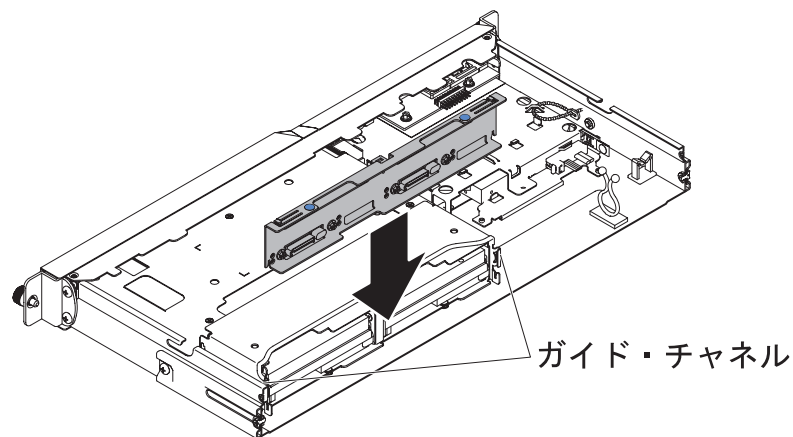
サーバーにシンプル・スワップ・ドライブを取り付ける際には、事前にサーバーの電源をオフにする必要があります。シンプル・スワップ SAS または SATA ハード・ディスクを取り付ける前に、次の情報をお読みください。サポートされるハード・ディスクのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートを取り付けるには、次のステップを実行します。



手順

1. 交換用バック・プレートにケーブルを再接続します。
2. 近くのワイヤーまたはケーブルがからまったり挟まれないように確認しながら、バック・プレートをガイド・チャンネルにスライドさせながら挿入します。
3. バック・プレートが完全に納まるまで 2 個の青色のタッチ・ポイントをしっかりと押します。
4. カバーを取り付けます (69 ページの『カバーの交換』を参照)。

5. ハード・ディスクを取り付けます。
6. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
7. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

ソフトウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートの、ハードウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートとの取り替え

ソフトウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートをハードウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートと取り替えるには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

ソフトウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートをハードウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートと取り換えるには、以下のステップを行います。

手順

1. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
2. ハード・ディスクをサーバーから取り外します (183 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』または 179 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
3. バックプレートと、システム・ボードおよびパワー・サプライ (固定または冗長) の両方とのケーブル接続を切断します。

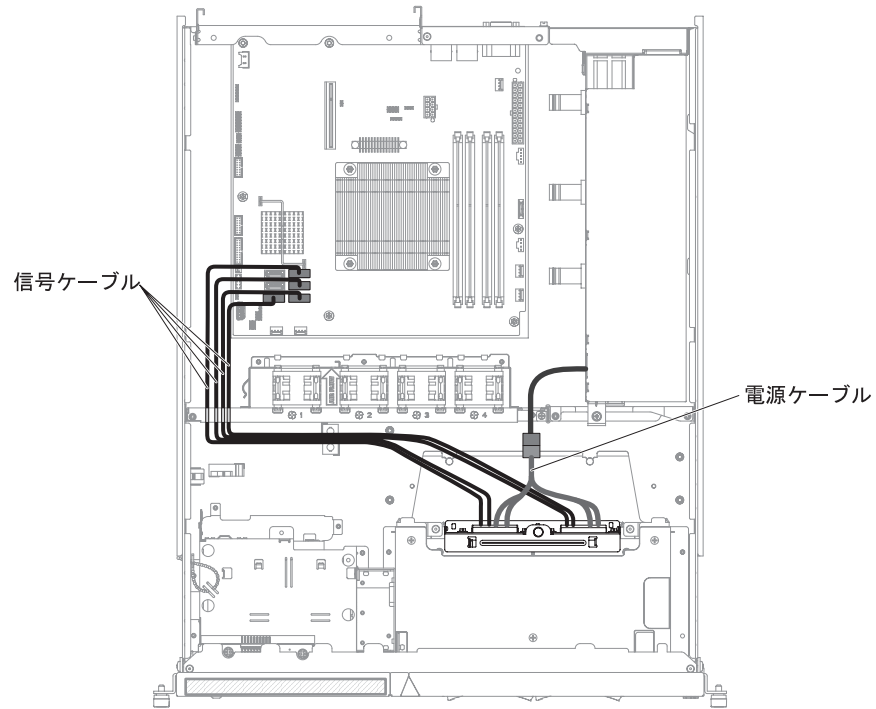


図 50. 固定パワー・サプライ用のソフトウェア RAID 信号ケーブル配線： (jinhu091)

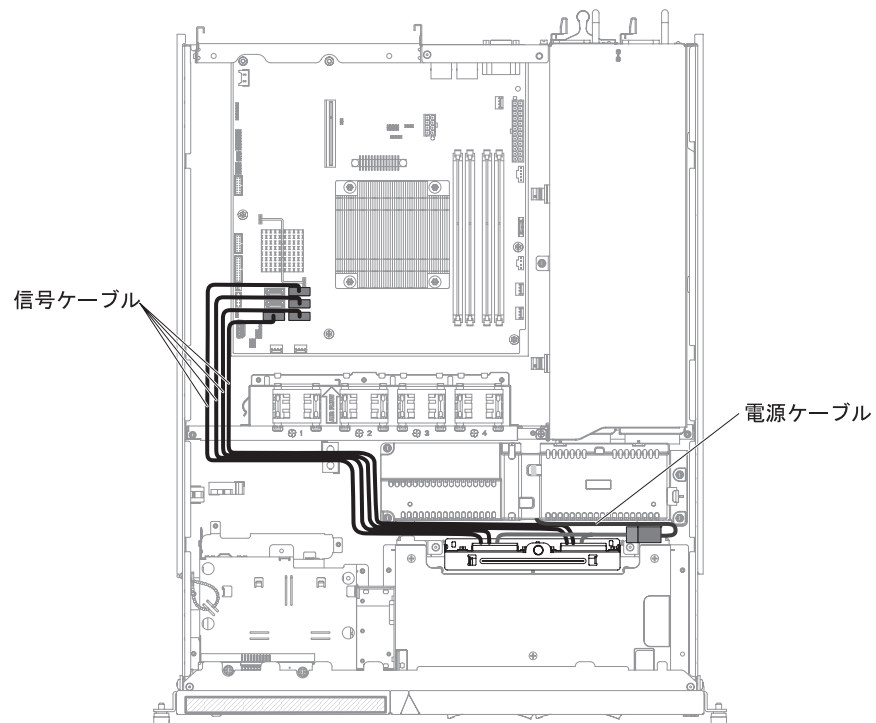


図 51. 冗長パワー・サプライ用のソフトウェア RAID 信号ケーブル配線： (jinhu091)

4. バック・プレートを持ち上げてサーバーから取り外します。
5. 近くのワイヤーまたはケーブルがからまったり挟まれないように確認しながら、交換用バックプレートをガイド・チャンネルにスライドさせて挿入します。

6. 交換用バックプレートが完全に納まるまで 2 個の青色のタッチ・ポイントをしっかりと押します。
7. 交換用バックプレートの個々の信号ケーブルおよび電源ケーブルを、ハードウェア RAID カードおよびパワー・サプライ (固定または冗長) に接続します。

注: 適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。

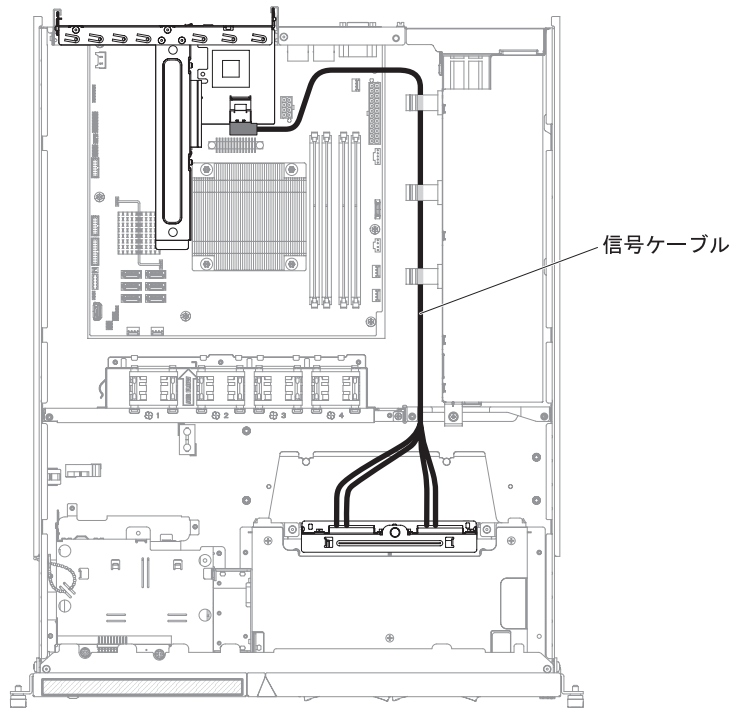


図 52. 固定パワー・サプライ用のハードウェア RAID 信号ケーブル配線 (ハードウェア RAID カードが右側に挿入されている)

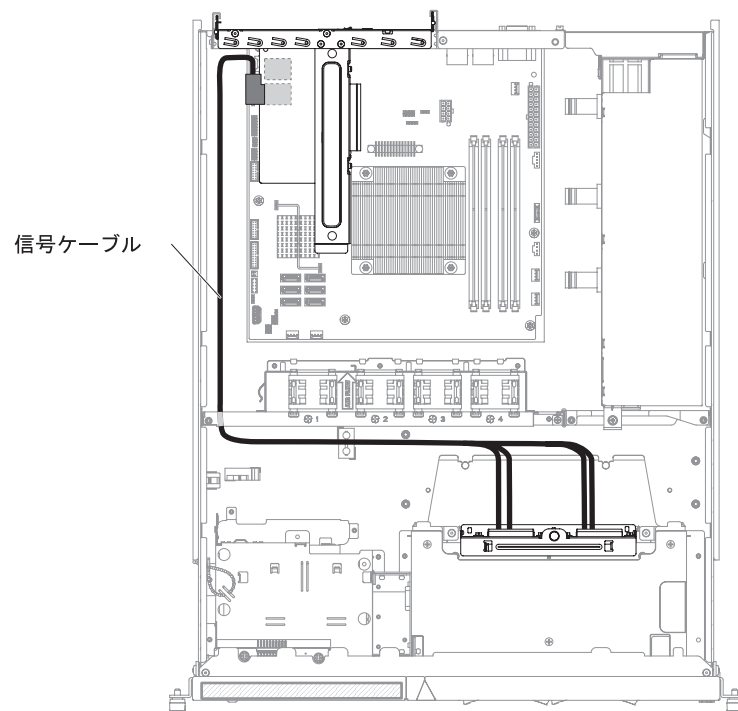


図 53. 固定パワー・サプライ用のハードウェア RAID 信号ケーブル配線 (ハードウェア RAID カードが左側に挿入されている)

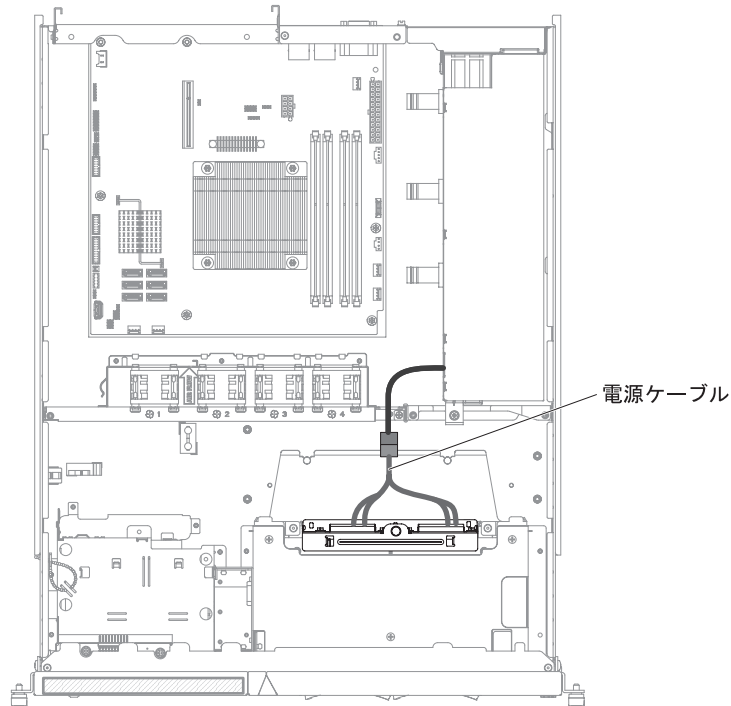


図 54. 固定パワー・サプライ用の電源ケーブル配線:

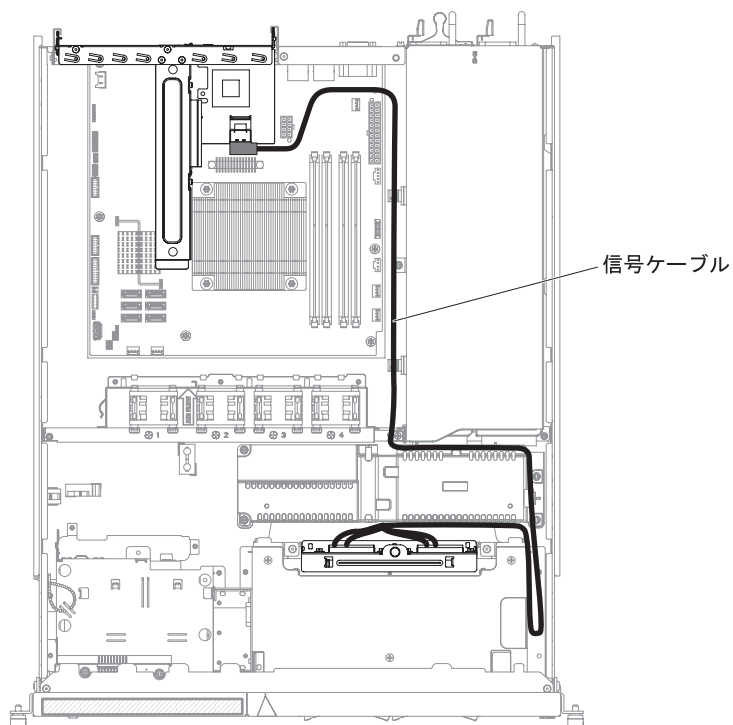


図 55. 冗長パワー・サプライ用のハードウェア RAID 信号ケーブル配線 (ハードウェア RAID カードが右側に挿入されている)

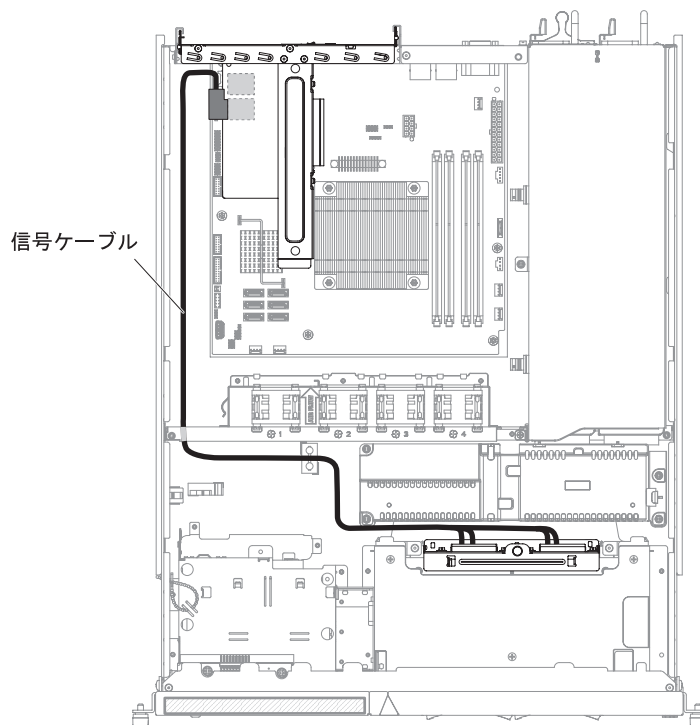


図 56. 冗長パワー・サプライ用のハードウェア RAID 信号ケーブル配線 (ハードウェア RAID カードが左側に挿入されている)

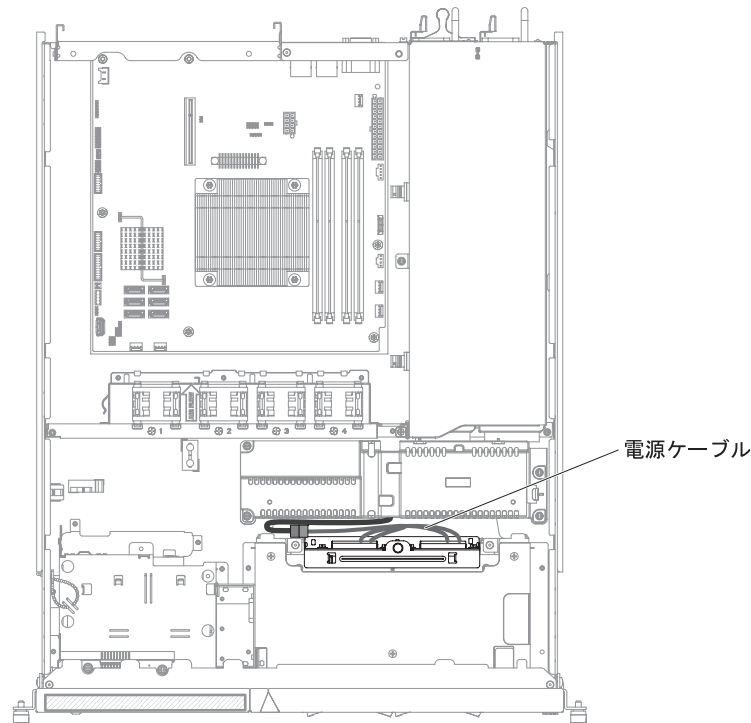


図 57. 冗長パワー・サプライ用の電源ケーブル配線:

8. カバーを再び取り付けます (69 ページの『カバーの交換』を参照)。
9. ハード・ディスクおよびフィラー・パネルを再取り付けします (184 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換』および 181 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスクの再取り付け』を参照)。

次のタスク

1. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
2. 取り外した電源コードおよびケーブルを再接続します。
3. すべての接続デバイスとサーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

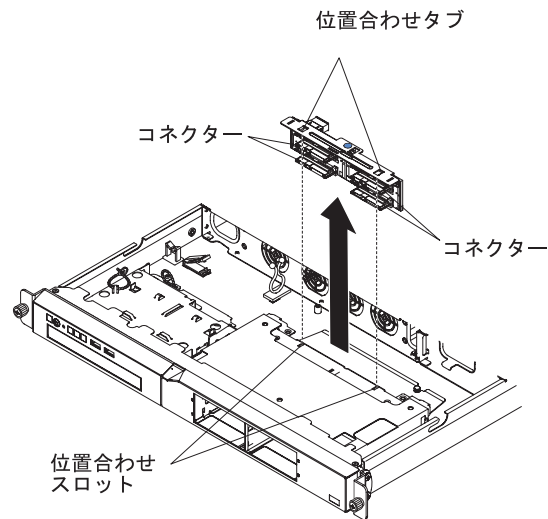
サーバーにシンプル・スワップ・ドライブを取り付ける際には、事前にサーバーの電源をオフにする必要があります。シンプル・スワップ SAS または SATA ハード・ディスクを取り付ける前に、次の情報をお読みください。サポートされるハード・ディスクのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートを取り外すには、次のステップを実行します。



手順

1. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
2. サーバーをラックからスライドして外し、帯電防止された平らな面に置きます。
3. ハード・ディスクをサーバーから少し引き出して、バックプレーンから離します。
4. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
5. バック・プレートを持ち上げてサーバーから取り外します。
6. ケーブルがバックプレートに接続されている場所をメモしてから切り離します。
7. バック・プレートに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの交換

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンを交換するには、この情報を使用します。

始める前に

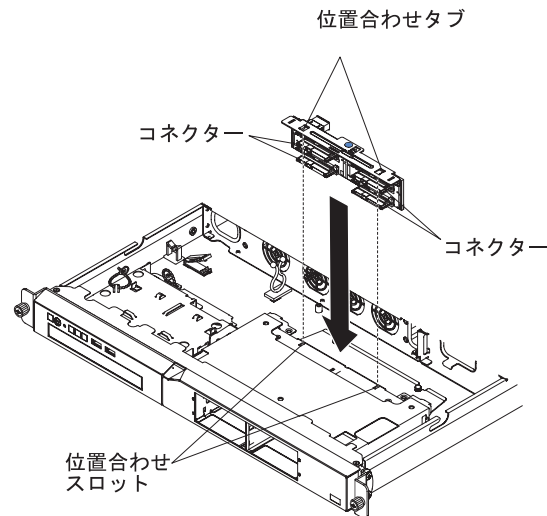
サーバーにシンプル・スワップ・ドライブを取り付ける際には、事前にサーバーの電源をオフにする必要があります。シンプル・スワップ SAS または SATA ハード・ディスクを取り付ける前に、次の情報をお読みください。サポートされるハード・ディスクのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートを取り付けるには、次のステップを実行します。



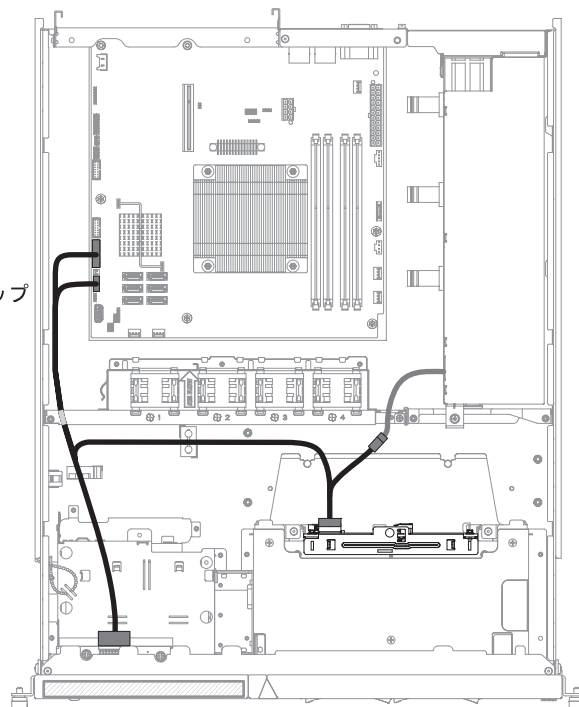
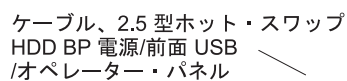
手順

1. 交換用バック・プレートにケーブルを再接続します。
 - a. バックプレーンに SAS/SATA コントローラー信号ケーブルを接続します。
 - b. バックプレーンに電源ケーブルを接続します。
 - c. バックプレーンに構成ケーブルを接続します。
2. 近くのワイヤーまたはケーブルがからまったり挟まれないように確認しながら、バック・プレートをガイド・チャンネルにスライドさせながら挿入します。

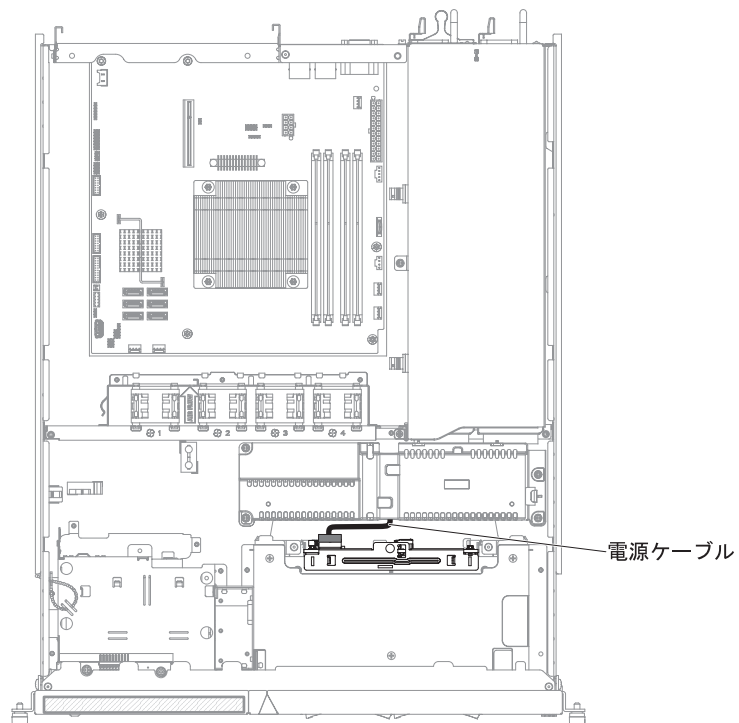
3. バックプレーンが所定の位置にはまるまで青色のタッチ・ポイントをしっかりと押します。以下の図は、ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーンが冗長パワー・サプライまたは固定パワー・サプライに接続されている場合の個々のケーブル接続を示しています。

注: 適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。

- 固定パワー・サプライに接続されているホット・スワップ・バックプレーン:



- 冗長パワー・サプライに接続されているホット・スワップ・バックプレーン:



4. カバーを取り付けます (69 ページの『カバーの交換』を参照)。
5. ハード・ディスクを取り付けます。
6. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
7. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

固定パワー・サプライの取り外し

固定パワー・サプライを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

固定パワー・サプライの取り外しまたは取り付けを行うときは、次の注意事項をお読みください。

安全 8



注意:

電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



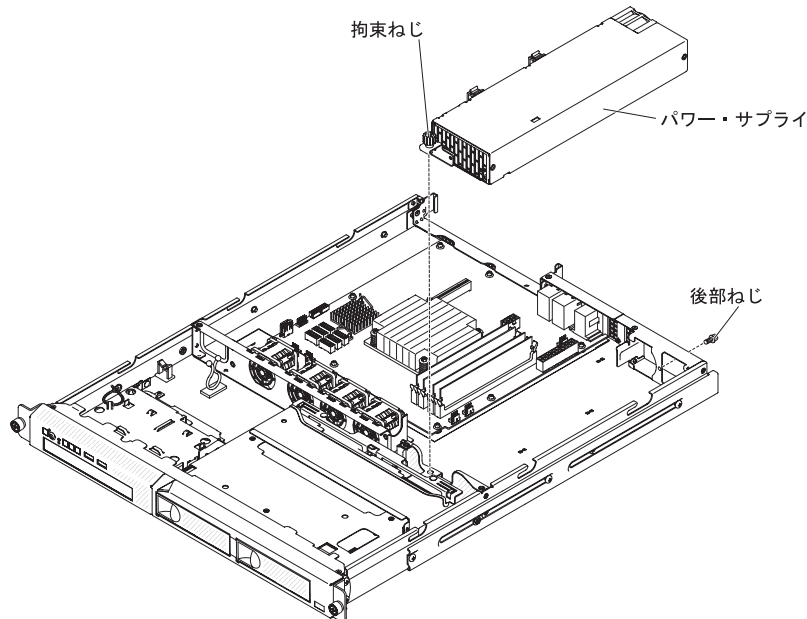
このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

固定パワー・サプライを取り外すには、次のステップを実行します。



手順

1. 取り外そうとしているパワー・サプライのコンネクターから AC 電源コードを切り離します。すべての外部ケーブルを切り離します。
2. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。

重要: 冷却と通気を適正に保つために、トップ・カバーを取り外したまま 30 分間を超えてサーバーを稼働させないでください。

3. ハード・ディスク・バックプレーンまたはバックプレート・アセンブリーを取り外します (214 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し』および 221 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し』を参照)。
4. パワー・サプライ・ケーブルをシステム・ボードのコネクターおよび内部装置から切り離し、すべての保持クリップからケーブルを取り外します。

注: パワー・サプライ・ケーブルのすべての配線経路をメモして、パワー・サプライを取り付けるときパワー・サプライ・ケーブルをまったく同じ経路で配線できるように備えます。

5. パワー・サプライをシャーシの後部に固定するねじを取り外します。
6. シャーシの底にパワー・サプライの後部を固定している、拘束ねじを緩めます。
7. パワー・サプライをベイから持ち上げて取り出します。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

固定パワー・サプライの交換

固定パワー・サプライを交換するには、この情報を使用します。

始める前に

固定パワー・サプライの取り外しまたは取り付けを行うときは、次の注意事項をお読みください。

安全 8



注意:

電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

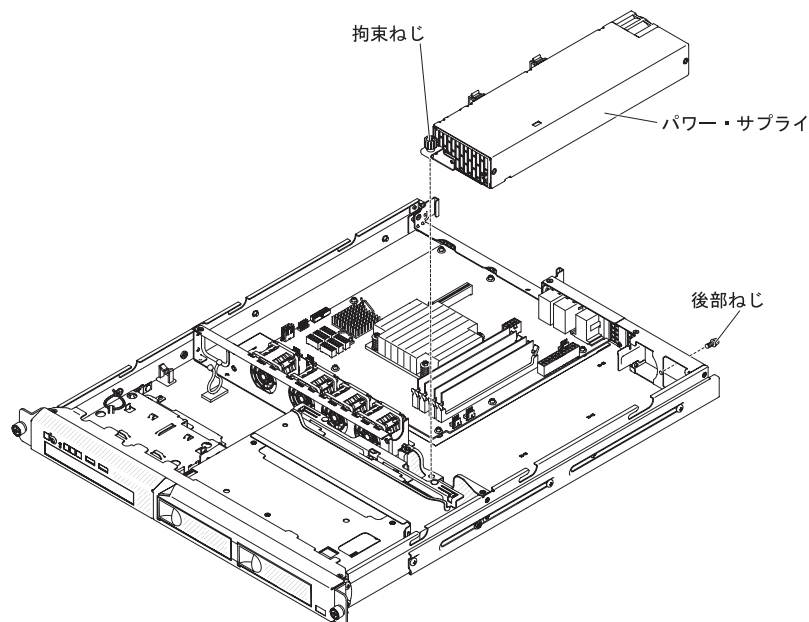
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

固定パワー・サプライを交換するには、次のステップを実行します。

手順

1. 新しいパワー・サプライをベイの中に置きます。



2. シャーシの底にパワー・サプライの後部を固定する、拘束ねじを締めます。
3. パワー・サプライをシャーシの後部に固定するねじを元に戻します。

4. 内部パワー・サプライ・ケーブルをパワー・サプライからシステム・ボード上の電源コネクタに接続します。システム・ボード上の電源コネクタの位置については、『システム・ボードの内部コネクタ』を参照してください。
5. 内部のパワー・サプライ・ケーブルを配線し、保持クリップで固定します。
6. 以下のようにして、パワー・サプライをテストします。
 - a. 新しいパワー・サプライ用の AC 電源コードの一方の端をパワー・サプライの後部にあるコネクタに接続し、電源コードの他方の端を正しく接地された電源コンセントに接続します。
 - b. システム・ボード上のスタンバイ電源 LED が点灯しているのを確認します (『システム・ボードの LED』を参照)。スタンバイ電源 LED が点灯しない場合は、この手順を中止して新しいパワー・サプライを入手してください。
 - c. 電源制御ボタンを押します。サーバー前面のパワーオン LED が点灯するのを確認します。

サーバーが始動する場合は、次のステップに進みます。サーバーが始動しない場合は、AC 電源コードを切り離してサービスを依頼してください。
7. サーバーの電源をオフにし、AC 電源コードを切り離します。
8. パワー・サプライから内部装置にケーブルを接続します。
9. ハード・ディスク・バックプレーンまたはバックプレート・アセンブリーを取り付けます (2.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンの交換または 3.5 型シンプル・スワップ/ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリー/バックプレーンの交換を参照)。
10. カバーを再び取り付けます (69 ページの『カバーの交換』を参照)。
11. AC 電源コードをパワー・サプライ背面のコネクタに再接続します。
12. 『固定パワー・サプライの取り外し』で切り離したすべての外部ケーブルを接続します。
13. AC 電源コードのもう一方を、正しくアースされたコンセントに接続します。
14. 電源制御ボタンを押します。
15. サーバー前面のパワーオン LED が点灯するのを確認します。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

240 VA 安全カバーの取り外し

240 VA 安全カバーを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

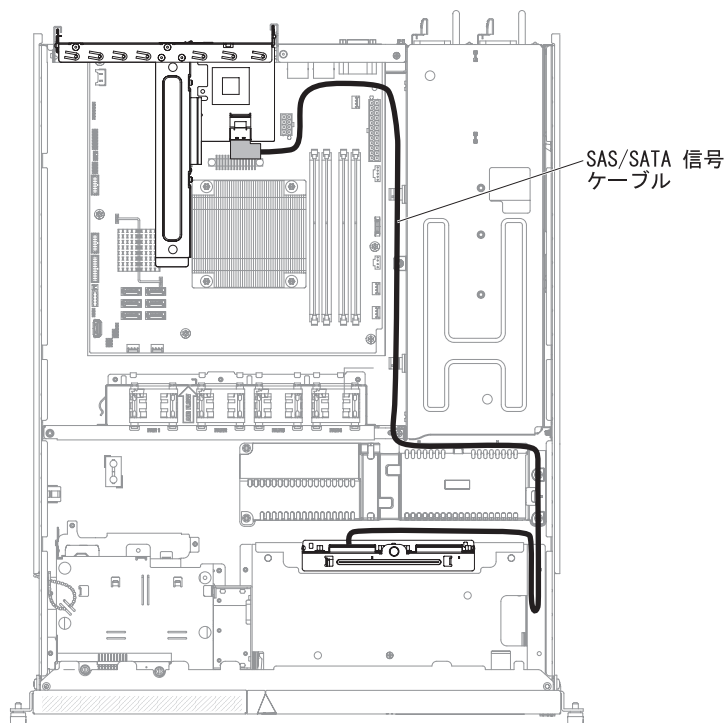
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

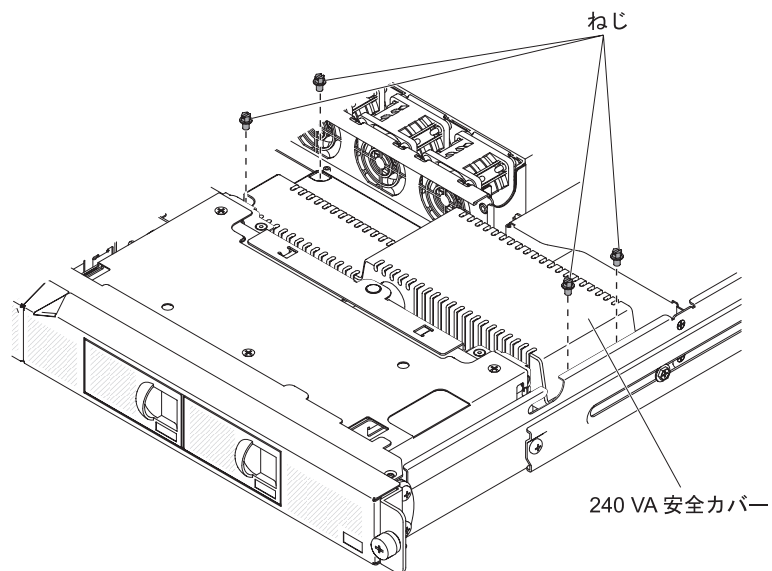
240 VA 安全カバーを取り外すには、次のステップを行います。

手順

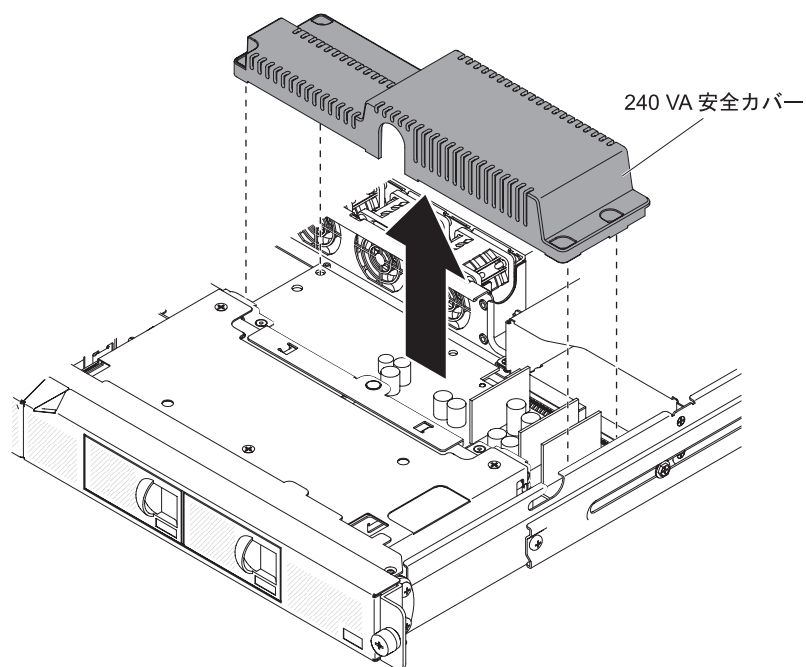
1. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
2. 安全カバーから、接続されている SAS/SATA 信号ケーブルとその他のすべてのケーブルを取り外します (内部ケーブルのルーティングおよびコネクタを参照)。



3. 安全カバーから 4 つのねじを取り外します。



4. 安全カバーを持ち上げてサーバーから取り外します。



次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

240 VA 安全カバーの交換

240 VA 安全カバーの再取り付けを行うには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

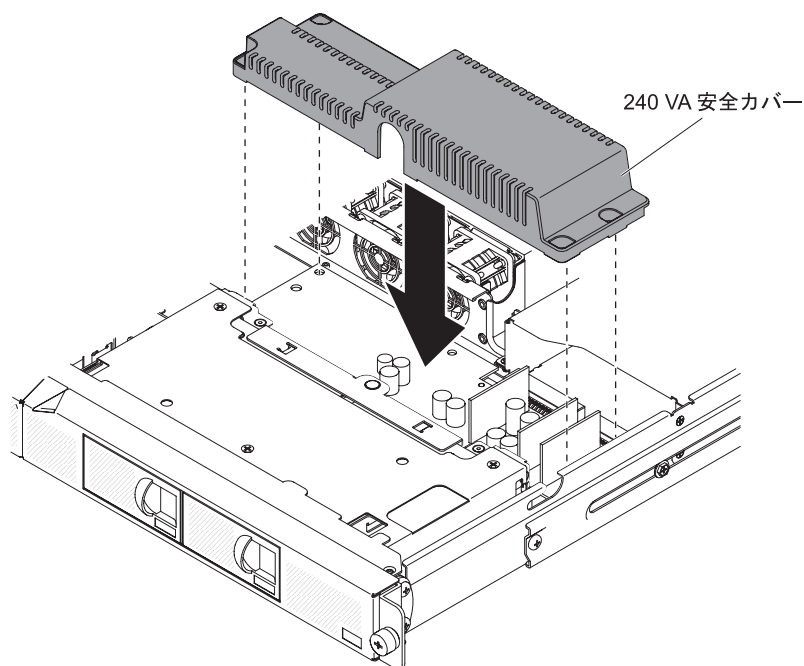
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

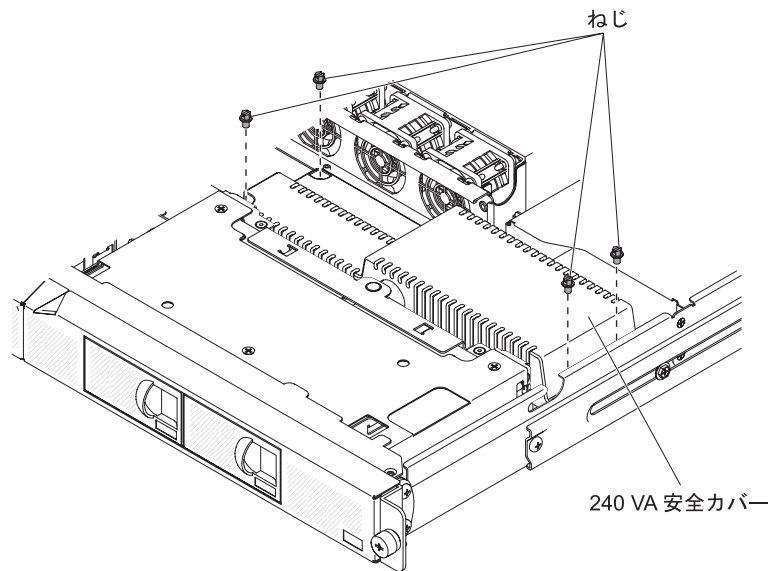
240 VA 安全カバーを交換するには、次のステップを行います。

手順

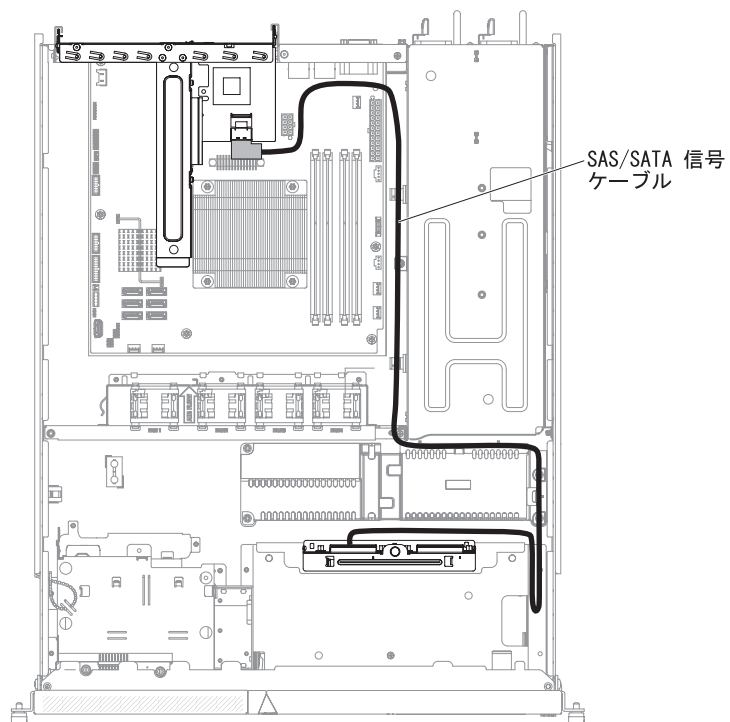
1. 安全カバーを、電源パドル・カード上の支柱に位置合わせし、固定されるまで、電源パドル・カードの方に向けて下げます。



2. ねじを取り付けて、安全カバーを固定します。



3. 取り外してあった、SAS/SATA 信号ケーブルとその他のすべてのケーブルを再接続します。



次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

電源パドル・カードの取り外し

電源パドル・カードを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

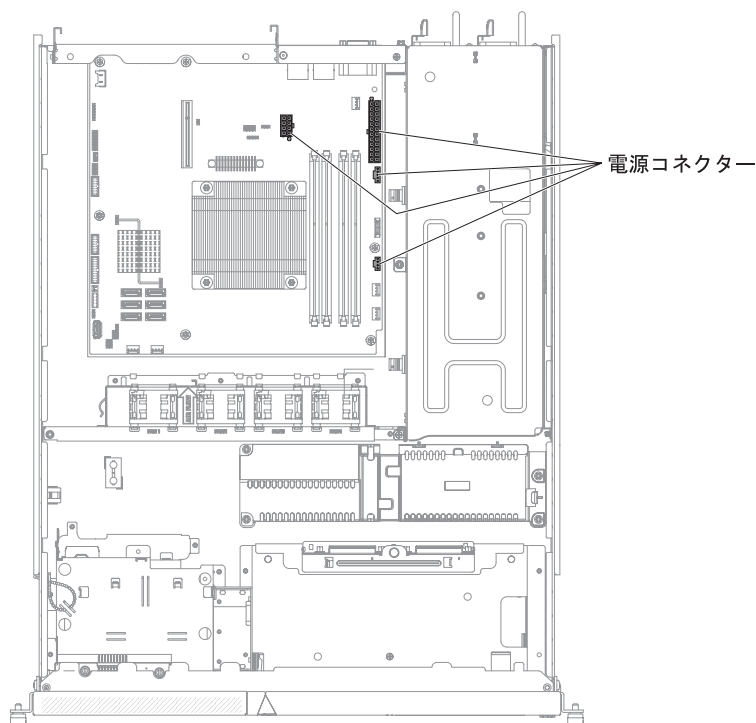
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

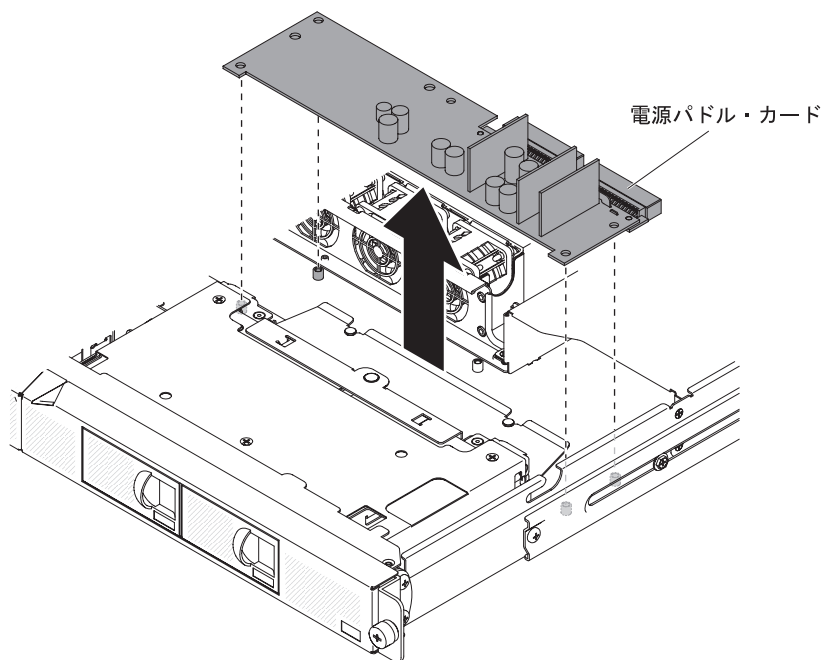
電源パドル・カードを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーから外すのに必要なだけ、パワー・サプライをサーバー背面から引き出します。
2. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルが取り付けられている場合は取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. 240 VA 安全カバーを取り外します (230 ページの『240 VA 安全カバーの取り外し』を参照)。
5. ケーブルをケーブル・タイから緩めます。
6. システム・ボード上の電源コネクタから電源ケーブルを取り外します。



7. ハード・ディスク・バックプレーンまたはバックプレート・アセンブリーからケーブルを取り外します。
8. DVD 電源ケーブルから電源ケーブルを取り外します (該当する場合)。
9. 電源パドル・カードを持ち上げてサーバーから取り外します。



次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

電源パドル・カードの交換

電源パドル・カードを交換するには、この情報を使用します。

始める前に

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

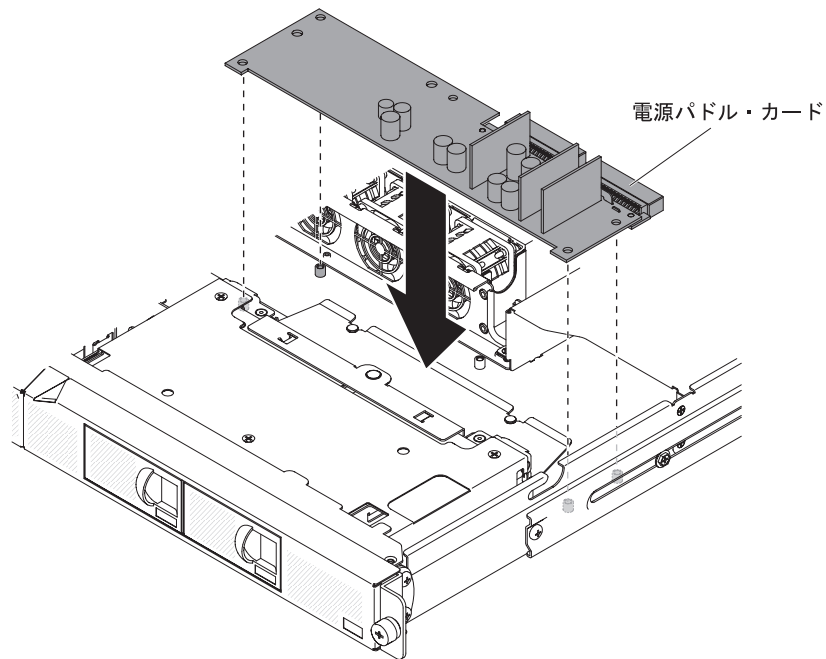
サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

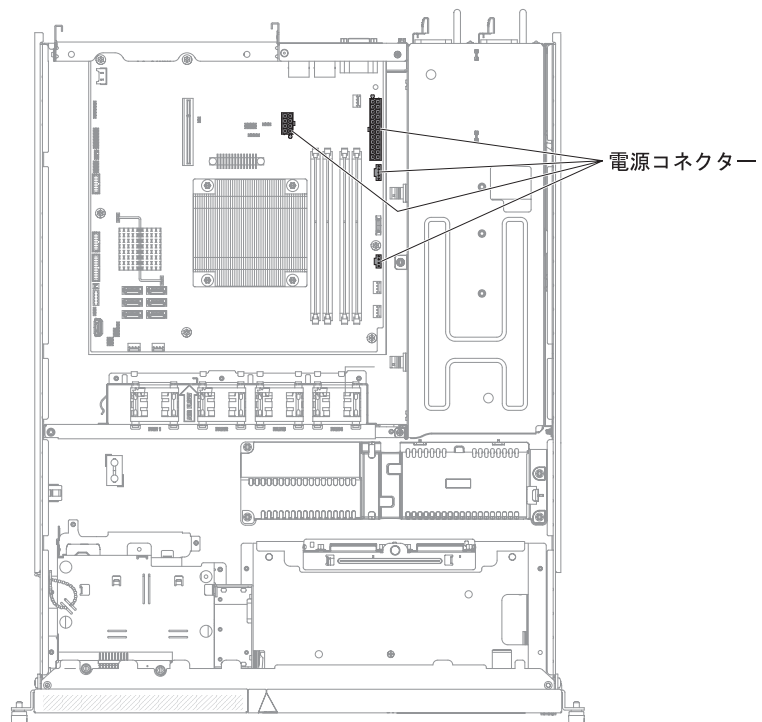
電源パドル・カードを交換するには、次のステップを実行してください。

手順

1. 電源パドル・カードを、システム・ボード上の支柱に位置合わせし、固定されるまで、システム・ボードの方に向けて下げます。



2. 安全カバーを再び取り付けます (232 ページの『240 VA 安全カバーの交換』を参照)。
3. DVD 電源ケーブルに電源ケーブルを再接続します (該当する場合)。
4. ハード・ディスク・バックプレーンまたはバックプレート・アセンブリーにケーブルを再接続します。
5. システム・ボード上の電源コネクタに電源ケーブルを再接続します。



6. ケーブル・タイがある場合は、ケーブルを通して配線します。

7. エアー・バッフルが取り外されていた場合は再取り付けします (68 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
8. パワー・サプライをサーバーに押し戻します。
9. カバーを再び取り付けます (69 ページの『カバーの交換』を参照)。

次のタスク

サーバー・コンポーネントを交換したか、サーバーにオプション装置を取り付けた場合は、電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源をオンにする必要があります。

マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

以下に、サーバーがサポートするマイクロプロセッサのタイプの説明と、マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り付けるときに考慮すべき事項を示します。

- サーバーは、1 つのインテル land grid array (LGA) 1150 デュアルコアまたはクアッドコア・マイクロプロセッサをサポートします。マイクロプロセッサのタイプ、速度、および L3 キャッシュはサーバーのモデルに依存します。
- マイクロプロセッサに付属の資料を読んで、サーバー・ファームウェアの更新が必要かどうかを判断してください。サーバー・ファームウェアの現行レベルのほとんどをダウンロードするには、<http://www.ibm.com/supportportal> および <http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスしてください。
- マイクロプロセッサはシステム・ボード上のオンボード電圧調節装置を使用します。

重要:

- マイクロプロセッサの取り付けは、必ずトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。

重要: マイクロプロセッサを取り付ける場合は、必ずマイクロプロセッサ取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサ取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサ・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

- マイクロプロセッサおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサ・ソケットが劣化するおそれがあります。
- 取り付けあるいは取り外し中にマイクロプロセッサを落とすと接点を傷つけます。

- マイクロプロセッサの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサは、必ずエッジ部分を持つようにしてください。マイクロプロセッサ接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
- ソケット上のピンは壊れやすいです。ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外すには、以下のステップを実行してください。

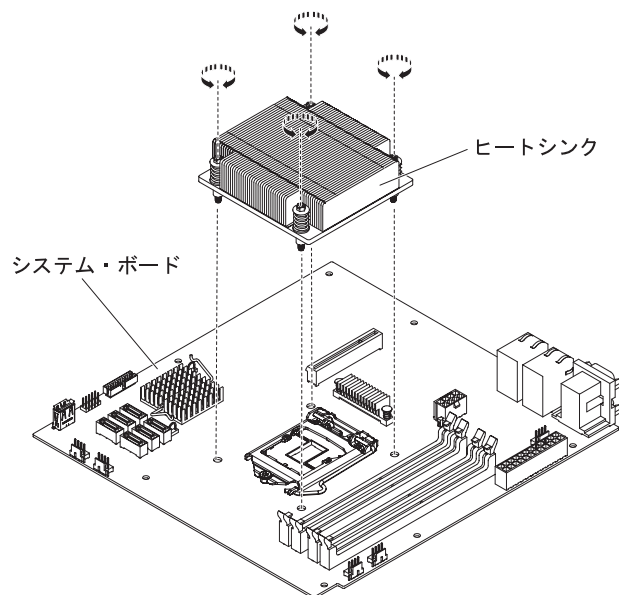
手順

1. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
2. エアー・バッフルが取り付けられている場合は取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
3. 次のように、ヒートシンクを取り外します。

注意:

ヒートシンクは、通常の運用中は非常に熱くなります。ヒートシンクに触れる前に、冷却する時間をとってください。

- a. マイクロプロセッサとの密着状態が解除されるまで、ねじを交互に緩めます。
- b. ドライバーを使用して拘束ねじを強く押して緩めます。
- c. 指でマイクロプロセッサからヒートシンクを慎重に引き離します。

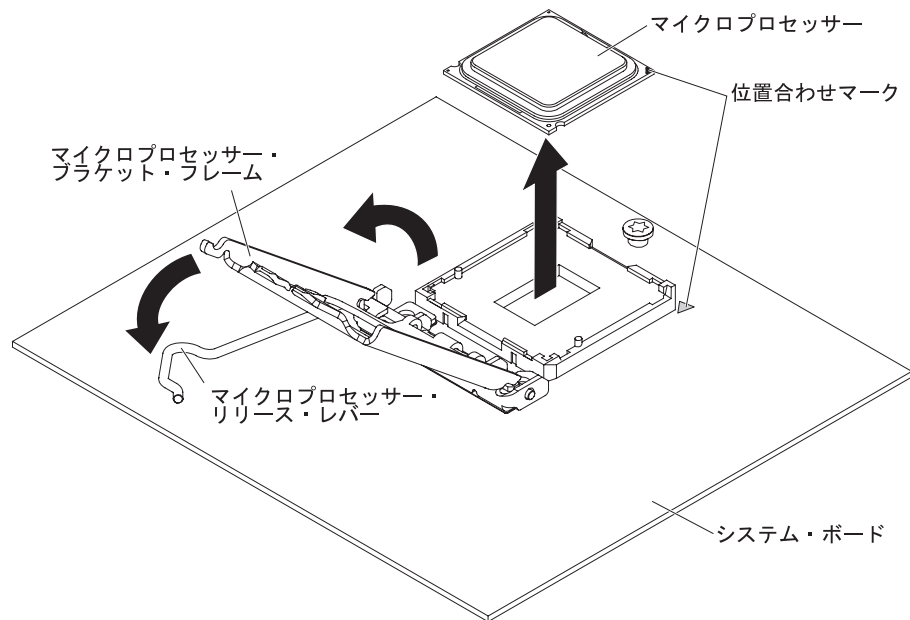


4. ヒートシンクを持ち上げてサーバーから取り出します。 ヒートシンクを取り外した後に清潔で平らな面にそれを置きます。

重要: ヒートシンクの下部にある熱伝導材には触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。マイクロプロセッサあるいはヒートシンクの熱伝導材が汚れた場合は、アルコール・ワイプを使用して、マイクロプロセッサまたはヒートシンク上の汚れた熱伝導材を拭き取り、きれいな熱伝導グリースを再度ヒートシンクに塗布してください。

5. マイクロプロセッサ保持ラッチの端を押し下げて、このラッチを解放します。このとき、このラッチを側面の方に動かし、オープン (上側) 位置に解放します。
6. 上端にあるタブを持ち上げて、マイクロプロセッサ・ブラケット・フレームを開きます。 ブラケット・フレームを開いた位置のままにします。

重要: マイクロプロセッサは慎重に取り扱います。取り外し中にマイクロプロセッサを落とすと、接触部分を損傷する可能性があります。または、マイクロプロセッサの接触部分の汚れ (操作員の皮膚の油など) は、接触部分とソケット間の接続障害を発生させる可能性があります。



7. マイクロプロセッサを取り外します。
 - a. 注意しながら、マイクロプロセッサを真っすぐ上に持ち上げ、ソケットから取り出します。マイクロプロセッサのリードに触れてはなりません。
 - b. マイクロプロセッサを帯電防止面に置きます。

重要: ソケット上のピンは壊れやすいです。ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

マイクロプロセッサとヒートシンクの交換

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを交換するには、この情報を使用します。

始める前に

以下に、サーバーがサポートするマイクロプロセッサのタイプの説明と、マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り付けるときに考慮すべき事項を示します。

- サーバーは、1 つのインテル land grid array (LGA) 1150 デュアルコアまたはクアッドコア・マイクロプロセッサをサポートします。マイクロプロセッサのタイプ、速度、および L3 キャッシュはサーバーのモデルに依存します。
- マイクロプロセッサに付属の資料を読んで、サーバー・ファームウェアの更新が必要かどうかを判断してください。サーバー・ファームウェアの現行レベルのほとんどをダウンロードするには、<http://www.ibm.com/supportportal> および <http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスしてください。
- マイクロプロセッサはシステム・ボード上のオンボード電圧調節装置を使用します。
- マイクロプロセッサの速度はご使用のサーバーに自動的にセットされるため、マイクロプロセッサの周波数選択ジャンパーやスイッチをセットする必要はありません。
- 熱伝導グリースの保護カバー（例えば、プラスチックのキャップまたはテープ裏打ちシール）をヒートシンクから取り外した場合、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れたり、ヒートシンクを下に置いたりしないでください。熱伝導グリースに関してその塗布または作業の詳細は、243 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

注: ヒートシンクをマイクロプロセッサから取り外すと、熱伝導グリースの均等な分散が損なわれるため、熱伝導グリースの交換が必要になります。

重要:

- マイクロプロセッサの取り付けは、必ずトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。

重要: マイクロプロセッサを取り付ける場合は、必ずマイクロプロセッサ取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサ取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサ・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

- マイクロプロセッサおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサ・ソケットが劣化するおそれがあります。
- 取り付けあるいは取り外し中にマイクロプロセッサを落とすと接点を傷つけます。
- マイクロプロセッサの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサは、必ずエッジ部分を持つようにしてください。マイクロプロセッサ接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
- ソケット上のピンは壊れやすいです。ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

このタスクについて

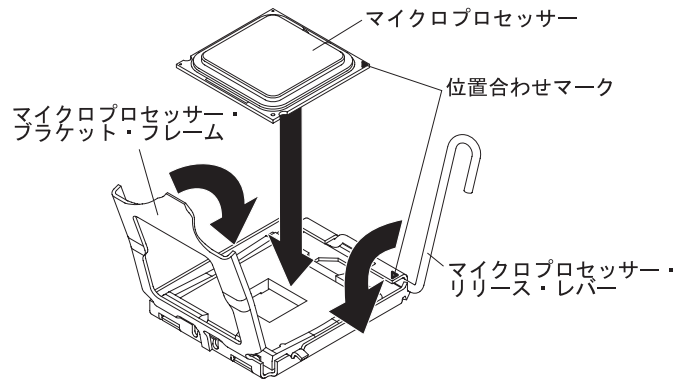
マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

手順

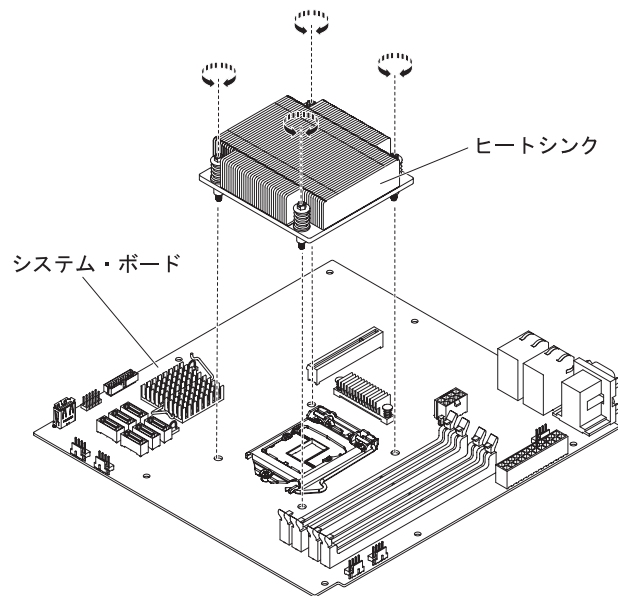
1. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

重要:

- 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合、静電気により損傷を受けないように注意してください。これらの部品の取り扱い方法の詳細については、42 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。
 - マイクロプロセッサの接点は壊れやすいので、マイクロプロセッサは非常に慎重に取り扱ってください。マイクロプロセッサのリードと人の肌を触れさせてはなりません。
 - マイクロプロセッサとソケットは一方しか合いません。
2. 位置合わせマークとノッチの位置に注意してマイクロプロセッサをソケットに位置合わせしマイクロプロセッサをソケットの上に注意深く置き、マイクロプロセッサ・ブラケット・フレームを閉じて、マイクロプロセッサ解放ラッチを閉じます。



3. ヒートシンクを慎重にマイクロプロセッサの上に下ろします。
4. ヒートシンクのねじ穴とシステム・ボード上の穴を位置合わせします。



5. マイクロプロセッサにヒートシンクを取り付けます。

重要: ヒートシンクの下部にある熱伝導材には触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。マイクロプロセッサあるいはヒートシンク上の熱伝導材が劣化し始めた場合は、サービス技術員にお問い合わせください。

- a. 熱伝導材がヒートシンクの下部に残っていることを確認し、ラベル上の矢印が DIMM の方向を向くように位置合わせして、熱伝導材を下側にしてマイクロプロセッサの上にヒートシンクを置きます。
- b. ヒートシンクのねじをシステム・ボードのねじ穴と位置合わせします。
- c. ドライバーを使用して、それぞれのねじを交互に締めます。可能な場合は、それぞれのねじを一度に 2 回転ずつ回してください。ねじがきつく締まるまで繰り返します。過度の力でねじを締め付け過ぎないでください。

重要: サーバー背面に近い方の 2 本のねじが締められると、ねじ頭がヒートシンクの面と平らにならなくなります。過度の力でねじを締め付け過ぎないでください。

6. エアー・バッフルが取り外されていた場合は再取り付けします (68 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
7. カバーを再び取り付けます (69 ページの『カバーの交換』を参照)。

次のタスク

1. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
2. 取り外した電源コードおよびケーブルを再接続します。
3. すべての接続デバイスとサーバーの電源をオンにします。

熱伝導グリース

マイクロプロセッサ上から取り外したヒートシンクを再使用したり、グリース内にごみを発見したときは必ず、熱伝導グリースを交換する必要があります。以下の情報を使用して、マイクロプロセッサおよびヒートシンク上の損傷した、あるいは汚染された熱伝導グリースを交換します。

始める前に

マイクロプロセッサから取り外したヒートシンクを、元のマイクロプロセッサに再度取り付ける場合は、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ヒートシンクとマイクロプロセッサ上の熱伝導グリースが汚れていないこと。
- ヒートシンクとマイクロプロセッサ上の既存の熱伝導グリースに熱伝導グリースを追加しないこと。

注:

- vii ページの『安全について』の『安全について』をお読みください。
- 39 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
- 42 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

このタスクについて

マイクロプロセッサとヒートシンク上の損傷または汚染した熱伝導グリースを交換するには、次のステップを実行してください。

手順

1. ヒートシンクを清潔な作業面に置きます。
2. パッケージのクリーニング・パッドを取り出して、完全に広げます。
3. クリーニング・パッドで、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。

注: すべての熱伝導グリースが除去されたことを確認してください。

4. クリーニング・パッドのきれいな部分を使って、マイクロプロセッサから熱伝導グリースを拭き取ります。熱伝導グリースがすべて除去された後で、クリーニング・パッドを廃棄してください。

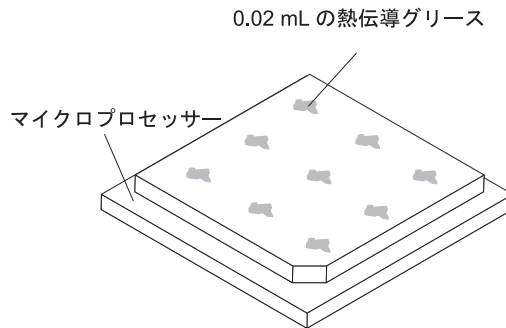


図 58. マイクロプロセッサの熱伝導グリース

5. 熱伝導グリースの注射器を使用して、マイクロプロセッサの上部に、等間隔の 9 カ所に点状に 0.02 mL ずつグリースを配置します。最も外側のドットをマイクロプロセッサの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これを行うのは、グリースを均等に配置するためです。

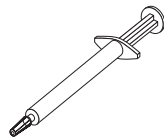


図 59. 熱伝導グリースの注射器

注: 注射器の 1 目盛りが 0.01 mL です。グリースが適切に塗布されると、注射器には約半分 (0.02 mL) のグリースが残ります。

6. ヒートシンクをマイクロプロセッサに取り付けます (マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付けを参照)。

システム・ボードの取り外し

システム・ボードを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

注:

1. システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様作成のディスクまたは CD イメージに含まれている既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。
2. システム・ボードを交換する場合は、必ず、統合管理モジュール拡張アップグレードを取り外し、新しいシステム・ボードにそれを取り付けてください。拡張アップグレードについて詳しくは、90 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。

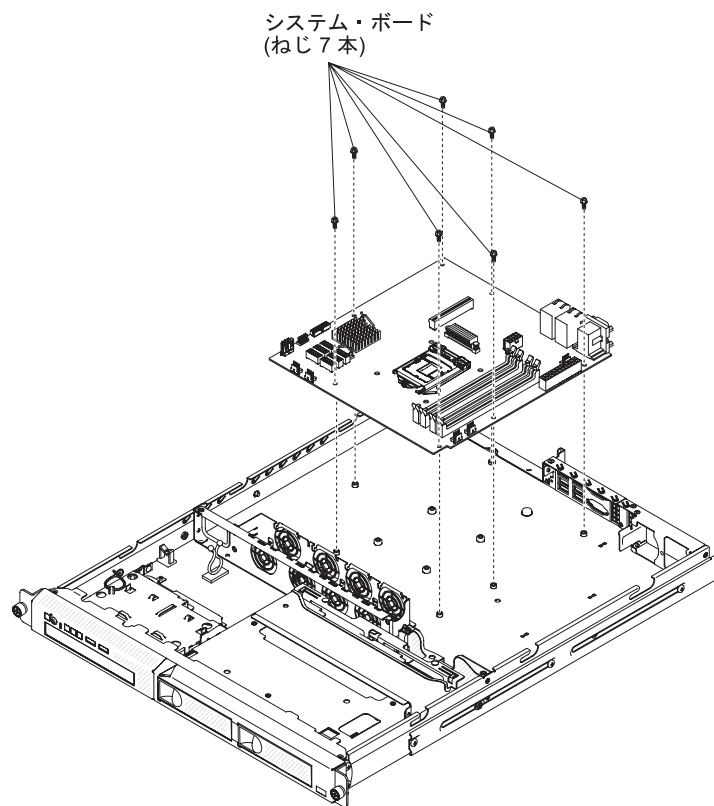
注: システム・ボードを交換した後は、Features on Demand (FoD) を再アクティブ化する必要があります。

3. システム・ボードを交換する前に、有効化した Features on Demand (FoD) キーのバックアップを必ず取ってください。システム・ボードを交換した後、すべて

の Features on Demand 機能を再アクティブ化します。機能のアクティベーションの自動化およびアクティベーション・キーのインストールの手順については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」に説明があります。資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/>にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックします。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。



注: システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様作成のディスクまたは CD イメージに含まれている既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。

このタスクについて

システム・ボードを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. カバーを取り外します (43 ページの『カバーの取り外し』を参照)。

2. エアー・バッフルを取り外します (44 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
3. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (45 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
4. 各ケーブルがシステム・ボードのどこに接続されているかをメモしてから、それらのケーブルを切り離します。

重要: システム・ボードからすべてのケーブルを切り離す場合は、ケーブル・コネクタ上のすべてのラッチ、リリース・タブ、またはロックを外します (内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ参照)。ケーブルを取り外す前にそれらを解除しないと、システム・ボード上のケーブル・ソケットが損傷することになります。システム・ボード上のケーブル・ソケットは壊れやすいです。ケーブル・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

5. システム・ボードに取り付けられている以下のコンポーネントをすべて取り外し、帯電防止された安全な場所に置きます。

- アダプター (171 ページの『アダプターの取り外し』を参照)
- DIMM (191 ページの『DIMM の取り外し』を参照)

注: DIMM を取り外すときは、各 DIMM の位置をメモしておき、後で同じコネクタに再取り付けできるようにします。

- マイクロプロセッサおよびヒートシンク (237 ページの『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』を参照)

注:

- a. 新しいシステム・ボードのマイクロプロセッサ・ソケットからソケット・カバーを取り外し、取り外したシステム・ボードのマイクロプロセッサ・ソケットに取り付けてください。
 - b. 熱伝導グリースが何かに触れないように注意し、また、再取り付けの際に、それぞれのヒートシンクが必ず元のマイクロプロセッサとペアになるようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサ・ソケットが劣化するおそれがあります。マイクロプロセッサとその元のヒートシンクとの間にミスマッチがある場合は、新しいヒートシンクを取り付けることが必要になることがあります。
- バッテリー (200 ページの『システム・バッテリーの取り外し』を参照)
 - リモート RAID バッテリー・ホルダー (RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り外しを参照)
6. システム・ボードをシャーシに固定しているねじを取り外し、ねじを安全な場所に置きます。
 7. システム・ボードを持ち上げて、注意してサーバーから取り外します。周囲のコンポーネントを損傷しないように慎重に行ってください。

次のタスク

サーバー・コンポーネントまたはオプション装置の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

重要: システム・ボードを返却する前に、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットのソケット・カバーが取り付けられていることを確認してください。

システム・ボードの交換

システム・ボードを交換するには、この情報を使用します。

始める前に

注:

1. サーバー内のコンポーネントを再アセンブルする場合は、すべてのケーブルを慎重に配線して、過度な圧力がケーブルにかからないようにしてください。
2. システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、ディスクまたは CD イメージから既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。73 ページの『ファームウェアの更新』、98 ページの『汎用固有 ID (UUID) の更新』、および 101 ページの『DMI/SMBIOS データの更新』を参照してください。
3. システム・ボードを交換する場合は、必ず、統合管理モジュール拡張アップグレードを取り外し、新しいシステム・ボードにそれを取り付けてください。拡張アップグレードについて詳しくは、90 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。
4. システム・ボードを交換した後、すべての *Features on Demand* 機能を再アクティブ化します。機能のアクティベーションの自動化およびアクティベーション・キーのインストールの手順については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」に説明があります。資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/>にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックします。
5. 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

vii ページの『安全について』および 39 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

サーバー内のサーバー・コンポーネントを交換しようとする場合は、サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離す必要があります。

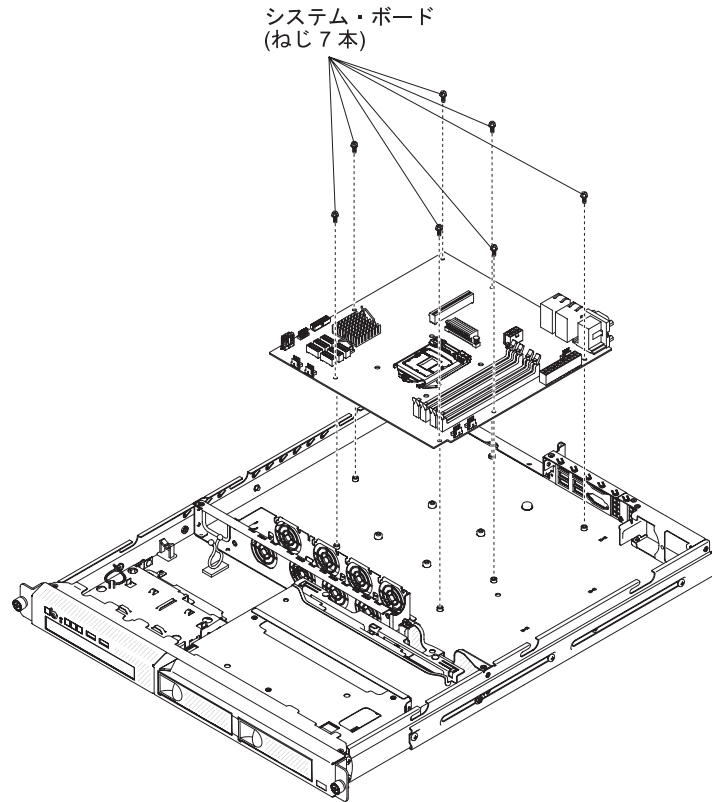
このタスクについて

システム・ボードを交換するには、以下の手順を実行します。

手順

1. システム・ボードが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからシステム・ボードを取り出します。

2. システム・ボードをシャーシと位置合わせし、取り外した 9 本のねじを元の位置に戻します。



3. システム・ボードから取り外していた以下のコンポーネントをすべて取り付けます。

注: サーバー・ケーブルがシステム・ボードの下に引っ掛からないように気を付けてください。

- マイクロプロセッサおよびヒートシンク (240 ページの『マイクロプロセッサとヒートシンクの交換』を参照)
 - DIMMs (195 ページの『DIMM の取り付け』を参照)
 - アダプター (172 ページの『アダプターの交換』を参照)
 - バッテリー (202 ページの『システム・バッテリーの交換』を参照)
 - リモート RAID バッテリー・ホルダー (RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーの交換を参照)
4. 取り外し時に切り離していたすべてのケーブルをシステム・ボードに再接続します (25 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』および 内部ケーブルのルーティングおよびコネクタを参照)。
 5. PCI ライザー・カード・アセンブリーを再び取り付けます (67 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。
 6. エアー・パッフルを再び取り付けます (68 ページの『エアー・パッフルの交換』を参照)。
 7. カバーを再び取り付けます (69 ページの『カバーの交換』を参照)。
 8. パワー・サプライをサーバーに押し戻します。

9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。
11. Setup ユーティリティを開始して構成をリセットします。
 - a. システムの日付と時刻を設定します。
 - b. 始動パスワードを設定します。
 - c. サーバーを再構成します。

詳しくは、79 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照してください。

12. 最新の RAID ファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはディスクまたは CD イメージから既存のファームウェアを復元してください。
13. UUID を更新してください (98 ページの『汎用固有 ID (UUID) の更新』を参照)。
14. DMI/SMBIOS を更新してください (101 ページの『DMI/SMBIOS データの更新』を参照)。
15. すべての Features on Demand 機能を再アクティブ化します。

付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) のエラー・メッセージ

このセクションでは、統合管理モジュール II (IMM2) のエラー・メッセージについて詳しく説明します。

ハードウェア・イベントがサーバー上の IMM2 によって検出されると、IMM2 はそのイベントをサーバー内のシステム・イベント・ログに記録します。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

Event identifier (イベント ID)

イベントあるいはイベントのクラスを一意的に識別する 16 進数の ID。本書では、イベント ID は 0x で始まり、後に 8 文字が続きます。

Event description (イベント記述)

あるイベントについて表示される、ログに記録されたメッセージ・ストリング。イベント・ログにイベント・ストリングが表示される場合、特定のコンポーネントなどの情報が表示されます。本書では、そのような追加情報は [arg1] や [arg2] などの変数で示されています。

Explanation (説明)

イベントが発生した理由を説明する追加情報を提供します。

重大度 その状態の懸念のレベルの表示。システム・イベント・ログでは、重大度は先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されることがあります。

通知: イベントは監査目的で記録されたもので、通常はユーザーの処置または正常に動作する状態の変更です。

警告: イベントはエラーほど深刻ではありませんが、可能であればエラーになる前に状態を修正することをお勧めします。また、追加のモニターまたは保守が必要な状態である場合もあります。

エラー:

イベントは、サービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態です。

アラート・カテゴリー

同類のイベントがカテゴリーごとに分類されます。アラート・カテゴリーは以下の形式になります。

重大度 - 装置

重大度は、以下の重大度レベルのいずれかです。

- **クリティカル:** サーバー内の主要コンポーネントが機能していません。
- **警告:** イベントがクリティカル・レベルに進行する可能性があります。
- **システム:** イベントは、システム・エラーあるいは構成変更の結果です。

装置は、イベント生成の原因となったサーバー内の特定の装置です。

保守可能

問題を修正するためにユーザー処置が必要かどうかを指定します。

CIM 情報

CIM メッセージ・レジストリーによって使用されるメッセージ ID のプレフィックスとシーケンス番号を提供します。

SNMP トラップ ID

SNMP アラート管理情報ベース (MIB) にある SNMP トラップ ID。

自動連絡サービス

このフィールドを「**Yes**」に設定すると、Electronic Service Agent™ (ESA) が有効になり、イベント生成時には IBM サポートに自動的に通知されます。

IBM サポートからのコールを待つ間に、イベントの推奨処置を実行することができます。

ユーザー応答

イベントを解決するために実行すべき処置を示します。

このセクションにリストされている手順を、問題が解決するまで順番に実行します。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、IBM サポートにお問い合わせください。

注: このリストには、このマシン・タイプおよびモデルに適用されない可能性があるエラー・コードとメッセージも含まれます。

以下に、IMM2 エラー・メッセージ、および検出されたサーバーの問題を修正するための推奨アクションをリストします。IMM2 についての詳細は、*Integrated Management Module II User's Guide* (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=migr-5086346>) を参照してください。

40000001-00000000 Management Controller [arg1] Network Initialization Complete.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのネットワークで初期化が完了した場合に使用されます。

4000000100000000 または 0x4000000100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0001

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000002-00000000 Certificate Authority [arg1] has detected a [arg2] Certificate Error.

説明: このメッセージは、SSL サーバー、SSL クライアント、または SSL トラストド CA 証明書のエラーがある場合に使用されます。

4000000200000000 または 0x4000000200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - SSL 認証

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0002

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: インポートしている証明書が正しく、適切に生成されていることを確認します。

40000003-00000000 Ethernet Data Rate modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートのデータ転送速度を変更した場合に使用されます。

4000000300000000 または 0x4000000300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0003

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000004-00000000 Ethernet Duplex setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートの二重設定を変更した場合に使用されます。

4000000400000000 または 0x4000000400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0004

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000005-00000000 Ethernet MTU setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MTU 設定を変更した場合に使用されます。

4000000500000000 または 0x4000000500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0005

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000006-00000000 Ethernet locally administered MAC address modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MAC アドレス設定を変更した場合に使用されます。

4000000600000000 または 0x4000000600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0006

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000007-00000000 Ethernet interface [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に使用されます。

4000000700000000 または 0x4000000700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0007

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000008-00000000 **Hostname set to [arg1] by user [arg2].**

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのホスト名を変更する場合に使用されます。

4000000800000000 または 0x4000000800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0008

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000009-00000000 **IP address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].**

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP アドレスを変更する場合に使用されます。

4000000900000000 または 0x4000000900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0009

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000a-00000000 **IP subnet mask of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].**

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP サブネット・マスクを変更する場合に使用されます。

4000000a00000000 または 0x4000000a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0010

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000b-00000000 IP address of default gateway modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのデフォルトのゲートウェイ IP アドレスを変更する場合に使用されます。

4000000b00000000 または 0x4000000b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0011

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000c-00000000 OS Watchdog response [arg1] by [arg2] .

説明: このメッセージは、ユーザーによって OS ウォッチドッグが使用可能または使用不可にされた場合に使用されます。

4000000c00000000 または 0x4000000c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0012

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000d-00000000 DHCP[[arg1]] failure, no IP address assigned.

説明: このメッセージは、DHCP サーバーが管理コントローラーに IP アドレスを割り当てることができない場合に使用されます。

4000000d00000000 または 0x4000000d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0013

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで、以下のステップを実行してください。

1. IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
2. IMM に IP アドレスを割り当てることができるネットワーク上に DHCP サーバーがあることを確認します。

4000000e-00000000 Remote Login Successful. Login ID: [arg1] from [arg2] at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーに正常にログインする場合に使用されます。

4000000e00000000 または 0x4000000e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0014

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000f-00000000 Attempting to [arg1] server [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーを使用してシステム上の電源機能を実行している場合に使用されます。

4000000f00000000 または 0x4000000f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0015

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000010-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from WEB client at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが Web ブラウザーから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001000000000 または 0x4000001000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0016

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで、以下のステップを実行してください。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000011-00000000 Security: Login ID: [arg1] had [arg2] login failures from CLI at [arg3]..

説明: このメッセージは、ユーザーが Legacy CLI から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001100000000 または 0x4000001100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0017

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで、以下のステップを実行してください。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000012-00000000 Remote access attempt failed. Invalid userid or password received. Userid is [arg1] from WEB browser at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、リモート・ユーザーが Web ブラウザー・セッションからリモート制御セッションを確立できなかった場合に使用されます。

4000001200000000 または 0x4000001200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0018

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000013-00000000 Remote access attempt failed. Invalid userid or password received. Userid is [arg1] from TELNET client at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが Telnet セッションから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001300000000 または 0x4000001300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0019

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000014-00000000 The [arg1] on system [arg2] cleared by user [arg3].

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログがユーザーによって消去された場合に使用されます。

4000001400000000 または 0x4000001400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0020

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000015-00000000 Management Controller [arg1] reset was initiated by user [arg2].

説明: このメッセージは、管理コントローラーのリセットがユーザーによって開始された場合に使用されます。

4000001500000000 または 0x4000001500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0021

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000016-00000000 ENET[[arg1]] DHCP-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], SN=[arg5], GW@=[arg6], DNS1@=[arg7] .

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成が DHCP サーバーによって割り当てられた場合に使用されます。

4000001600000000 または 0x4000001600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0022

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000017-00000000 ENET[[arg1]] IP-Cfg:HstName=[arg2], IP@=[arg3] ,NetMsk=[arg4], GW@=[arg5] .

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成がユーザー・データを使用して静的に割り当てられた場合に使用されます。

4000001700000000 または 0x4000001700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0023

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000018-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is no longer active.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブでなくなった場合に使用されます。

4000001800000000 または 0x4000001800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0024

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000019-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is now active.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブになった場合に使用されます。

4000001900000000 または 0x4000001900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0025

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001a-00000000 DHCP setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが DHCP 設定を変更した場合に使用されます。

4000001a00000000 または 0x4000001a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0026

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001b-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restored from a file by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元した場合に使用されます。

4000001b00000000 または 0x4000001b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0027

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001c-00000000 Watchdog [arg1] Screen Capture Occurred .

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面がキャプチャーされた場合に使用されます。

4000001c00000000 または 0x4000001c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0028

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: オペレーティング・システム・エラーがなかった場合は、問題が解決されるまで、以下のステップを実行してください。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。
2. IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを使用不可にします。

4000001d-00000000 • 4000001e-00000000

オペレーティング・システム・エラーがある場合は、インストールされているオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000001d-00000000 Watchdog [arg1] Failed to Capture Screen.

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面キャプチャが失敗した場合に使用されます。

4000001d00000000 または 0x4000001d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0029

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで、以下のステップを実行してください。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを使用不可にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。
5. IMM ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001e-00000000 Running the backup Management Controller [arg1] main application.

説明: このメッセージは、管理コントローラーがバックアップ・メイン・アプリケーションを実行する手段を用いた場合に使用されます。

4000001e00000000 または 0x4000001e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0030

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001f-00000000 Please ensure that the Management Controller [arg1] is flashed with the correct firmware.
The Management Controller is unable to match its firmware to the server.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのファームウェア・バージョンがサーバーと一致しない場合に使用されます。

4000001f00000000 または 0x4000001f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0031

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを、サーバーがサポートするバージョンに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

40000020-00000000 Management Controller [arg1] Reset was caused by restoring default values.

説明: このメッセージは、ユーザーが構成をデフォルト値に復元したために管理コントローラーがリセットされた場合に使用されます。

4000002000000000 または 0x4000002000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0032

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000021-00000000 Management Controller [arg1] clock has been set from NTP server [arg2].

説明: このメッセージは、管理コントローラーのクロックが Network Time Protocol サーバーから設定された場合に使用されます。

4000002100000000 または 0x4000002100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0033

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000022-00000000 SSL data in the Management Controller [arg1] configuration data is invalid. Clearing configuration data region and disabling SSL.

説明: このメッセージは、管理コントローラーが構成データで無効な SSL データを検出し、構成データ領域をクリアし、SSL を使用不可にしている場合に使用されます。

4000002200000000 または 0x4000002200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0034

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで、以下のステップを実行してください。

1. インポートしている証明書が正しいことを確認します。
2. 証明書のインポートを再試行します。

40000023-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] succeeded for user [arg3] .

説明: このメッセージは、ユーザーがインターフェースおよび IP アドレスからファームウェア・コンポーネント (MC メインアプリケーション、MC ブート ROM、BIOS、診断、システム電源バックプレーン、リモート拡張ユニットの電源バックプレーン、内蔵システム管理プロセッサ、またはリモート拡張ユニットのプロセッサ) を正常にフラッシュした場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0035

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000024-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] failed for user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが障害のためにインターフェースと IP アドレスからファームウェア・コンポーネントをフラッシュしなかった場合に使用されます。

4000002400000000 または 0x4000002400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0036

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000025-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 75% full.

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 75% フルである場合に使用されます。

4000002500000000 または 0x4000002500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0037

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000026-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 100% full.

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 100% フルである場合に使用されます。

4000002600000000 または 0x4000002600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0038

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以前のログ項目が失われないようにするには、ログをテキスト・ファイルとして保管し、ログをクリアします。

40000027-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: このメッセージは、実装環境でプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002700000000 または 0x4000002700000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - OS タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0039

SNMP トラップ ID: 21

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで、以下のステップを実行してください。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。
2. IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。

40000028-00000000 • 4000002a-00000000

- ウォッチドッグを使用不可にします。
- インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

40000028-00000000 Management Controller Test Alert Generated by [arg1].

説明: このメッセージは、ユーザーがテスト・アラートを生成した場合に使用されます。

4000002800000000 または 0x4000002800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0040

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000029-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from an SSH client at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが SSH から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000002900000000 または 0x4000002900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0041

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで、以下のステップを実行してください。

- 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
- システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

4000002a-00000000 [arg1] firmware mismatch internal to system [arg2]. Please attempt to flash the [arg3] firmware.

説明: このメッセージは、特定タイプのファームウェア・ミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002a00000000 または 0x4000002a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0042

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを再消去して、最新のバージョンにします。

4000002b-00000000 Domain name set to [arg1].

説明: ユーザーによってドメイン・ネームが設定されました。

4000002b00000000 または 0x4000002b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0043

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002c-00000000 Domain Source changed to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーによってドメイン・ソースが変更されました。

4000002c00000000 または 0x4000002c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0044

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002d-00000000 DDNS setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーによって DDNS 設定が変更されました。

4000002d00000000 または 0x4000002d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0045

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002e-00000000 DDNS registration successful. The domain name is [arg1].

説明: DDNS 登録および値

4000002e00000000 または 0x4000002e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0046

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002f-00000000 IPv6 enabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを有効にしました。

4000002f00000000 または 0x4000002f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0047

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000030-00000000 IPv6 disabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを無効にしました。

4000003000000000 または 0x4000003000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0048

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000031-00000000 IPv6 static IP configuration enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 静的アドレス割り当て方式を有効にしました。

4000003100000000 または 0x4000003100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0049

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000032-00000000 IPv6 DHCP enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を有効にしました。

4000003200000000 または 0x4000003200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0050

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000033-00000000 IPv6 stateless auto-configuration enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を有効にしました。

4000003300000000 または 0x4000003300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0051

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000034-00000000 IPv6 static IP configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 静的割り当て方式を無効にしました。

4000003400000000 または 0x4000003400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0052

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000035-00000000 IPv6 DHCP disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を無効にしました。

4000003500000000 または 0x4000003500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0053

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000036-00000000 IPv6 stateless auto-configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を無効にしました。

4000003600000000 または 0x4000003600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0054

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000037-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-LinkLocal:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4] .

説明: IPv6 リンク・ローカル・アドレスがアクティブです。

4000003700000000 または 0x4000003700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0055

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000038-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-Static:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4], GW@=[arg5].

説明: IPv6 静的アドレスがアクティブです。

4000003800000000 または 0x4000003800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0056

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000039-00000000 ENET[[arg1]] DHCPv6-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], Pref=[arg5].

説明: IPv6 DHCP 割り当てアドレスがアクティブです。

4000003900000000 または 0x4000003900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0057

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003a-00000000 IPv6 static address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、管理コントローラーの IPv6 固定アドレスを変更しました。

4000003a00000000 または 0x4000003a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0058

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003b-00000000 DHCPv6 failure, no IP address assigned.

説明: S DHCP6 サーバーが、管理コントローラーへの IP アドレスの割り当てに失敗しました。

4000003b00000000 または 0x4000003b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0059

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決されるまで、以下のステップを実行してください。

1. IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
2. IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCPv6 サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

4000003c-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: 実装環境で OS ロード・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されました。

4000003c00000000 または 0x4000003c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - ロード・タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0060

SNMP トラップ ID: 26

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバを再インストールします。
4. ウォッチドッグを使用不可にします。

5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000003d-00000000 Telnet port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Telnet ポート番号を変更しました。

4000003d00000000 または 0x4000003d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003e-00000000 SSH port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SSH ポート番号を変更しました。

4000003e00000000 または 0x4000003e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0062

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003f-00000000 Web-HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Web HTTP ポート番号を変更しました。

4000003f00000000 または 0x4000003f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0063

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000040-00000000 Web-HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Web HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004000000000 または 0x4000004000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0064

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000041-00000000 CIM/XML HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが CIM HTTP ポート番号を変更しました。

4000004100000000 または 0x4000004100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0065

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000042-00000000 CIM/XML HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが CIM HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004200000000 または 0x4000004200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0066

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000043-00000000 SNMP Agent port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SNMP エージェント・ポート番号を変更しました。

4000004300000000 または 0x4000004300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0067

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000044-00000000 SNMP Traps port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SNMP トラップ・ポート番号を変更しました。

4000004400000000 または 0x4000004400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0068

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000045-00000000 Syslog port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、Syslog 受信側のポート番号を変更しました。

4000004500000000 または 0x4000004500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0069

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000046-00000000 Remote Presence port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、リモート・プレゼンスのポート番号を変更しました。

4000004600000000 または 0x4000004600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0070

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000047-00000000 LED [arg1] state changed to [arg2] by [arg3].

説明: ユーザーが LED の状態を変更しました。

4000004700000000 または 0x4000004700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0071

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000048-00000000 Inventory data changed for device [arg1], new device data hash=[arg2], new master data hash=[arg3] .

説明: 何らかの理由で物理インベントリーが変化しました。

4000004800000000 または 0x4000004800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0072

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000049-00000000 SNMP [arg1] enabled by user [arg2] .

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを有効にしました。

4000004900000000 または 0x4000004900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0073

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004a-00000000 SNMP [arg1] disabled by user [arg2] .

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを無効にしました。

4000004a00000000 または 0x4000004a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0074

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004b-00000000 SNMPv1 [arg1] set by user [arg2]: Name=[arg3], AccessType=[arg4], Address=[arg5], .

説明: ユーザーが、SNMP コミュニティー・ストリングを変更しました。

4000004b00000000 または 0x4000004b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0075

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004c-00000000 LDAP Server configuration set by user [arg1]: SelectionMethod=[arg2], DomainName=[arg3], Server1=[arg4], Server2=[arg5], Server3=[arg6], Server4=[arg7].

説明: ユーザーが、LDAP サーバー構成を変更しました。

4000004c00000000 または 0x4000004c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0076

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004d-00000000 LDAP set by user [arg1]: RootDN=[arg2], UIDSearchAttribute=[arg3], BindingMethod=[arg4], EnhancedRBS=[arg5], TargetName=[arg6], GroupFilter=[arg7], GroupAttribute=[arg8], LoginAttribute=[arg9].

説明: ユーザーが、LDAP の各種設定を構成しました。

4000004d00000000 または 0x4000004d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0077

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004e-00000000 Serial Redirection set by user [arg1]: Mode=[arg2], BaudRate=[arg3], StopBits=[arg4], Parity=[arg5], SessionTerminateSequence=[arg6].

説明: ユーザーが、シリアル・ポート・モードを構成しました。

4000004e00000000 または 0x4000004e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0078

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004f-00000000 **Date and Time set by user [arg1]: Date=[arg2], Time=[arg3], DST Auto-adjust=[arg4], Timezone=[arg5].**

説明: ユーザーが日時設定を構成しました。

4000004f00000000 または 0x4000004f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0079

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000050-00000000 **Server General Settings set by user [arg1]: Name=[arg2], Contact=[arg3], Location=[arg4], Room=[arg5], RackID=[arg6], Rack U-position=[arg7].**

説明: ユーザーが、ロケーション設定を構成しました。

4000005000000000 または 0x4000005000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0080

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000051-00000000 **Server Power Off Delay set to [arg1] by user [arg2].**

説明: ユーザーが、サーバーの電源オフ遅延を構成しました。

4000005100000000 または 0x4000005100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0081

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000052-00000000 Server [arg1] scheduled for [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、特定の時刻のサーバー電源アクションを構成しました。

4000005200000000 または 0x4000005200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0082

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000053-00000000 Server [arg1] scheduled for every [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、サーバー電源アクションの繰り返しを構成しました。

4000005300000000 または 0x4000005300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0083

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000054-00000000 Server [arg1] [arg2] cleared by user [arg3].

説明: ユーザーが、Server Power Action をクリアしました。

4000005400000000 または 0x4000005400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000055-00000000 Synchronize time setting by user [arg1]: Mode=[arg2],
NTPServerHost=[arg3]:[arg4],NTPUpdateFrequency=[arg5].

説明: ユーザーが、日時の同期設定を構成しました。

4000005500000000 または 0x4000005500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000056-00000000 SMTP Server set by user [arg1] to [arg2]:[arg3].

説明: ユーザーが、SMTP サーバーを構成しました。

4000005600000000 または 0x4000005600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0086

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000057-00000000 Telnet [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが Telnet サービスを有効または無効にしました。

4000005700000000 または 0x4000005700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0087

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000058-00000000 DNS servers set by user [arg1]: UseAdditionalServers=[arg2], PreferredDNStype=[arg3], IPv4Server1=[arg4], IPv4Server2=[arg5], IPv4Server3=[arg6], IPv6Server1=[arg7], IPv6Server2=[arg8], IPv6Server3=[arg9].

説明: ユーザーが DNS サーバーを構成します。

4000005800000000 または 0x4000005800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0088

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000059-00000000 LAN over USB [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、USB-LAN を構成しました。

4000005900000000 または 0x4000005900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0089

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005a-00000000 LAN over USB Port Forwarding set by user [arg1]: ExternalPort=[arg2], USB-LAN port=[arg3].

説明: ユーザーが、USB-LAN ポート転送を構成しました。

4000005a00000000 または 0x4000005a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0090

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005b-00000000 Secure Web services (HTTPS) [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、セキュア Web サービスを使用可能または使用不可にしました。

4000005b00000000 または 0x4000005b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0091

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005c-00000000 Secure CIM/XML(HTTPS) [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーがセキュア CIM/XML サービスを有効または無効にしました。

4000005c00000000 または 0x4000005c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM または ID: 0092

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005d-00000000 Secure LDAP [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、セキュア LDAP サービスを使用可能または使用不可にしました。

4000005d00000000 または 0x4000005d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0093

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005e-00000000 SSH [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが SSH サービスを有効または無効にしました。

4000005e00000000 または 0x4000005e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0094

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005f-00000000 Server timeouts set by user [arg1]: EnableOSWatchdog=[arg2], OSWatchdogTimeout=[arg3], EnableLoaderWatchdog=[arg4], LoaderTimeout=[arg5].

説明: ユーザーが、サーバー・タイムアウトを構成しました。

4000005f00000000 または 0x4000005f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0095

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000060-00000000 License key for [arg1] added by user [arg2].

説明: ユーザーがライセンス・キーをインストールします。

4000006000000000 または 0x4000006000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0096

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000061-00000000 License key for [arg1] removed by user [arg2].

説明: ユーザーがライセンス・キーを削除します。

4000006100000000 または 0x4000006100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0097

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000062-00000000 Global Login General Settings set by user [arg1]: AuthenticationMethod=[arg2],
LockoutPeriod=[arg3], SessionTimeout=[arg4].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインの一般設定を変更しました。

4000006200000000 または 0x4000006200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0098

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000063-00000000 Global Login Account Security set by user [arg1]: PasswordRequired=[arg2],
PasswordExpirationPeriod=[arg3], MinimumPasswordReuseCycle=[arg4],
MinimumPasswordLength=[arg5], MinimumPasswordChangeInterval=[arg6],
MaxmumLoginFailures=[arg7], LockoutAfterMaxFailures=[arg8], MinimumDifferentCharacters=[arg9],
DefaultIDExpired=[arg10], ChangePasswordFirstAccess=[arg11].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインのアカウント・セキュリティ設定を「Legacy」に変更しました。

4000006300000000 または 0x4000006300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000064-00000000 User [arg1] created..

説明: ユーザー・アカウントが作成されました。

4000006400000000 または 0x4000006400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000065-00000000 User [arg1] removed...

説明: ユーザー・アカウントが削除されました。

4000006500000000 または 0x4000006500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0101

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000066-00000000 User [arg1] password modified..

説明: ユーザー・アカウントが変更されました。

4000006600000000 または 0x4000006600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0102

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000067-00000000 User [arg1] role set to [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの役割が割り当てられました。

4000006700000000 または 0x4000006700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0103

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000068-00000000 User [arg1] custom privileges set: [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの特権が割り当てられました。

4000006800000000 または 0x4000006800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0104

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000069-00000000 User [arg1] for SNMPv3 set: AuthenticationProtocol=[arg2], PrivacyProtocol=[arg3],
AccessType=[arg4], HostforTraps=[arg5].

説明: ユーザー・アカウントの SNMPv3 設定が変更されました。

4000006900000000 または 0x4000006900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0105

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006a-00000000 SSH Client key added for user [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをローカルで定義しました。

4000006a00000000 または 0x4000006a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0106

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006b-00000000 SSH Client key imported for user [arg1] from [arg2].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをインポートしました。

4000006b00000000 または 0x4000006b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0107

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006c-00000000 SSH Client key removed from user [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーを削除しました。

4000006c00000000 または 0x4000006c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0108

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006d-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration saved to a file by user [arg2].

説明: ユーザーが、管理コントローラー構成をファイルに保存しました。

4000006d00000000 または 0x4000006d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0109

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**4000006e-00000000 Alert Configuration Global Event Notification set by user [arg1]: RetryLimit=[arg2],
RetryInterval=[arg3], EntryInterval=[arg4].**

説明: ユーザーが、グローバル・イベント通知設定を変更しました。

4000006e00000000 または 0x4000006e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0110

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**4000006f-00000000 Alert Recipient Number [arg1] updated: Name=[arg2], DeliveryMethod=[arg3], Address=[arg4],
IncludeLog=[arg5], Enabled=[arg6], EnabledAlerts=[arg7], AllowedFilters=[arg8].**

説明: ユーザーがアラート受信者を追加または更新しました。

4000006f00000000 または 0x4000006f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0111

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000070-00000000 SNMP Traps enabled by user [arg1]: EnabledAlerts=[arg2], AllowedFilters=[arg3] .

説明: ユーザーが SNMP トラップ構成を有効にしました。

4000007000000000 または 0x4000007000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0112

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000071-00000000 The power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts by user [arg3].

説明: 電源キャップ値がユーザーによって変更されました。

4000007100000000 または 0x4000007100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0113

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000072-00000000 The minimum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: 電源キャップの最小値が変更されました。

4000007200000000 または 0x4000007200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0114

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000073-00000000 The maximum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: 電源キャップの最大値が変更されました。

4000007300000000 または 0x4000007300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0115

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000074-00000000 The soft minimum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: ソフト最小電源キャップ値が変更されました。

4000007400000000 または 0x4000007400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0116

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000075-00000000 The measured power value exceeded the power cap value.

説明: 電力上限値を超えました。

4000007500000000 または 0x4000007500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0117

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000076-00000000 The new minimum power cap value exceeded the power cap value.

説明: 最小電源キャップが電源キャップを超えています。

4000007600000000 または 0x4000007600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0118

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000077-00000000 Power capping was activated by user [arg1].

説明: 電源キャッピングがユーザーによってアクティブになりました。

4000007700000000 または 0x4000007700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0119

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000078-00000000 Power capping was deactivated by user [arg1].

説明: 電源キャッピングがユーザーによって非アクティブになりました。

4000007800000000 または 0x4000007800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0120

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000079-00000000 Static Power Savings mode has been turned on by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオンにされました。

4000007900000000 または 0x4000007900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0121

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007a-00000000 Static Power Savings mode has been turned off by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオフにされました。

4000007a00000000 または 0x4000007a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0122

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007b-00000000 Dynamic Power Savings mode has been turned on by user [arg1].

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオンにされました。

4000007b00000000 または 0x4000007b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0123

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007c-00000000 Dynamic Power Savings mode has been turned off by user [arg1].

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオフにされました。

4000007c00000000 または 0x4000007c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0124

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007d-00000000 Power cap and external throttling occurred.

説明: 電源キャップ・スロットルおよび外部スロットルが生じました。

4000007d00000000 または 0x4000007d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0125

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007e-00000000 External throttling occurred .

説明: 外部スロットルが生じました。

4000007e00000000 または 0x4000007e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0126

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007f-00000000 Power cap throttling occurred.

説明: 電源キャップ・スロットルが生じました。

4000007f00000000 または 0x4000007f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0127

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000080-00000000 Remote Control session started by user [arg1] in [arg2] mode.

説明: Remote Control セッションが開始されました。

4000008000000000 または 0x4000008000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0128

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000081-00000000 PXE boot requested by user [arg1].

説明: PXE ブートが要求されました。

4000008100000000 または 0x4000008100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0129

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000082-00000000 The measured power value has returned below the power cap value.

説明: 電力上限値を超えた状態から回復しました。

4000008200000000 または 0x4000008200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0130

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000083-00000000 The new minimum power cap value has returned below the power cap value.

説明: 最小電力上限が電力上限値を超えた状態から回復しました。

4000008300000000 または 0x4000008300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0131

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000084-00000000 IMM firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2]. Please attempt to flash the IMM firmware to the same level on all nodes.

説明: ノード間で IMM ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008400000000 または 0x4000008400000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0132

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000085-00000000 **FPGA firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2]. Please attempt to flash the FPGA firmware to the same level on all nodes.**

説明: ノード間で FPGA ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008500000000 または 0x4000008500000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0133

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000086-00000000 **Test Call Home Generated by user [arg1].**

説明: ユーザーによって生成されたテスト・コール・ホームです。

4000008600000000 または 0x4000008600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0134

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000087-00000000 **Manual Call Home by user [arg1]: [arg2].**

説明: ユーザーによる手動コール・ホームです。

4000008700000000 または 0x4000008700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0135

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: IBM サポートが問題に対応します。

40000088-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] completed..

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元し、それが完了したユース・ケースに表示されます。

4000008800000000 または 0x4000008800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0136

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000089-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] failed to complete..

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の完了に失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008900000000 または 0x4000008900000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。
2. 45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
3. 操作を再試行してください。

4000008a-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] failed to start..

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の開始が失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008a00000000 または 0x4000008a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。
2. 45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
3. 操作を再試行してください。

4000008b-00000000 One or more of the Storage Management IP addresses has changed..

説明: このメッセージは、ストレージ管理用の IP アドレスが変更された場合に使用されます。

4000008b00000000 または 0x4000008b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

80010002-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has asserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800100020701xxxx または 0x800100020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0476

SNMP トラップ ID: 13

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: システム・バッテリーを交換します。

80010202-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102020701xxxx または 0x800102020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが CMOS バッテリーである場合は、システム・バッテリーを交換してください。指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V である場合は、システム・ボードを交換してください (トレーニングを受けた技術員のみ)。指定されたセンサーが Planar 12V である場合は、問題が解決されるまで以下のステップを実行します。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. 『電源問題および電源問題の解決』の処置に従ってください。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80010204-1d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 1 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d01xxxx または 0x800102041d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED により示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d02xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 2 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d02xxxx または 0x800102041d02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED により示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d03xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 3 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d03xxxx または 0x800102041d03xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED により示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d04xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 4 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d04xxxx または 0x800102041d04xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010701-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107010701xxxx または 0x800107010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109010701xxxx または 0x800109010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010902-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109020701xxxx または 0x800109020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V である場合は、システム・ボードを交換してください (トレーニングを受けた技術員のみ)。指定されたセンサーが Planar 12V である場合は、問題が解決されるまで以下のステップを実行します。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号)

80010b01-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted.
(Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b010701xxxx または 0x80010b010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80030006-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (Sig Verify Fail)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

800300062101xxxx または 0x800300062101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80030012-2301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

800300122301xxxx または 0x800300122301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8007010f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (GPT Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007010f2201xxxx または 0x8007010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. IBM サポート・サイトを参照し、この GPT エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
 2. UEFI 設定の「DISK GPT Recovery」を「Automatic」に設定します。
 3. 破損したディスクを交換します。
-

80070201-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702010301xxxx または 0x800702010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、(サーバーの前面と背面で) 通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-2001xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 1 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702012001xxxx または 0x800702012001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、(サーバーの前面と背面で) 通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-2002xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 2 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702012002xxxx または 0x800702012002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、(サーバーの前面と背面で) 通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。

3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-2003xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 3 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702012003xxxx または 0x800702012003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、(サーバーの前面と背面で) 通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-2004xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 4 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702012004xxxx または 0x800702012004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、(サーバーの前面と背面で) 通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

80070202-0701xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (SysBrd Vol Fault)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702020701xxxx または 0x800702020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
3. 障害のある装置をすべて交換します。
4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80070204-0a01xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 1 Fan Fault)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702040a01xxxx または 0x800702040a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. パワー・サプライ・ファンからの空気の流れを妨げるもの (束ねたケーブルなど) がないことを確認します。
2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070204-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 2 Fan Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702040a02xxxx または 0x800702040a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. パワー・サプライ・ファンからの空気の流れを妨げるもの (束ねたケーブルなど) がないことを確認します。
2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070208-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 1 Therm Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702080a01xxxx or 0x800702080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. パワー・サプライ・ファンからの空気の流れを妨げるもの (束ねたケーブルなど) がないことを確認します。
2. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティを使用して、現行のシステム電力使用量が制限未満であることを確認します。詳しい情報およびユーティリティのダウンロードについては、<http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html> にアクセスしてください。
3. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070208-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 2 Therm Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702080a02xxxx または 0x800702080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. パワー・サプライ・ファンからの空気の流れを妨げるもの (束ねたケーブルなど) がないことを確認します。
2. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティを使用して、現行のシステム電力使用量が制限未満であることを確認します。詳しい情報およびユーティリティのダウンロードについては、<http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html> にアクセスしてください。
3. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070219-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (SysBrd Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702190701xxxx または 0x800702190701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
2. システム・イベント・ログを確認します。
3. システム・ファームウェア・バージョンを確認し、最新バージョンに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. AC 電源コードのプラグをいったん抜いてから元に戻し、ステップ 1 と 2 を再度実行します。
5. 引き続き問題が発生する場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80070301-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800703010301xxxx または 0x800703010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

80070608-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable.

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706080a01xxxx または 0x800706080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0530

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが PS n 12V OC Fault である場合は、問題が解決されるまで以下のステップを実行します。

1. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。詳しい情報およびユーティリティーのダウンロードについては、<http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html> にアクセスしてください。
2. 『電源問題および電源問題の解決』の処置に従ってください。

指定されたセンサーが PS n 12V OV Fault である場合は、問題が解決されるまで以下のステップを実行します。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号)

80070608-0a02xxxx

指定されたセンサーが PS n 12V UV Fault である場合は、問題が解決されるまで以下のステップを実行します。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. 『電源問題および電源問題の解決』の処置に従ってください。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号)

指定されたセンサーが PS n 12Vaux Fault である場合は、問題が解決されるまで以下のステップを実行します。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070608-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable.

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706080a02xxxx または 0x800706080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0530

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが PS n 12V OC Fault である場合は、問題が解決されるまで以下のステップを実行します。

1. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。
詳しい情報およびユーティリティーのダウンロードについては、<http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html> にアクセスしてください。
2. 『電源問題および電源問題の解決』の処置に従ってください。

指定されたセンサーが PS n 12V OV Fault である場合は、問題が解決されるまで以下のステップを実行します。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号)

指定されたセンサーが PS n 12V UV Fault である場合は、問題が解決されるまで以下のステップを実行します。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。
3. 『電源問題および電源問題の解決』の処置に従ってください。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号)

指定されたセンサーが PS n 12Vaux Fault である場合は、問題が解決されるまで以下のステップを実行します。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80080128-2101xxxx Device [LogicalDeviceElementName] has been added. (Low Security Jmp)

説明: このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800801282101xxxx または 0x800801282101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0536

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800b0108-1301xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Power Unit)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b01081301xxxx または 0x800b01081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 冗長パワー・サプライ

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0802

SNMP トラップ ID: 9

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 両方のパワー・サプライの LED を確認します。
 2. 『パワー・サプライ LED』の処置に従います。
-

806f0007-0301xxxx [ProcessorElementName] has Failed with IERR. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサ障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f00070301xxxx または 0x806f00070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0042

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. UEFI、IMM、イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

806f0008-0a01xxxx • 806f0008-0a02xxxx

2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0008-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has been added to container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00080a01xxxx または 0x806f00080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0008-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has been added to container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00080a02xxxx または 0x806f00080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0009-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been turned off. (Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で使用不可にされた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00091301xxxx or 0x806f00091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 電源オフ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0106

SNMP トラップ ID: 23

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0400xxxx または 0x806f000d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0401xxxx または 0x806f000d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0402xxxx または 0x806f000d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0403xxxx または 0x806f000d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000f-220101xx The System [ComputerSystemElementName] has detected no memory in the system. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で、メモリーをシステム内で検出済みであることが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220101xx または 0x806f000f220101xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0794

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。ファームウェア・エラー：

806f000f-220102xx Subsystem [MemoryElementName] has insufficient memory for operation. (ABR Status)

説明: このメッセージは、操作に使用可能なメモリーが不十分であることを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220102xx または 0x806f000f220102xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0132

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。ファームウェア・エラー：

806f000f-220103xx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable boot device failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、リカバリー不能ブート・デバイス障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220103xx または 0x806f000f220103xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0770

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。ファームウェア・エラー：

806f000f-220104xx The System [ComputerSystemElementName] has encountered a motherboard failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、致命的なマザーボード障害がシステムで発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220104xx または 0x806f000f220104xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0795

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの

806f000f-220107xx • 806f000f-22010axx

『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。 ファームウェア・エラー：

806f000f-220107xx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable keyboard failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、リカバリー不能キーボード障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220107xx または 0x806f000f220107xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0764

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。 ファームウェア・エラー：

806f000f-22010axx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - no video device detected. (ABR Status)

説明: このメッセージは、ビデオ・デバイスが検出されないことを示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f22010axx または 0x806f000f22010axx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0766

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。 ファームウェア・エラー：

806f000f-22010bxx Firmware BIOS (ROM) corruption was detected on system [ComputerSystemElementName] during POST. (ABR Status)

説明: システムで POST 中に、ファームウェア BIOS (ROM) 破損が検出されました。

806f000f22010bxx または 0x806f000f22010bxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0850

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。
2. バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。a. サーバーを再始動します。 b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。
3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 問題が消えるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのつどサーバーを再始動します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ファームウェア・エラー :

806f000f-22010cxx CPU voltage mismatch detected on [ProcessorElementName]. (ABR Status)

説明: このメッセージは、CPU 電圧がソケット電圧と一致していないことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f22010cxx または 0x806f000f22010cxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0050

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。ファームウェア・エラー :

806f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] encountered a POST Error. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが検出された場合に使用されます。

806f000f2201ffff または 0x806f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0184

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。ファームウェア・エラー：

806f0013-1701xxxx A diagnostic interrupt has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みが検出された場合に使用されます。

806f00131701xxxx または 0x806f00131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0222

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: NMI ボタンを押していない場合は、以下のステップを実行してください。

1. NMI ボタンが押されていないことを確認します。
2. オペレーター情報パネルのケーブルを交換します。
3. オペレーター情報パネルを交換します。

806f0021-2582xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (All PCI Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00212582xxxx または 0x806f00212582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。

2. 該当するアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
 4. 対象のアダプターを交換します。
 5. ライザー・カードを交換します。
 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
- 1 つの PCI エラー。

**806f0021-3001xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].
(PCI 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213001xxxx または 0x806f00213001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 該当するアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

PCI 2 :

806f0023-2101xxxx Watchdog Timer expired for [WatchdogElementName]. (Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00232101xxxx または 0x806f00232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0368

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0107-0301xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on [ProcessorElementName]. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01070301xxxx または 0x806f01070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0036

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、(サーバーの前面と背面で) 通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

806f0108-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has Failed. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01080a01xxxx または 0x806f01080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0086

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. パワー・サプライ n を取り付け直します。
2. パワーオン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合は、パワー・サプライ n を交換します。
3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0108-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has Failed. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01080a02xxxx または 0x806f01080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0086

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. パワー・サプライ n を取り付け直します。
2. パワーオン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合は、パワー・サプライ n を交換します。
3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0109-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been Power Cycled. (Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で電源の再投入が行われた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01091301xxxx または 0x806f01091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0108

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f010c-2001xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2001xxxx または 0x806f010c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2002xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2002xxxx または 0x806f010c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2003xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 3)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2003xxxx または 0x806f010c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2004xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 4)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2004xxxx または 0x806f010c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2581xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2581xxxx または 0x806f010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

1 つの DIMM。

806f010d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 0)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0400xxxx または 0x806f010d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。

806f010d-0401xxxx • 806f010d-0402xxxx

2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 1)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0401xxxx または 0x806f010d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 2)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0402xxxx または 0x806f010d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 3)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0403xxxx または 0x806f010d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010f-2201xxxx The System [ComputerSystemElementName] encountered a firmware hang. (Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアのハングが検出された場合に使用されます。

806f010f2201xxxx または 0x806f010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - ブート障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0186

SNMP トラップ ID: 25

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サブライ LED』を参照)。
2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0123-2101xxxx Reboot of system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName]. (Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによるリブートの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01232101xxxx または 0x806f01232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0370

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-1d01xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (Fan 1)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが存在しないことが検出された場合に使用されます。

806f01251d01xxxx または 0x806f01251d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI ライザー 1 が正しく取り付けられていることを確認してください。

806f0125-1d02xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (Fan 2)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが存在しないことが検出された場合に使用されます。

806f01251d02xxxx または 0x806f01251d02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI ライザー 1 が正しく取り付けられていることを確認してください。

806f0125-1d03xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (Fan 3)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが存在しないことが検出された場合に使用されます。

806f01251d03xxxx または 0x806f01251d03xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI ライザー 1 が正しく取り付けられていることを確認してください。

806f0125-1d04xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (Fan 4)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが存在しないことが検出された場合に使用されます。

806f01251d04xxxx または 0x806f01251d04xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI ライザー 1 が正しく取り付けられていることを確認してください。

806f0207-0301xxxx [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02070301xxxx または 0x806f02070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。

806f020d-0400xxxx • 806f020d-0401xxxx

4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f020d-0400xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0400xxxx または 0x806f020d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0401xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0401xxxx または 0x806f020d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0402xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 2)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0402xxxx または 0x806f020d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0403xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 3)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0403xxxx or 0x806f020d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n でハード・ディスク診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f0223-2101xxxx Powering off system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName]. (Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによる電源オフが発生したことが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f02232101xxxx または 0x806f02232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0372

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0308-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has lost input. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03080a01xxxx または 0x806f03080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 電源コードを再接続します。
2. パワー・サプライ n LED を確認します。
3. 詳細については、『パワー・サプライ LED』を参照してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0308-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has lost input. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03080a02xxxx or 0x806f03080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 電源コードを再接続します。
2. パワー・サプライ n LED を確認します。

3. 詳細については、『パワー・サプライ LED』を参照してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f030c-2001xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2001xxxx または 0x806f030c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f030c-2002xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2002xxxx または 0x806f030c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。

806f030c-2003xxxx

3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f030c-2003xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2003xxxx または 0x806f030c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f030c-2004xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2004xxxx または 0x806f030c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。
2. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f0313-1701xxxx A software NMI has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境で ソフトウェア NMI が検出された場合に使用されます。

806f03131701xxxx or 0x806f03131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0228

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. デバイス・ドライバーをチェックします。
2. デバイス・ドライバーを再インストールします。
3. すべてのデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。
4. ファームウェア (UEFI および IMM) を更新します。

806f0323-2101xxxx Power cycle of system [ComputerSystemElementName] initiated by watchdog [WatchdogElementName]. (Watchdog)

説明: このメッセージは、ウォッチドッグによる電源サイクルが行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03232101xxxx or 0x806f03232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0374

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f040c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2001xxxx または 0x806f040c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。メモリー障害がログに記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED が点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) を使用して DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2002xxxx または 0x806f040c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。メモリー障害がログに記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED が点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) を使用して DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2003xxxx または 0x806f040c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。メモリー障害がログに記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED が点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) を使用して DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2004xxxx または 0x806f040c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。メモリー障害がログに記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED が点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) を使用して DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2581xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2581xxxx または 0x806f040c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。メモリー障害がログに記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED が点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) を使用して DIMM を再び使用可能にすることができます。

1 つの DIMM。

806f0413-2582xxxx A PCI PERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR が検出された場合に使用されます。

806f04132582xxxx または 0x806f04132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0232

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 該当するアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 両方のアダプターを取り外します。
5. PCIe アダプターを交換します。
6. ライザー・カードを交換します。

806f0507-0301xxxx [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f05070301xxxx または 0x806f05070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、『Light Path 診断』を参照してください。
2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を取り付け直します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

**806f050c-2001xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2001xxxx または 0x806f050c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2002xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2002xxxx または 0x806f050c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2003xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2003xxxx または 0x806f050c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2004xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2004xxxx または 0x806f050c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2581xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2581xxxx または 0x806f050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

1 つの DIMM。

806f050d-0400xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0400xxxx または 0x806f050d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0401xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0401xxxx または 0x806f050d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0402xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0402xxxx または 0x806f050d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0403xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0403xxxx または 0x806f050d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f0513-2582xxxx A PCI SERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI SERR が検出された場合に使用されます。

806f05132582xxxx または 0x806f05132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0234

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 該当するアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. アダプターがサポートされていることを確認します。 サポートするオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/> を参照してください。
5. 両方のアダプターを取り外します。
6. PCIe アダプターを交換します。
7. ライザー・カードを交換します。

**806f052b-2101xxxx Invalid or Unsupported firmware or software was detected on system
[ComputerSystemElementName]. (IMM2 FW Failover)**

説明: このメッセージは、無効/サポートされないファームウェア/ソフトウェア・バージョンが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f052b2101xxxx または 0x806f052b2101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0446

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。
2. サーバーを再始動して、バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。
3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 問題が消えるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのつどサーバーを再始動します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

**806f0607-0301xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted.
(CPU 1)**

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06070301xxxx または 0x806f06070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0608-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has a Configuration Mismatch. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、構成エラーが発生したパワー・サプライが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f06080a01xxxx または 0x806f06080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0104

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 取り付けられたパワー・サプライの定格 (ワット数) が同一であることを確認します。
2. 定格 (ワット数) が同一のパワー・サプライを再取り付けします。

806f0608-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has a Configuration Mismatch. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、構成エラーが発生したパワー・サプライが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f06080a02xxxx または 0x806f06080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0104

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 取り付けられたパワー・サプライの定格 (ワット数) が同一であることを確認します。
2. 定格 (ワット数) が同一のパワー・サプライを再取り付けします。

806f060d-0400xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0400xxxx または 0x806f060d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0401xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0401xxxx または 0x806f060d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0402xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0402xxxx または 0x806f060d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0403xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0403xxxx または 0x806f060d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f070c-2001xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2001xxxx または 0x806f070c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2002xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2002xxxx または 0x806f070c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2003xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2003xxxx または 0x806f070c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2004xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2004xxxx または 0x806f070c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2581xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2581xxxx または 0x806f070c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。 1 つの DIMM。

806f070d-0400xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0400xxxx または 0x806f070d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0401xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0401xxxx or 0x806f070d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0402xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0402xxxx または 0x806f070d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0403xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0403xxxx または 0x806f070d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-0301xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08070301xxxx または 0x806f08070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0813-0301xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08130301xxxx または 0x806f08130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。
3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 2 つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2581xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132581xxxx または 0x806f08132581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。
3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 2 つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2582xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132582xxxx または 0x806f08132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。
3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 2 つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0823-2101xxxx Watchdog Timer interrupt occurred for [WatchdogElementName]. (Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマー割り込みの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f08232101xxxx または 0x806f08232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0376

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0a07-0301xxxx [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a070301xxxx または 0x806f0a070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0038

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、(サーバーの前面と背面で) 通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

81010002-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has deasserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810100020701xxxx または 0x810100020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0477

SNMP トラップ ID: 13

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010202-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102020701xxxx または 0x810102020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 SysBrd 12V : SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

81010204-1d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 1 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d01xxxx または 0x810102041d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d02xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 2 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d02xxxx または 0x810102041d02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d03xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 3 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d03xxxx または 0x810102041d03xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d04xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 4 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d04xxxx または 0x810102041d04xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**81010701-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.
(Ambient Temp)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107010701xxxx または 0x810107010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**81010901-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted.
(Ambient Temp)**

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109010701xxxx または 0x810109010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**81010902-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted.
(SysBrd 12V)**

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109020701xxxx または 0x810109020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

81010b01-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b010701xxxx または 0x81010b010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030006-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (Sig Verify Fail)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

810300062101xxxx または 0x810300062101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030012-2301xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

810300122301xxxx または 0x810300122301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state. (GPT Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8107010f2201xxxx または 0x8107010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0521

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702010301xxxx または 0x810702010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2001xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 1 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702012001xxxx または 0x810702012001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2002xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 2 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702012002xxxx または 0x810702012002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2003xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 3 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702012003xxxx または 0x810702012003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2004xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 4 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702012004xxxx または 0x810702012004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070202-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (SysBrd Vol Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702020701xxxx または 0x810702020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070204-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 1 Fan Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702040a01xxxx または 0x810702040a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070204-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 2 Fan Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702040a02xxxx または 0x810702040a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070208-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 1 Therm Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702080a01xxxx または 0x810702080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070208-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 2 Therm Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702080a02xxxx または 0x810702080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070219-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (SysBrd Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702190701xxxx または 0x810702190701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810703010301xxxx または 0x810703010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070608-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable. (PS 1 VCO Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810706080a01xxxx または 0x810706080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0531

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PS1 12V OC Fault : PS1 12V OV Fault : PS1 12V UV Fault :

81070608-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable. (PS 2 VCO Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810706080a02xxxx または 0x810706080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0531

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PS2 12V OC Fault : PS2 12V OV Fault : PS2 12V UV Fault :

810b0108-1301xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Power Unit)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b01081301xxxx または 0x810b01081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 冗長パワー・サプライ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0803

SNMP トラップ ID: 9

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0008-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has been removed from container [PhysicalPackageElementName].
(Power Supply 1)**

説明: このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00080a01xxxx または 0x816f00080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0008-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has been removed from container [PhysicalPackageElementName].
(Power Supply 2)**

説明: このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00080a02xxxx または 0x816f00080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0009-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been turned on. (Host Power)

説明: このメッセージは、使用可能にされた電源装置が実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00091301xxxx または 0x816f00091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 電源オン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0107

SNMP トラップ ID: 24

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f000d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 0)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0400xxxx or 0x816f000d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します (n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハード・ディスクを交換します。

**816f000d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0401xxxx または 0x816f000d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します (n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハード・ディスクを交換します。

**816f000d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0402xxxx または 0x816f000d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します (n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0403xxxx または 0x816f000d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハード・ディスク n を取り付け直します (n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハード・ディスクを交換します。

816f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] has detected a POST Error deassertion. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f000f2201ffff または 0x816f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0185

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 ファームウェア・エラー :

816f0013-1701xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a diagnostic interrupt. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みからのリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f00131701xxxx または 0x816f00131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0223

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-2582xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (All PCI Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00212582xxxx または 0x816f00212582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの PCI エラー。

816f0021-3001xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 1)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213001xxxx または 0x816f00213001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PCI 2 :

816f0107-0301xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on [ProcessorElementName]. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01070301xxxx または 0x816f01070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0037

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0108-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to OK status. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01080a01xxxx または 0x816f01080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0087

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0108-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to OK status. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01080a02xxxx または 0x816f01080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0087

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2001xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2001xxxx または 0x816f010c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2002xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2002xxxx または 0x816f010c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2003xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2003xxxx または 0x816f010c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2004xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2004xxxx または 0x816f010c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2581xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2581xxxx または 0x816f010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f010d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 0)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0400xxxx または 0x816f010d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 1)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0401xxxx または 0x816f010d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 2)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0402xxxx または 0x816f010d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 3)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0403xxxx または 0x816f010d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010f-2201xxxx The System [ComputerSystemElementName] has recovered from a firmware hang. (Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアがハングした状態からリカバリーされた場合に使用されます。

816f010f2201xxxx または 0x816f010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0187

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1d01xxxx [ManagedElementName] detected as present. (Fan 1)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが現在存在することが検出された場合に使用されます。

816f01251d01xxxx または 0x816f01251d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1d02xxxx [ManagedElementName] detected as present. (Fan 2)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが現在存在することが検出された場合に使用されます。

816f01251d02xxxx または 0x816f01251d02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1d03xxxx [ManagedElementName] detected as present. (Fan 3)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが現在は存在することが検出された場合に使用されます。

816f01251d03xxxx または 0x816f01251d03xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1d04xxxx [ManagedElementName] detected as present. (Fan 4)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが現在は存在することが検出された場合に使用されます。

816f01251d04xxxx または 0x816f01251d04xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f02070301xxxx または 0x816f02070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0400xxxx **Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0400xxxx または 0x816f020d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0401xxxx **Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0401xxxx または 0x816f020d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0402xxxx **Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0402xxxx または 0x816f020d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0403xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 3)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0403xxxx または 0x816f020d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0308-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to a Normal Input State. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03080a01xxxx または 0x816f03080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0308-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to a Normal Input State. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03080a02xxxx または 0x816f03080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2001xxxx • 816f030c-2003xxxx

816f030c-2001xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2001xxxx または 0x816f030c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2002xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2002xxxx または 0x816f030c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2003xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2003xxxx または 0x816f030c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2004xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2004xxxx または 0x816f030c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0313-1701xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from an NMI. (NMI State)

説明: このメッセージは、ソフトウェア NMI から回復したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03131701xxxx または 0x816f03131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0230

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2001xxxx または 0x816f040c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2002xxxx または 0x816f040c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2003xxxx または 0x816f040c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2004xxxx または 0x816f040c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2581xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2581xxxx または 0x816f040c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f0413-2582xxxx A PCI PERR recovery has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR がリカバリーされたことが検出された場合に使用されます。

816f04132582xxxx または 0x816f04132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0233

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチがリカバリーされたこと検出された場合に使用されます。

816f05070301xxxx または 0x816f05070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2001xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2001xxxx または 0x816f050c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2002xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2002xxxx または 0x816f050c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2003xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2003xxxx または 0x816f050c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2004xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2004xxxx または 0x816f050c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2581xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2581xxxx または 0x816f050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f050d-0400xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 0)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0400xxxx または 0x816f050d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0401xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 1)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0401xxxx または 0x816f050d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0402xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 2)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0402xxxx または 0x816f050d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0403xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 3)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0403xxxx または 0x816f050d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-0301xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted.
(CPU 1)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06070301xxxx または 0x816f06070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0608-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] Configuration is OK. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライ構成が OK である場合に使用されます。

816f06080a01xxxx または 0x816f06080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0105

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0608-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] Configuration is OK. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライ構成が OK である場合に使用されます。

816f06080a02xxxx または 0x816f06080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0105

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0400xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 0)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0400xxxx または 0x816f060d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0401xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 1)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0401xxxx または 0x816f060d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0402xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 2)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0402xxxx または 0x816f060d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0403xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 3)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0403xxxx または 0x816f060d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2001xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2001xxxx または 0x816f070c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2002xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2002xxxx または 0x816f070c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2003xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2003xxxx または 0x816f070c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2004xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2004xxxx または 0x816f070c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2581xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f816f070c2581xxxx または 0x816f070c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f070d-0400xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0400xxxx または 0x816f070d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0401xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0401xxxx または 0x816f070d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0402xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0402xxxx または 0x816f070d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0403xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0403xxxx または 0x816f070d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-0301xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08070301xxxx または 0x816f08070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-0301xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (CPUs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08130301xxxx または 0x816f08130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2581xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (DIMMs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132581xxxx または 0x816f08132581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2582xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (PCIs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132582xxxx または 0x816f08132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0301xxxx The Processor [ProcessorElementName] is no longer operating in a Degraded State. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a070301xxxx または 0x816f0a070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0039

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

付録 B. UEFI (POST) エラー・コード

このセクションでは、UEFI (POST) エラー・コードについて詳しく説明します。

UEFI (POST) 診断エラー・コードは、サーバーの始動時またはサーバーの実行中に生成されることがあります。UEFI (POST) コードは、サーバー内の IMM2 イベント・ログに記録されます。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

Event identifier (イベント ID)

イベントを一意的に識別する ID。

Event description (イベント記述)

イベントについて表すログ・メッセージ・ストリング。

Explanation (説明)

イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度 その状態の懸念のレベルの表示。イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されることがあります。

表 36. イベントの重大度レベル

重大度	説明
通知	通知メッセージは監査目的で記録されたもので、通常は、正常な動作のユーザー処置あるいは状態の変化です。
警告	警告はエラーほど深刻ではないですが、可能であればエラーになる前に状態を修正することが推奨されます。警告は、さらにモニターおよびメンテナンスを続ける必要がある状態である場合もあります。
エラー	エラーは、一般的にサービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態を示します。

ユーザー応答

イベントを解決するためにとるべき処置を示します。

このセクションにリストされている手順を、問題が解決するまで順番に実行します。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、IBM サポートにお問い合わせください

以下に、UEFI (POST) エラー・コードおよび検出された問題を修正するための推奨アクションをリストします。

I.11002 [I.11002] A processor mismatch has been detected between one or more processors in the system.

説明: 1 つ以上のプロセッサの不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このメッセージと一緒に、他のプロセッサ構成の問題を示すメッセージが発行される場合があります。最初に、それらのメッセージを解決してください。
2. 問題が解決しない場合は、取り付けられているプロセッサが一致していること (オプション部品番号が一致しているなど) を確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、プロセッサが正しいソケットに取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられていない場合は、問題を修正してください。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 一致しないプロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1100A [I.1100A] A processor microcode update failed.

説明: プロセッサ・マイクロコードのロードに失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

I.18005 [I.18005] A discrepancy has been detected in the number of cores reported by one or more processor packages within the system.

説明: プロセッサのコア数が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. これが新しく取り付けられたオプションである場合は、一致するプロセッサが、本製品のサービス情報に従って正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18007 [I.18007] A power segment mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサの電源セグメントが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 取り付けられているプロセッサの消費電力が同一ではありません。
2. すべてのプロセッサの消費電力 (65、95、または 130 ワットなど) が一致していることを確認します。
3. 消費電力が一致している場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18008 [I.18008] Currently, there is no additional information for this event.

説明: プロセッサの内部 DDR3 周波数が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 一致する DIMM が、本製品のサービス情報に従って正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。検出された構成の問題をすべて修正します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 関連したプロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18009 [I.18009] A core speed mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサのコア速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致の問題をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800B [I.1800B] A cache size mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサの 1 つ以上のキャッシュ・レベルでサイズが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800C [I.1800C] A cache type mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサの 1 つ以上のキャッシュ・レベルでタイプが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800D [I.1800D] A cache associativity mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサの 1 つ以上のキャッシュ・レベルで結合順序が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800E [I.1800E] A processor model mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサの型式番号が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800F [I.1800F] A processor family mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサのファミリーが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.18010 [I.18010] A processor stepping mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: 同一モデルのプロセッサのステッピング ID が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.2018002 [I.2018002] The device found at Bus % Device % Function % could not be configured due to resource constraints. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: OUT_OF_RESOURCES (PCI オプション ROM)

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアを更新するために、UEFI F1 セットアップ、ASU、またはアダプター製造元のユーティリティを使用して、未使用のオプション ROM を使用不可にする必要がある場合があります。
3. カードを別のスロットに移動します。If slot not available or error re-occurs, replace adapter.
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) アダプターを別のスロットに移動した後にエラーが再発しなかった場合は、これがシステムの制限事項でないことを確認してから、システム・ボードを交換します。また、これが初回のインストールではなく、アダプターの交換後もエラーが続く場合も、システム・ボードを交換します。

I.3818001 [I.3818001] The firmware image capsule signature for the currently booted flash bank is invalid.

説明: 現行のバンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。バックアップ UEFI イメージが起動します。1 次 UEFI イメージを再消去します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818002 [I.3818002] The firmware image capsule signature for the non-booted flash bank is invalid.

説明: 対向バンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. バックアップ UEFI イメージを再消去します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818003 [I.3818003] The CRTM flash driver could not lock the secure flash region.

説明: CRTM がセキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを消去し、バンクを 1 次リセットします (必要な場合)。システムがエラーなしでブートする場合は、リカバリーが完了し、これ以上の処置は必要ありません。
3. システムがブートできない場合、または消去しようとして失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.58015 [I.58015] Memory spare copy initiated.

説明: スペア・コピーが開始されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このイベントに対するユーザー応答は不要です。これは情報提供のみを目的とするものです。

I.580A4 [I.580A4] Memory population change detected.

説明: DIMM 装着の変化が検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

I.580A5 [I.580A5] Mirror Fail-over complete. DIMM number % has failed over to the mirrored copy.

説明: DIMM ミラーリングのフェイルオーバーが検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

I.580A6 [I.580A6] Memory spare copy has completed successfully.

説明: スペア・コピーが完了しました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・ログで関連する DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

S.1100B [S.1100B] CATERR(IERR) has asserted on processor %.

説明: プロセッサ CATERR(IERR) が表明されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.1100C [S.1100C] An uncorrectable error has been detected on processor %.

説明: 訂正不能プロセッサ・エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. システムをリブートします。問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

S.2011000 [S.2011000] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCI PERR が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. デバイス・ドライバーを再ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。 Gen1/Gen2 設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、あるいは ASU ユーティリティを使用して構成することができます。
2. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.2011001 [S.2011001] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCI SERR が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. デバイス・ドライバーを再ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、あるいは ASU ユーティリティを使用して構成することができます。
2. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.2018001 [S.2018001] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCIe 訂正不能エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. デバイス・ドライバーを再ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティを使用して構成できます。
2. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.3020007 [S.3020007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3030007 [S.3030007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3040007 [S.3040007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3050007 [S.3050007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3060007 [S.3060007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3070007 [S.3070007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3818004 [S.3818004] The CRTM flash driver could not successfully flash the staging area. A failure occurred.

説明: CRTM 更新が失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. エラーが続く場合は、システムのブートを続行し、UEFI イメージを再消去します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3818007 [S.3818007] The firmware image capsules for both flash banks could not be verified.

説明: CRTM イメージ・カプセルを検査できませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを消去し、バンクを 1 次リセットします (必要な場合)。システムがエラーなしでブートする場合は、リカバリーは完了し、これ以上の処置は必要ありません。
3. システムがブートできない場合、または消去しようとして失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.51003 [S.51003] An uncorrectable memory error was detected in DIMM slot % on rank %.

説明: [S.51003] An uncorrectable memory error was detected on processor % channel %. The failing DIMM within the channel could not be determined.

[S.51003] An uncorrectable memory error has been detected during POST.Fatal Memory Error Occurred

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネル上の DIMM コネクタに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. DIMM コネクタ上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
3. 同じ DIMM コネクタで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を交換します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が再び発生する場合は、コネクタに損傷がないか調べます。損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.51006 [S.51006] A memory mismatch has been detected. Please verify that the memory configuration is valid.

説明: 1 つ以上の DIMM の不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいは処置によって使用不可になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. DIMM が、本製品のサービス情報に従って正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
3. メモリー・ミラーリングおよびスペアリングを使用不可にします。この処置によってミスマッチがなくなる場合には、IBM サポート・サイトにこの問題に関連する情報がないか確認してください。
4. UEFI ファームウェアを再消去します。
5. DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.51009 [S.51009] No system memory has been detected.

説明: メモリーが検出されませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 1 つ以上の DIMM がサーバーに取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害がログに記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED が点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) を使用して、すべての DIMM コネクターが使用可能になっているかどうかを確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、正しい装着順序を確認してすべての DIMM を再取り付けします。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.5100A [S.5100A] Memory is present within the system but could not be configured. Please verify that the memory configuration is valid.

説明: 使用可能なメモリーが検出されませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 1 つ以上の DIMM がサーバーに取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害がログに記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED が点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) を使用して、すべての DIMM コネクターが使用可能になっているかどうかを確認します。
3. DIMM が本製品のサービス情報に従って正しい装着順序で取り付けられていることを確認しながら、すべての DIMM を取り付け直します。
4. CMOS メモリーをクリアします。ファームウェア設定はすべてデフォルトに戻ることにご注意してください。
5. UEFI ファームウェアを再消去します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.58008 [S.58008] A DIMM has failed the POST memory test.

説明: DIMM がメモリー・テストに失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの AC サイクルを実行して、対象の DIMM コネクターを再度使用可能にするか、あるいは F1 Setup を使用して手動で対象の DIMM コネクターを再度使用可能にします。
2. このノードの取り付け、保守、移動、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物が入っていないことを確認します。いずれかの状態が見つかった場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. 問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。

S.68005 • W.11004

4. 同じ DIMM コネクタで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を 1 回に 1 つずつ別のメモリー・チャネルまたはプロセッサに交換します。別のメモリー・チャネルに移動した DIMM に問題が付随する場合は、その DIMM を交換します。
5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 元の DIMM コネクタで問題が続く場合は、DIMM コネクタに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。コネクタが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、またはアップグレード・プロセッサの場合には、システム・ボードを交換します。複数のプロセッサがある場合は、それらのプロセッサをスワップして、エラーが生じたプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサに付随する場合 (あるいは、プロセッサが 1 つしかない場合) は、エラーが生じたプロセッサを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.68005 **[S.68005] An error has been detected by the the IIO core logic on Bus %. The Global Fatal Error Status register contains %. The Global Non-Fatal Error Status register contains %. Please check error logs for the presence of additional downstream device error data.**

説明: クリティカル IOH-PCI エラー

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 関連する PCIe デバイスに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを保守します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.11004 **[W.11004] A processor within the system has failed the BIST.**

説明: プロセッサ自己診断テストの失敗が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. プロセッサまたはファームウェアを更新したばかりの場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 複数のプロセッサがある場合は、それらのプロセッサをスワップして、エラーが生じたプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサに付随する場合、あるいはこれがシングル・プロセッサのシステムである場合は、そのプロセッサを交換します。プロセッサを取り外すたびにプロセッサ・ソケットを検査し、損傷したピンや位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3818000 [W.3818000] TPM communication failure

説明: TPM 通信障害。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを取り替えます。

W.3818005 [W.3818005] The CRTM flash driver could not successfully flash the staging area. The update was aborted

説明: CRTM 更新が異常終了しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. イベントが続く場合は、システムのブートを続行し、UEFI イメージを再消去します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.50001 [W.50001] A DIMM has been disabled due to an error detected during POST.

説明: DIMM が使用不可です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メモリー障害によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのイベントに対する手順に従います。
2. ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して DIMM を再度使用可能にします。
3. 問題が解決しない場合は、管理コンソールからノードの電源サイクルを実行します。
4. IMM をデフォルト設定にリセットします。
5. UEFI をデフォルト設定にリセットします。
6. IMM および UEFI ファームウェアを再消去します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.58001 [W.58001] The PFA Threshold limit (correctable error logging limit) has been exceeded on DIMM number % at address %, MC5 Status contains % and MC5 Misc contains %.

説明: DIMM PFA しきい値を超えました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネル上の DIMM コネクタに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。リリース・ノートには、その更新で対応している既知の問題がリストされています。
3. 上記のステップで問題が解決されない場合は、次に保守を行う機会に対象の DIMM (Light Path や障害ログ・エントリーで示されたもの) を交換します。
4. 同じ DIMM コネクタで PFA が再発生した場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を、別のメモリー・チャンネルまたはプロセッサに一度に 1 つずつスワップします。PFA が別のメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに移動した DIMM に付随する場合は、その移動した DIMM を交換します。
5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin がないかを確認します。(IBM サポートの Service Bulletin へのリンク)
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が継続的に再発生する場合は、DIMM コネクタに異物がないかを検査し、見つかった場合は除去します。コネクタが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、あるいはプロセッサがアップグレード部品である場合は、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.58007 [W.58007] Invalid memory configuration (Unsupported DIMM Population) detected. Please verify memory configuration is valid.

説明: サポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DIMM が、この製品のサービス情報にあるガイドラインに従って装着されていることを確認します。

W.580A1 [W.580A1] Invalid memory configuration for Mirror Mode. Please correct memory configuration.

説明: ミラーリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DIMM コネクターのエラー LED が点灯している場合は、その障害を解決します。
2. DIMM コネクタが、この製品のサービス情報に従って、ミラーリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.580A2 [W.580A2] Invalid memory configuration for Sparing Mode. Please correct memory configuration.

説明: スペアリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DIMM コネクタが、この製品のサービス情報に従って、スペアリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.580A3 [W.580A3] Invalid memory configuration for Lock-Step Mode. Please correct memory configuration.

説明: ロック・ステップ・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DIMM コネクタが、この製品のサービス情報に従って、ロック・ステップ・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.68002 [W.68002] A CMOS battery error has been detected

説明: CMOS バッテリー障害

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの取り付け、移動、または保守が最近行われた場合、バッテリーが正しく取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
3. CMOS バッテリーを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

付録 C. DSA 診断テスト結果

DSA 診断テストを実行後、この情報を使用して、検出された問題を解決してください。

DSA CPU ストレス・テスト結果

CPU ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

089-000-000 CPU Stress Test Passed

説明: CPU ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-801-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。内部プログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。このコンポーネント用の最新レベルのファームウェアは、IBM サポート Web サイトでこのシステム・タイプを参照して検索できます。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

089-802-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。システム・リソース使用不可エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

089-803-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-804-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-901-000 CPU Stress Test Failed

説明: CPU ストレス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA メモリー・ストレス・テスト結果

メモリー・ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

202-000-000 MemStr Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-801-000 MemStr Test Aborted

説明: 内部プログラム・エラー

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。

202-802-000 • 202-901-000

5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
6. メモリー診断を実行して、特定の障害のある DIMM を識別します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

202-802-000 MemStr Test Aborted

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-803-000 MemStr Test Aborted

説明: ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-901-000 MemStr Test Failed

説明: テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。
4. メモリー・カードおよび DIMM を取り付け直します。
5. システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。
6. テストを再実行してください。
7. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
8. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

202-902-000 MemStr Test Failed

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DSA Diagnostic Event Log の「Resource Utilization」セクションの「Available System Memory」を調べて、すべてのメモリーが使用可能であることを確認します。
2. 必要に応じて、システム・ブート中に F1 を押して Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムにアクセスし、すべてのメモリーを使用可能にします。
3. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行してください。
5. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA メモリー分離テスト結果

メモリー分離テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

201-000-000 Standalone Memory Test Passed

説明: すべての CPU のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-001 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 1 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-002 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 2 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-003 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 3 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-004 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 4 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-811-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-811-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-811-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-813-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-813-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-813-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-814-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-818-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-818-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-820-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-820-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-820-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-821-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-824-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-824-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-860-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-860-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-861-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-861-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-863-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-864-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-864-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-864-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-865-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-865-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-866-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-866-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-867-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-867-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-869-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-869-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-869-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-870-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-870-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-870-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-871-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-871-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-877-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-877-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスベアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スベアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスベアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スベアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: スベアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スベアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-878-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-878-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-886-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-899-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-901-000 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-001 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-002 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-003 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA 光学式ドライブ・テスト結果

光学式ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

215-000-000 Optical Drive Test Passed

説明: 光学式ドライブ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

215-801-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライバーと通信できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。

215-802-000 • 215-803-000

4. テストを再実行してください。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
6. テストを再実行してください。

215-802-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。読み取りエラーが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-803-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。ディスクがオペレーティング・システムによって使用中である可能性があります。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・アクティビティが停止するのを待ちます。
2. テストを再実行します。
3. システムの電源をオフにして、再始動してください。
4. テストを再実行してください。

215-804-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。メディア・トレイが開いています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メディア・トレイを閉じ、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行してください。
2. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行してください。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-901-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライブ・メディアが検出されません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-902-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。読み取りの不一致。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-903-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。装置にアクセスできませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA テープ・ドライブ・テスト結果

テープ・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

264-000-000 Tape Test Passed

説明: テープ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

264-901-000 Tape Test Failed

説明: テープ・アラート・ログでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. エラー・ログを消去します。
4. テストを再実行してください。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-902-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。

5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-903-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-904-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。ドライブ・ハードウェア・エラー

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テープ・ドライブ・ケーブルの接続が緩んでいたり、外れたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
3. テストを再実行してください。
4. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
5. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-905-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。無効な要求のソフトウェア・エラーです。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
2. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-906-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。認識できないエラー

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行してください。
7. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
8. テストを再実行してください。
9. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-907-000 Tape Test Failed

説明: ブロック・アドレスのどこかでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

264-908-000 Tape Test Failed

説明: テープ容量を取得中にエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メディアが存在していることを確認します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

DSA ハード・ディスク・テスト結果

ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

217-000-000 HDD Test Passed

説明: HDD ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

217-800-000 HDD Test Aborted

説明: HDD テストが異常終了しました。テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ハード・ディスクが自己診断テストおよび自己診断テスト・ロギングをサポートしていることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

217-900-000 HDD Test Failed

説明: HDD テストが失敗しました。ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果

LSI ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

407-000-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

407-800-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

407-900-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Failed

説明: ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA Nvidia GPU テスト結果

Nvidia GPU テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

409-000-000 NVIDIA User Diagnostic Test Passed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-003-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Passed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-004-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Passed

説明: Nvidia GPU 照会テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-005-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Passed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-006-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Passed

説明: Nvidia GPU Binomial テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-800-000 NVIDIA User Diagnostic Test Aborted

説明: NVIDIA ユーザー診断テストは取り消されました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-803-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Aborted

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-804-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Aborted

説明: Nvidia GPU 照会テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-805-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Aborted

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-806-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Aborted

説明: Nvidia GPU Binomial テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-900-000 NVIDIA User Diagnostic Test Failed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストが失敗しました。

重大度: イベント

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-903-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Failed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-904-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Failed

説明: Nvidia GPU 照会テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-905-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Failed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-906-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Failed

説明: Nvidia GPU Binomial テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA システム管理テスト結果

システム管理テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

166-000-001 IMM I2C Test Passed

説明: IMM I2C テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

166-801-001 IMM I2C Test Aborted

説明: IMM が誤った応答長を返しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-802-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 不明な理由によりテストが完了できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-803-001 IMM I2C Test Aborted

説明: ノードは使用中です。後で試行してください。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-804-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 無効なコマンド。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-805-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定された LUN に無効なコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-806-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドの処理中にタイムアウトになりました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-807-001 IMM I2C Test Aborted

説明: スペース不足。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-808-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 予約が取り消されたか、または予約 ID が無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-809-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データが切り捨てられました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-810-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データの長さが無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-811-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データ・フィールド長の限度を超えています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-812-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 範囲外のパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-813-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたデータ・バイト数を返すことができません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-814-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたセンサー、データ、またはレコードは存在しません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-815-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求のデータ・フィールドが無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-816-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定されたセンサーまたはレコードのタイプに許可されていないコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-817-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-818-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 重複した要求は実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-819-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。SDR リポジトリは更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-820-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。装置はファームウェア更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-821-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。BMC の初期化が進行中です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-822-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 宛先が使用不可です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-823-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。特権レベルが不十分です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-824-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-901-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM は、IMM プライベート・バス (BUS 0) の障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-903-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM は、LED バス (BUS 2) の障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-907-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM は、温度センサー・バス (BUS 6) の障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA チェックポイント・パネル・テスト結果

チェックポイント・パネル・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

180-000-000 Check-point Panel Test Passed

説明: チェックポイント・パネル・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

180-801-000 Check-point Panel Test Aborted

説明: チェックポイント・パネル・テストが異常終了しました。BMC は、オペレーター情報パネルのケーブルが接続されていることを確認できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端を調べ、取り付け直します。
 2. ベースボード管理コントローラー (BMC) が作動していることを確認します。
 3. テストを再実行してください。
 4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。
-

180-901-000 Check-point Panel Test Failed

説明: チェックポイント・パネル・テストが失敗しました。オペレーターから、表示が正しくないという報告がありました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。
2. 損傷がある場合は、情報パネルのケーブルを取り替えます。
3. テストを再実行してください。
4. オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り替えます。
5. テストを再実行してください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果

Broadcom ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

405-000-000 BRCM:TestControlRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-001-000 BRCM:TestMIRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-002-000 BRCM:TestEEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-003-000 BRCM:TestInternalMemory Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-004-000 BRCM:TestInterrupt Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-005-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-006-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-007-000 BRCM:TestLEDs Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-800-000 BRCM:TestControlRegisters Test Aborted

説明: 制御レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-801-000 BRCM:TestMIRegisters Test Aborted

説明: MII レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-802-000 BRCM:TestEEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-803-000 BRCM:TestInternalMemory Test Aborted

説明: 内部メモリー・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-804-000 BRCM:TestInterrupt Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-805-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-806-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-807-000 BRCM:TestLEDs Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-900-000 BRCM:TestControlRegisters Test Failed

説明: 内部 MAC レジスタのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
 2. テストを再実行します。
 3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。
-

405-901-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Failed

説明: 内部 PHY レジスタのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。

3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-902-000 BRCM:TestEEPROM Test Failed

説明: 不揮発性 RAM のテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-903-000 BRCM:TestInternalMemory Test Failed

説明: 内部メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-904-000 BRCM:TestInterrupt Test Failed

説明: 割り込みのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-905-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Failed

説明: BRCM:TestLoopbackMAC テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-906-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-907-000 BRCM:TestLEDs Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Brocade テスト結果

Brocade テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

218-000-000 Brocade:MemoryTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-001-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-002-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-003-000 Brocade:PCILoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-004-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-005-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-006-000 Brocade:InternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-800-000 Brocade:MemoryTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-801-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-802-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-803-000 Brocade:PCILoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-804-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-805-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-806-000 Brocade:InternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-900-000 Brocade:MemoryTest Failed

説明: アダプター・メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
 2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
 3. テストを再実行します。
 4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。
-

218-901-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-902-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
 2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
 3. テストを再実行します。
 4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。
-

218-903-000 Brocade:PCILoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
 2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
 3. テストを再実行します。
 4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。
-

218-904-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. SFP/ケーブルを調べるか、取り付け直します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-905-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-906-000 Brocade:InternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA Emulex アダプター・テスト結果

Emulex アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

516-000-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-001-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-002-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-800-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-801-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-802-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-900-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Failed

説明: MAC 層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
 2. テストを再実行します。
 3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。
-

516-901-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

516-902-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Mellanox アダプター・テスト結果

Mellanox アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

408-000-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-001-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-800-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-801-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-900-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Failed

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であることを確認します。
 2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
 3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。
-

408-901-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Failed

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であり、サブネット・マネージャーがポートの接続先であるファブリック上で実行していることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

DSA EXA ポート ping テスト結果

EXA ポート ping テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

401-000-000 EXA Port Ping Test Passed

説明: EXA ポート ping テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

401-801-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。装置基底アドレスを取得できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

401-802-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。ポートの接続が正しくない可能性があります。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

401-901-001 EXA Port Ping Test Failed

説明: EXA ポート ping テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. スケーラビリティ・ケーブルの接続が緩んでいないか調べます。
4. 指定されたポート (複数の場合もあり) のスケーラビリティ・ケーブル (複数の場合もあり) を取り付け直します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

DSA Intel ネットワーク・テスト結果

Intel ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

406-000-000 IANet:Registers Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-001-000 IANet:EEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-002-000 IANet:FIFO Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-003-000 IANet:Interrupts Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-004-000 IANet:Loopback Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-800-000 IANet:Registers Test Aborted

説明: レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-801-000 IANet:EEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-802-000 IANet:FIFO Test Aborted

説明: FIFO テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-803-000 IANet:Interrupts Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-804-000 IANet:Loopback Test Aborted

説明: ループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-900-000 IANet:Registers Test Failed

説明: レジスター・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-901-000 IANet:EEPROM Test Failed

説明: EEPROM テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-902-000 IANet:FIFO Test Failed

説明: FIFO テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-903-000 IANet:Interrupts Test Failed

説明: 割り込みテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. DSA Diagnostic Log の PCI Hardware セクションで割り込みの割り当てを調べます。イーサネット装置が割り込みを共用している場合は、可能であれば、F1 を使用して割り込みの割り当てを変更し、固有の割り込みをその装置に割り当てます。

4. テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-904-000 IANet:Loopback Test Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. イーサネット・ケーブルに損傷がないか調べ、ケーブルのタイプと接続が正しいことを確認します。
2. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または IBM 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、IBM がさまざまな形で提供しているサポートをご利用いただけます。

この情報を使用して、IBM および IBM 製品に関する追加情報の入手、ご使用の IBM システムまたはオプションのデバイスで問題が発生した場合の対処方法の判別、およびサービスが必要になった場合の連絡先の判別を行います。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

IBM に IBM 製品の保証サービスを依頼する必要がある場合、お客様が依頼する前に準備されていると、IBM サービス技術員はより効率的にお客様を支援できます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション製品の電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の IBM 製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバがないか確認してください。
IBM の保証条件では、製品に関わるすべてのソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新は、IBM 製品の所有者であるお客様の責任で行っていただくと定めています (ただし、追加の保守契約で保証される場合を除きます)。ソフトウェアを更新することで、お客様の問題に文書化された解決方法が示される場合、IBM サービス技術員は、お客様によるソフトウェアおよびファームウェアの更新を要求する場合があります。
- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の IBM 製品によってサポートされていることを確認してください。
- <http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。
- IBM サービスに提供する次の情報を収集してください。IBM サポートは、このデータを使用してお客様の問題に対する解決方法を迅速に提供し、また、お客様の契約に基づく適切なレベルのサービスを保証できるようになります。
 - ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号 (該当する場合)
 - マシン・タイプ番号 (IBM の 4 桁のマシン識別番号)
 - 型式番号
 - シリアル番号
 - 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
 - エラー・メッセージやログなど、その他関連情報

- http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスして、Electronic Service Request を送信してください。Electronic Service Request を送信すると、IBM サポートが迅速に、そして効果的に関連情報を使用できるようになることで、お客様の問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。IBM サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

多くの問題は、IBM 製品に付属のオンライン・ヘルプおよび説明資料に記載のトラブルシューティング手順を実行することで、お客様自身で解決することができます。IBM システムに付属の資料には、お客様が実行できる診断テストについても記載しています。大部分のシステム、オペレーティング・システムおよびプログラムには、トラブルシューティング手順やエラー・メッセージおよびエラー・コードに関する説明書が付属しています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

資料の使用

IBM システム、およびプリインストール・ソフトウェア、あるいはオプション製品に関する情報は、製品に付属の資料に記載されています。資料には、印刷された説明書、オンライン資料、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。

診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照してください。トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライバーの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。IBM は WWW に、最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバーおよび更新をダウンロードできるページを設けています。これらのページにアクセスするには、<http://www.ibm.com/supportportal>に進んでください。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

IBM 製品およびサポートに関する最新情報は、WWW から入手可能です。

WWW 上の <http://www.ibm.com/supportportal> では、IBM システム、オプション装置、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。IBM System x 情報は、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/> にあります。IBM BladeCenter 情報は、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/bladecenter/> にあります。IBM IntelliStation 情報は、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/intellistation/list.shtml> にあります。

IBM への DSA データの送信方法

IBM Enhanced Customer Data Repository を使用して、IBM に診断データを送信します。

診断データを IBM に送信する前に、<http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html> の利用条件をお読みください。

以下のいずれかの方法を使用して、IBM に診断データを送信することができます。

- 標準アップロード:http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- システムのシリアル番号を使用した標準アップロード:http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- セキュア・アップロード:http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:
https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

個別設定したサポート Web ページの作成

目的の IBM 製品を特定して、個別設定したサポート Web ページを作成することができます。

個別設定したサポート Web ページを作成するには、<http://www.ibm.com/support/mynotifications> にアクセスします。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報およびダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

ソフトウェアのサービスとサポート

IBM サポート・ラインを使用すると、ご使用の IBM 製品の使用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話によるサポートを有料で受けることができます。

サポート・ラインおよび各種の IBM サービスについて詳しくは、<http://www.ibm.com/services> をご覧になるか、あるいは <http://www.ibm.com/planetwide> でサポート電話番号をご覧ください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

ハードウェアのサービスとサポート

ハードウェアの保守は、IBM サービスか IBM 販売店を通じて受けることができます。

IBM により許可された保証サービスを提供する販売店を見つけるには、
<http://www.ibm.com/partnerworld/jp/> にアクセスしてから、ページの右サイドで「パートナーを探す」をクリックしてください。IBM サポートの電話番号については、
<http://www.ibm.com/planetwide> を参照してください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1 日 24 時間、週 7 日ご利用いただけます。英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前 9 時から午後 6 時までご利用いただけます。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。

現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/us/en/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe および PostScript は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Cell Broadband Engine は、Sony Computer Entertainment, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

Intel、Intel Xeon、Itanium、および Pentium は Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

重要事項

プロセッサの速度とは、マイクロプロセッサの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度には、変わる可能性のある読み取り速度を記載しています。実際の速度は記載された速度と異なる場合があります、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハード・ディスクの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なります。

内蔵ハード・ディスクの最大容量は、IBM から入手可能な現在サポートされている最大のドライブを標準ハード・ディスクの代わりに使用し、すべてのハード・ディスク・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーにするには、標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があります。

各ソリッド・ステート・メモリー・セルには、そのセルが耐えられる固有の有限数の組み込みサイクルがあります。したがって、ソリッド・ステート・デバイスには、可能な書き込みサイクルの最大数が決められています。これを「書き込み合計バイト数 (total bytes written)」(TBW) と呼びます。この制限を超えたデバイスは、システム生成コマンドに応答できなくなる可能性があり、また書き込み不能になる可能性があります。IBM は、正式に公開された仕様に文書化されているプログラム/消去のサイクルの最大保証回数を超えたデバイスについては責任を負いません。

IBM は、ServerProven[®] に登録されている他社製品およびサービスに関して、商品性、および特定目的適合性に関する黙示的な保証も含め、一切の保証責任を負いません。これらの製品は、第三者によってのみ提供および保証されます。

IBM は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、IBM ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があります。ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデータ消去に関するご注意

これらのサーバーの中のハード・ディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。従ってそのサーバーを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところがこのハード・ディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

- データを「ゴミ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化 (フォーマット) する
- 付属のリカバリー・プログラムを使い、工場出荷状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハード・ディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際にデータが消された状態ではありません。つまり、一見消去されたように見えますが、Windows[®] などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このサーバーのハード・ディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

サーバーの廃棄・譲渡等を行う際に、ハード・ディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハード・ディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、ハード・ディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁氣的に破壊して読めなくする、または、専用ソフトウェアあるいはサービス (共に有償) をご利用になられることを推奨します。

なお、ハード・ディスク上のソフトウェア（オペレーティング・システム、アプリケーション・ソフトウェアなど）を削除することなくサーバーを譲渡すると、ソフトウェア・ライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますため、十分な確認を行う必要があります。

データ消去支援サービスまたは機器リサイクル支援サービスについての詳細は、弊社営業担当員または「ダイヤル IBM」044-221-1522 へお問い合わせ下さい。

粒子汚染

注意: 浮遊微小粒子（金属片や微粒子を含む）や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、本書に記載されている装置にリスクをもたらす可能性があります。

過度のレベルの微粒子や高濃度の有害ガスによって発生するリスクの中には、装置の誤動作や完全な機能停止の原因となり得る損傷も含まれます。以下の仕様では、このような損傷を防止するために設定された微粒子とガスの制限について説明しています。以下の制限を、絶対的な制限としてみなしたり、使用したりしてはなりません。微粒子や環境腐食物質、ガスの汚染物質移動が及ぼす影響の度合いは、温度や空気中の湿気など他の多くの要因によって左右されるからです。本書で説明されている具体的な制限がない場合は、人体の健康と安全の保護を脅かすことのない微粒子とガスのレベルを維持するよう、実践していく必要があります。お客様の環境の微粒子あるいはガスのレベルが装置損傷の原因であると IBM が判断した場合、IBM は、装置または部品の修理あるいは交換の条件として、かかる環境汚染を改善する適切な是正措置の実施を求める場合があります。かかる是正措置は、お客様の責任で実施していただきます。

表 37. 微粒子およびガスの制限

汚染物質	制限
微粒子	- 室内の空気は、ASHRAE Standard 52.2 に従い、大気塵埃が 40% のスポット効率で継続してフィルタリングされなければならない (MERV 9 準拠)¹。 - データ・センターに取り入れる空気は、MIL-STD-282 に準拠する HEPA フィルターを使用し、99.97% 以上の粒子捕集率効果のあるフィルタリングが実施されなければならない。 - 粒子汚染の潮解相対湿度は、60% を超えていなければならない²。 - 室内には、亜鉛ウィスカーのような導電性汚染があってはならない。
ガス	- 銅: ANSI/ISA 71.04-1985 準拠の Class G1³ - 銀: 腐食率は 30 日間で 300 Å 未満
¹ ASHRAE 52.2-2008 - 一般的な換気および空気清浄機器について、微粒子の大きさごとの除去効率をテストする方法。 Atlanta: American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers, Inc. ² 粒子汚染の潮解相対湿度とは、水分を吸収した塵埃が、十分に濡れてイオン導電性を持つようになる湿度のことです。 ³ ANSI/ISA-71.04-1985。 プロセス計測およびシステム制御のための環境条件: 気中浮遊汚染物質。 Instrument Society of America, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A.	

通信規制の注記

This product is not intended to be connected directly or indirectly by any means whatsoever to interfaces of public telecommunications networks.

本製品は、電気通信事業者の通信回線への直接、またはそれに準ずる方法での接続を目的とするものではありません。

電波障害自主規制特記事項

機器にモニターを接続する際は、指定されたモニター・ケーブル、およびモニターに付属の干渉抑止装置を使用してください。

Federal Communications Commission (FCC) statement

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. IBM is not responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that might cause undesired operation.

Industry Canada Class A emission compliance statement

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Australia and New Zealand Class A statement

Attention: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

European Union EMC Directive conformance statement

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2004/108/EC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. IBM cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a nonrecommended modification of the product, including the fitting of non-IBM option cards.

Attention: This is an EN 55022 Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

Responsible manufacturer:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

European Community contact:

IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Department M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15 2941
Email: lugi@de.ibm.com

Germany Class A statement

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2004/108/EG zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der EN 55022 Klasse A ein.

Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. Des Weiteren dürfen auch nur von der IBM empfohlene Kabel angeschlossen werden. IBM übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung der IBM verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung der IBM gesteckt/eingebaut werden.

EN 55022 Klasse A Geräte müssen mit folgendem Warnhinweis versehen werden:

『Warnung: Dieses ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funk-Störungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen zu ergreifen und dafür aufzukommen.』

Deutschland: Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten

Dieses Produkt entspricht dem "Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG)". Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2004/108/EG in der Bundesrepublik Deutschland.

Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG) (bzw. der EMC EG Richtlinie 2004/108/EG) für Geräte der Klasse A

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen.

Verantwortlich für die Einhaltung der EMV Vorschriften ist der Hersteller:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

Der verantwortliche Ansprechpartner des Herstellers in der EU ist:

IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Abteilung M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15 2941
Email: lugi@de.ibm.com

Generelle Informationen:

Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55022 Klasse A.

VCCI クラス A 情報技術装置

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用する
と電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策
を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示

高調波ガイドライン準用品

電子情報技術産業協会 (JEITA) 承認済み (変更付き) 高調波指針 (1 相当たりの入
力電流が 20 A を超える機器)

Korea Communications Commission (KCC) statement

이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기
바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목
적으로 합니다.

This is electromagnetic wave compatibility equipment for business (Type A). Sellers
and users need to pay attention to it. This is for any areas other than home.

Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement

ВНИМАНИЕ! Настоящее изделие относится к классу А.
В жилых помещениях оно может создавать радиопомехи, для
снижения которых необходимы дополнительные меры

People's Republic of China Class A electronic emission statement

声 明

此为 A 级产品。在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

Taiwan Class A compliance statement

警告使用者：
這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

【ア行】

アウト・オブ・バンド 150
アダプター, 交換 172
アダプター, 取り外し 171
アダプター, 取り付け 59
安全, 点検 ix
安全と注意 5
安全について vii, xi
イーサネット 7, 16
 コントローラー 144
 リンク状況 LED 16
イーサネット活動
 LED 16
イーサネット・コネクタ 16
イーサネット・コントローラー, 構成 94
イーサネット・コントローラーの構成 74
イーサネット・サポート 7
一般
 問題 128
イベント, IMM2 251
イベント・ログ 119
 消去 122
 表示 120
イベント・ログ, システム 119
イベント・ログ, 表示の方式 121
イベント・ログ, POST 119
イベント・ログの表示 121
インバンド
 自動ブート・リカバリー方式 150
 手動リカバリー方式 148
インフォメーション・センター 514
エアー・バッフル, 交換 68, 167
エアー・バッフル, 取り外し 44, 166
エラー
 書式, DSA コード 126
エラー現象 136
 一般 128
 オプション装置 138
 キーボード 132
 偶発的 132
 シリアル・ポート 140
 ソフトウェア 142
 電源 139
 ネットワーク接続 138

エラー現象 (続き)
 ハード・ディスク 128
 ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス 131
 マイクロプロセッサ 135
 マウス 132
 メモリー 134
 モニター 136
 DVD ドライブ 130
 ServerGuide 141
 USB デバイス 132
 USB ポート 143
エラー・コードとメッセージ
 IMM2 251
 UEFI (POST) 395
エラー・メッセージ 127
エラー・メッセージ, IMM2 251
汚染, 微粒子およびガス 6
汚染, 微粒子およびガス 520
オプション
 取り付け 21
オプション装置の問題 138
オプションの取り付け, 完了 66
オペレーター情報パネル
 アセンブリ, 交換 212
 アセンブリ, 取り外し 211
オペレーティング・システム 3
オペレーティング・システム・イベント・
 ログ 7, 119, 121
音響放出ノイズ 6
オンライン資料 1, 4

【カ行】

開始
 バックアップ・ファームウェア 87
 Setup ユーティリティ 79
ガイドライン
 オプションの取り付け 39
 システム信頼性 41
 電気機器の保守 x
 トレーニングを受けたサービス技術員 ix
外部コネクタ 25
概要 1
拡張
 ベイ 6
ガス汚染 6, 520
カスタム・サポート Web ページ 515
カバー, 交換 69, 163
カバー, 取り外し 43, 162
可用性, サーバー 11
環境 6
管理, システム 7
管理者
 パスワード 87
完了
 オプションの取り付け 66
危険の注記 5
機能 6
 ServerGuide 77
機能, リモート・プレゼンスおよびブルー・スクリーン 7
キャッシュ 6
偶発的
 問題 132
組み込みハイパーバイザー
 使用 93
グリース, 熱伝導 243
ケーブル, 接続 70
現行ファームウェアの適用
 ベスト・プラクティスの使用 21
検索
 更新された資料 4
コール・ホーム機能
 IBM Electronic Service Agent 127
コール・ホーム・ツール 127
交換
 アダプター 172
 エアー・バッフル 68, 167
 オペレーター情報パネル・アセンブリ 212
 カバー 69, 163
 固定パワー・サブライ 227
 コンポーネント 161
 サーバー・コンポーネント 162
 システム・ボード 247
 シンプル・スワップ・ドライブ・バックプレート・アセンブリ 215, 223
 シンプル・スワップ・ハード・ディスク 181
 ソフトウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートの, ハードウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートとの 216
 電源パドル・カード 235
 バッテリー 202
 ヒートシンク 240
 ファン 198
 ベゼル 165

交換 (続き)

- ホット・スワップ・ハード・ディスク 184
- ホット・スワップ・パワー・サプライ 206
- 2 個目のマイクロプロセッサ 240
- 240 VA 安全カバー 232
- DVD ドライブ 188
- DVD ドライブ・ ケーブル 209
- PCI ライザー・カード・アセンブリー 67, 170
- ServeRAID アダプター 176
- Tier 1 CRU 162
- Tier 2 CRU 208

交換可能なサーバー・コンポーネント 153

更新

- サーバー構成 72
- 汎用固有 ID (UUID) 98, 101
- ファームウェア 73
- IBM Systems Director 96
- Systems Director, IBM 96

構成

- イーサネット・コントローラー 94
- 情報 73
- 手順 73
- Nx 回ブート失敗 151
- RAID アレイ 95
- ServerGuide Setup and Installation CD 73
- ServerGuide を使用する場合 78
- Setup ユーティリティ 73

構成プログラム 74

固定パワー・サプライ

取り外し 225

固定パワー・サプライ、交換 227

コネクタ

- イーサネット 16
- 外部 25
- サーバーの前面 14
- シリアル 16
- 内部 25
- 背面 16
- 背面、サーバーの 16
- パワー・サプライ 16
- ビデオ 16
- USB 14, 16

コネクタ、内部、システム・ボード 25

個別設定したサポート Web ページの作成 515

コントロール、LED、および電源 14

コンポーネント

サーバー 23, 153

[サ行]

サーバー

- オフにする 18
- オンにする 18
- 提供 7
- 電源オンのサーバー内部での作業 42
- 電源機能 17

サーバー、前面図 14

サーバー、バックアップ・ファームウェア 開始 87

サーバーが提供する機能 7

サーバー構成、更新 72

サーバーの構成 73

サーバーのコントロール、LED、および電源 14

サーバーのシャットダウン 18

サーバーの電源をオフにする 18

サーバーの背面図 16

サーバー・コンポーネント 23, 153

サーバー・ファームウェアのリカバリー 147

サービスおよびサポート

依頼する前に 513

ソフトウェア 515

ハードウェア 516

サイズ 6

サポート Web ページ、カスタム 515

支援、入手 513

事項、重要 518

システム管理 7

システム管理ツール

IBM Systems Director 13

システムの信頼性に関するガイドライン 41

システム・イベント・ログ 119, 120

システム・イベント・ログ、Assertion イベント 119

システム・イベント・ログ、Deassertion イベント 119

システム・エラー LED 14

システム・パルス LED 118

システム・ボード

外部コネクタ 25

始動パスワード・スイッチ 86

スイッチとジャンパー 26

内部コネクタ 25

LED 28

システム・ボード、交換 247

システム・ボード、取り外し 244

システム・ボードの内部コネクタ 25

次世代テクノロジー 7

室温 6

湿度 6

質量 6

自動ブート・リカバリー (ABR) 151

ジャンパー

- システム・ボード 26
- UEFI ブート・リカバリー 147

重要な注 5

重要な注記 5, 518

取得 91, 92

仕様 6

使用

組み込みハイパーバイザー 93

統合管理モジュール 89

リモート・プレゼンス機能 90

Setup ユーティリティ 79

使用可能化

Features on Demand

Ethernet ソフトウェア 95

RAID ソフトウェア 95

冗長 7

イーサネット機能 11

イーサネット接続 7

ホット・スワップ電源機構 11

冷却 7

冗長性サポート

パワー・サプライ 7

商標 518

シリアル番号

ロケーション 146

シリアル・コネクタ 16

シリアル・ポートの問題 140

資料

使用 514

Documentation Browser 3

System x Documentation CD 3

資料、更新された

検索 4

診断

オンボード・プログラム、開始 125

ツール、概要 111

プログラムの概要 123

診断プログラム

DSA Preboot 7

シンプル・スワップ・ドライブ

取り付け 33

シンプル・スワップ・ドライブ・バックプレート・アセンブリー

交換 215, 223

ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン 215, 223

取り外し 214, 221

ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン

交換 215, 223

シンプル・スワップ・ハード・ディスク

交換 181

取り外し 179

シンプル・スワップ・ハード・ディスク、取り付け 50

信頼性、サーバー 11
スイッチ
 システム・ボード 26
スイッチ・ブロック 26
スタンバイ・モード 17
スロット 6
寸法 6
静電気に弱い装置
 取り扱いのガイドライン 42
静電気の影響を受けやすい部品の取り扱い 42
接続
 ケーブル 70
前面図
 コネクタ 14
 LED の位置 14
前面図、サーバーの 14
装置、静電気に弱い
 取り扱いのガイドライン 42
ソフトウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート
 の、ハードウェア RAID シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートとの
 交換 216
ソフトウェアのサービスおよびサポートの
 電話番号 515
ソフトウェアの問題 142
ソフトウェア要件 3

[タ行]

チェックアウト手順 108, 109
 実行 110
チェック・ログ LED 14
注 5
注意の注記 5
注記と安全 5
ツール、コール・ホーム 127
ツール、診断 111
通信規制の注記 521
粒子汚染 6, 520
データ収集 105
データの収集 105
ディスプレイの問題 136
手順、チェックアウト 110
テスト・ログ、表示 126
デバイス
 取り付け 21
デバイス・ドライバ 88
電気機器、保守 x
電気機器の保守 x
電源 88
 電源制御ボタン 14
 要件 6
点検、安全 ix

電源オンのサーバー内部での作業 42
電源オンの状態でのサーバー内部での作業 42
電源機能
 サーバー 17
電源コード 159
電源制御ボタン 14
電源入力 6
電源の問題 139, 143
電源パドル・カード、交換 235
電源パドル・カード、取り外し 234
電源をオフにする、サーバーの
 内蔵ベースボード管理コントローラ 18
電源をオンにする、サーバーの 18
電子情報技術産業協会表示 524
電話番号 515, 516
統合管理モジュール
 イベント・ログ 7
 概要 7
 使用 89
統合管理モジュール II
 イベント・ログ 119, 121
 プログラム 74
特記事項 517
 電磁波放出 521
 FCC, Class A 521
ドライブ 6
 インストール・ルール 32, 48
トラブルシューティング 105
 現象 127
取り外し
 アダプター 171
 エアー・バッフル 44, 166
 オペレーター情報パネル・アセンブリー 211
 カバー 43, 162
 固定パワー・サプライ 225
 コンポーネント 161
 サーバー・コンポーネント 162
 システム・ボード 244
 シンプル・スワップ・ドライブ・バックプレート・アセンブリー 214, 221
 シンプル・スワップ・ハード・ディスク 179
 電源パドル・カード 234
 バッテリー 200
 ヒートシンク 237
 ファン 197
 ベゼル 164
 ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン 214, 221
 ホット・スワップ・ハード・ディスク 183
 ホット・スワップ・パワー・サプライ 204

取り外し (続き)
 メモリー・モジュール 191
2 個目のマイクロプロセッサ 237
240 VA 安全カバー 230
DVD ドライブ 186
DVD ドライブ・ケーブル 208
PCI ライザー・カード・アセンブリー 45, 168
ServeRAID アダプター 175
Tier 1 CRU 162
取り外し、DIMM 191
取り外しと交換
 サーバー・コンポーネント 162
Tier 1 CRU 162
取り付け 1
 アダプター 59
 シンプル・スワップ・ドライブ 33
 シンプル・スワップ・ハード・ディスク 50
 ドライブ 32, 48
 ファン 46
 ホット・スワップ・ドライブ 34
 ホット・スワップ・ハード・ディスク 48
 ホット・スワップ・パワー・サプライ 64
 メモリー 54, 192
 メモリー・モジュール 30
DIMM 57, 195
dimm 54, 192
DVD ドライブ 36, 51
ServeRAID アダプター 61
取り付け、オプション 21
取り付けに関するガイドライン 39
トレーニングを受けたサービス技術員、ガイドライン ix

[ナ行]

内蔵機能 6
内蔵ベースボード管理コントローラ 18
内部、システム・ボード・コネクタ 25
内部コネクタ 25
熱伝導グリース 243

[ハ行]

ハードウェア、構成 74
ハードウェアの構成 74
ハードウェアのサービスおよびサポートの
 電話番号 516
ハードウェア要件 3
ハード・ディスク
 活動 LED 14
 状況 LED 14

ハード・ディスク (続き)
問題 128
ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス
問題 131
背面図 16
サーバー 16
パスワード 85
管理者 85
始動 85
パスワード、始動
スイッチ、システム・ボード上の 86
バックアップ・ファームウェア
開始 87
バッテリー
交換 202
取り外し 200
発熱量 (消費電力) 6
パワーオン LED 17
パワーオン・セルフテスト 123
パワー・サプライ 6
冗長性サポート 7
LED 113, 116
LED と検出される問題 113, 116
パワー・サプライ LED 113, 116
ヒートシンク、交換 240
ヒートシンク、取り外し 237
ビジネス・パートナーの手順 21, 22
ビデオ・コネクタ
背面 16
ビデオ・コントローラー、内蔵
仕様 6
表明イベント、システム・イベント・ログ 119
表明解除イベント、システム・イベント・ログ 119
ブート・マネージャー・プログラム 74
ファームウェア、更新 73
ファームウェア、サーバー、リカバリー 147
ファームウェア更新、ベスト・プラクティス 21
ファームウェアの更新 1, 39
ファン 7
シンプル・スワップ 6
ファン、交換 198
ファン、取り外し 197
ファン、取り付け 46
部品リスト 153
ブルー・スクリーン機能 90
ブルー・スクリーン・キャプチャー機能 7
概要 7, 90
文書化されていない問題 108
ベイ 6

ベスト・プラクティス
現行ファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を適用するために使用 21
ベスト・プラクティスの使用
ファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を適用 21
ベゼル、交換 165
ベゼル、取り外し 164
ヘルプ
ソース 513
IBM への診断データの送信 515
WWW から 514
返却
コンポーネント 161
装置 161
方式 150
方式、イベント・ログの表示 121
保守容易性、サーバー 11
ホット・スワップ・ドライブ
取り付け 34
ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン
取り外し 214, 221
ホット・スワップ・ハード・ディスク
交換 184
取り外し 183
ホット・スワップ・ハード・ディスク、取り付け 48
ホット・スワップ・パワー・サプライ
取り外し 204
ホット・スワップ・パワー・サプライ、交換 206
ホット・スワップ・パワー・サプライ、取り付け 64
ポリシー・オプション 88

[マ行]

マイクロプロセッサ 7
仕様 6
問題 135
未解決問題 145
メッセージ、エラー
POST 395
メニュー選択
Setup ユーティリティ 80
メモリー 6, 7
取り付け 54, 192
UDIMM 54, 192
unbuffered 31, 56, 194
メモリー・サポート 7
メモリー・モジュール
取り外し 191
取り付け 30

モデル名
ロケーション 146
問題 136
イーサネット・コントローラー 144
一般 128
オプション装置 138
キーボード 132
偶発的 132
シリアル・ポート 140
ソフトウェア 142
電源 139, 143
ネットワーク接続 138
ハード・ディスク 128
ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス 131
マイクロプロセッサ 135
マウス 132
未解決 145
メモリー 134
モニター 136
DVD ドライブ 130
ServerGuide 141
USB ポート 143

[ヤ行]

ユーティリティ、セットアップ 74
開始 79
使用 79
ユーティリティ・プログラム
IBM Advanced Settings 96
要件
ソフトウェア 3
ハードウェア 3

[ラ行]

リセット・ボタン 14
リモート・プレゼンス機能
使用 90
冷却 7
レガシー・オペレーティング・システム
要件 78
レガシー・オペレーティング・システムをインストールする前に 78
ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) 7
ロギング 92
ロケータ LED 14

[数字]

2 個目のマイクロプロセッサ、交換 240

2 個目のマイクロプロセッサ、取り外し 237
240 VA 安全カバー
交換 232
取り外し 230

A

ABR、自動ブート・リカバリー 151
AC 電源 LED 16
Active Energy Manager プラグイン 7
ASM イベント・ログ 7, 121
Australia Class A statement 522

B

Boot Manager 87

C

Canada Class A electronic emission statement 522
China Class A electronic emission statement 525
Class A electronic emission notice 521

D

DC 電源 LED 16
DIMM
取り外し 191
dimm
取り付け 54, 192
unbuffered 31, 56, 194
DIMM、取り付け 57, 195
Documentation CD 3
DSA 22
エディション 124
テキスト・メッセージ書式 126
テスト・ログ、表示 126
プログラム、概要 123
DSA Portable 111, 124
DSA Preboot 111, 124
DSA Preboot 診断プログラム 7
DSA データ
IBM への送信方法 22
DSA データの送信
IBM への 22
DSA ログ 7, 119, 121
DSA、IBM へのデータの送信 515
DVD
イジェクト・ボタン 14
ドライブ活動 LED 14
DVD ドライブ LED 14

DVD ドライブ
取り付け 36
問題 130
DVD ドライブ、交換 188
DVD ドライブ、取り外し 186
DVD ドライブ、取り付け 51
DVD ドライブ・ケーブル
交換 209
取り外し 208

Dynamic System Analysis 22
Dynamic System Analysis (DSA) Preboot
診断プログラム 7

E

electronic emission Class A notice 521
European Union EMC Directive
conformance statement 522

F

FCC Class A notice 521

G

Germany Class A statement 523

I

IBM Advanced Settings ユーティリティ
ー・プログラム
概要 96
IBM Electronic Service Agent 127
IBM Systems Director 7
更新 96
システム管理ツール 13
IBM ビジネス・パートナー用の手順 21,
22
IBM への DSA データの送信方法 22
IBM への診断データの送信 515
IBM、次世代テクノロジー 7
IMM web インターフェース 92
IMM ホスト名 91
IMM 用の IP アドレス 92
IMM2 74
IMM2 イベント 251
IMM2 のエラー・メッセージ 251
IMM2 ハートビート
LED 118
IPMI イベント・ログ 7, 119, 121
IPMItool 121

J

JEITA 表示 524

K

Korea Class A electronic emission
statement 524

L

LED
イーサネット活動 16
イーサネット・リンク状況 16
サーバーの前面 14
システム・パルス 118
システム・ボード上の 28
ハード・ディスク活動 14
ハード・ディスク状況 14
パワー・サプライ 113, 116
パワー・サプライで検出される問題
113, 116
パワー・サプライ・エラー 16
AC 電源 16
DC 電源 16
DVD ドライブ活動 14
IMM2 ハートビート 118
Light Path 診断
パワー・サプライ 113, 116
RTMM ハートビート 118

N

New Zealand Class A statement 522
NMI ボタン 16
NOS インストール
ServerGuide を使用しない 79
ServerGuide を使用する場合 78
Nx 回ブート失敗 151

P

PCI
スロット 1 16
スロット 2 16
PCI 拡張
スロット 6
PCI ライザー・カード・アセンブリー
コネクタ 29
PCI ライザー・カード・アセンブリー
リー 29
PCI ライザー・カード・アセンブリー、
交換 67, 170
PCI ライザー・カード・アセンブリー、
取り外し 45, 168

People's Republic of China Class A
electronic emission statement 525

POST

イベント・ログ 120

エラー・コード 395

POST イベント・ログ 119

POST、概要 123

Preboot、DSA 診断プログラム 7

R

RAID アレイ

構成 95

RAS 機能、サーバー 11

RTMM ハートビート

LED 118

Russia Class A electronic emission
statement 524

S

Safety Information 5

ServeRAID アダプター、交換 176

ServeRAID アダプター、取り外し 175

ServeRAID アダプター、取り付け 61

ServeRAID サポート 7

ServerGuide

機能 77

使用 77

セットアップ 78

NOS インストール 78

Setup and Installation CD 73

ServerGuide CD 7

ServerProven 39

Service Bulletin 108

Setup ユーティリティ 73, 74

開始 79

使用 79

メニュー選択 80

SW1 スイッチ・ブロックの説明 26

Systems Director、IBM

システム管理ツール 13

T

Taiwan Class A electronic emission
statement 525

Tier 1 CRU、交換 162

Tier 2 CRU、交換 208

ToolsCenter for System x and

BladeCenter 39

U

UDIMM

考慮事項 31, 56, 194

要件 31, 54, 56, 192, 194

UEFI

エラー・コード 395

ブート・リカバリー・ジャンパー 147

unbuffered

メモリー 31, 56, 194

dimm 31, 56, 194

Unbuffered DIMM 31, 54, 56, 192, 194

United States FCC Class A notice 521

Universal Serial Bus (USB) の問題 143

UpdateXpress 73, 88

USB

コネクタ 14, 16

V

VCCI クラス A 情報技術装置 524

VMware ハイパーバイザーのサポート
74

W

Wake on LAN 機能 18

X

x3250

概要 1



部品番号: 00FK702

Printed in Japan

(1P) P/N: 00FK702



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21